平成３０年度

中間貯蔵（大熊５工区）土壌貯蔵施設等工事

現　場　説　明　書

福　島　地　方　環　境　事　務　所

第１章　総　　則

１．共通事項

現場説明事項は、制約を受ける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加者が充分な見積りができるよう条件明示するものである。

そのため、明示された条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項に基づき、適切に対応するものである。

また、明示されない施工条件、明示事項が不明確な施工条件についても、契約書の関連する条項にもとづき受注者と発注者とが協議できるものである。

２．基本事項

本工事施工の前提となる基本事項の処理については以下のとおりとし、これら条件に変更が生じた場合は、契約書の関連する条項及び別紙リスク分担表に基づき、受注者と発注者とが協議するものとする。また、積算にあたっては「平成 29 年度国土交通省土木工事積算基準」及び「環境省除染特別地域における除染等工事暫定積算基準（第 10 版：平成 29 年 4 月改定版）」を基本とし、その他詳細を本現場説明書に示す。

（１）用地関係

本工事に必要な受入・分別施設及び土壌貯蔵施設用地の未処理部分の有無

（□無し■有り）

本工事は、受入・分別施設及び土壌貯蔵施設用地等の確保を前提としている。なお、受入・分別施設及び土壌貯蔵施設用地等の確保に支障が生じることや、図面が示された後に用地が変更されることにより、施設設計や工事工程等に影響が生じる場合は、その対応については別途協議するものとする。

なお、線量低減措置前の平均的な空間線量率は、10.0～25.0μSv/h 程度である。

（２）協議関係

本工事に必要な設計協議等の未処理部分の有無（□無し■有り）

本工事の実施に必要となる許認可等（排水処理、電気、通信等）については、当初設計において確定できないため、必要に応じ、関係機関等との協議や手続きが今後発

生し、施工期間等が制約を受ける可能性がある。着手時期の遅れ、あるいは受入・分別施設及び土壌貯蔵施設等の構造に変更が生じる場合は、その対応については別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

なお、受入・分別処理に係る各設備（処理設備、建築物、建築設備）と、浸出水処理に係る各設備（調整設備、処理設備、計装設備）の機械損料（償却費）は、受入・分別処理期間 24 か月、および浸出水処理期間 24 か月で償却する月単価として計上している。このため、受入・分別処理ならびに浸出水処理期間が 24 か月を超える場合の機械損料（償却費）の計上は想定していない。

（3）共通仮設費と現場管理費の率

共通仮設費率：6.0%、現場管理費率：23.4%

3．施工時期、時間等に関する事項

関係官公署その他関係する者から、施工時期、施工時間等の制約を受けた場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

4．放射線防護に関する事項

除染電離則に基づく放射線防護に要する費用は、当初設計において、防護具費(防じんマスク等)、使用済み防護具処理費、安全講習費、電離放射線健康診断を含む健康診断費、セルフスクリーニング費、放射線管理に要する費用を計上している。なお、その他のものについて、必要がある場合は別途協議するものとする。本工事は、「除染等業務従事者等被ばく線量等を一元管理するための制度」への参画の対象である。「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度」への参加に要する費用を諸経費対象外として計上している。

5．交通安全に関する事項

警察等関係機関との協議等により計画等に変更が生じた場合は、別途協議するものとする。

6．労働者等の宿舎設置・撤去等に関する事項

下記の項目については、当初設計において計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

①労働者宿舎の維持・補修費（帰還困難区域以外は既設宿舎のみ設計変更の対象）

②借上費（アパート等の借上げ費用を元請が直接契約した場合のみ）

③宿泊費

④労働者送迎費（労働者宿舎及び現地事務所等の集合場所から現場までのマイクロ

バスによる送迎）
⑤新設宿舎設置・撤去費（帰還困難区域内に限る）
⑥既設宿舎撤去費

７．除雪に関する事項

除雪工事は当初設計において計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

８．洗浄について

仮置場等における日常のタイヤ洗浄及び使用機械の洗浄に要する費用は、当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

９．設計単価について

1）労務単価は「除染特別地域内における除染等工事に係る設計労務単価等の改定について（通知)」（平成 29 年３月 13 日付け環水大総発第 1703132 号。)、「平成 29 年度国土交通省公共工事設計労務単価」、「平成 29 年度環境省除染等工事設計労務単価」を適用している。

2）技術者単価は、「平成 29 年度国土交通省設計業務委託等技術者単価」を適用している。

3）機械・労務・材料単価については、次の割増し及び補正を除き、帰還困難区域内であることを理由とした割増し等は考慮していないが、調達が困難な場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

① ブルドーザ（リッパ装置付きブルドーザを除く。)、バックホウ、ダンプトラック（建設用ダンプトラックを除く。）に限り運転時間 1 時間当たり損料に 100 分の 105 を乗じて補正している。

１０．特殊勤務手当等について

帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域で作業する作業員への手当の支給については、環境省除染等工事共通仕様書（第 10 版（改定版)）1-1-23（手当等の支給）を準用する。内容は、以下のとおりである。なお、特殊勤務手当については、当初設計に計上しているが、詳細については、実績に基づき、別途協議する。

・本工事には特殊勤務手当対象と特殊勤務手当対象外がある。作業内容を特殊勤務手当対象と特殊勤務手当対象外とに区分・整理し、監督職員に届け出ること。

なお、例えば、

・工事用地内における建設工事、埋立工事、受入・分別処理工事（環境モニタリング、交通誘導員等を除く）従事者については、帰還困難区域における除染等業務（土壌等

の除染等の業務、特定汚染土壌等取扱業務又は廃棄物収集等業務）として、一人一日あたり6,600円、

・仮置場等からの除去土壌等の輸送、保管場からの除去土壌の運搬、土壌貯蔵施設（保管場）への除去土壌等の運搬に係る工事従事者（運転者を除く）については、帰還困難区域における除染等業務（土壌等の除染等の業務、特定汚染土壌等取扱業務又は廃棄物収集等業務）として、一人一日あたり6,600円（居住制限区域のみで業務を実施する場合は、一人一日あたり3,300円）、

・仮置場等からの除去土壌等の輸送、保管場からの除去土壌の運搬、土壌貯蔵施設（保管場）への除去土壌等の運搬に係る工事従事者のうち運転者については、帰還困難区域において10,000Bq/kg超の除去土壌又は汚染廃棄物を収集、運搬又は保管する除染等業務（廃棄物収集等業務）として、一人一日あたり6,600円

・帰還困難区域における上記以外の特定線量下業務（環境モニタリング、交通誘導員等）については、一人一日あたり6,600円(居住制限区域のみで業務を実施する場合は、一人一日あたり3,300円)、をそれぞれ支払うこととする。なお、1日の作業時間が4時間に満たない場合には、手当に100分の60を乗じた額とする。

・仮置場等での工事については、特殊勤務手当を考慮していない。搬出する仮置場等が決定した際に、必要に応じて、別途協議のうえ設計変更の対象とする。

１１．受入・分別処理工事に関する事項

1）処理対象物量、分別量等の処理・運搬量は実績に基づき、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

2）解体・撤去工事については、当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

3）分別処理により分別された容器残渣、石、可燃物（草木・根等）の取扱いは、必要に応じて別途協議とする。

１２．土壌貯蔵施設工事に関する事項

1）線量低減措置（受入・分別施設を含む）については、「線量低減措置計画書」に基づき実施することとし、その内容に変更が生じる場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

2）工事用地内（受入・分別施設を含む）に残置されている道路、付帯構造物、道路占有物等の解体・撤去については当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

3）家屋解体工（受入・分別施設を含む）におけるアスベスト含有の調査については、当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

4）建設工事に係る、地盤改良（受入・分別施設を含む）、遮水工の構造物接続部、保有水等集排水管の遮水工貫通部、地下水ピットのゲート・バルブ、地下水の水質異常時に使用する送水ポンプ、浸出水集水ピットのゲート・バルブ、道路補修工のアスファルトガラ等の運搬については、当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

5）道路補修工については、工事用地・使用道路が確定した段階で、必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

6）受入・分別施設から発生した容器残渣、大きな石、可燃物（草木・根等）の運搬については、当初設計に計上していない。必要に応じて、別途協議とする。

7）地質調査（受入・分別施設を含む）は、土質区分・延長等について、実績に基づき、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。なお、泥岩の場合のスレーキング試験は、当初設計に計上していない。

１３．浸出水処理施設工に関する事項

1）浸出水処理施設の処理量に変更が生じる場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。なお、ゼオライト吸着処理については当初設計では設備の設置までの計上としている。

2）浸出水処理により発生する汚泥及び廃ゼオライトの処分については当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

3）解体・撤去工事については、当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

１４．仮置場等からの輸送工に関する事項

1）輸送については、搬出元である仮置場等が決定した段階で、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

2）輸送ルートの点検結果により、道路補修等が必要になった場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

3）仮置場等からの搬出時及び搬出終了後における仮置場等の扱いは、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

4）仮置場等において、排水処理対策が必要となった場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

5）仮置場等の付帯設備の移動等が生じる場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

6）仮置場等において現場発生品が生じる場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

7）仮置場等において実施する輸送車両周囲の表面線量率及び保管物の重量測定につい

ては当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

8）不燃物輸送車両の積載重量は 7.3ｔ/台、可燃物輸送車両の積載数量は８袋/台を起算数量とし、変更は行わない。輸送車両１台/日当たりの輸送回数は、輸送距離に応じ以下を起算回数とし、仮置場の地形的要因による制約等が発生し、変更が必要な場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。

公的機関等からの輸送時間制約が発生し、必要がある場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。

輸送距離（ｋｍ）	平均回数（回）
１０ｋｍ以下	３．０
１０ｋｍ超４０ｋｍ以下	２．０
４０ｋｍ超	１．０

9）輸送車両荷台からの逸水防止対策については当初設計に計上していない。必要がある場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

10）携帯電話データ通信不感地域が発生した場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

11）輸送車両の安全走行等において、いねむり運転防止装置等の設置を推奨する。

12）除去土壌等のうち、破損等が認められるものについては、別途協議のうえ、新しい大型土のう袋等への詰込みを行い、必要に応じて設計変更の対象とする。

13）除去土壌等のうち、保管期間中に体積が小さくなっているものについては、別途協議のうえ、新しい大型土のう袋等へ複数個の詰込みを行い、必要に応じて設計変更の対象とする。

14）除去土壌等の輸送に伴い使用する高速道路の料金については、当初設計に計上しているが、実績に基づき、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

15）緊急時に備えた体制整備及び緊急時対応において、費用が発生する場合には、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

１５．その他

1）運転時の仮置場等からの輸送工において、「総合管理システム」と「事業者システム」の連携においてトラブルを発見した場合は速やかに報告し、対応策について協議すること。「総合管理システム」側のシステムトラブル等により受注者に損失等が生じた場合については、別途協議のうえ、設計変更の対象とする（「総合管理システム」及び「事業者システム」の内容は、「総合管理システムとの連携に関する要件」参照：特記仕様書に URL 記載）。

2）運転時の仮置場等からの輸送工において、受注者が行う管理の費用として、事業者システムにおける初期費用（事業者システムの教育、総合管理システムとの連携試験に係る費用を想定）を 22,410,000 円、その運用経費（運用費（月曜日から土曜日）、ハードウェア／ソフトウェア保守費、ハードウェア利用料（車載器、操作端末、パソコン、サーバ、ネットワーク機器)、ソフトウェア利用料、データセンター利用料、回線費用等を想定）を 1 か月あたり 21,460,000 円を見込んでいる。

3）今後、総合管理システムの改修に伴い、事業者システムの改修が必要になった場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

4）降雨、積雪や凍結等の気象条件を十分考慮して作業計画を作成すること。

5）除去土壌等の輸送及び運搬について、昼間として当初計上しているが、夜間となる場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

6）国、自治体または関係機関が主催する会議等における調整により設計内容が変更になった場合は、別途協議のうえ、設計変更の対象とする。

7) 労働者確保に要する労働者宿舎の設置及び撤去に要する費用は、当初設計において計上していない。必要がある場合は、別途協議の上、設計変更の対象とする。

リスク分担表

大項目	小項目	評価対象事項(代表的事項)	リスク分担表		適　用
			発注者	受注者	
工法等	①工法等	工法の性能確保、使用機械の故障、使用材料品質のばらつき		○	
	②特許料	工法に係る使用許諾・特許料		○	
	③施設の損傷	受入・分別・運搬・埋立中の施設の損傷		○	
	④その他	施工方法に関する技術提案		○	
自然現象	①湧水・地下水	湧水の発生、掘削作業等に対する地下水位・地盤変状などへの影響		○	地下水流動保全については、別途協議
	②土質	不可視土質への対応		○	設計図書に示した条件以外のもので、事前に予期しえないものは除く
		土壌汚染の対応	○		施工によるものは除く
	③気象	雨・雪・風・気温等の影響		○	災害・異常気象は除く
	④希少種	自然環境・樹木・景観への配慮		○	設計図書に示した条件以外のもので、事前に予期しえないものは除く
	⑤その他	その他の自然現象への配慮		○	設計図書に示した条件以外のもので、事前に予期しえないものは除く
社会条件	①地中障害物	地下埋設物、近接構造物等の地中内作業障害物の撤去・移設または保全		○	事前に把握できない地中障害物、工事着工までに移設、撤去が完了しない場合は除く
	②地中危険物	不発弾等の危険物への対応	○		事前探査までは受注者の分担とする。
	③近接施工	供用中道路、建築物、橋梁、電柱、各種架空電線、送電線等の近接(例:道路・建築物等の沈下等)		○	当該工事に起因しないものは除く
	④家屋損害	地盤沈下、地下水の断絶等による第三者損害への配慮		○	
	⑤騒音・振動	施工期間中の周辺住民、施設等に対する騒音・振動の配慮		○	
	⑥水質汚濁	周辺水域環境への水質汚濁の配慮		○	
	⑦作業用道路	生活道路を利用しての資機材搬入等の工事用道路・作業スペースの制限		○	工事着工までに道路が確保されない場合は除く
	⑧作業用ヤード	他工事錯綜箇所での別途ヤード確保、他工事との作業ヤード調整		○	工事着工までにヤードが確保されない場合は除く
	⑨現道作業	現道上での交通規制を伴う作業		○	
	⑩空頭制限作業	空頭制限を伴う作業		○	
	⑪交通安全対策	輸送路、出入口等での施工時の安全性確保		○	
	⑫沿道環境	日照、電波障害対策、粉塵、低周波振動等		○	
	⑬史跡・文化財	史跡等の出現	○		
	⑭その他	その他の環境保全対策、掘削土・産業廃棄物処理		○	
マネジメント	①他工区調整	近接工区、他工事との工程調整		○	
	②住民対応	地域住民の要望、訴訟等		○	発注者の指示等によるものは除く
	③関係機関対応	関係行政機関・施設管理者等との調整、許認可取得の遅延		○	発注者が行う協議によるものは除く
	④工程管理	工期・工程の制約、変更への対応(工法変更に伴うものを含む)		○	発注者が行う作業時間の制約は除く 住民対応に伴うものは、別途協議
	⑤品質管理	品質管理の煩雑さ、複雑さ(高い品質管理制度の要求等を含む)		○	
	⑥安全管理	施工全般		○	
	⑦その他	災害時の応急復旧、雇用作業員の規律の指導・管理等		○	
その他	①不可抗力	災害対策基本法に定める天災等、戦争・軍事行為・侵略・テロ等、新たな放射性汚染の被害、飛行機からの衝撃波、広範囲の騒動・争議など	○		契約書第29条に基づき保険により担保可能な部分は除く
	②人為的ミス	受注者が行う設計ミス、積算の間違え、施工ミス		○	
	③法律・基準等の改正	条例や法規の改正による変更設計、基準や指針の改正による設計変更、税制の変更による工事費の変更	○		
	④用地買収	用地取得の遅れに伴う設計図書の変更(一時中止含む)	○		
	⑤除去土壌	受入・分別・運搬・埋立を行う除去土壌の性状		○	
	⑥既設構造物、既設仮設物	既設構造物、既設仮設物の健全性		○	当該工事以外の事由に起因した健全度の低下等は除く
	⑦想定外の事態	設計図書に示した項目以外のもので、事前に予期しえないもの	○		
	⑧物価変動	契約期間中の大幅な物価変動	○		契約書第25条に該当しない場合は除く
	⑨その他	契約不履行、労働争議等		○	

※契約後に受注者が行う調査で確認可能な設計・施工条件に起因するリスクは、受注者の負担とする。

平成３０年度

中間貯蔵（大熊５工区）土壌貯蔵施設等工事

特　　記　　仕　　様　　書

福　島　地　方　環　境　事　務　所

１．共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「平成29年版国土交通省東北地方整備局制定土木工事共通仕様書」、「平成29年度除染等工事共通仕様書(第10版)」（以下「共通仕様書」という。）に基づき実施しなければならない。

２．入札時の技術提案について

設計図書に変更が生じた場合は、技術提案書について変更協議しなければならない。

３．契約後のＶＥ提案について

（１）定義

「契約後ＶＥ提案」とは、工事請負契約書（案）第１９条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額の低減を可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案を言う。

（２）ＶＥ提案の意義及び範囲

ＶＥ提案を求める範囲は、設計図書に定められている内容のうち、工事の実状に照らし個々に定め、設計図書で明記するものとするが、以下の提案は、原則として含めないこととする。

①施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。

②工事請負契約書（案）第１８条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。

③提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

④技術提案に関する事項

（３）ＶＥ提案書の提出

①受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に揚げる事項をＶＥ提案書に記載しなければならない。

（ア）設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由

（イ）ＶＥ提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件を含む）

（ウ）ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠

（エ）発注者が別途発注する関連工事との関係

（オ）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項

（カ）その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項

②発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的な資料、図書その他書類の提出を受注者に求めることができる。

③受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。

④ＶＥ提案の提出費用は受注者の負担とする。

（４）ＶＥ提案の審査

ＶＥ提案の審査にあたっては、施工の確実性、安全性が確保され、かつ、設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるか評価する。

（５）ＶＥ提案の採否等

①発注者はＶＥ提案の採否について、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面により通知しなければならない。ただし、受注者の同意を得た上でこの期間を延長することができる。

②又、提出されたＶＥ提案が適切と認められなかった場合は、前項の通知は、その理由を付して行うものとする。

（６）ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等

①ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。

②前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。

③前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。

④ＶＥ提案を採用した後、工事請負契約書（案）第１８条の条件変更等が生じた場合、ＶＥ管理費については、原則として、変更しないものとする。

（７）ＶＥ提案の活用と保護

評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

（８）責任の所在

発注者がＶＥ提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるものではない。

４．総価契約単価合意方式について

(目的)

１．本工事は、工事請負契約における受発注者間の双務性の向上の観点から、請負代金額の変更があった場合の金額の算定や部分払金額の算定を行うための単価等を前もって協議して合意しておくことにより、設計変更や部分払いに伴う協議の円滑化を図ることを目的として実施する総価契約単価合意方式の対象工事である。

(共通仕様書　第１章　1-1-6の適用)

２．請負代金内訳書の提出を求める場合、共通仕様書第１章　1-1-6第２項に係る規定は適用しないものとする。

受注者は、工事請負契約書(案)第３条に基づく請負代金内訳書を発注者に提出した後に、当該工事の工事費構成書の提示を求めることができるものとする。

(合意単価の公表)

３．発注者・受注者間で締結した単価合意書は、公表することができるものとする。

５．共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記事項は次のとおりとする。

第１章　総　則

１．目的

本工事は、大熊町内において、除去土壌等の安全かつ確実な受入・分別処理の実現に必要と考えられる設備（荷下ろし、破袋、一次分別、二次分別）及び個々の設備を有機的に運営するシステム全体を構築し、安全かつ確実な受入・分別処理を行うとともに、土壌貯蔵施設を築造し、福島県内の仮置場等に保管されている除去土壌等の埋立てを行うものである。

２．適用

本工事で遵守する関係法令、及び適用する規格・マニュアル等は、「受入・分別処理工事 要求水準書」及び「土壌貯蔵施設工事 要求水準書」に定める。

３．工事箇所

受入・分別施設及び土壌貯蔵施設等の工事箇所は、大熊町の中間貯蔵施設予定地内で要求水準書に示す敷地とし、除去土壌の搬出元は、監督職員が指示する福島県内の仮置場等とする。

４．工事概要

（１）受入・分別処理工事

　１）建設工事

　２）受入・分別処理工事

（２）土壌貯蔵施設工事

　１）遮水工

　２）輸送工

　３）埋立工

５．工期

契約締結日の翌日から平成３３年３月３１日まで

６．架空線等公衆物損事故防止関係

受注者は、工事区域内に横断している架空線等の前後や建設機械・運搬車両等が出入りする工事現場及び資材置場の出入口等には、高さ制限を確認するための安全対策施設（簡易ゲート）を設置するとともに、交通誘導員等を適切に配置し、誘導指示を行わなければならない。なお、安全対策施設設置の詳細については、施工前に監督職員と協議するものとする。

７．委託監督員

本工事には、共通仕様書第１章 1-1-2 に規定する委託監督員を配置する予定であり、氏名等については別に通知する。

８．遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更

次の資材については、以下の調達地域から調達することを想定しているが、安定的な確保を

図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

資 材 名	規　　　格	調達地域等
再生切込砕石	40-0mm	大熊地区
切込砕石	40-0mm	大熊地区
砂	埋め戻し用、クッション用	大熊地区
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	密粒度 20	大熊地区
生ｺﾝｸﾘｰﾄ	高炉Ｂ種 18-8-40	大熊地区

９．技術提案に係る措置

受注者の入札時における技術提案が認められた場合は、本特記仕様書の規定にかかわらず、当該技術提案に従った施工等を実施しなければならない。

１０．共通仕様書適用除外項目

本工事において、「共通仕様書 1-1-14　工事の下請負③」については適用除外とする。ただし、以下の条件をすべて満たすこと。

・当該工事の個人事業主は、「共通仕様書 1-1-47　保険の付保及び事故の補償（１）」に基づき、労働者災害補償保険の特別加入を行っていること。

１１．主任（監理）技術者等の配置

監理技術者として、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者を専任の主任（監理）技術者として配置すること。また、共通仕様書1-1-4に規定する放射線管理責任者を配置すること。

受注者は、本施設の設計から工事に際して、施工計画の立案･実施、工程管理、品質管理、労働安全衛生、現場の運営管理等の業務を総括的に管理する現場代理人を選定し、工事期間中は現場に常駐させること。現場代理人は監督職員との協議を行う権限を有するものとする。

なお、主任（監理）技術者、現場代理人は、これを兼ねることができる。

１２．その他

工事数量は、別紙「数量総括表」に示す。

第２章　工　事　材　料

本工事で使用する材料は、「受入・分別処理工事 要求水準書」及び「土壌貯蔵施設工事 要求水準書」に定める。

第３章　工　事

工事内容は、「受入・分別処理工事 要求水準書」及び「土壌貯蔵施設工事 要求水準書」に定める。

第４章　施工管理

１．品質証明書の提出

（１）当該工事では品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び完成検査の前に品質確認を行い、検査時にその結果を提出しなければならない。

（２）品質証明員は当該工事に従事していない者とする。また、検査時に立会するものとする。

（３）品質証明員においては、契約図書及び関係図書に基づき、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり品質証明を行うものとする。

（４）品質証明員の資格は10年以上の現場経験を有し、技術士もしくは1級土木施工管理技士の資格を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りではない。

（５）品質証明員を定めた場合、書面により氏名、資格（資格証明書の写しを添付)、経験及び経歴書を監督職員に提出するものとする。品質証明員を変更した場合も同様とする。

２．その他

その他の施工管理の内容は、「受入・分別処理工事 要求水準書」及び「土壌貯蔵施設工事 要求水準書」に定める。

第５章　ＩＣＴ施工技術

１．ＩＣＴ活用工事について

（１）ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴの全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

（２）定義

１）i-Construction とは、ＩＣＴの全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてＩＣＴを活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

２）ＩＣＴ活用工事とは、建設生産プロセスの下記段階において、ＩＣＴを全面的に活用する工事である。また、次の①～⑤の全ての段階でＩＣＴ施工技術を活用することを

ＩＣＴ活用施工という。
対象は、土工を含む一般土木工事とする。
① ３次元起工測量
② ３次元設計データ作成
③ ＩＣＴ建設機械による施工
④ ３次元出来形管理等の施工管理
⑤ ３次元データの納品

（３）受注者は、入札にあたりＩＣＴを全面的に活用するためＩＣＴ活用工事計画書（入札説明書別記様式－１）を提出し、その内容がＩＣＴ活用施工として適当と認められる場合、契約後施工計画書の提出までに監督職員へ提案・協議し、協議が整った場合に下記(４)～(９)によりＩＣＴ活用施工を行う。

(以下、ＩＣＴ活用施工を行う場合)

（４）原則、本工事の土工施工範囲の全てで適用することとし、具体的な工事内容及び対象範囲を監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

（５）ＩＣＴを用い、以下の施工を実施する。

① ３次元起工測量

受注者は、３次元測量データを取得するため、下記ア）～キ）から選択（複数以上可）して測量を行うものとする。

ア）空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量
イ）レーザースキャナーを用いた起工測量
ウ）トータルステーションを用いた起工測量
エ）トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた起工測量
オ）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量
カ）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量
キ）その他の３次元計測技術を用いた起工測量

② ３次元設計データ作成

受注者は、設計図書や(５)．①で得られたデータを用いて、３次元出来形管理を行うための３次元設計データを作成する。

③ ＩＣＴ建設機械による施工

（５）．②で作成した３次元設計データを用い、下記に示すＩＣＴ建設機械を作業に応じて選択して施工を実施する。

ア）３次元MCまたは３次元MGブルドーザ

ブルドーザの排土板の位置・標高をリアルタイムに取得し、ＩＣＴ建設機械による施工用データとの差分に基づき制御データを作成し、排土板を自動制御する３次元マシンコントロール技術または、ブルドーザの排土板の位置・標高をリアルタイムに取得し、ＩＣＴ建設機械による施工用データとの差分を表示し、排土板を誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、造成工、堰堤工、道路工、埋立工、被覆工の敷均しを実施する。

イ）３次元MCまたは３次元MGバックホウ

バックホウのバケットの位置・標高をリアルタイムに取得し、ＩＣＴ建設機械による施工用データとの差分に基づき制御データを作成し、バケットを自動制御する３次元マシンコントロール技術または、バックホウのバケットの位置・標高をリアルタイムに取得し、ＩＣＴ建設機械による施工用データとの差分を表示し、バケットを誘導する３次元マシンガイダンス技術を用いて、造成工、堰堤工、道路工、埋立工、被覆工の掘削、法面整形を実施する。

④３次元出来形管理等の施工管理

（５）．③による工事の施工管理において、下記ア）～キ）から選択（複数以上可）して、出来形管理を、またク）を用いた品質管理を行うものとする。

ア）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

イ）レーザースキャナーを用いた出来形管理

ウ）トータルステーションを用いた出来形管理

エ）トータルステーション（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理

オ）ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理

カ）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

キ）その他の３次元計測技術を用いた出来形管理

ク）ＴＳ・ＧＮＳＳを用いた締固め回数管理

受注者は、造成工、堰堤工、道路工、埋立工、被覆工の品質管理（締固め度）について、「ＴＳ・ＧＮＳＳを用いた盛土の締固め管理要領」により実施する。砂置換法又はＲＩ計法との併用による二重管理は実施しないものとする。

なお、本施工着手前及び盛土材料の土質が変わるごと、また、路体と路床のように品質管理基準が異なる場合に試験施工を行い、本施工で採用する締固め回数を設定すること。

土質が頻繁に変わりその都度試験施工を行うことが非効率である等、施工規定による管理そのものがなじまない場合は、監督職員と協議の上、ク）を適用しなくてもよいものとする。

⑤３次元データの納品

④により確認された３次元施工管理データを、工事完成図書として電子納品する。

（６）上記（５）．①～⑤の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要なＩＣＴ活用工事用データは、受注者が作成するものとする。

使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

（７）上記（５）．①～⑤で使用するＩＣＴ機器に入力した３次元設計データを監督職員に提出すること。

（８）土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

（９）受注者は、当該技術の施工にあたり活用効果等に関する調査を行うものとし、調査の実施及び調査票については別途指示するものとする。

(10) 本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

２．ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

（１）図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ(以下「３次元データ」という。)等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

３．ＩＣＴ活用工事の費用について

（１）受注者が、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ活用工事を実施する項目については、設計変更の対象とし、「ＩＣＴ活用工事（土工）積算要領」により計上することとする。

ただし、監督職員の指示に基づき、３次元起工測量を実施するとともに３次元設計データの作成を行った場合は、受注者は監督職員からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとする。

（２）施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第６章　報告

１．総合管理システム等への報告

受入・分別施設における破袋・分別等の処理、土壌貯蔵施設への埋立等の管理に係る情報については、中間貯蔵・環境安全事業株式会社が別途準備する情報管理を行う「施設管理プロトタイプシステム」による管理に協力すること。また、施設内における空間線量率及び地下水のモニタリング、放射線作業員の被ばく情報、運転時の仮置場等からの輸送工の管理に係る情報については、中間貯蔵・環境安全事業株式会社が別途整備する「総合管理システム」において必要となる情報を「総合管理システムとの連携に関する要件（土壌貯蔵施設等工事事業者)」の別紙２「インターフェース仕様書」に従い報告・送信すること。(下記URL、参照。)

なお、工事による管理項目（案）は、別添１のとおりである。

※「総合管理システムとの連携に関する要件（土壌貯蔵施設等工事事業者)」のURL

http://www.jesconet.co.jp/interim/transport/tmsystem.html

２．その他

（１）本工事に係る情報の管理を主に担当する情報担当者を設置すること。

（２）提出図書

１）受注者は、工事完了に際して共通仕様書第１章 1-1-27 に示す図書を成果物として監督職員に提出すること。その他、監督職員が指示する図書を随時提出すること。

２）上記図書の電子データを収納した電子媒体　５式

電子データの仕様及び記載事項は、別添によること。

提出時期　平成３３年３月３１日までに提出すること。

（３）その他監督職員が求める事項について報告すること。

（別添）

１．報告書等の仕様及び記載事項※１

報告書等の仕様は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の「印刷」の判断の基準を満たすこと。

なお、「資材確認票」及び「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト」を提出するとともに、印刷物にリサイクル適性を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙等に表示すること。

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。 　この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料［Ａランク］のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省担当官と協議の上、基本方針（http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html）を参考に適切な表示を行うこと。

２．電子データの仕様

（１）Microsoft 社 Windows10 上で表示可能なものとする。

（２）使用するアプリケーションソフト及びファイル形式については、以下のとおりとし、その他のアプリケーションソフトの使用等が必要な場合は環境省担当官と協議すること。

- 文章；ワープロソフト Justsystem 社一太郎（jtd 形式）、又は Microsoft 社 Word（ファイル形式は DOCX 形式以下）
- 計算表；表計算ソフト Microsoft 社 Excel（ファイル形式は XLSX 以下）
- 画像；BMP 形式又は JPEG 形式（写真の有効画素数は黒板の文字を読み取れる程度とし、およそ 100 万画素を目安とする。）
- 図面：DWG 形式及び SXF（P21）形式

（３）（２）による成果物に加え、それらの電子ファイルを「PDF ファイル形式」で保存した成果物を作成すること。

（４）以上の成果物の格納媒体は DVD-R、CD-R または BD-R（25GB・50GB、以下「DVD-R 等」という。）とし、データを追記・書き換えできない方式で保存すること。また、事業年度及び事業名称等を収納ケース及び DVD-R 等に必ず付記すること。DVD-R 等への付記は、別図に従い、直接印刷又は油性フェルトペンでの手書きにより行うこと。

（５）文字ポイント等、統一的な事項に関しては環境省担当官の指示に従うこと。

３．電子成果物のフォルダ構成

電子成果物の作成にあたっては、紙納品された成果物の目録に対応したフォルダを作成した上で、データを保存すること。

また、格納媒体が複数枚にわたる場合は、フォルダ構成の一覧を作成添付すること。

４．ウイルスチェック

電子媒体に対し、ウイルスチェックを行うこと。ウイルスチェックソフトは常に最新のデータにアップデートしたものを利用すること。

５．その他

成果物納入後に受注者側の責めによる不備が発見された場合には、受注者は無償で速やかに必要な措置を講ずること。

※１「環境物品等の調達に関する基本方針」は、これまで毎年 2～3 月に変更閣議決定がなされている。最新の基本方針に則し、閣議決定日等の記述を適宜修正して用いること。

別図

電子媒体への表記

電子媒体のラベル面に、次の事項を表記すること。

１）「工事番号」（別途指定する工事番号を記載すること）
２）「工事・業務名称」（正式名称を記載すること）
３）「作成年月」（工期終了時の年月を記載すること）
４）「発注者名」（正式名称を記載すること）
５）「受注者名」（正式名称を記載すること）
６）「何枚目／総枚数」（総枚数の何枚目であるかを記載すること）
７）「発注者署名欄」（主任監督職員又は主任調査職員が署名すること）
８）「受注者氏名欄」（現場代理人又は管理技術者が署名すること）

（表記方法にかかる留意事項）
・ラベル面には、必要項目を表面に直接印刷、又は油性フェルトペンで表記し、媒体に損傷を与えないように留意すること。
・電子媒体のラベル面へ印刷したシールを貼り付ける方法は、シール剥がれ等による電子媒体や使用機器への悪影響を鑑み、行わないこと。
・表記事項のレイアウトは、以下の表記例によること。

（電子媒体への表記例）

添付書類

添付図面			
番号	図面名称	枚数	備考

・別紙：数量総括表

別添1

工事の管理項目(案)

No.	管 理 項 目	管理の単位	生成場所・タイミング	生成方法	確認場所・タイミング
1	**(1)保管場からの運搬の管理に係る情報**				
2	保管場名称、区画、段数(搬出元)	フレキシブルコンテナ	保管場・搬出時		運搬中 受入・分別施設・受入時
3	保管場搬出日時	フレキシブルコンテナ/車両	保管場・搬出時		運搬中 受入・分別施設・受入時
4	受入・分別施設名称	フレキシブルコンテナ/車両	日次計画作成時		保管場・搬出時 運搬中 受入・分別施設・受入時
5	受入・分別施設受入日時	フレキシブルコンテナ/車両	受入・分別施設・受入時		-
6	タグ番号(新タグまたは分別後のタグ)	フレキシブルコンテナ	施設管理プロトタイプシステムから取得		保管場・搬出時 運搬中 受入・分別施設・受入時
7	重量	フレキシブルコンテナ	施設管理プロトタイプシステムから取得		保管場・搬出時
8		車両	保管場・搬出時	フレキシブルコンテナ重量と車両重量から算定	受入・分別施設・受入時
9	輸送対象物の内容(土壌等/腐敗性可燃物/可燃物/不燃物/焼却灰/危険物/その他(資材等))	フレキシブルコンテナ	施設管理プロトタイプシステムから取得		保管場・搬出時 運搬中 分別施設・受入時
10	運搬数量	車両	保管場・搬出時		運搬中 受入・分別施設受入時
11	**(2)輸送対象物情報**				
12	中間貯蔵施設(双葉/大熊の各)住所	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
13	除染元の住所	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
14	搬出元の住所(仮置場住所)	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
15	仮置場名称	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
16	中間貯蔵施設への持ち込み先(双葉/大熊のどこの受入・分別施設(工区)か)	フレキシブルコンテナ/車両	仮置場搬出時		施設受入時
17	中間貯蔵施設到着予定時間	フレキシブルコンテナ/車両	仮置場搬出時		施設受入時
18	輸送事業者名、住所、連絡先、責任者名	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
19	搬出日時(仮置場出発時刻)	フレキシブルコンテナ/車両	仮置場搬出時		施設受入時
20	運転者名、車種、車両番号	車両	仮置場搬出時		施設受入時
21	タグ番号(新タグ)	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
22	容器の種類 (詰め替えた場合は、詰め替えた容器の種類)	フレキシブルコンテナ	フレキシブルコンテナ作成時		仮置場搬出時 施設受入時
23	除染時線量(データが有る場合)	フレキシブルコンテナ	フレキシブルコンテナ作成時		仮置場搬出時 施設受入時
24	除染時重量(データが有る場合)	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		仮置場搬出時
25	搬出時線量	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時		施設受入時
26	搬出時重量	フレキシブルコンテナ/車両	仮置場搬出時		施設受入時
27	受入日時(中間貯蔵施設搬入受入時刻)	フレキシブルコンテナ/車両	施設受入時		施設受入時
28	受入担当者名	フレキシブルコンテナ/車両	施設受入時		施設受入時
29	荷下ろし設備	フレキシブルコンテナ	施設受入時		施設受入時
30	推計放射能濃度	フレキシブルコンテナ	仮置場搬出時	簡易算定方式	施設受入時
31	特定施設、津波浸水域由来等の情報	フレキシブルコンテナ	フレキシブルコンテナ作成時		仮置場搬出時 施設受入時
32	輸送車両の車種、車両番号	車両	事前登録		仮置場搬出時 施設受入時
33	輸送対象物の内容(土壌等/腐敗性可燃物/可燃物/不燃物/焼却灰/危険物/その他(資材等))	フレキシブルコンテナ	フレキシブルコンテナ作成時		仮置場搬出時 施設受入時
34	輸送対象物の数量	車両	仮置場搬出時		施設受入時
35	スクリーニング時最大汚染密度	車両	スクリーニング実施時		受入・分別施設出発時
36	**(3)輸送車両が規定のルートを通行していることを確認できる情報**				
37	運転者名、車種、車両番号	フレキシブルコンテナ/車両	初期登録時	目視確認・記録	仮置場搬出時 施設受入時
38	位置情報	車両	搬出車両のGPS		輸送時
39	搬出元(仮置場)	車両	初期登録時		輸送時
40	行先工区(受入・分別施設)	車両	初期登録時		輸送時
41	中間貯蔵施設への到着予定時間との時間差	車両	初期登録時		輸送時
42	急ブレーキ、最高速度(一般道、高速)、急加速、急減速等の運転情報	車両	輸送完了後		輸送完了後
43	輸送ルート	車両	日次計画作成時		輸送時
44	**(4)交通事故時等の迅速な対応に必要な情報**				
45	運転者名、車種、車両番号	フレキシブルコンテナ/車両	初期登録時		仮置場搬出時 受入施設受入時

別添1

工事の管理項目(案)

No.	管　理　項　目	管理の単位	生成場所・タイミング	生成方法	確認場所・タイミング
46	車の走行状況(順調/トラブル)	車両	トラブル時		トラブル時のみ報告される
47	(5)分別処理に係る情報				
48	受入・分別施設名称	フレキシブルコンテナ	日次計画作成時		受入・分別施設・投入時
49	処理数量	受入・分別施設	日次		-
50	一時置場に置いたフレキシブルコンテナのタグ番号(新タグまたは分別後のタグ)	フレキシブルコンテナ	一時置場に保管時		
51	一時置場から破袋処理したフレキシブルコンテナのタグ番号(新タグまたは分別後のタグ)	フレキシブルコンテナ	一時置場から保管解除時		
52	土壌の重量(改質剤を入れる前)	受入・分別施設	日次		
53	処理土壌の重量(処理量)	受入・分別施設	日次		
54	処理土壌の重量(運搬量)	受入・分別施設	受入・分別施設・搬出時		
55	改質材使用重量	受入・分別施設	日次		
56	破袋時に容器内部に含まれる水分を回収した水の量(破袋に水を利用した場合は、その所要水量を加える)	受入・分別施設	日次		
57	排水量、放射能濃度	受入・分別施設	受入・分別施設・搬出時		
58	(6)分別後の保管の管理に係る情報				
59	受入・分別施設名称	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時		-
60	受入・分別施設処理日時	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時		-
61	タグのコード番号(分別前)(管理番号)(分別後のタグ)	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時		受入・分別施設・搬出時 保管場・受入時 保管場・定置時
62	輸送対象物の内容(土壌等/腐敗性可燃物/可燃物/不燃物/焼却灰/危険物/その他(資材等))	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時		受入・分別施設・搬出時 保管場・受入時 保管場・定置時
63	重量(分別後)	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時	クレーン吊時計量器で計測	受入・分別施設・搬出時 保管場・定置時
64	表面線量率(分別後)	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時	線量計による計測	受入・分別施設・搬出時 保管場・受入時 保管場・定置時
65	推計放射能濃度(分別後)	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時	重量・線量から算定	受入・分別施設・搬出時 保管場・受入時 保管場・定置時
66	容器の種類(分別後)	フレキシブルコンテナ	受入・分別施設・袋詰時		-
67	保管場名称、区画、段数(分別後保管先)	フレキシブルコンテナ	保管場・定置時		-
68	定置日時	フレキシブルコンテナ	保管場・定置時		-
69	(7)分別後の貯蔵の管理に係る情報				
70	処理された受入・分別施設名称	受入・分別施設	分別物置場・保管時		分別置場・搬出時 土壌貯蔵施設・埋立時
71	処理された日時	受入・分別施設	分別物置場・保管時		分別置場・搬出時 土壌貯蔵施設・埋立時
72	輸送対象物の内容(土壌等/腐敗性可燃物/可燃物/不燃物/焼却灰/危険物/その他(資材等))	車両または処理土壌運搬設備	分別物置場・保管時		分別置場・搬出時 土壌貯蔵施設・埋立時
73	分別物置場名称	車両または処理土壌運搬設備	分別物置場・保管時		分別置場・搬出時 土壌貯蔵施設・埋立時
74	分別物置場搬出日時	車両または処理土壌運搬設備	分別物置場・搬出時		分別置場・搬出時 土壌貯蔵施設・埋立時
75	重量	車両または処理土壌運搬設備	分別物置場・搬出時		分別置場・搬出時 土壌貯蔵施設・埋立時
76	土壌貯蔵施設名称、区画、埋立位置	車両または処理土壌運搬設備	土壌貯蔵施設・埋立時		-
77	土壌貯蔵施設埋立日時	車両または処理土壌運搬設備	土壌貯蔵施設・埋立時		-
78	保管する分別物の重量(総計)	分別物置場	日次		-
79	貯蔵する分別物の重量(総計)	土壌貯蔵施設	日次		-
80	散水有無、散水有無散水量(時間)、散水範囲	土壌貯蔵施設	日次		土壌貯蔵施設・埋立時
81	浸出水調整設備貯水量、処理水量、処理水濃度、放流水量、薬品注入量	浸出水処理設備	日次		土壌貯蔵施設・埋立時
82	埋立容量、残余容量	土壌貯蔵施設	毎月1回		埋立時
83	(8)施設内外におけるモニタリング情報				
84	地下水(Cs)	測定地点	常時	環境モニタリングで測定しているもの	
85	地下水(EC、Cl)	測定地点	開始前:1回 開始後:毎月1回	環境モニタリングで測定しているもの	
86	地下水(地下水検査項目、DXNs)	測定地点	開始前:1回 測定時	環境モニタリングで測定しているもの	
87	空間線量率	測定地点	開始前:1回 開始後:毎月1回	環境モニタリングで測定しているもの	
88	排気(Cs)	測定地点	毎月1回	環境モニタリングで測定しているもの	
89	河川水質(Cs)	測定地点	開始前:1回 開始後:毎月1回	環境モニタリングで測定しているもの	
90	河川水質(環境基準項目)	測定地点	開始前:1回 測定時	環境モニタリングで測定しているもの	

工事の管理項目(案)

No.	管 理 項 目	管理の単位	生成場所・タイミング	生成方法	確認場所・タイミング
91	沈砂池水質(SS)	測定地点	毎月1回	環境モニタリングで測定しているもの	
92	騒音、振動、悪臭	測定地点	開始前:1回 測定時	環境モニタリングで測定しているもの	
93	放流水質(Cs)	測定地点	1回/週 (常時)	環境モニタリングで測定しているもの	
94	放流水質(pH、BOD、COD、SS)	測定地点	毎月1回	環境モニタリングで測定しているもの	
95	放流水質(排水基準項目、DXNs)	測定地点	測定時	環境モニタリングで測定しているもの	
96	**(9)建設管理のための情報**				
97	工事計画(進捗管理)	区画	工事開始前		毎日
98	保管容量(総量)	工区内各集積保管場	工事中更新(毎日)		毎日
99	総作業員数	工区	工事中更新(毎日)		毎日
100	**(10)操業管理のための情報**				
101	受入計画(月間計画)		毎月		
102	受入計画(週間計画)		毎週		
103	受入計画(日間の受入可能な車両台数/受入可能な容量/有害物質の受入可否)		毎日		
104	保管場の除去土壌、廃棄物の重量(総計)	保管場単位	定置時(毎日)	定置後報告	保管時
105	保管場の除去土壌、廃棄物の平均濃度	保管場単位	定置時(毎日)	定置後報告	保管時
106	施設情報(種類/フレキシブルコンテナ識別番号/残余保管量/管理会社/管理責任者名/連絡先)	保管場	定置開始時(随時更新)		保管時
107	**(11)作業員の放射線被ばく情報**				
108	作業員別の放射線被ばく情報(日次の線量、作業場所、作業内容、月次の本工事による線量及び本工事以外によるものも含む線量)	個人	毎日、毎月	測定器	工事中・供用時
109	安全研修受講履歴	個人	安全研修受講時		
110	**(12)安全管理のための情報**				
111	構内放射線量マップ		工事中更新		工事中・供用時
112	緊急連絡先リスト		工事開始時		

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
【受入・分別処理工事】							
1. 建設工事							
(1) 受入・分別処理設備工事							
荷下ろし設備	据付費	式	0	1	1	1	
破袋設備	〃	式	0	1	1	1	
一次分別設備	〃	式	0	1	1	1	
二次分別設備(改質処理)	〃	式	0	1	1	1	
二次分別設備(分別処理)	〃	式	0	1	1	1	
処理土壌運搬設備(直線部)	〃	m	0	500	500	500	
〃　(乗継部)	〃	か所	0	2	2	2	
計量設備	据付費	式	0	1	1	1	
その他設備	〃	式	0	1	1	1	
(2) 土木工事及び外構工事							
土木工事及び外構工事		式	0	1	1	1	
(3) 建築工事(建築設備含む)							
受入・分別施設・荷下ろし設備・一時置場建屋	設置費	式	0	1	1	1	
〃　換気扇用の集じん設備	〃	式	0	1	1	1	
監視室	〃	式	0	1	1	1	
2. 受入・分別処理工事							
(1) 受入・分別処理(処理設備)							
荷下ろし設備	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
破袋設備	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
一次分別設備	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
二次分別設備(改質処理)	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	改質材	t	0	30,240	30,240	30,240	
二次分別設備(分別処理)	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	0	24	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
処理土壌運搬設備							
〃　(直線部)	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	

平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事 数量総括表

項 目	規 格・寸 法	単位	数量 土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	備 考
〃 〃	〃 (管理費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃 (乗継部)	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (管理費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
計量設備	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (管理費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
その他設備							
〃 (電気設備、計装設備)	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (管理費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃 (給水設備、排水処理設備、その他設備等)	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (管理費)	月	0	24	24	24	
〃 〃	〃 (維持修理費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
〃	運転経費	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
(2) 受入・分別処理(建築物(建築設備含む))							
受入・分別施設建屋	損料 (償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (維持修理費、管理費)	月	0	24	24	24	
受入・分別施設建屋集じん設備	機械損料(償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (維持修理費、管理費)	月	0	24	24	24	
荷下ろし設備建屋	損料 (償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (維持修理費、管理費)	月	0	24	24	24	
一時置場建屋	損料 (償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (維持修理費、管理費)	月	0	24	24	24	
処理土壌中継テント	損料 (償却費)	月	0	24	24	24	
〃	〃 (維持修理費、管理費)	月	0	24	24	24	
監視室	損料または賃料	月	0	24	24	24	
建築設備(処理土壌中継テント除く)	運転経費(電力料、消耗部品費)	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
建築設備(処理土壌中継テント)	〃	t	0	2,800,000	2,800,000	2,800,000	
受入・分別施設建屋集じん設備	〃	t	0	1,008,000	1,008,000	1,008,000	
3. 交通安全管理費							
安全費	交通誘導警備員A	人	0	2,400	2,400	2,400	
〃	交通誘導警備員B	人	0	2,400	2,400	2,400	
4. 特殊勤務手当							
除染等業務		人	0	94,050	94,050	94,050	
特定線量下業務		人	0	4,950	4,950	4,950	
5. 間接工事費等計上項目							
■安全費、技術管理費等計上項目							

平成30年度 中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事 数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
(1) 分別処理							
電気料金基本料	(役務費)	月	0	24	24	24	
(2) 環境モニタリング							
周辺・作業環境測定	(技術管理費)	月	0	24	24	24	
(3) 放射線管理							
放射線管理責任者	建設～竣工まで　(安全費)	月	0	36	36	36	
(4) 防護具等							
防護具等(防護服使用の時)	(安全費)	組	0	99,000	99,000	99,000	19.1.1.1
使用済み防護具処理費(防護服使用の時)	全身化学防護服を使用する場合 (安全費)	組	0	99,000	99,000	99,000	19.1.1.2-(1)
安全講習費	(安全費)	人	0	3,960	3,960	3,960	
健康診断費	(安全費)	人	0	99,000	99,000	99,000	19.1.1.4
セルフスクリーニング費	(安全費)	人	0	99,000	99,000	99,000	19.1.1.5-①
放射線管理手帳	(安全費)	組	0	3,960	3,960	3,960	
(5) その他積上げ分							
機械設備運搬費等	(運搬費)	式	0	1	1	1	
【土壌貯蔵施設工事】							
1. 線量低減措置工	処理土壌中継ヤード、浸出水処理施設含む						
(1) 工事用地内の線量低減措置							
農地等	機械除草	m^2	109,261	3,266	112,527	113,000	8.1.1.1-(2)
	除草材の集積	m^2	109,261	3,266	112,527	113,000	8.1.1.1-(3)
	表土の削り取り	m^2	109,261	3,266	112,527	113,000	8.1.2.2-(1)-①
	袋詰め	袋	7,320	219	7,539	7,539	8.1.1.1-(4)
	深耕	m^2	109,261	3,266	112,527	113,000	8.1.2.5
森林	伐木作業	ha	16.19	1.69	17.88	17.9	13.1.1.5-(1)
	除根作業	ha	16.19	1.69	17.88	17.9	13.1.1.5-(2)
	伐木作業(集積作業)	ha	16.19	1.69	17.88	17.9	13.1.1.5-(3)
	表土の削り取り	m^2	161,864	16,934	178,798	179,000	8.1.2.2-(1)-①
	袋詰め	袋	10,845	1,135	11,980	11,980	8.1.2.2-(1)-③
(2) 線量低減措置に伴い発生した土壌等の袋詰め							
	タグの取付け(敷地内からの除去物)	袋	18,165	1,354	19,519	19,519	16.1.2.1
(3) 材料費							
	耐候性大型土のう(長期)　内袋(二重)	枚	18,165	1,354	19,519	19,519	
2.家屋解体工							
(1)伐採工							
立竹木(藤棚含む)	立竹木伐木・除根・整地・集積積込み・運搬	m^2	173,905	22,880	196,785	197,000	
(2)移設物							
自動車撤去	自動車(大型)撤去	台	0	0	0	0	
	自動車(小型)撤去	台	41	12	53	53	
(3)地中配管撤去工							
敷地内撤去	地中配管撤去工　VP100	m	965	80	1,045	1,045	農林:管水路工歩掛適用
(4)敷地内整備工							
整地	敷鉄板設置・撤去22×1524×6096　14日	m^2	4,929	0	4,929	4,930	18.4.1.1

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格･寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入･分別施設	計	元設計	
(5)洗浄等							
セルフスクリーニング	敷鉄板の高圧水洗浄	m^2	93	0	93	93	18.3.1.2
	敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m^2	93	0	93	93	18.3.1.4
3.造成工	浸出水処理施設含む						
(1) 土工							
掘削	掘削(土砂)、押土有り	m^3	145,600	6,400	152,000	152,000	オープン
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m^3	0	5,422	5,422	5,400	他工事の残土
運搬	1.0km以下　土砂	m^3	0	5,422	5,422	5,420	
盛土	敷均し＋締固め	m^3	158,400	12,800	171,200	171,200	路体、4.0m以上
(2) 法面整形工							
切土法面整形	土砂	m^2	1,972	126	2,098	2,100	
盛土法面整形		m^2	0	1,026	1,026	1,030	
暫定切土法面整形	土砂	m^2	919	0	919	920	
暫定盛土法面整形		m^2	4,150	0	4,150	4,150	
(3) 法面保護工							
切土法面	植生マット	m^2	0	126	126	130	
盛土法面	種子散布	m^2	0	1,026	1,026	1,030	
暫定切土法面	不織布	m^2	919	0	919	920	
暫定盛土法面	種子散布	m^2	4,150	0	4,150	4,150	
4.堰堤工							
(1) 土工							
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m^3	120,446	0	120,446	120,400	他工区の残土
運搬	1.0km以下　土砂	m^3	120,446	0	120,446	120,450	
盛土	敷均し＋締固め	m^3	116,334	0	116,334	116,300	路体、4.0m以上
(2) 法面整形工							
盛土法面整形		m^2	24,404	0	24,404	24,400	
(3) 法面保護工							
盛土法面	張芝	m^2	12,732	0	12,732	12,730	
(4) 仕切堤	最下段、発生土						
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m^3	41,789	0	41,789	41,800	他工区の残土
運搬	1.0km以下　土砂	m^3	41,789	0	41,789	41,790	
盛土	敷均し＋締固め	m^3	59,276	0	59,276	59,300	路体、4.0m以上
盛土法面整形		m^2	64,263	0	64,263	64,260	
張芝		m^2	7,204	0	7,204	7,200	
遮水工	遮水シート　t=1.5mm	m^2	41,113	0	41,113	41,100	13.1.1.9-(1)-①
	不織布	m^2	82,226	0	82,226	82,200	
	導電性マット	m^2	41,113	0	41,113	41,100	
ガードパイプ	Gp-Cp-2E、土中	m	7,185	0	7,185	7,185	
5. 地下水集排水設備工							
(1) 地下水集排水管							
幹線	φ200、有孔	m	2,870	0	2,870	2,870	

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格･寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入･分別施設	計	元設計	
支線	φ150、有孔	m	11,558	0	11,558	11,558	
法面部	φ150、有孔	m	1,013	0	1,013	1,013	
放流管	φ200、無孔	m	113	0	113	113	
6. 遮水工							
(1) 遮水工							
底面	不織布	m^2	437,508	0	437,508	438,000	
	遮水シート　t=1.5mm(二重)	m^2	437,508	0	437,508	438,000	13.1.1.9-(1)-①
	ベントナイトマット	m^2	218,754	0	218,754	219,000	
	遮水工施工時管理システム	m^2	218,754	0	218,754	219,000	
法面	不織布	m^2	27,232	0	27,232	27,200	
	導電性マット	m^2	13,616	0	13,616	13,600	
	遮水シート　t=1.5mm(二重)	m^2	27,232	0	27,232	27,200	13.1.1.9-(1)-①
	ベントナイトマット	m^2	13,616	0	13,616	13,600	
(2) 固定工							
天端		m	954	0	954	954	
小段		m	562	0	562	562	
(3) 保護土(底面)							
購入砂(排水層)　t=50cm		m^3	109,377	0	109,377	109,400	
7. 保有水等集排水設備工							
(1) 保有水等集排水管							
幹線	φ300、有孔	m	2,770	0	2,770	2,770	
	φ300、無孔	m	93	0	93	93	
支線	φ200、有孔	m	8,448	0	8,448	8,448	
(2) 排水縦孔	φ200、有孔	箇所	109	0	109	109	
(3) 浸出水集水ピット	地下水ピット含む	基	4	0	4	4	
8. 浸出水処理施設工							
(1) 浸出水処理施設							
浸出水送水設備	据付費	式	1	0	1	1	
浸出水調整設備(RC水槽)	建設費	式	1	0	1	1	
〃　(ポンプ等)	据付費	式	1	0	1	1	
浸出水処理設備	〃	式	1	0	1	1	
計装設備(中央監視装置等)	〃	式	1	0	1	1	
建築(監視室)	〃	式	1	0	1	1	
9. 雨水集排水設備工	浸出水処理施設含む						
(1) 排水溝							
U型側溝	U600～U900	m	597	0	597	597	
	U1000～U1400	m	492	0	492	492	
	BF-300	m	725	0	725	725	
	BF-600	m	0	290	290	290	
	BF-700～BF-1000	m	1,142	0	1,142	1,142	

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
高耐圧ポリエチレン管	φ1350～φ1650	m	252	0	252	252	
集水桝A	500×500×500	箇所	3	0	3	3	
集水桝C	800×800×800	箇所	6	3	9	9	
集水桝D	1200×1200×1200	箇所	2	0	2	2	
集水桝E	1600×1600×1600	箇所	6	0	6	6	
(2) 防災調節池(沈砂池)							
掘削	掘削(土砂)、押土無し	m^3	52,800	0	52,800	52,800	オープン
	掘削(土砂)、押土有り	m^3	0	2,400	2,400	2,400	オープン
運搬	0.3km以下　土砂	m^3	52,800	0	52,800	52,800	
法面工	切土法面整形	m^2	4,031	780	4,811	4,810	
	種子散布	m^2	802	0	802	800	
	人工張芝	m^2	3,229	780	4,009	4,010	
放流塔	土壌貯蔵施設用	箇所	1	0	1	1	
	受入・分別施設用	箇所	0	1	1	1	
放流函渠	2000×2000	m	130	0	130	130	
放流管	ﾋｭｰﾑ管φ600	m	0	25	25	25	
10. モニタリング設備工							
(1) 水質観測井戸	VPφ50、深度10m	箇所	4	2	6	6	
11. 道路工							
(1) 舗装等							
敷鉄板	設置・撤去	m^2	4,809	0	4,809	4,810	18.4.1.1
管理道路	敷鉄板　22×1524×6096　720日	枚	534	0	534	534	
	表層:再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) t=5cm	m^2	4,779	0	4,779	4,780	
	上層路盤:再生瀝青安定処理(40) t=10cm	m^2	4,779	0	4,779	4,780	
	下層路盤:再生砕石 RC-40 t=20cm	m^2	4,779	0	4,779	4,780	
掘削	掘削(土砂)、押土無し	m^3	1,673	0	1,673	1,700	オープン
運搬	運搬　L=0.3km以下	m^3	1,673	0	1,673	1,670	
(2) 付帯設備							
ガードレール	Gr-C-4E、土中	m	572	0	572	572	
12. 付帯設備工							
(1) 囲障設備							
施設周辺	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ　H=1.8m	m	2,433	0	2,433	2,433	
調節池周辺	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ　H=1.8m	m	393	161	554	554	
門扉	W=2m	箇所	1	1	2	2	13.1.1.18-②
(2) その他設備							
掲示板		枚	1	0	1	1	13.1.1.18-③
看板		枚	1	0	1	1	13.1.1.18-④
消火器		ｾｯﾄ	2	0	2	2	13.1.1.18-⑤
13. 道路補修工							
(1) 道路補修工							

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
舗装版切断	As舗装　t=15cm以下	m	300	0	300	300	
舗装版破砕	BH直接掘削・積込　t=10cm以下	m^2	1,000	0	1,000	1,000	
舗装工	表層:再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) t=5cm	m^2	1,000	0	1,000	1,000	
	上層路盤:再生瀝青安定処理(40) t=10cm	m^2	1,000	0	1,000	1,000	
	下層路盤:再生砕石 RC-40 t=20cm	m^2	1,000	0	1,000	1,000	
14. 輸送工							
(1) 輸送工		式	1	0	1	1	
15. 運搬工							
(1) 他工区からの運搬	処理土壌中継テントへ						
除去土壌積込		m^3	990,000	0	990,000	990,000	
運搬	1.0km以下　　　　土砂	m^3	990,000	0	990,000	990,000	
16. 埋立工							
(1) 堰堤	2段目						
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m^3	22,780	0	22,780	22,800	他工区の残土
運搬	1.0km以下　　　　土砂	m^3	22,780	0	22,780	22,780	
盛土	敷均し＋締固め	m^3	20,502	0	20,502	20,500	路体、4.0m以上
盛土法面整形		m^2	6,112	0	6,112	6,110	
盛土法面	張芝	m^2	4,423	0	4,423	4,420	
遮水工	遮水シート　t=1.5mm 嵩上げ堰堤底面	m^2	6,834	0	6,834	6,830	
	不織布	m^2	22,836	0	22,836	22,800	
	導電性マット	m^2	3,056	0	3,056	3,060	
(2) 仕切堤	2段目以降:除去土壌						
盛土(除去土壌)	敷均し＋締固め	m^3	412,850	0	412,850	412,900	路体、4.0m以上
盛土法面整形		m^2	295,402	0	295,402	295,400	
(3) 保護土(法面シート保護)							
堰堤1段目　t=50cm (法面)	材料費	m^3	4,629	0	4,629	4,600	盛土仕上り量
	盛土法面整形(土羽整形)	m^2	9,259	0	9,259	9,260	
堰堤2段目　t=50cm (法面)	材料費	m^3	1,528	0	1,528	1,500	盛土仕上り量
	盛土法面整形(土羽整形)	m^2	3,056	0	3,056	3,060	
(4) 埋立て							
除去土壌積込	処理土壌中継テントから	m^3	1,127,150	0	1,127,150	1,127,200	
運搬	0.3km以下　　　　土砂	m^3	1,127,150	0	1,127,150	1,127,150	
除去土壌埋立	敷均し＋締固め	m^3	1,127,150	0	1,127,150	1,127,200	路体、4.0m以上
排水縦孔	立上げ管、φ200、有孔	m	927	0	927	927	
排水層・購入砂(t=150)	敷均し＋締固め	m^3	150,000	0	150,000	150,000	路体、4.0m以上
(5) 雨水排水							
締切排水工	ポンプ設置・撤去	箇所	1	0	1	1	0～40m^3/h
ポンプ運転	常時排水	日	225	0	225	225	
(6) 浸出水処理							
浸出水送水設備	機械損料(償却費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	24	0	24	24	

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
〃	〃　(維持修理費)	m3	120,000	0	120,000	120,000	
浸出水調整設備(ポンプ等)	機械損料(償却費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	m3	120,000	0	120,000	120,000	
浸出水処理設備(主要設備)	機械損料(償却費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	m3	120,000	0	120,000	120,000	
計装設備(中央監視装置等)	機械損料(償却費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(管理費)	月	24	0	24	24	
〃	〃　(維持修理費)	m3	120,000	0	120,000	120,000	
建築(監視室)	損料又は賃料	月	24	0	24	24	
運転経費		m3	120,000	0	120,000	120,000	
運転経費	埋立	m3	120,000	0	120,000	120,000	
17. 被覆工(キャッピング工)							
(1) 排気層							
排気層・購入砂(t=150)	敷均し＋締固め	m3	24,244	0	24,244	24,240	路体、4.0m以上
(2) 遮水層							
遮水シート(暫定最終覆土)	t=1.5mm	m2	55,386	0	55,386	55,400	
遮水シート(最終覆土)	t=1.5mm	m2	161,629	0	161,629	162,000	
不織布		m2	323,258	0	323,258	324,000	
(3) 最終覆土(排水層)	t=500mm						
排水層・購入砂(t=150)	敷均し＋締固め	m3	24,244	0	24,244	24,240	路体、4.0m以上
積込(ﾙｰｽﾞ)	土砂	m2	62,856	0	62,856	62,900	他工区の残土
運搬	1.0km以下　土砂	m2	62,856	0	62,856	62,860	
盛土(t=350)	敷均し＋締固め	m3	56,570	0	56,570	56,600	路体、4.0m以上
植生	張芝	m2	161,629	0	161,629	161,630	
(4) 排水工							
U型側溝	BF-300	m	8,940	0	8,940	8,940	
集水桝A	500×500×500	箇所	32	0	32	32	
18. スクリーニング、洗浄							
(1) 返却前の高圧水洗浄							
建設機械・トラック等		台	60	0	60	60	18.3.1.1
敷鉄板	道路工	m2	4,809	0	4,809	4,810	18.3.1.2
汚泥吸排水車による泥水等の運搬	L=1km	m3	173	0	173	173	16.1.1.7
(2) 返却前のセルフスクリーング							
建設機械・トラック等		台	60	0	60	60	18.3.1.3-①
敷鉄板		m2	1,924	0	1,924	1,920	18.3.1.4
19. 交通安全管理費							
安全費	交通誘導警備員A	人	750	0	750	750	
	交通誘導警備員B	人	2,057	0	2,057	2,057	

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
20. 特殊勤務手当							
除染等業務	土壌貯蔵施設工事	人	60,000	0	60,000	60,000	
	家屋解体工分	人	5,600	0	5,600	5,600	
	輸送工分	人	133,000	0	133,000	133,000	
特定線量下業務	土壌貯蔵施設工事	人	60,000	0	60,000	60,000	
21. 間接工事費等計上項目							
■運搬費計上項目	受入・分別施設分を含まない、輸送分を含む						
仮設材運搬 L≦12m	L=4km 往復　道路工等	t	857	0	857	857	
	L=4km 往復　輸送・解体等	t	208	0	208	208	
重建設機械分解組立輸送費	BD20-21t	回	2	0	2	2	
重建設機械分解組立輸送費	BD21-44t	回	1	0	1	1	
重建設機械分解組立輸送費	BH1.4m3	回	1	0	1	1	
浸出水処理施設	設備運搬費	式	1	0	1	1	
■事業損出防止施設費							
輸送ルート巡回工	各ルート週1回	回	113	0	113	113	
■安全費計上項目							
(1) 防護具等							
防護具等(防護服使用の時)		組	258,900	0	258,900	258,900	19.1.1.1
使用済み防護具処理費(防護服使用の時)	全身化学防護服を使用する場合	組	258,900	0	258,900	258,900	19.1.1.2-(1)
安全講習費		人	11,680	0	11,680	11,680	
健康診断費		人	258,900	0	258,900	258,900	19.1.1.4
セルフスクリーニング費		人	258,900	0	258,900	258,900	19.1.1.5-①
放射線管理手帳		組	11,680	0	11,680	11,680	
(2) 放射線管理							
放射線管理責任者	建設～竣工まで　(安全費)	月	0	36	36	36	
大熊工区の放射線管理に要する費用(放射線管理責任者)は、受入・分別処理工事による							
■役務費計上項目							
浸出水処理施設	電気料金基本料	月	24	0	24	24	
■技術管理費計上項目							
(1) 線量低減措置前後の放射線量測定							
線量低減措置前	汚染土壌等の放射能濃度測定	測点	5	5	10	10	20.1.5.1-①
	同上データ整理	測点	5	5	10	10	20.1.5.1-②
	事前測定(測定点設置)	測点	445	445	890	890	20.1.2.2-①
	事前測定(外業)	測点	445	445	890	890	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	445	445	890	890	20.1.2.2-③
線量低減措置後	事後測定(外業)	測点	445	38	483	483	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	445	38	483	483	20.1.2.2-③
(2)家屋解体に係る放射線量測定	受入・分別施設用地含む						
線量低減措置前	事前測定(測定点設置)	測点	265	0	265	265	20.1.2.2-①
	事前測定(外業)	測点	265	0	265	265	20.1.2.2-②
線量低減措置後	事後測定(外業)	測点	265	0	265	265	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	530	0	530	530	20.1.2.2-③
(3) 輸送に係る放射線量測定							

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
線量低減措置前	汚染土壌等の放射能濃度測定	測点	12	0	12	12	20.1.5.1-①
	同上データ整理	測点	12	0	12	12	20.1.5.1-②
	事前測定(測定点設置)	測点	60	0	60	60	20.1.2.2-①
	事前測定(外業)	測点	60	0	60	60	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	60	0	60	60	20.1.2.2-③
線量低減措置後	事後測定(外業)	測点	2,785	0	2,785	2,785	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	2,785	0	2,785	2,785	20.1.2.2-③
(4) 環境モニタリング(土壌貯蔵施設 ： 埋立前、埋立中、埋立終了後)							
地下水(井戸)	地下水検査項目濃度(25項目)	検体	12	0	12	12	
	ダイオキシン類濃度	検体	12	0	12	12	
	放射能濃度	検体	420	0	420	420	20.1.4.1
	電気伝導率	検体	100	0	100	100	
	塩化物イオン濃度	検体	100	0	100	100	
処理水	放射能濃度	検体	104	0	104	104	20.1.4.1
	水素イオン濃度	検体	24	0	24	24	
	生物化学的酸素要求量	検体	24	0	24	24	
	化学的酸素要求量	検体	24	0	24	24	
	浮遊物質量	検体	24	0	24	24	
	その他排水基準項目(37項目)	検体	2	0	2	2	
	ダイオキシン類濃度	検体	2	0	2	2	
河川	放射能濃度	検体	25	0	25	25	20.1.4.1
	環境基準項目濃度(32項目)	検体	3	0	3	3	
沈砂池	浮遊物質濃度	検体	24	0	24	24	
工事用地境界	騒音レベル	検体	6	0	6	6	
	振動レベル	検体	6	0	6	6	
	臭気指数	検体	6	0	6	6	
	測定点設置	測点	5	0	5	5	20.1.2.2-①
	空間線量率	測点	525	0	525	525	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	525	0	525	525	20.1.2.2-③
作業環境	測定点設置	測点	1	0	1	1	20.1.2.2-①
	空間線量率	測点	24	0	24	24	20.1.2.2-②
	同上データ整理	測点	24	0	24	24	20.1.2.2-③
	表面汚染密度	測点	24	0	24	24	20.1.2.2-④
(5) 輸送に係る仮置場等の環境モニタリング							
地下水の放射能濃度の測定		検体	288	0	288	288	20.1.4.1
浸出水の放射能濃度の測定		検体	288	0	288	288	20.1.4.2
■諸経費対象外項目							
(1) 建築工事							
建物解体工事費	土壌貯蔵施設建物解体 N=51棟	式	1	0	1	1	
(2) 調査・設計							
調査費	地質調査	式			1	1	
設計費	受入・分別施設 実施設計	式			1	1	
	土壌貯蔵施設 実施設計	式			1	1	
	浸出水処理施設 実施設計	式			1	1	

平成30年度　中間貯蔵(大熊5工区)土壌貯蔵施設等工事　数量総括表

項　目	規 格・寸 法	単位	数量				備　考
			土壌貯蔵施設	受入・分別施設	計	元設計	
(3) 被ばく線量登録管理制度参加		人			15,640	15,640	
(4) 事業者システム							
初期費用(事業者システム)		式			1	1	
運用経費(事業者システム)		月			24	24	
(5) 高速料金							
高速料金		式			1	1	

平成30年度中間貯蔵（大熊5工区）
土壌貯蔵施設等工事

土壌貯蔵施設工事

要求水準書

《目　　次》

第 1 編　共通編

第1章　総　　則

平成 30 年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事の一部（以下「本工事」という。）に係る要求水準書（以下「要求水準書」という。）は、環境省が発注する本工事の設計、建設及び埋立に関して、要求する水準を示すものである。

受注者は、要求水準書を熟読吟味し、要求水準書について疑義がある場合は、監督職員に照会し、監督職員の指示に従うこと。本工事中に疑義を生じた場合は、その都度書面にて監督職員と協議し、指示に従うとともに、協議記録を監督職員に提出し、承諾を受けること。

第１節　計画概要

１．基本事項

１）工事期間

工事期間　　契約締結日の翌日～平成 33 年 3 月 31 日

２）工事実施場所

福島県双葉郡大熊町（中間貯蔵施設予定地内）

３）工事用地

本工事を実施する工事用地について、添付資料 1「工事用地」に示す。添付資料 1 は参考図であり、用地の取得状況により変更となることがある。詳細は監督職員との協議により決定する。

４）工事範囲及び概要

本工事の範囲は、次のとおりとする。

(1)　設計、建設工事

(2)　埋立工事

(3)　解体・撤去工事

２．本工事の内容

１）設計、建設工事

本工事のうち設計、建設工事は、受入・分別施設の造成等を含むものとし、以下の内容を実施する。設計、建設工事に係る要件については、第 2 編を参照のこと。

(1)　設計

①　調査

②　設計

(2)　建設工事

① 線量低減措置工
② 家屋解体工
③ 造成工
④ 堰堤工
⑤ 地下水集排水設備工
⑥ 遮水工
⑦ 保有水等集排水設備工
⑧ 浸出水処理施設工
⑨ 雨水集排水設備工
⑩ モニタリング設備工
⑪ 道路工
⑫ 付帯設備工

2）埋立工事

本工事のうち埋立工事は、貯蔵（受け入れた土壌を、一定期間、安全に集中的に管理・保管する行為）の状態とするために、埋立て（土壌貯蔵施設に除去土壌を貯蔵するために収容する行為）を行った後、被覆工を施すものであり、以下の内容を実施する。

なお、仮置場等から中間貯蔵施設への除去土壌等の移動を輸送、中間貯蔵施設内における除去土壌等の移動を運搬として区分している。ただし、処理土壌中継テントから土壌貯蔵施設（貯蔵地）への除去土壌等の移動は投入としている。

埋立工事に係る要件については、第3編を参照のこと。

① 輸送工
② 運搬工（他工区からの処理土壌の運搬を含む）
③ 埋立工（浸出水処理含む）
④ 被覆工（キャッピング工）
⑤ 維持修理等
⑥ 環境モニタリング

3）解体・撤去工事

受注者は、浸出水処理終了後に、受注者が設置したすべての浸出水処理施設（浸出水調整槽をの除く）の解体・撤去を行うこと。解体・撤去工事に係る要件については、監督職員との協議により決定する。

3．立地条件

1）用地条件

(1) 気象条件（気温、最大降水量は2017年浪江地域気象観測所データ）

① 気温	年平均13.0℃、最高 35.4℃、最低 -6.3℃
② 最大降水量	時間最大：48.0㎜、日最大：110.0㎜
③ 垂直積雪量	30cm（建築基準法施行令第86条第3項の規定により規則で定める「福島県建築基準法施行細則（福島県

規則第 79 号）第 19 条」における数値）

２）都市計画事項

(1) 都市計画区域	非線引き都市計画区域（開発許可は不要）
(2) 用途地域	指定なし
(3) 防火地域	22 条区域
(4) 高度地区	指定なし
(5) 砂防指定地	指定なし
(6) 建ぺい率	60％以下
(7) 容積率	200％以下
(8) 緑化率	指定なし
(9) その他	
① 保安林	指定なし
② 民有林	指定（林地開発行為にかかる連絡調整協議は不要）
③ 農用地	指定（手続等は不要）
④ 自然公園	指定なし
⑤ 自然保全地域	指定なし
⑥ 鳥獣保護区	指定なし
⑦ 避難指示区域	帰還困難区域内

３）工事用地周辺設備

(1) 電力

電気事業者より引き込み、または発動発電機を使用すること。

(2) 用水

① 工事用水については、井水を使用すること。生活用水（飲料水、洗面水等）は、受注者において確保すること。

② 井戸の設置にあたっては、監督職員と事前に協議すること。

(3) 雨水

雨水排水は、雨水集排水設備を通じて適切に排水すること。

(4) 燃料、副資材等

本施設で使用する燃料、副資材等は、受注者が確保すること。

(5) 電話・通信

電話及びインターネット回線については、受注者が必要回線を通信事業者と契約するものとする。詳細は受注者が通信事業者と協議のうえ、決定すること。

４．工事期間

設計、建設期間　　12 か月間　　埋立期間　　24 か月間

表 1-1　本工事の全体工程

月数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
■設計、建設期間																																				
■埋立期間																																				

※　本工程はあくまで予定であり、実際の作業進捗に伴って変更となる可能性がある。

第２節　計画主要目

１．貯蔵対象物

１）貯蔵対象物の量

貯蔵対象物の量等は、表 1-2 のように想定している。貯蔵対象物量は、他工区から運搬した土壌を含む。貯蔵対象物量等はあくまで想定であり、事業の進捗状況によって変動が見込まれる。なお、本工事で整備する施設は、土壌等 295 万㎥（輸送時の土量）を貯蔵可能な容量としており、表 1-2 の貯蔵対象物量よりも大きな容量としている。

表 1-2　貯蔵対象物量（想定）

時期	投入月数（参考）	貯蔵対象物量（㎥）※
平成 31 年度	12 か月	1,000,000
平成 32 年度	12 か月	1,000,000
計	24 か月	2,000,000

※本表の貯蔵対象物量は「輸送時の土量」であり、数量総括表の除去土壌の盛土量は「締固め後の土量」としている。また、仕切堤部分への盛土量を含んでいる。

２）貯蔵対象物の種類

貯蔵対象物の種類は、除染等工事共通仕様書（第 10 版）により識別されている土壌等（土類、小石、砂利等）であり、受入・分別施設において分別処理された土壌とする。

３）貯蔵対象物の放射能濃度

貯蔵対象物の放射能濃度は 8,000Bq/kg 以下のものを基本とし、東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則（以下「除染電離則」という。）に従って本工事を行うこと。

４）貯蔵対象物の土量変化率

貯蔵対象物の貯蔵時の土量変化率は 1.3（輸送時の土量㎥÷締固め後の土量㎥）とする。ただし、貯蔵時の状況等を考慮して、必要に応じて見直すものとする。

２．公害防止基準

本施設は、関係法令及び福島県条例に規定する公害防止基準値を遵守すること。また、埋立時、貯蔵時における工事用地境界での空間線量率を処理開始前と概ね同程度の水準に維持すること。

浸出水処理施設の排水基準は、放射能濃度については、セシウム 134、セシウム 137、それぞれの 3 月間の平均濃度について、セシウム 134 は 60Bq/L、セシウム 137 は 90Bq/L に対する割合の和が 1 を超えないこととし、その他項目については、表 1-3 によるものとする。

３．環境保全

公害防止関係法令等に適合し、これらを遵守し得る構造設備とすること。

１）放射性物質対策

輸送時、運搬時及び埋立時における貯蔵対象物等の飛散防止、適切な遮へい、汚水の地下浸透防止等を行うことにより周辺環境への放射性物質による影響を防止すること。

２）粉じん対策

貯蔵地（土壌貯蔵施設において、除去土壌の保管を行う場所）においては、散水設備、覆土等による粉じん対策を講じること。

３）騒音・振動対策

工事に伴う周辺への騒音・振動防止のため、低騒音及び低振動の機材を積極的に使用すること。

４）悪臭対策

臭気が工事用地外部に拡散しないよう十分留意すること。

５）工事車両

工事用地周辺での車両による事故及び交通渋滞の防止に努めること。また、工事用地から退出する際には、周辺環境の保全に努めること。

工事用地から中間貯蔵施設予定地外へ退出する際にはスクリーニング施設において汚染検査を受けること。なお、汚染検査及び汚染時の洗車は、環境省が別途に定める者が実施する。

表 1-3　浸出水処理施設の排水基準

項　　目	排水基準	
アルキル水銀化合物	検出されないこと	
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005	mg/L
カドミウム及びその化合物	0.03	mg/L
鉛及びその化合物	0.1	mg/L
有機燐化合物(ﾊﾟﾗﾁｵﾝ、ﾒﾁﾙﾊﾟﾗﾁｵﾝ、ﾒﾁﾙｼﾞﾒﾄﾝ及び EPN に限る。)	1	mg/L
六価クロム化合物	0.5	mg/L
砒素及びその化合物	0.1	mg/L
シアン化合物	1	mg/L
ポリ塩化ビフェニル	0.003	mg/L
トリクロロエチレン	0.1	mg/L
テトラクロロエチレン	0.1	mg/L
ジクロロメタン	0.2	mg/L
四塩化炭素	0.02	mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.04	mg/L
1,1-ジクロロエチレン	1	mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4	mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	3	mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.02	mg/L
チウラム	0.06	mg/L
シマジン	0.03	mg/L
チオベンカルブ	0.2	mg/L
ベンゼン	0.1	mg/L
セレン及びその化合物	0.1	mg/L
1,4-ジオキサン	0.5	mg/L
ほう素及びその化合物	50	mg/L
ふっ素及びその化合物	15	mg/L
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	200	mg/L
水素イオン濃度	5.8～8.6	
生物化学的酸素要求量	60	mg/L
浮遊物質量	60	mg/L
ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類）	5	mg/L
ノルマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油脂類）	30	mg/L
フェノール類含有量	5	mg/L
銅含有量	3	mg/L
亜鉛含有量	2	mg/L
溶解性鉄含有量	10	mg/L
溶解性マンガン含有量	10	mg/L
クロム含有量	2	mg/L
大腸菌群数	3,000	個/cm^3
ダイオキシン類	10	pg-TEQ/L

第３節　放射線管理

１．一元管理

１）受注者は、本工事に際して、受入・分別処理工事において配置する放射線管理責任者により、被ばく状況の一元管理を行うこと。

２．除染電離則対応

１）中間貯蔵施設予定地内の施設間の道路を汚染することがないように以下の措置を講ずること。

(1) 施設間を往復する運搬車両等は、除染が行われた特定の場所を通行する。また、土壌貯蔵施設の貯蔵地内を走行する際は、除去土壌等と接しないように敷鉄板等を設置した定められた通路を走行する。

(2) 運搬車両は、往復時とも飛散防止のための措置（荷台をシートで覆う等）を講じる。

(3) 施設間の道路は事前に除染を行う。

２）工事用地から中間貯蔵施設予定地外への退出者（輸送車両の運転手を除く）に対して汚染検査を実施すること。汚染検査により作業員の身体または装具が 40Bq/cm^2 を超えて汚染されていると認められるときは、装具を脱がせる等の必要な措置を講ずること。

３）工事用地から中間貯蔵施設予定地外への退場車両は汚染検査を受けること。

４）放射性物質を含む除去土壌を埋め立てることから、埋立開始後の土壌貯蔵施設の各部分の近傍における空間線量率を検討し、作業員の被ばくを防止するための遮へい設備や粉じん飛散防止設備を必要に応じて設置すること。

３．除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度への参加

「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度」に基づいて、受注者は以下のすべてに参加すること。参加状況を監督職員に報告すること。

１）放射線管理手帳の統一的運用

２）線量の登録、経歴照会等の実施

３）線量記録及び検診結果の引渡し

第４節　関係法令等の遵守

１．法令等

本工事の実施にあたっては、次の関係法令等（最新版）を遵守すること。

１）中間貯蔵施設に係る指針（以下「指針」という。）

２）平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法（以下「放射性物質汚染対処特措法」という。）

３）環境基本法

４）廃棄物の処理及び清掃に関する法律

５）大気汚染防止法

６）水質汚濁防止法

7）騒音規制法
8）振動規制法
9）悪臭防止法
１０）ダイオキシン類対策特別措置法
１１）土壌汚染対策法
１２）資源の有効な利用の促進に関する法律
１３）建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律
１４）地球温暖化対策の推進に関する法律
１５）電気事業法
１６）電気用品安全法
１７）電気工事士法
１８）計量法
１９）道路法
２０）道路構造令
２１）道路交通法
２２）都市計画法
２３）建築基準法
２４）消防法
２５）水道法
２６）河川法
２７）労働基準法
２８）労働安全衛生法
２９）作業環境測定法
３０）建設業法
３１）製造物責任法
３２）エネルギーの使用の合理化等に関する法律
３３）砂防法
３４）森林法
３５）浄化槽法
３６）国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
３７）東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壌等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則
３８）電気設備に関する技術基準を定める省令
３９）クレーン等安全規則
４０）事務所衛生基準規則
４１）福島県環境基本条例
４２）福島県生活環境の保全等に関する条例
４３）福島県建築基準法施行条例
４４）その他関係法令等

２．規格、マニュアル等

本工事の実施にあたっては、以下に示す規格、マニュアル等を遵守すること。

１）除染等工事共通仕様書

２）除染等業務に従事する労働者の放射線障害防止のためのガイドライン

３）廃棄物最終処分場整備の計画・設計・管理要領 2010 改訂版（廃棄物最終処分場設計要領）

４）廃棄物最終処分場　遮水工技術・施工管理マニュアル

５）内線規程

６）高圧受電設備規定

７）高調波抑制対策技術指針

８）電力会社供給約款及び同取扱細則

９）日本工業規格（JIS）

１０）電気規格調査会標準規格（JEC）

１１）日本電機工業会規格（JEM）

１２）日本電線工業会規格（JCS）

１３）日本照明器具工業会規格（JIL）

１４）日本油圧工業会規格（JOHS）

１５）日本内燃力発電設備協会認証規定

１６）機械の包括的な安全基準に関する指針

１７）国土交通省東北地方整備局設計業務等共通仕様書

１８）国土交通省東北地方整備局土木工事共通仕様書

１９）国土交通省公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）

２０）国土交通省建築物解体工事共通仕様書

２１）下水道施設の耐震対策指針と解説

２２）CAD 製図基準（国土交通省）

２３）建築工事設計図書作成基準（国土交通省）

２４）廃棄物関係ガイドライン　事故由来放射性物質により汚染された廃棄物の処理等に関するガイドライン（環境省平成 25 年 3 月第 2 版）

２５）除染関係ガイドライン（環境省平成 25 年 5 月第 2 版）

２６）福島県振動防止対策指針

２７）福島県悪臭防止対策指針

２８）福島県土木設計マニュアル

２９）その他関係規格、マニュアル等

第５節　地元雇用

受注者は、本工事を遂行するにあたって、地元住民を積極的に採用するよう努めること。また、地元雇用の状況を監督職員に報告すること。

第６節　材料及び機器

１．使用材料規格

使用材料及び機器は、すべてそれぞれの用途に適合する欠点のない製品とし、日本工業規格（JIS)、電気学会電気規格調査会標準規格（JEC)、日本電気工業会標準規格（JEM)、日本水道協会規格(JWWA)、空気調和・衛生工学会規格(HASS)、日本塗料工事規格(JPMS)等の規格が定められているものは、これらの規格品を使用すること。機能・性能を十分に発揮できるよう常に適切な維持補修を行うこと。なお、監督職員が指示した場合は、使用材料及び機器等の立会検査を行うこと。

海外調達材料及び機器等を使用する場合は、下記を原則とし、事前に監督職員の承諾を受けたものに限られるものとする。

１）要求水準書で要求される機能（性能・耐用度を含む）を確実に満足できること。

２）原則として JIS 等の諸基準や諸法令に適合する材料や機器等であること。

３）原則として国内に納入実績があること。

４）検査立会を要する機器・材料については、原則として国内において監督職員が承諾した検査要領書に基づく検査が実施できること。

５）建設工事終了後の維持管理における材料・機器等の調達については、将来とも速やかに調達できる体制を継続的に有すること。

２．使用材質

酸、アルカリ等腐食性のある条件下で使用する材料については、それぞれ耐酸、耐アルカリ性を考慮した材料を使用しなければならない。

３．使用材料・機器の統一

使用する材料及び機器は、過去の実績、公的機関の試験成績等を十分検討の上選定するとともに互換性を持たせること。

原則として、事前にメーカーリストを監督職員に提出し、承諾を受けるものとし、材料・機器類のメーカー選定にあたっては、アフターサービスについても十分考慮し、万全を期すること。

使用する材料及び機器類は、維持管理が容易に行えるものを選定すること。

第７節　検査及び試験

本工事にかかる検査及び試験は下記による。

１．検査及び試験の方法

すべての検査及び試験は、あらかじめ監督職員の承諾を得た検査(試験)要領書に基づいて行うこと。

２．検査及び試験の省略

公的またはこれに準ずる機関の発行した証明書等で成績が確認できる機器については、検査及び試験を省略できる場合がある。

３．材料の検査等

１）現場に搬入した材料は、種別毎に監督職員の検査を受けること。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

２）１）による検査の結果、合格した材料と同じ種別の材料は、以後、原則として、抽出検査とする。ただし、監督職員の指示を受けた場合は、この限りではない。

３）規格、基準等の規格証明書（JIS マーク等を含む）が添付された材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとして、取り扱うことができる。

４）現場に搬入した材料のうち、変質等により工事に使用することが適当でないと監督職員の指示を受けたものは、直ちに工事現場外に搬出すること。

４．施工の検査等

１）一工程の施工を完了したとき、または工程の途中において監督職員の指示を受けた場合は、その施工が要求水準書、実施設計図書その他の設計図書（以下「設計図書」という。）に適合することを確認し、適宜、監督職員に報告すること。

２）設計図書に定められた場合、１）により報告した場合及び監督職員により指示された工程に達した場合は、監督職員の検査を受けること。

３）２）による検査の結果、合格した工程と同じ材料及び工法により施工した部分は、以後、原則として、抽出検査とする。ただし、監督職員の指示を受けた場合は、この限りではない。

４）見本施工の実施が特記された場合は、仕上り程度等の判断のできる見本施工を行い、監督職員の承諾を受けること。

５．建設工事の完成検査

１）本施設が完成したときの通知は、次の(1)から(3)までに示す要件のすべてを満たす場合に、監督職員に提出すること。

(1) 設計図書に示すすべての工事が完了していること。

(2) 監督職員の指示を受けた事項がすべて完了していること。

(3) 設計図書に定められた工事関係図書の整備がすべて完了していること。

２）１）の通知に基づく検査は、監督職員から通知された検査日に受けること。

６．本工事の完了検査

１）本工事のすべてが完了したときに、その通知を監督職員に提出すること。

２）１）の通知に基づく検査は、監督職員から通知された検査日に受けること。

７．経費の負担

工事に係る検査及び試験の手続きは受注者において行い、これに要する経費は受注者の負担とする。ただし、監督職員または監督職員が指示する監督員（委託職員を含む）の旅費等は除く。

第８節　打合せ

１）設計、建設期間、埋立期間において、原則として週１回の定例会議を実施する。日時は、監督職員との協議により決定する。その他、定例会議以外であっても、監督職員の指示により打合せを行う場合がある。

２）監督職員と打合せを行う際には、事前に打合せ内容、資料を電子データで監督職員に提出すること。図面は、CAD データから直接データ変換した鮮明な図面を提出すること。原則として印刷物のスキャンは認めない。

３）監督職員と打合せを行った際には、速やか(3 日以内)に打合せ議事録を電子メールで監督職員に提出すること。

第９節　環境省への支援

受注者は、環境省の求めに応じ、その支援を行うこと。

１）地元協議資料作成

地元自治体・周辺住民に対する説明資料として、事業概要等をとりまとめた概要版（パンフレット）等を作成すること。また、受注者は見学者対応に協力すること。

２）地元説明会支援

地元説明会について、同席及び説明支援を行うとともに議事録を作成すること。

３）環境調査等支援

環境省が行う環境調査等において、環境省の求めに応じて、設備仕様の資料提供等の対応をすること。なお、環境調査等の結果に応じて、受注者が行う土壌貯蔵施設の設計内容に変更を求める場合がある。

４）その他の支援

受注者は、本施設の設計、建設段階及び埋立段階において、地元自治体・周辺住民等から疑義等が示された場合、その他の環境省の求めに応じて、必要な情報の提供や協議を行うなど、誠意をもって対応すること。

また、受注者は、環境省がホームページ等で公表する土壌貯蔵施設の埋立状況について、必要な情報を提供すること。

第2章　本工事の遂行

第１節　共通事項

１．許認可申請

事業内容により、関係官庁へ認可等の申請、報告、届出等の必要がある場合にはその手続は受注者の経費負担により速やかに受注者が行い、監督職員に報告すること。また、その内容において環境省が関係官庁への許認可申請、報告、届出等を必要とする場合、受注者は書類作成等について協力し、その経費を負担すること。

２．提出図書

受注者は、要求水準書に基づき提出することとされている事前協議図書及びその他の図書を監督職員の指示に従い、可能な限り速やかに提出すること。

受注者が提出したこれらの図書の中に、要求水準書、現場条件等に適合しない箇所が発見された場合及び本施設の機能・性能を全うすることができない箇所が発見された場合は、これらの図書に対する変更を行うこと。図書を訂正する際には、来歴（訂正日時・訂正箇所と簡潔な理由）を整理すること。

３．設計管理

１）受注者は、本施設の設計に係る設計責任者を定めるとともに、設計業務等共通仕様書を参考に技術者を定め、監督職員に報告し、承諾を得ること。

２）設計責任者は、建設工事、埋立工事における変更、その他設計変更等に際して、設計者として必要となる検討、報告等を行うこと。

３）設計責任者は、以下のいずれかの資格を保有していること。

(1) 技術士（総合技術監理部門（選択科目－建設）、建設部門）

(2) RCCM （技術士と同様な部門）

(3) 博士（工学）

(4) 土木学会認定技術者（特別上級、上級、１級）

４．施工管理

１）受注者は、本施設の建設工事、埋立工事に際して、施工体制を監督職員に報告し、承諾を得ること。

２）受注者は、工事の進捗状況を詳細な工事写真等により、管理・記録・把握するとともに、工事の進捗状況に応じ監督職員に報告し、承諾を受けること。

３）受注者は、現場にて遵守されるべき現場規則を作成し、工事着工までに監督職員に提出し承諾を受けること。

４）不必要になった建設機械、機器及び資材は、搬出を速やかに行うこと。

５）他の工事や付近住民の生活等への支障が生じないように計画し工事を実施すること。

６）受注者は、本施設が要求水準書に適合するよう、監督職員が行う工事監理に必要な書類等の提出を行うとともに、監督職員に対して工事施工の事前説明及び事後報告並びに工事現場での施工状況の説明を行うこと。

７）受注者は、工事現場直近の事務所等に、承諾を受けた設計図書及び施工承諾申請図書を常備し、監督職員の求めに応じ速やかに閲覧させること。

８）工事期間中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員へ連絡するとともに、必要に応じて速やかに警察・消防等へ連絡すること。また、監督職員への事故報告書の提出を速やかに行うこと。

９）資材搬入路、搬出路等について監督職員と十分に協議を行い、付近住民の生活等への支障が生じないように計画し工事を実施すること。また、整理整頓を励行し、火災、盗難等の事故防止に努めること。

１０）受注者は、工事用地内外における設備等の損傷防止及び汚染防止に努め、損傷または汚染等が生じた場合には監督職員に復旧計画書を提出し、その承諾を得たうえで、受注者の負担により当該損傷または汚染等を速やかに復旧すること。

１１）受注者は、工事にあたり、障害となる地中障害物を発見した場合等は、監督職員と協議のうえ、適切に処理すること。

１２）受注者は、工事区域を明確にし、工事現場内の安全と第三者の進入を防ぐため、工事用地の周囲に仮囲い等を施工すること。

１３）受注者は、工事の進捗状況を地元住民に周知するための掲示板等を監督職員の指示する場所に設置し、情報提供に努めること。

１４）受注者は、工事に伴い廃棄物が発生した場合には、監督職員と協議のうえ、適切に処理・処分すること。

５．安全衛生管理

１）受注者は、その責任において工事の安全に十分配慮し、危険防止対策を十分に行うとともに、作業員等への安全教育を徹底し、労務災害や周辺への二次災害が発生しないように努めること。特に、工事車両の通行や出入りについては、一般車両を優先することとし、事故を起こしたり、周辺に迷惑をかけたりしないよう配慮すること。

２）受注者は、本施設の建設工事、埋立工事に際して、安全衛生管理体制を監督職員に報告し、承諾を得ること。

３）受注者は、工事車両等の出入りについて、周辺の一般道路に迷惑とならないよう、交通状況に十分配慮し、誘導標識の設置、交通誘導員を配置等、交通の安全を確保すること。

６．工事作業日及び作業時間

１）作業日は月曜から土曜とし、作業時間は監督職員との協議により決定すること。

２）日曜、祝祭日または１）に示した作業時間を延長して作業を行う場合は、事前に監督職員に届出を提出し承諾を受けること。

７．緊急時対応

１）地震、風水害、その他の災害時においては、災害緊急情報等に基づき、人身の安全確保を最優先するとともに、周辺環境に悪影響を及ぼすことなく施設を安全に停止させること。

２）受注者は、停電、地震、火災、台風等に対する緊急時対策マニュアルを作成し、監督職

員の承諾を受けること。

３）緊急時には、受注者は速やかに監督職員に連絡するとともに、緊急時対策マニュアルに基づいて適切な対応を行うこと。

４）地震、台風等に遭遇したときあるいは停電等の緊急事態が発生したときは、事故等が発生しなくても事後にその状況を監督職員に報告すること。

８．清掃、除草、除雪

１）受注者は、工事用地内の清掃、除草を適切な頻度で行い、常に清潔な状態を保つこと。

２）受注者は、工事用地が降雪により作業に支障を来す場合には必要に応じて除雪を行うこと。

３）受注者は、必要に応じて散水等を行い、粉じんの発散防止に努めること。

４）受注者は、雨水排水路及び集水桝の堆積物を定期的に除去し清掃すること。

５）受注者は、使用する経路上に積雪があるときは、必要に応じて除雪すること。

９．警備及び防犯

１）受注者は、警備及び防犯体制を監督職員に報告し、承諾を受けること。

１０．工事間調整

他の工事と交錯が生じる場合には、お互い協調の精神に基づき協力し合い、事前に打合せを行うなど工事を円滑に遂行していくこと。

第 2 編　設計、建設工事に関する要件

土壌貯蔵施設は、受入・分別施設で処理した土壌を適正に埋立て・貯蔵するための施設とする。また、作業員等の放射線による被ばく対策に対して十分配慮した施設とすること。

第1章　共通仕様

第１節　施設配置

１．配置計画

１）工事用地内の施設配置計画は、機能的かつ合理的なものとし、作業員が安全に作業できるように配置すること。

２）施設配置計画の策定においては、立地条件や周辺道路からのアクセスを踏まえ、それぞれの設備が互いに連携して効率的に機能するように、外構施設、周辺環境との調和が図れるように十分配慮した計画を行うこと。

３）貯蔵対象物の埋立作業等が円滑に行え、作業員を含めた施設に出入りする人的動線の安全性が確保できること。

４）機器等の配置は、施設全体の動線、処理フロー、外部からの搬入、搬出、維持管理性等を勘案して、無駄のない計画とするとともに、作業性を考慮した機能的な機器配置とする。

５）施設の具体的な配置については、契約後の受注者が行う設計によるものとし、監督職員との協議により決定すること。

２．車両動線

工事用地内での車両動線は、運搬する車両が円滑に通行可能なものとなるよう配慮すること。

３．土壌貯蔵施設

土壌貯蔵施設の配置について、添付資料 2「施設配置平面図、断面図（参考)」を示す。添付資料 2 は参考図であり、用地の取得状況により変更となることがある。詳細は実施設計により決定するものとする。土壌貯蔵施設（Ⅱ型）とし、遮水工は、基礎地盤が堅固な場所に設置する（添付資料 3「標準断面図（参考)」参照)。

４．監視室

工事用地内に浸出水処理施設工の監視室を設け、中央監視装置等により、施設の監視・管理ができるようにすること。

第２節　提出図書

提出図書は、紙媒体及び電子データ一式を提出すること。図面の電子データを提出する場合は、CAD データから直接データ変換した鮮明な図面を提出すること。原則として印刷物のスキャンは認めない。なお、CAD データの拡張子、レイヤ構造・名称等は、CAD 製図基準（国土交通省）及び

建築工事設計図書作成基準等を参考とすること。

１．事前協議図書

受注者は、契約後ただちに事前協議図書を監督職員の指定する期日までに各 10 部提出すること。

１）設計計画書、体制表

２）工程表

３）その他監督職員が必要とした説明書等

２．実施設計図書

受注者は、実施設計図書として、工事着手 2 週間前までに以下の図書を提出すること。実施設計には、埋立工事の設計も含むものとする。実施設計図書の確認段階において図書を訂正する際には、来歴（訂正日時・訂正箇所と簡潔な理由）を整理すること。

① 図書類	A4 版	10 部
② 図面類	A1 版	2 部
③ 縮小図面類	見開き A3 版二つ折製本	10 部

１）施設全般

(1) 埋立容量計算書

(2) 指針との比較表

(3) 技術提案書との比較表

(4) 各設備の計画書

２）土木関係

(1) 構造計算書

(2) 基礎計算書

(3) 排水流量計算書

(4) その他計算書、検討書

３）設備関係

(1) フローシート

(2) 主要機器容量計算

(3) 計装制御系統図

(4) 運転操作方法案

(5) 負荷設備一覧表

(6) その他計算書、検討書

４）調査結果報告書

５）設計図面

６）工事仕様書

７）数量計算書

８）工事工程表

９）設計根拠資料

１０）重機・車両リスト

１１）予備品、消耗品、工具リスト

１２）データ管理システム仕様書
１３）埋立マニュアル
１４）リーフレット（工事中説明用、見学者用）
１５）その他監督職員が必要とした計算書、説明書等

３．施工承諾申請図書

受注者は、実施設計に基づき工事を行うこと。工事に際しては、事前に承諾申請図書により、監督職員の承諾を得てから着工すること。図書は次の内容のものを各 10 部提出すること。

１）承諾申請図書一覧表（提出予定日を含む）
２）土木・設備機器詳細図(構造、断面、部分詳細、組立図、部品図、付属品）
３）施工計画書（搬入要領書、据付要領書、仮設工事、安全計画を含む）
４）検査要領書（社内検査要領書及び監督職員検査要領書を含む）
５）計算書、検討書
６）打合せ議事録

４．完成図書

受注者は、建設工事竣工に際して完成図書として次のものを提出すること。

１）竣工仕様書	3 部
２）竣工図	3 部
３）竣工図縮小版（見開き A3 版二つ折製本）	3 部
４）工事管理記録	3 部
５）取扱説明書	3 部
６）諸官庁届出書、許認可報告書	5 部
７）機器台帳	1 式
８）単体機器試験成績書	1 式
９）議事録	1 式
１０）社内検査報告書	1 式
１１）各工程の工事写真及び処理実施状況写真（カラー）	1 式
１２）その他監督職員が指示する図書	1 式
１３）1. 事前協議図書から 4. 完成図書に示すすべての電子データ	3 部

第３節　安全対策

１）施設の配置、建設、据付は、すべて労働安全衛生法令及び規則に定めるところによるとともに、施設は、埋立て、維持管理に必要な防護柵、タラップ等を完備すること。
２）各機器に故障が生じた場合、予備の確保等により全体の施設に影響を及ぼさないよう考慮すること。
３）機器等の故障または停電等の障害が発生した場合でも、その故障・障害による作業員及び周辺環境への影響がないように措置を講ずること。また、作業員が誤操作しない、または誤操作しても事故に繋がらないようフールプルーフの仕組みを採用すること。

4）各設備・機器に必要に応じてインターロックを設けること。

5）高所部分の作業床は、十分な広さを確保するとともに防護柵または手摺を設けること。また、安全帯・転落防止用ネット等を取付けるフックを設けること。

6）維持管理において、足場を組み立てる必要がある場所は十分な面積を確保すること。

7）関係者以外の者が立ち入ることが危険な場所、作業員への注意を喚起する必要がある場所には、標識を設置すること。

8）薬品類及び危険物類注入口には、品名、注意事項を記載した表示板を設けること。

9）自重、積載荷重、その他の荷重及び地震動等に対して構造耐力上安全でなければならない。

１０）火災の発生を防止するために必要な措置を講ずるとともに、消火器及びその他の消火設備を備えること。

１１）各建物及び各設備は、台風や強風時等に、倒壊しない十分な強度を有すること。

１２）避難経路を確保し、作業員が確実に避難できるように標識を設置すること。

第2章　設計

第１節　調査

1）土壌貯蔵施設及び受入・分別施設の設計に必要となる調査を実施すること。

2）地質調査は、添付資料4「地質調査内容」によることを基本とするが、既存の調査結果を踏まえ、調査計画を立案し、監督職員と協議のうえ、実施すること。

3）土壌汚染対策法に基づく土壌汚染調査は別途に実施するため、本工事では実施しない。

4）地質調査のボーリングの名称は、以下のフォーマットによること。

ボーリング名：「YYYY-AA-INN」

YYYY：実施した年度（西暦）

AA　：添付資料5「調査ボーリング区分エリア」に示されるエリア名

I　　：共同企業体の名称のイニシャル

NN　：同年度、同エリア、同共同企業体で実施されるボーリングの通し番号

5）地質調査を基に、設計に必要となるボーリング柱状図及び地質断面図を作成すること。なお、ボーリング柱状図及び地質断面図は、環境省が別途委託する業者が作成するボーリング柱状図及び地質断面図と整合を取ること。

6）地質調査で得られたボーリングコアは、環境省が別途委託する業者によりコア確認を行うため、コア確認ができる状態で現場事務所等に保管すること。

第２節　設計

1）土壌貯蔵施設の建設工事、埋立工事に係る実施設計を行うこと。

2）既存の調査・検討結果、及び中間貯蔵施設の全体計画を踏まえて設計すること。

3）設計に使用する測量図は、レーザ計測に基づく地形図（レベル1,000）を貸与する。

4）受入・分別処理工事との所掌・整合に配慮したものとすること。

５）受入・分別施設の造成（仕上がり高さの 50cm 下まで)、雨水排水（外周水路）は、本設計に含むこと。

６）実施設計完了後に、設計内容に不適合な箇所が発見された場合には、監督職員と協議のうえ、受注者の責任において修補すること。

第３節　設計で考慮する外力等

１．基本的な考え方

設計で考慮する自然現象に対応した外力等は、地震動、津波（浸水深、流速)、地下水（地下水位)、降水（日降水量、短時間降雨強度）である。また、堰堤の自重及び貯蔵される除染土壌等による積載荷重を考慮する。

２．地震

１）地震が構造物に及ぼす事象

地震が対象構造物に与える事象としては、以下のものを想定する。

(1) 堰堤のすべり・液状化による損傷

(2) 基礎地盤の沈下・液状化による堰堤・遮水工等の損傷

(3) 保有水等集排水設備、地下水集排水設備、モニタリング設備の損傷

２）外力等の設定内容

設計に用いる外力としては地震動を用い、以下の 2 段階で地震動を設定する。

(1) 第 1 段階の地震

供用期間中に 1～2 度発生する確率が高い地震動とし、塩屋崎沖地震（1938 年）とする。

(2) 第 2 段階の地震

中間貯蔵施設の整備区域で想定される最大規模の地震動とし、東北地方太平洋沖地震（2011 年）とする。

３）外力等に対する安全性の確保の考え方

地震動に対する安全性の確保の考え方は、以下の通りとする。

(1) 第 1 段階の地震

各施設を構成する構造物を支持する地盤の安定性及び構造物自体の強度を確保することにより、施設の機能の健全性を確保する。

(2) 第 2 段階の地震

多少の変位・変形あるいは軽微な損傷は生じることがあっても、各構造物の基本的な構造及び機能を損なわないよう、地盤の安定性及び構造物自体の強度を確保する

４）構造物の設計で考慮する方法

(1) 堰堤の設計にあたっては、堰堤及び基礎地盤を一体として扱い、適切な方法を用いて安定性の照査を行うものとする。

(2) 基礎地盤が液状化の可能性がある場合には、液状化の判定を行い、液状化が発生するおそれがある場合には、対策の必要性を判断した上で対策工について検討する。

(3) 保有水等集排水設備、地下水集排水設備、モニタリング設備についても、地震動による損傷で設備の要求性能を満たさなくなることを防止するため、適切に照査を行い、

必要な対策の検討を行う。

3．津波

1）津波が構造物に及ぼす事象

津波が対象構造物に与える事象としては、以下のものを想定する。

(1) 堰堤の侵食、洗掘による損傷

(2) 被覆工（キャッピング工）の侵食による損傷

(3) 津波による水圧の作用による保有水等集排水設備、地下水集排水設備の損傷

(4) 津波により浸水した場合のモニタリング設備の損傷

2）外力等の設定内容

津波による外力は、浸水深と流速であり、以下の2段階で設定する。

(1) 第1段階の津波

概ね数十年から百数十年に 1 回程度の頻度で発生する比較的発生頻度の高い津波による浸水深と流速とし、明治三陸地震タイプとする。

(2) 第2段階の津波

中間貯蔵施設予定地で想定される最大規模の津波による浸水深と流速とし、東北地方太平洋沖地震（2011年）とする。

3）外力等に対する安全性の確保の考え方

津波に対する安全性の確保の考え方は、以下の通りとする。

(1) 第1段階の津波

津波による侵食や洗掘等の施設の損傷や除去土壌等の流出が起こらないように、堰堤の天端高を第1段階津波による遡上高さ以上にするとともに、津波による外力に対して必要な耐力を有する設計を行うことを基本とする。

(2) 第2段階の津波

構造物による対応に加え、遡上を考慮した施設の配置をすることにより、除去土壌等の流出等が防止できる安全性を確保することを基本とする。

4）構造物の設計で考慮する方法

(1) 津波浸水区域に整備される堰堤は、津波による侵食・損傷を防止するため、津波による浸水深及び流速に耐える形状と対策について検討する。

(2) 被覆工（キャッピング工）は、津波による浸水が想定される場合において、津波による浸水深及び流速に耐える構造とする。

(3) 保有水等集排水設備と地下水集排水設備（浸出水集水ピット、地下水ピットが津波浸水区域にある場合）については、津波が浸入しない構造とするとともに、ポンプを設置する場合には、電気設備が浸水しないよう必要な対策を行う。

(4) モニタリング設備（水質観測井戸が津波浸水区域にある場合）については、津波により埋塞しない構造とする。

4．地下水

1）地下水が構造物に及ぼす事象

地下水が対象構造物に与える事象としては、以下のものを想定する。

(1) 地下水の揚圧力による遮水工の変形・損傷

(2) 堰堤の安定性低下による損傷

２）外力等の設定内容

地下水について考慮すべき外力等は、以下のとおりである。

(1) 地下水位

(2) 堰堤の堤体内の水位

３）外力等に対する安全性の確保の考え方

地下水によって生じる事象に対する安全性を確保するため、以下の対策を講じる。

(1) 地下水の揚圧力による遮水工の損傷、機能低下が生じないように、地下水を有効に集め排出するための施設を設置する。

(2) 地下水が堰堤の堤体内に浸入することを極力防止し、堰堤の堤体内の水位をできる限り低下させる対策について検討を行う。

４）構造物の設計で考慮する方法

(1) 地下水集排水設備は、遮水工が損傷するおそれのないように地下水を有効に集め排出することができる能力を有するものとして、設備の配置・規模等を設定する。

(2) 堰堤の堤体内の水位については、堰堤内への地下水の浸入の防止、及び浸入した地下水の排水のために必要な対策の検討を行う。

５．降水

１）降水が構造物に及ぼす事象

降水が対象構造物に与える事象としては、以下のものを想定する。

(1) 貯蔵地内に保有水等が滞留することによる遮水工への浸透の促進

(2) 堰堤の安定性低下による損傷

２）外力等の設定内容

降水として考慮すべき外力等は、以下のとおりである。

(1) 平成 18 年の日降水量

(2) 短時間降雨強度（135mm/h）

３）外力等に対する安全性の確保の考え方

降水に対する安全性を確保するため、以下の対策を講じる。

(1) 貯蔵地内に保有水等が滞留しないよう、貯蔵地内への降水の浸透をできる限り防止し、浸透した降水を速やかに排水するための施設を設置する。

(2) 堰堤の堤体内への降水の浸透をできる限り低下させるための措置を講じる。

４）構造物の設計で考慮する方法

(1) 保有水等集排水設備は、平成 18 年の日降水量値等から算出した日浸出水量を速やかに排水できるよう、設備の配置・規模を設定する。

(2) 雨水集排水設備は、降水による貯蔵地周辺からの地表水の貯蔵地内への流入を防止できるよう、短時間降雨強度を考慮して設備の配置・規模を設定する。

(3) 被覆工（キャッピング工）は、雨水の除去土壌等への浸透を防止する構造とする。

(4) 堰堤について、堤体内に浸透する降水を極力減少させるための措置及び浸透水を速やかに排除するために必要な対策の検討を行う。

６．自重・積載荷重

１）自重・積載荷重が構造物に及ぼす事象

自重・積載荷重が対象構造物に与える事象としては、以下のものを想定する。

(1) 堰堤のすべりによる変形・損傷

(2) 基礎地盤の沈下による堰堤・遮水工等の損傷

(3) 保有水等集排水設備、地下水集排水設備の損傷

２）外力等の設定内容

自重・積載荷重は、使用する材料や貯蔵する除去土壌等の単位重量と積載高さ等によって設定する。

３）外力等に対する安全性の確保の考え方

自重・積載荷重に対する安全性を確保するため、以下の対策を講じる。

(1) 堰堤については、自重及び積載荷重に対する安定性を確保する。

(2) 基礎地盤については、必要な地盤耐力を確保する。

(3) 保有水等集排水設備、地下水集排水設備については、積載荷重に対して十分な耐力を確保する。

４）構造物の設計で考慮する方法

(1) 堰堤については、自重・積載荷重に対する安定性を照査する。

(2) 基礎地盤については、基礎地盤が軟弱地盤である場合には沈下量の照査を行うとともに、必要に応じて地盤改良等の対策を検討する。

(3) 保有水等集排水設備、地下水集排水設備については、積載荷重に対して十分な耐力を有する構造とする。

第3章　建設工事

第１節　線量低減措置工

１．線量低減措置計画

１）工事用地内（受入・分別施設用地含む）で監督職員が指示する場所において空間線量率（μSv/h）及び土壌の放射能濃度を測定し、監督職員と協議のうえ、作業員等の被ばく線量の低減等の措置に係る計画（以下「線量低減措置計画」という。）を作成し、工事着手前に速やかに監督職員に提出すること。

２．線量低減等の措置

１）線量低減措置計画に従い線量低減措置を実施すること。なお、本工事での標準的な線量低減措置は以下のとおりである。

(1)　中間貯蔵施設予定地内における土壌貯蔵施設までの道路の線量低減措置

土地等	線量低減対象物	線量低減措置等	共通仕様書 第３章参照項目
道路	舗装された道路	■堆積物の除去 ■高圧水洗浄	6.1.1.1 6.1.2.1
	ガードレール	■ブラシ洗浄	6.3.1.1
	側溝等	■底質の除去等	6.4.1.1

(2)　工事用地内（土壌貯蔵施設、受入・分別施設）の線量低減措置

土地等	線量低減対象物	線量低減措置等	共通仕様書 第３章参照項目
農地	農地（切土用地）	■機械を用いた除草 ■除草材の集積 ■表土の削り取り	8.1.1.1-(2) 8.1.1.1-(3) 8.1.2.2-(1)-①
	農地（盛土用地）	■機械を用いた除草 ■除草材の集積 ■深耕	8.1.1.1-(2) 8.1.1.1-(3) 8.1.2.5
森林	森林（切土用地）	■樹木の伐木 ■樹木の除根 ■伐木の集積 ■表土の削り取り	13.1.1.5-(1) 13.1.1.5-(2) 13.1.1.5-(3) 8.1.2.2-(1)-①
	森林（盛土用地）	■樹木の伐木 ■樹木の除根 ■伐木の集積 ■深耕	13.1.1.5-(1) 13.1.1.5-(2) 13.1.1.5-(3) 8.1.2.5

３．線量低減措置に伴い発生した土壌の袋詰め

１）線量低減措置に伴い発生した土壌は、監督職員の指示に従い分別を行い、大型土のう袋（内袋付き）等へ袋詰めし、表面線量率・重量等の測定を行い、タグ（新タグ）を取付けること。（添付資料６「新タグの仕様」参照）

４．線量低減措置に伴い発生した伐木材等の処理

１）回収した伐木材・除根材を運搬が可能なように切断し、適正に保管等すること。

第２節　家屋解体工

１．基本事項

１）監督職員の指示に従い、工事用地内の家屋を解体し、監督職員の指示する場所に運搬し、適正に保管等すること。

２）受注者は、解体対象建物等の事前確認を行った上で、工事内容・工程・作業手順・安全対策等を記載した「解体計画書」を作成し、監督職員と協議を行い、その承認を得た上で、工事に着手するものとする。

２．技術的要件

１）解体対象建物の確認及び危険告知等

解体工事工程に基づき、解体対象とする建物の位置・部位、危険物等（農薬・ガスボンベ・灯油等）、地下工作物（浄化槽・井戸等）、エアコンの有無、廃家電の残存状況及びそれらの場所等に関して確認し、記録簿（様式は監督職員が指示する）に記録する。特に解体対象とする範囲については、明確に現地にて確認し、記録簿等に明示すること。

２）解体前後の空間線量率の測定

解体工事前後の同一地点において、解体対象建物等がある敷地内の５箇所で空間線量率の測定を行い記録すること。なお、解体工事後の測定については、工事による粉じん等の影響がないよう、解体工事後、一定の日時の経過後測定を行うこと。

３）アスベスト調査等

(1) 受注者は大気汚染防止法等に基づき、解体対象建物等のアスベスト使用の有無について以下の調査を行うこと。

① アスベスト使用の有無は目視等により確認を行い、その結果を取りまとめ、監督職員に提出すること。

② ①の結果、分析によるアスベスト含有の調査を行う必要が生じた場合は、その都度監督職員へ報告しその指示に従うこと。

(2) 調査の結果、石綿含有建材（非飛散性のものであって、レベル３及びレベル３相当のものをいう。）を使用した建物を解体する場合及び当該解体により生じた石綿含有特定廃棄物を取り扱う場合については、関係法令に基づき、特に以下を踏まえた飛散防止の徹底を行うこと。なお、飛散性の石綿含有建材を使用した建物の解体及び当該解体により生じた特定廃石綿等の取扱いについては、より厳格な措置が求められるところであり、個別に監督職員から指示を仰ぐこととする。

① 作業員の健康を守るための措置を徹底すること。

② 石綿を飛散させないための次の措置を徹底すること。

イ 「解体等作業に関するお知らせ」を掲示する。

ロ 石綿成形板等の破砕または切断にあっては、原則行わない。

ハ 収集または運搬のためにやむを得ず石綿成形板等の破砕または切断等が必要な場合にあっては、

a 散水等により十分に湿潤化した上で、破砕または切断を行う。

b 破砕後または切断後、直ちに大型土のう袋詰め等を行う。

c 作業に当たり、粉じんが多量に発生するおそれがある場合には、散水するなどの措置を講じる。

d 飛散抑制剤については、必要に応じて使用する。

③ 収集または運搬にあっては他の物と混合しないように区分し、飛散及び落下の防止措置を講ずること。

④ 保管にあっては見やすい箇所に所定の掲示板を設け、他の廃棄物と区分して適切に保管すること。

⑤ 作業員に対して、石綿含有建材を使用した建物の解体及び当該解体により生じた石綿含有特定廃棄物の取扱いに関する教育を徹底すること。

4）解体対象建物等の解体

受注者は、解体計画書に基づき、安全確保を行った上で、解体対象建物等（これに付帯する工作物等で監督職員の指示するものを含む。以下同じ。）の解体を実施する。また、解体対象建物等の誤認を防止するための措置につき監督職員からの指示を仰ぐこと。

解体を行う優先順位については、監督職員の指示に従うものとする。解体工事時に、解体対象建物等の所有者等の申出により、貴重品、思い出の品等の現場確認及び持ち出し依頼があった場合は、安全確保を前提に所有者等の申出に沿うよう努めるものとする。

解体工事は、個々の被害状況をふまえた上で、安全の確保を最優先させつつも可能な限り速やかに終了させるよう努めること。

5）解体廃棄物の処理及び保管等

受注者は、解体に伴い発生した廃棄物（解体対象建物等の内外にある廃棄する家財等を含む。以下「解体廃棄物」という。）について、以下の処理を行うものとする。なお、保管にあたっては、必要に応じてシートがけ等を行うこと。

(1) 解体廃棄物は、解体現場または監督職員の指示する場所において、表 2-1 に掲げる種類に選別・整理すること。

表 2-1　廃棄物ごとの整理、保管上の留意点

廃棄物の種類	大型土のう袋等詰めの有無	その他整理、保管上の留意点
①コンクリート類	無	－
②金属類(農機具、自転車等を含む)	無	●土等が付着しないようにすること。
③瓦・レンガ	無	●石綿含有の瓦・レンガを混合しないこと。
④石材	無	●大谷石とそれ以外に分別すること。
⑤石膏ボード	有	●製品名や製造会社、建築年代等を確認して石綿含有の疑いがある場合は、石綿含有廃棄物とみなして取り扱うこと。
⑥FRP・硬質プラスチック	有	●金属類が混合していても差し支えないが、金属類以外の混合物は取り除くこと。塩ビ管は可能な限り取り除くこと。
⑦ガラス類	有	●板ガラス以外のガラス類を混合しないこと。
⑧断熱材	無	●材質を確認し、可燃性及び不燃性に選別し、大型土のう袋等に入れて保管すること。
⑨大型家電（テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫）	無	●テレビ、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫の品目ごとに分別すること。 ●冷蔵庫・冷凍庫は庫内を清掃すること。
⑩小型家電	無 (ﾌｧﾝﾋｰﾀｰ・ｽﾄｰﾌﾞ・電子ﾚﾝｼﾞ等) 有 (ｶｾｯﾄｺﾝﾛ・ﾄﾞﾗｲﾔｰ・ﾄｰｽﾀｰ等)	●カセットコンロからカセットボンベを外しておくこと。 ●ファンヒーターから灯油を抜いておくこと。 ●コピー機等からトナーを外しておくこと。 ●電池を外しておくこと。 ●照明器具の内、蛍光灯についてはドラム缶等の専用容器に入れる措置を講ずること。
⑪　①～⑩以外の不燃物	有	－
⑫木くず	無※	●付着する異物（金属類等）を除去すること。 ●土等が付着しないようにすること。 ●保管場所は原則アスファルト舗装された場所とすること（難しい場合は監督職員に相談すること）。 ※木片等の小部材は必要に応じ袋詰めにすること。
⑬畳	無	●裁断しないこと。 ●雨等に濡れないようにすること。
⑭タイヤ	無	●ホイールは取り外さないこと。 ●ホイールが無いものも裁断せず、可燃物として保管すること。
⑮　⑫～⑭以外の可燃物	有	－
⑯樋の残留物	有	●ブルーシートやプラ板等の上に集積する等、監督員と協議の上処理すること。
⑰土壁	有	●土壁はブルーシート等の上に集積し、土と木舞に分別すること。 ●ふるい落とした土はすき取り、大型土のう袋等に入れること。
⑱特定廃石綿等	監督職員と協議	●二重梱包等必要な処理につき監督職員の指示を仰ぐこと。
⑲石綿含有特定廃棄物	有	●「３）アスベスト調査等」を参考に適切に処理を行うこと。
⑳PCB 含有廃棄物	監督職員と協議	●PCB が流出しないよう、容器に入れる等の措置を講ずること。 ※PCB 含有有無の判定等は、別途連絡する詳細を参照すること。
㉑監督職員の指示する種別	監督職員の指示による	●陶磁器類（瓦・レンガを除く。）、農薬、塗料、ガスボンベ等を想定すること。

(2) 解体廃棄物のうち、以下のものについては、以下の点に留意して選別すること。

① タンス、机等は、分解して(1)の②、⑪、⑫または⑮などに適切に選別すること。
なお、ソファ、ベッド、マットレス等のうち、金属類を含むものは可燃不燃混合物（「金属と可燃物からなる混合物」をいう。）として、分解・選別しなくてもよい。

② サッシは、分解して(1)の②または⑦などに適切に選別すること。

③ 浄化槽は、分解して(1)の②、④、⑥、⑪または⑮などに適切に選別すること。

(3) 解体廃棄物は、環境省が中間貯蔵施設予定地内に確保する監督職員の指示する場所に運搬し、保管すること。解体廃棄物の移動、積み下ろし作業の際は監督職員や他の工事業者等と事前に調整し、適切に対応すること。

(4) 監督職員が指示する方法により、解体廃棄物の量（重量または数等）及び表面線量率を測定し（解体廃棄物またはそれを封入した大型土のう袋等の表面線量率を測定する方法を想定)、記録すること。なお、当該記録については、監督職員の指示に従って適切に報告すること。また、解体廃棄物の運搬の記録については、放射性物質汚染対処特措法及びその下位法令等に従って、適切に作成、保管、報告すること。

(5) 解体廃棄物のうち家電・農機具・自転車等については、リサイクルが可能となるように、あらかじめ取り外しを行いまたは搬出し、分別すること。その品目、数量は監督職員へ報告すること。（例：冷蔵庫 1 台）

(6) 受注者はエアコンについて、大気中にフロンガスが漏れないように適切な措置を行い、取り外すこと。また、フロンガスの回収が必要な場合には、監督職員の指示に従うこと。なお、これらの作業に要する費用は設計変更の対象とする。

第３節　造成工

１．基本事項

１）土壌貯蔵施設（浸出水処理施設含む）及び受入・分別施設について、中間貯蔵施設全体の施設配置を踏まえた造成形状・施設配置とすること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元	
法面勾配（切土）	貯蔵地内	1:2.0
	貯蔵地外	1:1.0
法面勾配（盛土）	貯蔵地内	1:2.0
	貯蔵地外	1:2.0
小段	高さ 5m 毎に設置	

３．技術的要件

１）土壌貯蔵施設においては、全体計画における土壌貯蔵施設の形状等を踏まえるとともに、

基礎地盤及び地下水の高さ、搬入道路の位置、雨水の放流先、貯蔵地の拡張（埋立区画を水平方向もしくは鉛直方向に広げていくこと）等を考慮した造成形状・施設配置とすることを基本とすること。

２）受入・分別施設においては、搬入道路の位置、受入・分別処理設備の形状、雨水の放流先等を考慮した造成形状・施設配置とすること。本造成工においては、仕上がり高さの50cm 下までの造成を対象とし、50cm 下より上部は、受入・分別処理工事によるものとする。

３）法面勾配は、地質調査結果等を踏まえて適切な勾配とすること。ただし、貯蔵地内の法面勾配は、遮水工の施工を考慮して 1:2.0 とすること。

４）盛土の品質管理は、「第４節　堰堤工」によるものとすること。

５）線量低減により発生する除去土壌と、造成工等により発生する現地発生土が混在しないようにすること。

６）残土置場は、工事用地内の線量低減措置を施した場所に確保するとともに、残土からの濁水発生に配慮したものとすること。

７）現地発生土は、土壌貯蔵施設用地から受入・分別施設用地または別工事の用地への移動を除いて、原則として工事用地から搬出しないこと。

８）貯蔵地外の法面保護工は、植生工等によるものとすること。植生工に用いる種子は、地域特性・維持管理等を考慮して選定すること。

９）暫定的な法面（貯蔵地の拡張時に再度造成される法面）は、土質性状、残置される期間等を考慮して適正な保護方法を検討すること。

第４節　堰堤工

１．基本事項

１）堰堤工は、除去土壌等を安全に貯蔵するために、除去土壌等が流出することを防ぐものである。

２）堰堤は、地震、津波、地下水ならびに降水の作用によって、すべり破壊、侵食破壊、浸透破壊が生じないこと。

３）津波の遡上により堰堤法尻部において洗掘が生じる可能性がある場合は、洗掘防止工を設置する。洗掘防止工は、津波による堰堤法尻部の洗掘により堰堤の損傷が生じない構造とする。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目		諸元
堰堤	構造形式	土堰堤
	堤体材料	現地発生土
	天端幅	8.5m
	法勾配	1:2
	法面保護	張芝（貯蔵地の外側）
仕切堤		土堤、遮水シート
洗掘防止工		管理道路（アスファルト舗装等）

３．技術的要件

ア．堰堤

１）堰堤の構造は土堰堤とし、堤体材料は現地発生土を用いることを基本とすること。

２）基礎地盤は、堰堤及び除去土壌等の自重に対して必要な強度、支持力を有しているものとすること。

３）堰堤の天端高は、除去土壌の貯蔵量を安全に貯蔵できる高さとすること。

４）天端幅は、3.0～8.5mとし、最終形の天端幅は5.0mを基本とすること。

５）法勾配は1:2を基本とするが、地震時の安定性照査により必要に応じて変更すること。

６）小段は施工性や維持管理等を考慮し必要に応じて設置すること。

７）堰堤（貯蔵地の外側）に施す法面保護は、張芝を標準とすること。

８）除去土壌と堰堤が接する箇所は、遮水工を設置すること。

９）堰堤の構造、規模（堰堤の高さ）、周辺の地下水位及び湧水の状況を勘案し、必要に応じて堤体排水工を検討すること。

１０）地震時の安定性照査を行う際の地震動として、以下の設計水平震度及び加速度波形を用いる。

項目	条件
設計水平震度（大熊）	第1段階　0.21、第2段階　0.26
加速度波形	東北地方太平洋沖地震

１１）地震時の安定性は、第１段階の地震動と第２段階の地震動に分けて照査を行うこと。

１２）第1段階の地震動については、円弧すべり法による安定性照査を行い、最小安全率1.2以上であるかを確認すること。

１３）第2段階の地震動については、円弧すべり法による安定性照査を行い、最小安全率1.0以上であるかを確認すること。最小安全率が1.0未満の場合は、ニューマーク法を用いた滑動変位量の算出を行うこと。その際の滑動変位量の許容値を10cm以下とすること。

１４）堤体排水工を設置する場合には、地震時の安定性照査において、地下水及び降雨の堤体内への浸透の影響は考慮しないものとする。

１５）基礎地盤は、堰堤及び除去土壌等の自重を支える地耐力に関して沈下計算を行い、沈

下量の許容変位量を 10cm 以下とすること。

１６）地盤の液状化は、液状化に対する抵抗率 FL 値を用いて照査し、その値が 1.0 以下の場合は液状化するものとみなし、対策の必要性を判断したうえで、対策工について検討すること。液状化の判定には、以下の設計水平震度を用いる。

項目	条件
設計水平震度（大熊）	第 1 段階　0.63、第 2 段階　0.79

１７）盛土の品質管理は、①盛土材料の管理、②盛土施工条件の管理、③締固め密度管理の 3 項目により行うこと。

１８）盛土材料の管理と盛土施工条件の管理の基準は、試験施工により確認すること。③締固め密度の管理基準は、類似構造物の管理基準を参考として、試験施工の結果を基に設定すること。

１９）堤体の沈下量及び変位については、適切な計器を用いて監視を行い、施工方法等に適切に反映させること。

２０）余盛りが必要な場合は余盛高について考慮すること。

イ．仕切堤

１）貯蔵地を水平方向へ拡張する部分には、埋立区画を区分するための仕切堤を設けること。なお、仕切堤は、将来において堰堤としての機能を求めなくなるものである。

２）仕切堤の構造は土堤を基本とし、第 1 段階の地震動について、以下の設計水平震度を用いて円弧すべり法による安定性照査を行い、最小安全率 1.2 以上であるかを確認すること。また、土構造を用いない場合には、転倒・滑動及び沈下に対して安全な構造とすること。

項目	条件
設計水平震度（大熊）	第 1 段階　0.21

３）仕切堤の材料には、除去土壌を用いることも可能とする。ただし、除去土壌を用いる場合は、仕切堤に接触した雨水や地表水等は浸出水処理施設に送水することができる構造とすること。

４）仕切堤は、遮水工の上部に設けること。

５）仕切堤の堤体の安定性を確認するにあたっては、除去土壌等の搬入中･埋立中、維持管理･修繕時における重機の重量を考慮すること。

６）基礎地盤は、仕切提及び除去土壌等の自重に対して必要な強度、支持力を有しているものとすること。

７）仕切堤の天端高は 2m を基本とし、貯蔵地内の一時的に貯留される保有水等の水位を考慮した高さとすること。また、天端幅は 2.5m を基本とすること。

８）小段は施工性や維持管理等を考慮し必要に応じて設置すること。

９）第１段階の津波浸水区域において外周部を仕切堤とする場合、法面保護のための張芝を標準として施工すること。

１０）仕切堤の表面には遮水シートを敷設し、埋立区画の浸出水と未埋立区画の雨水とを分離できるようにすること。

１１）遮水シートの材質等については、「第６節　遮水工」によるものとする。

ウ．洗掘防止工

１）洗掘防止工は、津波が遡上する堰堤の法尻部及び、津波が堰堤を越流した水が落水する堰堤の法尻部に設置すること。

２）洗掘防止工は、管理道路（アスファルト舗装等）が兼ねることを基本とすること。

３）洗掘防止工として利用する管理道路は、道路構造令第23条2項を満たす構造とすること。

第５節　地下水集排水設備工

１．基本事項

１）地下水集排水設備は、土壌貯蔵施設付近の地下水により遮水工が損傷するおそれのないように土壌貯蔵施設下部及び周辺の地下水を有効に集め排出することができる能力を有すること。

２）地下水集排水設備は、積載荷重、地震に対して堅固で耐久力を有すること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元
地下水集排水管	（幹線）高密度ポリエチレン管（ダブル）有孔　φ200 （支線）高密度ポリエチレン管（ダブル）有孔　φ150
地下水ピット	鉄筋コンクリート造

３．技術的要件

ア．地下水集排水管

１）幹線は、自然流下により地下水ピットを経て下流河川等へ放流することを基本とすること。

２）配置形式は幹線と支線により構成される分枝形、支線の配置間隔は20mを基本とし、貯蔵地の形状、施工時の湧水状況に応じて効果的に集水可能な配置とすること。

３）貯蔵地の水平方向への拡張を考慮し、幹線は、必要に応じて、隣接区画の地下水集排水管（幹線）に接続可能な管径・配置とすること。

４）管渠等は、必要に応じて、貯蔵地の鉛直方向への拡張も考慮し、積載荷重に対して、十分な耐力を有する構造とすること。

５）管径等を決定するにあたっては、地下水観測調査結果、地下水解析結果を踏まえて地下水位を設定し、「廃棄物最終処分場設計要領」に示される算定方法を用いて算定した集水量を排水する能力を有するものとすること。
６）支線の管径は150㎜以上とすること。
７）管渠の断面積は、80%を通水に有効な断面積とすること。
８）管渠の周囲を被覆材（砕石を基本とする）で覆うこと。
９）被覆材の周囲を吸出し防止材で覆うこと。
１０）地下水集排水管だけでは効果的な集水が難しい場合には、地下水集排水管の上に排水層を面的に併設すること。

イ．地下水ピット
１）鉄筋コンクリート造とし、維持管理、点検及び地下水の採水を容易かつ安全に行うことができる構造であること。
２）水密性を有する構造とすること。
３）地震動（第1段階及び第2段階）に対する安全性の照査を行い、それぞれに必要な耐震性を有する構造とすること。
４）必要に応じて、貯蔵地の鉛直方向への拡張時の構造耐力・維持管理等を考慮した構造とすること。
５）地下水ピットは、貯蔵地の配置や地形に応じて効率的に集排水可能な配置とする。
６）地下水ピットは貯蔵地の外側に設置すること。
７）地下水集排水管に複数の幹線の系統を設ける場合には、幹線系統ごとに地下水ピットを設けることを基本とすること。また、貯蔵地の拡張時にも地下水ピットを撤去することなく使用できるようにすることを基本とする。
８）浸出水集水ピット（第7節参照）と一体構造とすることができる。
９）地震動に対する安全性の照査の結果を踏まえ、必要に応じて、地下水集排水管と地下水ピットの接続部に可とう性継手を設けるなどの対策を講ずること。
１０）津波浸水区域においては、津波が地下水ピット内へ浸入しない構造とすること。
１１）地下水ピットの流入口及び流出口は、バルブ・ゲートの設置等により、地下水の流入及び流出を止めることができるようにすること。
１２）地下水ピットは、地下水に異常があった場合に、浸出水集水ピットを経由する等して浸出水処理施設へ送水できる構造とすること。

第６節　遮水工

１．基本事項

１）遮水工は、貯蔵地からの保有水等の公共の水域及び地下水への浸出を防止するために必要な遮水効力を有すること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">諸元</th></tr>
<tr><td rowspan="2">遮水工</td><td>底面部</td><td>（上層より）不織布＋遮水シート＋ベントナイトマット＋遮水シート＋不織布</td></tr>
<tr><td>法面部</td><td>底面部と同様</td></tr>
<tr><td>固定工</td><td colspan="2">コンクリート</td></tr>
<tr><td>保護土（底面）</td><td colspan="2">購入砂 t=50cm</td></tr>
</table>

３．技術的要件

ア．遮水工

１）遮水シートの損傷を防止する適切な保護機能を有した遮水構造であること。

２）基礎地盤が除去土壌等の埋立てにより沈下することに対しては、沈下量を算定し、必要に応じてその沈下を抑えるために必要な強度が確保できるように対策の検討を行うこと。沈下量の許容変位量を 10cm 以下とすること。なお、貯蔵地の拡張についても考慮したものとすること。

３）地震により液状化することに対しては、液状化の判定を行い、対策の必要性と内容を検討すること。液状化の判定には、以下の設計水平震度を用いる。

項目	条件
設計水平震度（大熊）	第１段階　0.63、第２段階　0.79

４）遮水工に用いる材料は、以下に規定する材料毎の規格値に対する試験成績書（公的機関を原則とする）を提出すること。

５）貯蔵地内に一時的に貯留される保有水等が達するおそれがある水位よりも高い位置にある小段から上の法面部においては、ベントナイトマットを不織布に置き換えてもよい。

６）遮水工は、必要に応じて、貯蔵地の拡張を考慮した構造（端部処理）とすること。

イ．遮水シート

１）「廃棄物最終処分場設計要領」に示されている合成ゴム系・合成樹脂系（中弾性タイプ）と同等以上の材料とし、日本遮水工協会の認定品とすること。

２）基本特性及び耐久性等に係る特性は、「廃棄物最終処分場設計要領」の目安値を満足すること。

３）厚さは 1.5mm 以上とすること。

４）施工・検査は、「廃棄物最終処分場　遮水工技術・施工管理マニュアル（日本遮水工協会)」に基づいて行うこと。

５）接合部は、熱融着により接合すること。

６）施工は、日本遮水工協会が認定する遮水工管理技術者・遮水工施工技能者が行うこと。

７）遮水シートの融着機械は、日本遮水工協会の遮水シート融着機検定制度に基づく定期点検を実施すること。

８）接合部について、重ね幅、接合幅、水密性、接合部強度の検査を行うこと。重ね幅、接合幅、水密性については接合部の全数で検査すること。

９）水密性は、容器方式負圧検査、加圧式検査のいずれかの方法で検査すること。

１０）遮水工全面（上面の遮水シートを対象）の水密性について、底面部は保護土施工後に遮水工施工時管理システムにより、それ以外の箇所は遮水シート施工後に電気的検査（スパーク検査等）により検査すること。

１１）電気的検査（スパーク検査等）の実施にあたり、必要により遮水シートの下層に導電性マットを設置、または導電層と一体になった遮水シートを使用すること。

ウ．遮水工施工時管理システム

１）遮水工施工時管理システムは、遮水工の施工完了時（保護土の施工完了時）に遮水工全体の水密性について検査することを目的に設置すること。

２）検知方法の種類は電気的検知法とすること。

３）検知範囲は貯蔵地の底面部とし、検知対象シートは上面シートとすること。

４）異常箇所の検知範囲の精度は、25 ㎡以下とすること。

５）検査終了後、設置した遮水工施工時管理システムが埋立作業等に支障となる場合は撤去等を行うこと。

６）国内の最終処分場において検査実績のあるものとすること。

エ．ベントナイトマット

１）ベントナイトマットは、膨潤力 20mL/2g 以上（JBAS-104-77）、ベントナイト質量 4.0kg/㎡以上（ASTM D 5993）、引張強度たて 9.5kN/m 以上・よこ 9.0kN/m 以上（JIS L 1096）、透水係数 5×10^{-9}cm/s 以下（JIS A 1218）、貫入抵抗 500N 以上（ASTM D 4833）を満足する材料とすること。

２）重ね幅は、150mm 以上とすること。

３）施工・検査は、「廃棄物最終処分場　遮水工技術・施工管理マニュアル（日本遮水工協会）」に基づいて行うこと。

４）重ね部は、粉状（粒状）ベントナイトや、ベントナイトペースト等により止水することを基本とし、重ね部を含めて上記の透水係数を満足すること。

５）重ね部について、重ね幅を全数で検査すること。

オ．不織布

１）不織布の材質は、合成繊維・合成樹脂とし、目付量 1,000g/㎡以上、厚さ 10mm 以上、貫入抵抗 500N 以上を満足する材料とすること。

２）強度、耐久性等は、使用する不織布の種類に応じた「廃棄物最終処分場設計要領」に示される目安値を満足する材料とすること。

３）接合部は、熱融着により接合することを原則とする。

４）重ね幅は 100mm 以上、接合幅は 50mm 以上とする。

５）施工・検査は、「廃棄物最終処分場　遮水工技術・施工管理マニュアル（日本遮水工協会）」に基づいて行うこと。

６）重ね幅、接合幅、接合状態を、接合部の全数で検査すること。

カ．固定工

１）遮水シート、不織布等が滑落しないように、法肩、小段等に必要に応じて固定工を設けること。

２）固定工の構造は、遮水シートの施工に配慮したものとすること。

３）固定工の必要重量を確認するための計算書を提出すること。

キ．保護土（底面）

１）不織布の上部に厚さが概ね 50cm 以上の保護土を敷設すること。

２）保護土は、購入砂（50cm）とすることを基本とすること。良質な現地発生土等が得られる場合には、その利用を検討すること。

３）保護土の敷均し及び締固めにあたっては、重機械の急停止や急旋回を避け、下部の遮水工を損傷しないように注意すること。

第７節　保有水等集排水設備工

１．基本事項

１）保有水等集排水設備は、保有水等を有効に集水し、浸出水処理施設へ速やかに送水できる能力を有すること。

２）保有水等集排水設備は、積載荷重、地震に対して堅固で耐久力を有すること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元
保有水等集排水管	（幹線）高密度ポリエチレン管（ダブル）有孔　φ300 （支線）高密度ポリエチレン管（ダブル）有孔　φ200 （堰堤下等の無孔部） 耐圧ポリエチレンリブ管　無孔　φ300
排水縦孔	高密度ポリエチレン管（ダブル）有孔　φ200
浸出水集水ピット	鉄筋コンクリート造
浸出水連結管	耐圧ポリエチレンリブ管　無孔　φ300

３．技術的要件

ア．保有水等集排水管

１）幹線は、自然流下により浸出水集水ピットへ流下させること。

２）配置形式は幹線と支線により構成される分枝形、支線の配置間隔は 20m 以下を基本とし、貯蔵地の形状に応じて効率的に集水可能な配置とする。

３）貯蔵地の水平方向への拡張を考慮し、幹線は必要に応じて隣接区画の保有水等集排水管（幹線）に接続可能な管径・配置とすること。

４）管渠等は、必要に応じて、貯蔵地の鉛直方向への拡張も考慮し、積載荷重に対して、十分な耐力を有する構造とすること。

５）管径等を決定するにあたっては、浪江気象観測所における平成 18 年の日降水量と「廃棄物最終処分場設計要領」に示される算定方法を用いて、日最大の浸出水量を１日で排水する能力を有するものとすること。なお、被覆工等を設けるなどの浸出水の発生量を軽減する措置をとる場合には、その効果を考慮した能力とすること。

６）支線の管径は 200㎜以上とすること。

７）管渠の断面積は、80%を通水に有効な断面積とすること。

８）管渠の周囲を被覆材（砕石を基本とする）で覆うこと。

９）被覆材の周囲を吸出し防止材で覆うこと。

１０）保有水等集排水管は、排水縦孔とともに、ガス抜き孔も兼ねるものとすること。

１１）管渠等は、遮水工を損傷させない構造・施工とすること。

１２）保有水等集排水管が遮水工を貫通する部分は、十分な止水処理を講ずること。

１３）貯蔵地の外に設ける管渠等は水密性を有する構造とすること。

イ．排水縦孔

１）除去土壌中に鉛直方向に設け、排水先は保有水等集排水管とすること。

２）管径は200㎜以上とし､貯蔵地面積2,000㎡に１箇所以上設けることを基本とすること。

３）排水縦孔の周囲を被覆材（砕石を基本とする）で覆うこと。

４）被覆材の周囲を吸出し防止材で覆うこと。

ウ．浸出水集水ピット

１）鉄筋コンクリート造とし、タラップ、ポンプの吊り上げ装置等を設け、維持管理、点検及び浸出水の採水を容易かつ安全に行うことができる構造であること。

２）送水ポンプにより浸出水を送水する場合は、浸出水集水ピットの天端の高さは、貯蔵地内の高さ５ｍより高くすることを基本とする。

３）浸出水集水ピットには、沈砂ピットと送水ピットを設け、沈砂ピットでは浸出水に含まれる砂分を排砂できるようにし、送水ピットでは浸出水を浸出水調整設備（第８節参照）へ送水できるようにすること。

４）水密性を有する構造とすること。

５）浸出水集水ピットの流入管は、バルブ・ゲートの設置等により、保有水等の流入を止めることができるようにすること。

６）地震動（第１段階及び第２段階）に対する安全性の照査を行い、それぞれに必要な耐震性を有する構造とすること。

７）必要に応じて、貯蔵地の鉛直方向への拡張時の構造耐力・維持管理等を考慮した構造とすること。

８）浸出水集水ピットは、貯蔵地の配置や地形に応じて効率的に集排水可能な配置とする。

９）浸出水集水ピットは貯蔵地の外側に設置すること。

１０）保有水等集排水管に複数の幹線の系統を設ける場合には、幹線ごとに浸出水集水ピットを設けるなど、維持管理、機械の故障等を考慮して配置すること。また、貯蔵地の拡張時にも浸出水集水ピットを撤去することなく使用できるようにすることを基本とする。

１１）地震動に対する安全性の照査の結果を踏まえ、必要に応じて、保有水等集排水管と浸出水集水ピットの接続部に可とう性継手を設けるなどの対策を講ずること。

１２）津波浸水区域においては、津波が浸出水集水ピット内へ浸入しない構造とすること。

エ．浸出水連結管

１）貯蔵地の水平方向への拡張を考慮し、必要に応じて、浸出水集水ピットから、隣接区画の浸出水集水ピットへ接続するための浸出水連結管を設けること。

２）浸出水連結管の管径・構造等は、「ア．保有水等集排水管」によるものとし、水密性を有する構造とする。

３）浸出水連結管は、浸出水集水ピット内で蓋（フランジ）をしておくこと。

第８節　浸出水処理施設工

１．基本事項

１）浸出水を排水基準（公害防止基準参照）を満たすように処理するために、浸出水処理施設を設けること。

２）浸出水処理施設は、貯蔵地から浸出水調整設備へ浸出水を送水するための浸出水送水設備、浸出水処理設備へ流入する水量・水質を調整することができる浸出水調整設備及び放流水の水質を適正に維持することができる浸出水処理設備により構成すること。

３）要求水準書に明記されていない事項であっても、本工事の目的達成のために必要な設備等または本工事の性質上当然に必要となる設備等を受注者の責任と負担において完備するとともに、本工事の目的達成のために必要な工事または本工事の性質上当然に必要となる工事を遂行すること。

２．計画主要目

計画主要目は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。浸出水処理施設における処理フローは、添付資料 7「浸出水処理施設処理フロー（参考)」を参照のこと。

１）処理能力

浸出水処理水量　　　960 ㎥/日以上

浸出水調整設備容量　8,300 ㎥以上

２）水処理方式

凝集沈殿処理 ＋ 砂ろ過処理 ＋ ゼオライト吸着処理

４）汚泥処理方式

汚泥重力濃縮 ＋ 脱水処理

５）放流先の種類

河川

６）原水水質及び放流水水質

主要な水質値を以下に示す。この他、放流水質は「公害防止基準」による。原水水質を記載していない項目は、排水基準を大きく超えることは想定していない。

項目	原水水質	放流水水質
水素イオン濃度	5.0～9.0※	5.8～8.6
浮遊物質量	950mg/L	60mg/L 以下
放射性物質	135Bq/L	急激に変化しないこと

※　水質イオン濃度は、貯蔵する土壌の性状（改質材の種類）等により変動する可能性がある。

7）脱水汚泥の性状

脱水汚泥含水率　85%以下

8）処理時間

浸出水処理　24 時間/日

汚泥処理　　[　]h/日　[　]日/週

9）処理系列

凝集沈殿処理、砂ろ過処理については、2 系列以上（例：480 ㎥/日×2 系列）とすること。

ゼオライト吸着処理は、1 系列を基本とすること。

３．設備概要

1）浸出水送水設備

貯蔵地の周囲に設ける浸出水集水ピットから浸出水調整設備へ浸出水を速やかに送水できるものであること。浸出水集水ピットは 4 か所とし、浸出水集水ピットから浸出水調整設備までの距離は 100m 程度とする。

2）浸出水調整設備

流入する浸出水の水量及び水質の変動を緩和し、安定した処理を行えるものであること。

3）浸出水処理設備

(1)　凝集沈殿設備

浸出水の pH を調整するとともに、浸出水中の放射性物質及び浮遊物質等を凝集沈殿処理により除去する設備であり、凝集剤等の添加により安定して処理できるものとすること。

(2)　砂ろ過設備

凝集沈殿処理水中の放射性物質及び浮遊物質等を砂ろ過処理により除去するための設備である。

(3)　ゼオライト吸着設備

処理水中に残留する溶解性の放射性物質等をゼオライト吸着処理により除去するための設備である。

(4)　監視・放流設備

処理水の濁度及び放射能濃度を連続測定し、問題がないことを確認した後に放流する設備である。

(5) 薬品注入設備

本施設に必要な薬品を供給するための設備であり、安定して定量の薬品を供給できるものであること。

(6) 汚泥処理設備

処理過程から排出される汚泥を濃縮後、脱水して搬出するための設備であり、搬出が円滑に行える構造及び脱離水が流出しない構造とすること。

4）電気設備

浸出水処理施設の運転に必要なすべての電気設備及び配線工事である。

5）計装設備

浸出水処理施設の運転に必要なすべての計装設備及び配線工事であり、地下水ピットにおける地下水の測定設備を含むものである。

6）建築（監視室）

浸出水処理施設の監視等をするための建屋である。

7）その他設備

その他、必要に応じて本施設に必要な設備を設けること。

4．各設備共通仕様

1）歩廊・階段・点検床等

(1) 運転、点検及び保全のため、機器等の周囲に歩廊、階段、点検床、点検台等を設けること。

(2) 作業の安全を考慮した通路幅を確保し、高所においては手摺等を設けること。

2）配管

(1) 勾配、保温、防露、防振、防錆、凍結防止、水撃防止、エア抜き等を考慮して計画し、つまりが生じ易い流体用の配管は、掃除が容易な構造とすること。

(2) 管材料は、使用目的に応じた水密性を有する最適なものを選定すること。

3）電動機

(1) 電動機の定格電圧、定格周波数は、電気方式により計画するものとし、汎用性、施工性、経済性等を考慮して選定すること。

(2) 原則として、水中ポンプを除いて全閉外扇屋外型とし、設置場所の環境に応じた適切な防爆、防塵、防滴構造を有すること。

(3) 低圧電動機の絶縁種別はＥ種以上とし、高圧電動機はＦ種とすること。

(4) 始動時の電源への影響を十分考慮して決定すること。

4）塗装

(1) 塗装については、耐熱、耐薬品、防食、配色等を考慮すること。なお、配管の塗装については、各流体別に色分けし、流体表示と流れ方向を明記すること。

5）機器構成

(1) 主要な機器は、現場操作可能とし、必要に応じて切替方式により遠隔操作が可能とすること。操作は、現場優先とすること。

(2) 原則として常時自動運転が行えるものとして計画すること。ただし、汚泥処理については、主要機器の機側手動操作により行えるものとする。

(3) 停電に際し、必要に応じて復電時の自動復帰回路を設ける。
(4) 振動・騒音の発生する機器は、防振・防音対策に十分配慮すること。
(5) 騒音が著しい送風機類には、必要なサイレンサを設置すること。
(6) 本施設内の雨水は、雨水排水設備へ排水する。

６）寒冷地対策

(1) 寒冷地であることを考慮し、設計上十分な対策を行うこと。
(2) 配管・弁・ポンプ・タンク等の運転休止時の凍結防止対策は、水抜き処置によることを基本とするが、運転時に凍結のおそれのあるものは、ヒータ等による対策を講ずること。
(3) 計装用空気配管の凍結防止対策として、計装用空気は除湿すること。
(4) 電気機器、盤類の凍結防止、雪の吹込防止対策を講ずること。
(5) 凍結のおそれのある薬品タンクには、ヒータ等凍結防止対策を講ずること。

７）地震対策

建築基準法、消防法、労働安全衛生法等の関係法令を遵守した設計とし、以下を考慮すること。

(1) 建築物は、建築基準法に基づき、耐震性、その他外力を考慮した設計とすること。
(2) 浸出水処理施設は、供用期間中に1～2度発生する確率が高い地震動（塩屋崎沖地震（1938年））に対して、施設の機能の健全性を確保すること。ただし、浸出水調整設備は「4.機械設備の技術的要件」に基づくものとする。
(3) 薬品タンクの設置については、薬品の種類毎に必要容量の防液堤を設けること。
(4) 電源あるいは計装用空気源が断たれたときは、各バルブ、ダンパ等の動作方向はプロセスの安全側に働くものとすること。

８）その他

(1) 浸出水処理施設の漏水対策は、「地下水汚染の未然防止のための構造と点検・管理に関するマニュアル」（環境省）を参考として対策を講ずること。
(2) 必要な箇所に荷役用ハッチを設けること。
(3) 海岸に近いことから、塩害について対策を行うこと。

５．機械設備の技術的要件

ア．浸出水送水設備

１）浸出水集水ピット（4か所）は沈砂ピットと送水ピットで構成される。
２）沈砂ピットには､排砂ポンプを1台以上設置し､浸出水に含まれる砂分を排砂すること。
３）排砂ポンプは、排砂が可能な設備用の水中ポンプ（着脱式）とすることを基本とする。
４）送水ピットには、送水ポンプを2台以上（送水ピットが複数ある場合はピットごとに2台以上）設置し、浸出水を浸出水調整設備へ送水できるようにすること。
５）送水ポンプは、保有水等集排水設備により集まる水量を速やかに送水できる能力（吐出量、揚程）を有するものとし、最大浸出水量（ピット1か所あたり1,972㎥）を1日で送水することを基本とし、より多くの浸出水が集まった場合を想定して、2台同時運転できるようにすること。送水ポンプの全揚程は20m程度とする。
６）送水ポンプは、埋立中は、浸出水量が多く使用期間が短いことから工事用のポンプを使

用してもよい。ただし、被覆工（キャッピング工）を施した後の貯蔵中は、設備用の水中汚水汚物ポンプ（着脱式）に切り替えることを基本とし、本工事では切り替えは行わないものの、切り替えに配慮した構造としておくこと。

７）送水に必要な配管工事を含む。圧送管は、水密性を十分に確保するものとし、「下水道施設の耐震対策指針と解説」（日本下水道協会）の「第5節　一体構造管きょの耐震設計」に基づくものとする。なお、圧送管については、継手の抜け出し防止に配慮する。

８）貯蔵地内の水位を測定するために、水位計とロガーの一体タイプを排水縦孔に設置すること。設置位置は、浸出水集水ピットを設置する区画の中で最も水位が高くなる排水縦孔（計4か所）とする。

イ．浸出水調整設備

１）必要容量を貯水することができる堅固で耐久性を有する水密な鉄筋コンクリート造の浸出水調整槽を設置すること。鉄筋コンクリート造は、現場打ちコンクリートによることを基本とする。

２）浸出水調整槽は、浸出水集水ピットに設ける送水ポンプにより送水される浸出水及び、他施設等から運搬される汚水を貯水できる構造とすること。

３）浸出水調整槽には、雨水が浸入しないように覆蓋を設けること。覆蓋は、膜材や合成樹脂等による簡易な構造とすることを基本とする。

４）浸出水調整槽の貯水部分には、クラック追従性を有する厚さ 1.5mm 以上の防水塗装を施すこと。防水塗装は、「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」（日本下水道事業団）に基づいて、コンクリートの前処理、表面処理、素地調整、施工、検査（ピンホール試験を含む）を実施すること。

５）浸出水調整槽は、有効水深を[５]m とし、維持管理等を考慮して間仕切り壁で2槽以上に分割すること。

６）浸出水調整槽は、地震動（第1段階及び第2段階）に対する安全性の照査を行い、それぞれに必要な耐震性を有する構造とすること。耐震性能は、第1段階の地震動に対しては施設の機能の健全性を確保するものとし、第2段階の地震動に対しては安全性を確保し、軽微な損傷が生じても速やかに修復が可能とするものとし、「下水道施設の耐震対策指針と解説」（日本下水道協会）に基づいて設計すること。

（第1段階の地震）

供用期間中に1～2度発生する確率が高い地震動とし、塩屋崎沖地震（1938年）とする。

（第2段階の地震）

中間貯蔵施設の整備区域で想定される最大規模の地震動とし、東北地方太平洋沖地震（2011年）とする。

７）地盤面は、平坦とするとともに、貯水時に沈下等が生じない耐力を有すること。

８）浸出水処理設備へ送水するため、ポンプは2台以上を設置し、交互運転を基本とする。

９）浸出水調整設備に必要な配管工事を含む。

１０）現況地盤からの掘削から浸出水調整槽施工後の埋戻しまでを含むものとし、その他の造成・地盤改良は「第3節　造成工」に含むものとする。

ウ．浸出水処理設備

１）濁水処理装置等の既製品の処理設備等を有効活用すること。

２）ポンプは 2 台以上を設置し、交互運転を基本とする。

３）水槽は鋼板製を基本とし、十分な水密性を有するものとし、防錆等のための必要な塗装等を施すこと。

４）砂ろ過設備は、固定床式圧力式を基本とすること。

５）ゼオライト吸着設備は、固定床式圧力式を基本とし、2 塔以上（予備塔は設けない）を直列で配置し、通水する順序を入れ替えることができる設備とすること。

６）監視・放流設備は、処理水貯槽及び濁度・放射能濃度の測定機等により構成すること。

７）砂ろ過処理後の監視・放流設備（処理水貯槽）において濁度及び放射能濃度を連続測定し、問題がないことを確認した後に放流する設備とすること。また、連続測定の結果、濁度が急激に変化した場合は処理水を浸出水調整設備へ返送し、濁度は変化せず放射能濃度が急激に変化した場合はゼオライト吸着設備への送水に切り替えることができる設備とすること。

８）ゼオライト吸着処理を行っている際に、ゼオライト吸着処理後の監視・放流設備（処理水貯槽）において放射能濃度を連続測定し、問題がないことを確認した後に放流する設備とすること。また、急激な変化があった場合に浸出水調整設備へ返送できる設備を設けること。

９）上記の浸出水調整設備への返送及びゼオライト吸着設備への送水への切り替えは、手動により行うことを基本とする。

１０）脱水前の汚泥の放射能濃度を測定し、必要により珪藻土を投入することにより脱水汚泥の濃度を 8,000Bq/kg 以下（凝集剤の添加を考慮した濃度）とすることができる設備を設けること。本設備の設計においては、SS の放射能濃度は 20,000Bq/kg（乾土、凝集剤除く）、脱水後の汚泥含水率は 40%とすること。

１１）浸出水処理設備は、コンクリート面に設置するとともに、浸出水処理設備の流入部から砂ろ過処理設備まで及び汚泥処理設備のコンクリート面の外周には防液堤を設けること。

１２）薬品タンクの容量は計画使用量の 10 日分以上を基本とし、必要に応じて薬品置場を確保すること。

１３）浸出水処理に必要な配管工事を含む。

６．電気設備の技術的要件

１）商用電源受電は高圧または低圧とし、受電第一柱の設置位置は電力会社との協議により決定すること。

２）一般事項

(1) 雷による諸設備への支障が生じないように、必要箇所への避雷器の設置等、十分な避雷対策を行うこと。

(2) 感電対策として、できるかぎり充電部の露出を避けるとともに十分な離隔距離を確保すること。

(3) 高圧充電部は隔離するとともに、必要な危険表示を行うこと。

（4） 低圧側漏電保護については、主幹及び分岐回路にて行うこと。
（5） 地落、遮断保護協調、絶縁協調を図ること。
（6） 自立盤の扉は、鋼板の厚みを[3.2]mm とすること。
（7） 屋外盤は、耐塩塗装とすること。

３）浸出水処理施設に電気を供給するための設備として、必要に応じて高圧受配電盤・変圧器盤・進相コンデンサ盤・低圧配電盤を設ける。また、動力設備の監視・制御・操作に必要な、動力制御盤・現場操作盤を設ける。

４）指示計には実目盛を原則とし指針付とすること。

５）一挙動スイッチ類には外力等による誤作動防止を設けること。

６）温度上昇が考えられる箇所・機器類にはサーモラベルを貼ること。

７）制御電源には盤毎にスイッチを設けること。

８）試験用として零相変流器（ZCT）に電線を貫通させて端子台接続とすること。

９）負荷に対する保護等は、過負荷対策・瞬停対策・漏電保護対策・自動交互・故障飛越・自己保持等の機能を施すこと。

１０）盤類については、必要に応じて雨水対策・高温対策・塩害対策・結露対策・防塵対策・風対策を施すこと。

１１）盤内は以下を基本とすること。
（1） ケーブル結束バーを設け端子台に直接負荷がかからないこと。
（2） 盤内照明灯を設置すること。
（3） 盤内は、系統機能単位毎に整理区分し配置すること。
（4） 主要盤内にコンセントを設けること。
（5） 盤は鍵付きハンドルとすること。
（6） 扉を開いた状態で充電部が露出しない構造とすること。

１２）電力量を記録（積算）できるようにすること。

１３）停電等の際に、設備を正常に停止する機能を維持するため、必要に応じて交流無停電電源装置または非常用発電機を設けること。

１４）構内引込用柱上開閉器は以下を基本とすること。
（1） 電力会社と協議し電力系統の保護協調を図ること。
（2） 過電流ロック機構と地絡方向性を持たせること。
（3） 重耐塩または SUS 製とする。

１５）配線の方法及び種類は、工事用地条件、短絡電流、負荷容量、電圧降下等を考慮して決定すること。

１６）ケーブル工事、金属ダクト工事、ケーブルラック工事、金属管工事、バスダクト工事、地中埋設工事等、各工事用地条件に応じ適切な工事方法とすること。

１７）接地工事は、電気設備技術基準に定められているとおり、A 種、B 種、C 種、D 種接地工事等の接地目的に応じ適切な工事方法とすること。

１８）エコケーブルを原則とすること。ただし、特にエコケーブルを使用しにくい理由があって、監督職員が承諾した場合は使用を限定するものとしない。

１９）機械設備に付属されている盤類において、上記の電気設備の要件によることが困難な場合は、監督職員と協議すること。

７．計装設備の技術的要件

１）本設備は、処理状況、作業環境を適切に監視・管理できるとともに、浸出水処理管理に必要な情報収集を合理的、かつ迅速に行うことを目的にしたものであること。

２）処理の確実性、作業員の被ばく量を考慮のうえ、本施設の操作・制御の集中化と自動化は提案によるものとする。

３）処理状況の監視・制御のための計装機器を設けること。

４）浸出水集水ピット水位（ポンプ圧送時）、浸出水量、浸出水調整設備水位、処理水量、放流水量等の測定装置を設けること。測定値は、指示及び記録・積算するものとし、必要により水位高等の警報を出すこと。

５）監視・放流設備（砂ろ過設備の後段）には、濁度計及び NaI シンチレータにより処理水を連続測定し、指示・記録できる装置を設けること。濁度または放射能濃度が急激に変化した場合は、警報を出すことができるようにすること。

６）監視・放流設備（ゼオライト吸着設備の後段）には、NaI シンチレータにより処理水を連続測定し、指示・記録できる装置を設けること。放射能濃度が急激に変化した場合は、警報を出すことができるようにすること。

７）地下水ピット（4 か所）より地下水を採水し、NaI シンチレータにより地下水を連続測定し、指示・記録できる装置を設けること。地下水の採水量は、測定に必要な水量とする。地下水の放射能濃度が急激に変化した場合は、警報を出すことができるようにすること。

８）警報装置は、夜間の運転を考慮して予定地外の関係者へ自動通信できるものとすること。警報項目は、主要機器の故障、浸出水調整設備を含む各種水槽の高水位、水質の異常等とすること。

９）監視室に中央監視装置等を設け、監視・管理ができるようにすること。

１０）中央監視装置等は、各種の日報・月報・年報を集計・記録保存・出力（A3 対応）できること。表の項目等の様式は、監督職員の承諾を受けること。処理期間分のデータを保存できる十分な容量の記憶装置、液晶モニタ（24 インチ以上）、必要な付属品（マウス、キーボード、デスク、椅子等）を設けること。

８．建築（監視室）の技術的要件

１）中央監視装置等を設置するための監視室（[25]㎡程度）を設けること。

２）監視室は、[組立式仮設ハウス]とし、[コンセント、換気扇、エアコン、蛍光灯、アルミサッシ窓]を設ける。

３）関係法令、基準、規則等を遵守し、監督官庁の指導に従うこと。

４）寒冷地であることを考慮し、積雪に対する十分な強度を確保するとともに、必要箇所には最適な結露防止及び断熱性能を確保し、また建物内外の凍結に十分配慮すること。

５）換気設備、消防設備、照明設備、防犯設備等、必要な設備を設けること。

９．その他設備

１）浸出水処理施設に必要な工具、測定機器一式を準備し、適宜校正を行うことができるものとすること。

２）浸出水処理施設に必要な予備品、消耗品を準備すること。

第９節　雨水集排水設備工

１．基本事項

１）雨水集排水設備は、貯蔵地外からの地表水が貯蔵地へ流入するのを防止することができる能力、貯蔵地内の雨水を有効に集め排出することができる能力を有するとともに、開発に伴う流量増に対応できるものとすること。

２）受入・分別施設用地の雨水排水設備についても含むものとする。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元
排水溝	鉄筋コンクリートU形、ベンチフリューム、集水桝等
防災調節池	土構造

３．技術的要件

ア．排水溝

１）土壌貯蔵施設の排水溝は、貯蔵地の周囲に設けることを基本とする。その他、必要な排水溝を設けること。排水先は防災調整池（沈砂池）とすることを基本とする。

２）受入・分別施設は、用地の地形等を考慮して、必要に応じて用地の周囲に排水溝を設置し、下流河川等へ放流すること。排水先は防災調整池（沈砂池）とすることを基本とする。

３）土壌貯蔵施設の排水溝の断面形状等の決定にあたっては、合理式により、短時間降雨強度に 135mm/h、流出係数に貯蔵地内 0.9、貯蔵地周辺林地 0.6、路面及び造成法面 0.9 を用いることを基本として雨水排水量を算定すること。

４）受入・分別施設の排水溝の断面形状等の決定にあたっては、福島県の「宅地造成等開発行為に伴う防災対策の取扱い要綱」に基づいて､10 年確率の降雨強度式を適用すること。降雨強度式における流達時間の算出についても上記の要綱に基づくものとし、流出係数は土壌貯蔵施設と同様とし、建屋の屋根は「路面及び造成法面」と同値とすること。

５）開水路の余裕高は、水路高さの２割以上とすること。

６）工事用地の背後地の表流水は、できるだけ工事用地内に流入しないように適正に排水すること。

７）排水溝は、貯蔵地の水平方向への拡張を考慮し、必要に応じて、隣接区画の排水溝に接続可能な規模・配置とすること。

イ．防災調節池（沈砂池）

１）開発行為に伴う流量増対策として、「福島県「開発許可制度の手引<防災基準編>」等を参考として防災調節池の設置等を検討すること。

２）線量低減措置後から貯蔵中の間、排水溝（背後地の排水は除く）は原則として沈砂池へ排水し、沈砂後に下流河川等へ放流すること。

３）防災調整池と沈砂池は兼ねることができる。

４）防災調節池の法面は芝張（種子吹付、人工張芝等）を基本とすること。

５）防災調整池（沈砂池）からの放流水は、定期的（1回/月以上）にSSを測定できるものとすること。

６）防災調整池（沈砂池）は、上記の測定のため、採水可能な構造とすること。

７）沈砂池は、十分な滞留時間を確保した面積とすること。

８）沈砂池は、被覆工を施す前に排砂すること。その他、工事期間中に必要に応じて排砂すること。

第１０節　モニタリング設備工

１．基本事項

１）モニタリング設備は、土壌貯蔵施設の周縁の地下水の水質への保有水等の影響の有無を監視することができるものであること。

２）モニタリング設備は、地下水の水質検査を行うことができるものであること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元
水質観測井戸	保孔管VPφ50、深度10m、 土壌貯蔵施設、受入・分別施設

３．技術的要件

１）水質観測井戸は、施設の周縁に地下水流の上下流方向に沿って、上流側においては少なくとも1か所、下流側においては地下水の広がりに応じて1か所以上に設置し、効果的に観測可能な配置とすること。

２）水質観測井戸の配置・深度は、地下水観測調査結果及び地下水解析結果を踏まえること。

３）水質観測井戸の深度は、監視対象とすべき地下水を捕捉できる深度とし、有孔管には、必要に応じて巻網等を施し、保孔管内への砂粒子の流入を防止すること。

４）水質観測井戸の孔口部からの地表水の流入を防止する構造とすること。このため、四方をコンクリート枠等で囲うとともに、無孔管区間を適正に配置し、孔口にはキャップを設けること。

５）津波浸水区域においては、津波により水質観測井戸孔内が埋塞しない構造とすること。

６）無孔管と有孔管の境界部分は、シール材またはパッカー等を用いて孔壁部を遮水すること。

７）掘削径は86mm以上、保孔管の内径は50mm以上とすること。

８）保孔管は、維持管理、採水等を考慮して、地表面より50cm程度立ち上げること。

9）保孔管の底部には、エンドキャップを設けること。

第１１節　道路工

１．基本事項

1）既存の道路から貯蔵地までの運搬に使用する搬入道路、貯蔵地内の運搬に使用する場内道路、土壌貯蔵施設及び浸出水処理施設を管理するための管理道路を設けること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元
搬入道路	アスファルト舗装、全幅 8.5m（車道 6m 以上）
場内道路	敷鉄板、全幅 8.5m（車道 6m 以上）
管理道路	敷鉄板またはアスファルト舗装、全幅 4m 以上（車道 3m 以上）

３．技術的要件

1）舗装は、敷鉄板によることを基本とし、将来、施設の管理に必要となる道路についてはアスファルト舗装とする。

2）敷鉄板は、工事終了時には撤去すること。

3）「第 4 節　堰堤工」に示す洗掘防止工を兼ねる管理道路はアスファルト舗装とし、道路構造令第 23 条 2 項を満たす構造とすること。

4）運搬時の走行の安全性を考慮して、道路幅、縦断勾配を設定するとともに、ガードレール等の防護設備の設置を検討すること。

5）道路工は、必要に応じて、貯蔵地の拡張時の進入方法に配慮したものとすること。

第１２節　付帯設備工

１．基本事項

1）指針の規定を考慮して、貯蔵地散水設備、囲障設備等を設けること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	設置場所	諸元
貯蔵地散水設備	貯蔵地内等	スプリンクラー、井戸、給水設備等
囲障設備	土壌貯蔵施設外周	ガードパイプ、ネットフェンス、門扉
その他設備	土壌貯蔵施設入口等	掲示板 消火器　2 セット

３．技術的要件

ア．貯蔵地散水設備

１）埋め立てた除去土壌の飛散防止のために散水設備を設置すること。

２）散水設備は、スプリンクラー等を用いて、貯蔵地全域をできるだけ均等に散水できるようにすること。

３）散水用水は、井水を用いることを基本し、必要に応じて、貯水用のタンクの設置、雨水の利用を検討すること。

イ．囲障設備

１）囲障設備は、土壌貯蔵施設の工事用地を明示するため、または貯蔵の場所であることを示すため、または必要のある者以外の者を立ち入らせないために設けるものである。

２）土壌貯蔵施設の周囲に柵（ネットフェンス H=1.8m）を設けるとともに、道路の出入口には門扉を設置すること。ただし、速やかに拡張する仕切堤の部分には、移設を考慮した柵（ガードパイプを基本）を設けること。

３）土壌貯蔵施設と浸出水処理施設、その他設備の用地が道路等で分離している場合は、それぞれの用地毎を囲障設備で囲うこと。

４）門扉は、施錠が可能なものとすること。

ウ．その他設備

１）指針に基づき、貯蔵の場所であること、掲示板を土壌貯蔵施設の出入口に設置すること。

１）空間線量率の測定結果を表示するための看板を掲示板付近に設置すること。

２）消火設備として、ABC 消火器２基（格納箱付き）を土壌貯蔵施設の出入口付近に設置すること。

第１３節　道路補修工

１．基本事項

１）除去土壌の輸送及び運搬において、車両の通行に支障がある現道について補修を行うこと。

２．技術的要件

１）補修後の舗装構成は、通行する車両台数等から検討を行うこと。

２）補修により発生したアスファルトガラ等の扱いは監督職員の指示によるものとする。

第 3 編　埋立工事に関する要件

第1章　一般事項

受注者は、自ら設計、建設した土壌貯蔵施設による埋立工事を、実施設計図書として作成する埋立マニュアルに基づき、責任をもって実施すること。また、関係法令を遵守し、安全確保に努めること。

第１節　埋立マニュアルの作成

１）受注者は、埋立工事に対する体制、報告書様式及びマニュアルをとりまとめ埋立マニュアル（浸出水処理関係を含む）として作成し、監督職員の承諾を受けること。

２）受注者は以下に示す構成を参考に、埋立マニュアルを作成すること。

(1) 埋立工事体制

① 各工事の体制

② 維持管理体制

③ 災害時・緊急時の連絡・対策体制

(2) マニュアル

① 各工事のマニュアル

② 放射能対策マニュアル

③ 災害時・緊急時対策マニュアル

(3) 報告書様式

① 日報、月報、年報

② 輸送報告書

③ 運搬報告書

④ 点検・検査結果報告書

⑤ 補修・改造作業報告書

⑥ 環境モニタリング報告書

第２節　埋立工事計画書の作成

１）受注者は、埋立工事開始前に、埋立工事に対する計画書をとりまとめ、埋立工事計画書として作成し、監督職員の承諾を受けること。

２）受注者は以下に示す構成を参考に、埋立工事計画書を作成すること。

① 埋立計画書（埋立期間、月間）

② 点検・検査計画書（埋立期間）

③ 補修・改造計画書（埋立期間）

④ 補修・改造実施計画書（補修・改造実施時）

⑤ 環境モニタリング計画書（埋立期間）

第３節　埋立報告書の作成・提出

1）受注者は、埋立マニュアルにまとめた報告書様式に従い、各報告書を提出すること。

2）埋立報告書の提出時期は、原則として毎翌月の５日までとする。

3）埋立報告書の提出は、ハードコピーを監督職員に届けるとともに、電子メールによる送付も行うこと。

第４節　埋立開始前の周辺環境調査

周辺環境への汚染がないことを確認するために、埋立開始前に表 3-1 に示す工事用地境界における空間線量率及び地下水の放射能濃度等の調査を行うこと。

表 3-1　埋立開始前の計測項目と回数

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th>計測地点</th><th>計測項目</th><th>計測頻度</th></tr>
<tr><td rowspan="9">周辺環境</td><td rowspan="2">地下水</td><td>施設周縁
（上流及び下流の計２か所）</td><td>地下水検査項目濃度
ダイオキシン類濃度
放射能濃度
電気伝導率
塩化物イオン濃度</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>地下水集排水設備</td><td>放射能濃度</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">河川</td><td rowspan="2">雨水・処理水の放流先河川</td><td>放射能濃度</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>環境基準項目濃度</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>騒　音</td><td>工事用地境界(2 か所)</td><td>騒音レベル</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>振　動</td><td>工事用地境界(2 か所)</td><td>振動レベル</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>悪　臭</td><td>工事用地境界
（風上及び風下の計２か所）</td><td>臭気指数</td><td>1 回</td></tr>
<tr><td>放射線</td><td>工事用地境界(5 か所)</td><td>空間線量率</td><td>1 回</td></tr>
</table>

※地下水検査項目：放射性物質汚染対処特措法施行規則の別表第三の項目（以下同様）

第５節　作業員・運転手への教育

1）受注者は、土壌貯蔵施設に埋立て等する作業員に対し、施設の円滑な操業に必要な重機・機器の運転管理及び取扱い（点検業務含む）について、あらかじめ監督職員の承諾を得た運転教育計画書及び埋立マニュアルに基づき、必要にして十分な教育を行うこと。

2）作業員・運転手に対して、除染等工事共通仕様書（第 10 版）1-1-32(2)に定める指導及び教育とあわせて、除去土壌等を安全に輸送・運搬するための方策や事故防止対策、事故発生時の対応方法等について指導及び教育を実施し、作業及び運転において遵守するよう教育・管理すること。なお、安全教育計画を作成し、監督職員の確認を得ること。

第2章　埋立工事

第１節　埋立管理記録

１）受注者は、埋立工事に係る埋立計画書をもとに月毎に月間埋立計画書を作成し、監督職員の承諾を受けた後に埋立工事を実施すること。

２）受注者は、埋立工事の結果を日報、月報及び年報としてとりまとめ、監督職員へ提出すること。

３）「第２編　第１章　第２節　提出図書」に準拠して、施工承諾申請図書、完成図書を提出すること。

第２節　輸送工

１．輸送計画

１）輸送計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。

２）輸送計画書には、輸送車両の種類、輸送ルート、輸送頻度及び輸送スケジュール等の内容について、記載すること。

３）輸送計画書に基づいた輸送を実施し、その結果を輸送報告書として監督職員に報告すること。

２．準備工

１）仮置場等において重機の走行等で必要な箇所に、監督職員と協議のうえ敷鉄板を設置し、工事終了後に撤去すること。

２）仮置場等において雨水の浸入防止用に設置された遮水シート等をはがすものとする。はがした遮水シート等の扱いは監督職員の指示に従うこと。

３）除去土壌等を詰めた大型土のう袋等を搬出するため、側面及び上面に設置された遮へい土のうを監督職員が指示する場所に移動させること。

４）仮置場等内で通信試験を行い、輸送事業者が滞りなくデータ連携ができるかを確認し、問題が生じた際は、適宜対応を実施すること。

５）仮置場に保管されている除去土壌等に付与されているタグ（旧タグ）をサンプル調査し、結果を報告すること。

６）搬出中の仮置場等において、月１回以上、浸出水及び地下水の放射能濃度を測定すること。

３．除去土壌等の積込み

１）輸送車両に大型土のう袋等を積み込む前に、大型土のう袋等に詰められている除去土壌等の情報を確認するため、すべての大型土のう袋等について表面線量率、重量の測定と内容物の種別及び荷姿の確認を実施し、監督職員が指示する方法によりすべての大型土のう袋等にタグ（新タグ）を取り付けたうえで、総合管理システムへ情報を送信すること。

２）仮置場等に保管されている除去土壌等を搬出するため、除去土壌等を詰めた大型土のう

袋等を輸送車両に積み込むこと。

3）表面線量率が 30μSv/h を超える輸送対象物がある場合は、輸送車両に除去土壌等を積込んだ状態で車両の前後左右（4 方向）の荷台の高さで空間線量率を測定し記録を行うこと。また、車両の前後左右（4 方向）の空間線量率が 100μSv/h を超えないように積み込むこと。

4．輸送

1）大型土のう袋等を受入・分別施設まで輸送すること。

2）輸送車両は、原則として 10t ダンプトラックを使用すること。

3）輸送にあたっては、除去土壌等の飛散防止、悪臭防止、及び輸送車両荷台からの逸水防止対策等適切な措置を講ずること。なお、輸送ルート・時間帯は監督職員が指示する。

4）事故等が発生した場合を含め、輸送内容が確認できるように、必ず「輸送カード」を出力し印刷物として運転手が携帯すること。なお、輸送カードは、総合管理システムを介して、発行承認を得た後にのみ出力すること。

5）受入・分別施設において、車両番号、受入時間を記録すること。

6）除去土壌等の輸送車両を荷下ろし設備へ移動すること。荷下ろし以降の処理については、受入・分別処理工事によるものとする。

5．洗浄等

1）輸送車両は荷卸し後、スクリーニング施設において汚染検査を受け、汚染時は環境省が別途に定める者が洗車等を実施する。

2）工事終了時の高圧水洗浄について、建設機械、敷鉄板等は、高圧水洗浄の後、必要に応じてスクリーニングを行うこと。

3）本工事において実施する洗浄により発生した汚水は、浸出水調整設備へ運搬し、浸出水処理設備により処理すること。

6．輸送の管理

1）仮置場等から受入・分別施設までの、すべての輸送ルートの路面状況等を着手前に 1 回及び着手後に週 1 回巡回し、損傷の有無を報告すること。

2）除去土壌等に係る情報（除去土壌等に関する種別、荷姿等の情報）を総合管理システムより取得し、保管すること。

3）取り付けた新タグと除染時データとの紐付けを実施し、その結果を総合管理システムへ送信すること。

4）除去土壌等を輸送する車両及びその運転手に係る情報（走行ルート及び位置、出発・到着予定時間等）を管理し、記録・保管すること。なお、輸送車両の位置情報については、GPS 等を利用した運行管理を実施し、総合管理システムへ情報送信すること。

5）除染等工事共通仕様書（第 10 版）1-1-8 に定める施工計画書のほか、輸送実施計画及び別途定める緊急時対応マニュアルに基づき、輸送の実施体制、仮置場等から中間貯蔵施設までの輸送ルート、緊急時に備えた体制、事故発生時の対応手順、作業中止基準等を検討し、監督職員と協議のうえ、運行計画案を作成すること。この運行計画案を基に環

境省が関係機関と調整のうえ定める運行計画に基づき輸送を実施すること。なお、運行計画案は、監督職員が別途指示する搬出市町村ごとに、監督職員の指示を受けてから 10 日間以内に作成すること。

6）輸送前日までに、当日の輸送予定（使用ルート、車両、運転手、搬出数量、出発順序等）を総合管理システムへ登録すること。当日は、登録した輸送予定に従って、輸送を実施すること。輸送の詳細情報（使用ルート、車両、運転手、搬出数量、出発順序等）が変更になる場合は、事前に、変更後の輸送予定を総合管理システムへ送信すること。

7）運行計画に基づき、緊急時に対応できる体制等を構築すること。また、輸送車両には緊急時に対応するために除去土壌等の回収のための器具、消火器等を携行させること。

8）運行計画に基づき、緊急時には速やかに措置を講ずること。緊急時として除去土壌等が飛散等した場合には、応急処置を行うとともに、除去作業や汚染検査を行う作業員を現場に派遣し、警察、道路管理者等の関係機関と連携のうえ、一般交通や沿道住民への影響を回避するための措置（通行や立入りの制限、情報提供等）を講ずること。

7．輸送車両の運転手への教育

1）輸送車両の運転手は、輸送開始前に、環境省主催の運転手講習を受講すること。

2）輸送車両の運転手は、各仮置場等からの輸送開始前に、輸送ルートの試走を行うこと。

第３節　運搬工

1．運搬計画

1）運搬を行う際には、事前に運搬計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。

2）運搬計画書には、運搬車両の種類、運搬ルート、運搬頻度及び運搬スケジュール等の内容について、記載すること。

3）運搬計画書に基づいた運搬を実施し、その結果を運搬報告書として監督職員に報告すること。

4）運搬車両は、原則として 10t ダンプトラックを使用すること。

5）運搬にあたっては、除去土壌等の飛散防止及び荷台からの漏れ出し防止等適切な措置を講ずること。

2．受入・分別施設からの運搬

1）他工区の受入・分別施設において分別された土壌を監督職員と協議のうえ、ダンプトラックにより受入・分別処理工事で設置する処理土壌中継テントへ運搬すること。

2）受入・分別処理工事により分別した分別物（容器の残渣、大きな石、草木・根等）を監督職員と協議のうえ、運搬すること。

3）運搬時に、受入・分別施設の出口に設置されている計量設備（トラックスケール）において重量を測定するとともに、車両番号、搬出時間を記録すること。

4）受入・分別処理工事において荷下ろし前に確認したタグ番号と運搬した車両番号・時間との関係について、受入・分別処理に支障が生じない範囲で、数日分程度の単位毎に関連付けを行うこと。具体的な方法は監督職員の指示によるものとする。

5）運搬時は、飛散防止のため、ダンプトラックの荷台をシートで覆うこと。

3．処理土壌中継テントからの投入

1）処理土壌中継テントへ運搬された土壌を監督職員と協議のうえ、ダンプトラックにより土壌貯蔵施設へ投入すること。

2）投入車両は、原則として 10t ダンプトラックを使用すること。

第４節　埋立工

１．基本事項

1）受入・分別施設で処理した除去土壌を土壌貯蔵施設へ埋め立てること。

2）埋立てに際しては、除去土壌が飛散し、または流出しないようにすること。

3）作業員の被ばく線量の低減に配慮した埋立方法とすること。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

項目	諸元
保護土（法面シート保護）	購入砂 t=50cm
埋立て	ブルドーザ敷均し締固め
排水層	購入砂 t=15cm
散水	スプリンクラー等による散水
雨水排水	工事用ポンプ、未埋立区画から排水
浸出水処理	水処理、汚泥処理

３．技術的要件

ア．堰堤・仕切堤

1）貯蔵地は、仕切堤によって貯蔵地内に雨水が浸入する面積を 8,000 ㎡以下に区画することを基本とすること。また、被覆工（キャッピング工）との組み合わせにより、同時に埋め立てる区画数は、4 区画以下（8,000 ㎡の場合）とすることを基本とすること。

2）埋立てに伴って堰堤または仕切堤を設ける場合は、「第 2 編　第 3 章　第 4 節　堰堤工」によるものとすること。

3）除去土壌と堰堤が接する箇所は、遮水工を設置すること。遮水工は、「第 2 編　第 3 章　第 6 節　遮水工」によるものとすること。

イ．保護土（法面シート保護）

1）不織布の上部に厚さが概ね 50cm 以上の保護土を敷設すること。

2）保護土は、排水層を兼ねる購入砂とすることを基本とすること。良質な現地発生土等が得られる場合には、その利用を検討すること。

3）法面遮水工と重機械の接触等に配慮し、遮水工を損傷しないように注意すること。

ウ．埋立て

１）日々の埋立前に埋立場所・高さを確認するとともに、必要に応じてベルトコンベアの設置通路、車両が通行するための通行路（鉄板敷き）を確保すること。

２）埋立場所付近の遮水工、その他構造物等の状態を点検し、損傷がないことを確認のうえ、埋め立てること。

３）投入車両等が土壌貯蔵施設へ進入した際は、車両の車両番号・時間を記録すること。

４）投入車両を埋立場所へ誘導するための誘導標等を設けること。

５）強風時等の除去土壌が飛散するおそれがある場合は、飛散防止措置を施すこと。

６）埋立重機は、運転席がガラス等により覆われているとともに、空調設備が設けられたものとし、密閉性を高めた重機を用いること。

７）埋立重機は、内部の外部放射線による実効線量と空気中の放射性物質による実行線量の合計が１週間につき 1mSv を超えないこと。また、表面汚染を除去しやすくする措置を講じること。さらに、１か月以内ごとに１回、内部の表面汚染の検査を実施し、表面汚染限度（40Bq/cm^2）を超えている場合には汚染を除去すること。

８）除去土壌をブルドーザにより敷均し・締め固めることを基本とすること。

９）保有水等が未埋立区画へ流入しないように配慮すること。

１０）１日の埋立終了時に、埋立場所・高さを測量して、貯蔵地をメッシュ状に区切った図面に記録することを基本とすること

１１）土壌貯蔵施設へ投入した車両番号・時間等と、埋立場所・高さの関係について、埋立工に支障が生じない範囲で、数日分程度の単位毎に関連付けを行うこと。具体的な方法は監督職員の指示によるものとする。

１２）埋立てに伴って、排水縦孔を延伸すること。排水縦孔の周囲は、被覆材で覆うこと。

エ．排水層

１）除去土壌の埋立て高さ 5m ごとに設けることを基本とすること。

２）水平方向に設け、排水先は排水縦孔とすること。

３）浸透水が速やかに排水されるように配慮し、購入砂等（厚さ 15cm 以上）を用いることを基本とすること。良質な現地発生土等が得られる場合には、その利用を検討すること。

４）勾配は 2%以上を標準とすること。

オ．除去土壌の被覆

１）放射線障害防止のため、一日の埋立作業を終了する場合には除去土壌の表面に散水等の措置を施すこと。

カ．散水等

１）除去土壌が飛散するおそれがある場合は、散水等による飛散防止措置を施すこと。

２）ダンピングする場所（埋められている除去土壌の表面）が乾燥している場合は、散水により加湿することを基本とすること。

キ．雨水排水

１）仕切堤により区分されている未埋立区画の雨水をポンプ等により排水すること。

２）必要により、ポンプ用の釜場を設置すること。

３）雨水と保有水等が混合しないようにすること。

ク．浸出水処理

１）浸出水処理施設において浸出水を処理すること。

２）浸出水の放射能濃度、濁度、水量等を考慮し、薬品注入量等を調整し、適正な処理水質とすること。必要に応じてジャーテストを実施すること。

３）浸出水処理設備の処理水量、浸出水調整設備の貯水量等を考慮し、安定した水処理を行うこと。

４）砂ろ過処理後の処理水は、監視・放流設備において濁度及び放射能濃度を連続測定すること。濁度または放射能濃度が急激に変化した場合は、処理及び放流を停止するとともに、急激に変化した原因を確認すること。また、濁度が急激に変化した場合は処理水を浸出水調整設備へ返送し、濁度は変化せず放射能濃度が急激に変化した場合はゼオライト吸着設備への送水に切り替えること。

５）ゼオライト吸着処理を行っている場合は、ゼオライト吸着処理後の監視・放流設備において放射能濃度を連続測定すること。放射能濃度が急激に変化した場合は、処理及び放流を停止するとともに、急激に変化した原因を確認すること。処理水は浸出水調整設備へ返送すること。なお、ゼオライト吸着処理を行っている際にも、砂ろ過処理後の監視・放流設備における連続測定は継続すること。

６）設備は、点検、交換、校正等を行い、適正な状態を維持すること。

７）運転に必要な水質分析等を行うこと。

８）ゼオライトが破過した際、またはゼオライトの濃度が 10 万 Bq/kg を超過するおそれがある際は、ゼオライトを交換すること。廃ゼオライトは、大型土のう等へ袋詰めすることを基本とすること。具体的な処理・処分方法は監督職員の指示によるものとする。

９）水処理により発生した汚泥は、脱水したうえで大型土のう等（非耐候性、非防水性）へ袋詰めし、処理土壌中継テントへ運搬して破袋後に土壌貯蔵施設（貯蔵地）へ埋め立てること（運搬・破袋までを含み、埋立ては「ウ．埋立て」による。）。なお、埋立前に重量と表面線量率から放射能濃度を測定すること。

１０）防液堤内に貯まった雨水は、防液堤内に貯水し、問題がないことを確認してから放流することを基本とすること。

１１）地下水ピットより測定に必要な水量の地下水を採水し、放射能濃度を連続測定すること。

表 3-2 に示す項目、その他必要な項目について確認・記録するとともに毎月監督職員へ報告すること。

表 3-2　埋立工管理項目

区　　分	場　　所	管理項目	頻　　度
保護土（法面）	貯蔵地	保護土設置範囲、事前確認結果	保護土実施時
埋立て	貯蔵地	車両の番号、時間	貯蔵地進入時
		埋立位置、高さ	毎日作業終了時
		埋立容量、残余容量	月１回
散水	貯蔵地	散水量（時間）、散水範囲、散水有無	毎日作業終了時
浸出水処理	浸出水処理施設	浸出水量、浸出水調整設備貯水量、処理水量、処理水濃度、放流水量、薬品注入量	毎日作業終了時

第５節　被覆工（キャッピング工）

１．基本事項

１）被覆工（キャッピング工）は、除去土壌の飛散及び雨水の除去土壌への浸透を防止するとともに、津波浸水区域においては津波により除去土壌が流出しない構造であること。

２）除去土壌からの直接ガンマ線及びスカイシャインガンマ線による工事用地周辺の放射線量を十分に低減できる遮へい構造であること。

３）貯蔵地の鉛直方向への拡張を行わない場合の被覆工を最終覆土、拡張を計画している場合の被覆工を暫定最終覆土とする。

２．計画諸元

主要な材質・形状及び規格等は、以下を基本とし、詳細は実施設計により決定するものとする。

１）暫定最終覆土

項目	諸元
遮水層	遮水シート
最終覆土（排水層）	現地発生土　t=35cm 購入砂　　　t=15cm（排水層を兼ねる）

２）最終覆土

項目	諸元
排気層	購入砂　　　t=15cm
遮水層	不織布＋遮水シート＋不織布
最終覆土（排水層）	張芝 現地発生土　t=35cm 購入砂　　　t=15cm（排水層を兼ねる）
排水溝	鉄筋コンクリートＵ形、ベンチフリューム、集水桝等

３．技術的要件

ア．排気層

１）排気先は排水縦孔または保有水等集排水管（法面部）とし、除去土壌等から発生したガスが速やかに排気されるように配慮すること。

１）勾配は、2%以上を標準とすること。

２）排気層は、購入砂（15cm）を基本とし、良質な現地発生土等が得られる場合には、その利用を検討すること。また、必要に応じて二次製品の材料の使用を検討すること。

イ．遮水層

１）遮水層は、遮水シート（t=1.5mm 以上）及び不織布（t=10mm 以上）とし、材料・施工等については、「第２編　第３章　第６節　遮水工」によるものとすること。

２）暫定最終覆土における遮水シートは、最終覆土工の上層に敷くものであり、貯蔵地を鉛直方向へ拡張する際には、撤去するものである。簡易なシートとする等、撤去を考慮した材質・構造とすることを検討すること。

ウ．最終覆土（排水層）

１）除去土壌の埋立てが終了した際に、除去土壌の上に厚さが概ね 50cm 以上の最終覆土を敷設すること。最終覆土は、下層を排水層を兼ねる購入砂（15cm）、上層を現地発生土（35cm）とすることを基本とすること。良質な現地発生土等が得られる場合には、下層の排水層への利用を検討すること。

２）排水層は、浸透水をすみやかに排水可能な材料とし、遮水層を損傷するおそれのあるものを含まないこと。

３）暫定最終覆土の排水層は、貯蔵地の拡張時に「第４節　埋立工」の排水層として利用できるものであること。

４）最終覆土工（排水層）の勾配は、2%以上を標準とすること。

５）最終覆土（排水層）の表面仕上げは張芝を標準とすること。なお、暫定最終覆土においては、表面仕上げは遮水層となる。

エ．排水溝

１）最終覆土面に排水溝を設け、雨水を速やかに集排水すること。

２）断面形状等の決定にあたっては、短時間降雨強度 135mm/h、その他「第２編　第３章　第９節　雨水集排水設備工－ア．排水溝」の規定によるものとすること。

第3章　維持修理等

１．点検・検査

１）受注者は、埋立期間を通じた土壌貯蔵施設の点検・検査計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。

２）点検・検査計画書には、日常点検、定期点検、法定点検及び自主点検等の内容について、表 3-3 を基本として設備毎に項目と頻度等を記載すること。

３）受注者は、点検・検査計画書に基づいて土壌貯蔵施設の点検・検査を行うこと。

４）受注者は、点検・検査結果をまとめた点検・検査結果報告書を作成すること。

２．補修・改造

１）受注者は、埋立期間を通じた土壌貯蔵施設の補修・改造計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。

２）受注者は、補修・改造計画書に基づき、設備・機器の耐久度と消耗度を把握し、補修・改造の実施前までに詳細な補修・改造実施計画書を作成し、監督職員の承諾を受けること。

３）受注者は、補修・改造実施計画書に基づき、補修・改造を実施すること。

４）受注者は、補修・改造作業が完了した後に監督職員に補修・改造作業報告書を提出すること。

３．予備品・消耗品

受注者は、維持管理に必要な予備品・消耗品を現場に保管し、管理すること。

表 3-3　点検項目

対象設備		点検項目	点検方法	頻度	
				埋立中	貯蔵中
堰堤	法面	崩壊	目視	週 1 回	月 1 回
		湧水、流水による侵食	目視	週 1 回	月 1 回
		沈下、変形（形状）	目視、計測	週 1 回	月 1 回
	洗掘防止工	舗装の亀裂・陥没	目視	週 1 回	月 1 回
地下水集排水設備	集排水管	周辺井戸の水位	水位測定	週 1 回	月 1 回
	地下水ﾋﾟｯﾄ	地下水量	目視	週 1 回	月 1 回
遮水工	上部遮水工	異常な伸び、膨らみ、へこみ、つっぱり、剥がれ、滞水等	目視	埋立前	－
		保護土の施工状況	目視	埋立前	－
		亀裂・クラック	目視	週 1 回	－
		持ち上がり、陥没、傾斜、移動	目視	週 1 回	－
		遮水シートや周辺地盤との間の隙間	目視	週 1 回	－
保有水等集排水設備	排水縦孔	亀裂、陥没	目視	週 1 回	月 1 回
		貯蔵地内の水位	水位測定	週 1 回	月 1 回
		降雨時の排水状況	目視	降雨の都度	
	浸出水集水ﾋﾟｯﾄ	ピット内の水位	水位測定	週 1 回	月 1 回
		打継ぎ目からの漏水	目視	週 1 回	月 1 回
		本体のクラック、亀裂、漏水	目視	週 1 回	月 1 回
		本体の沈下、浮き上がり	計測	週 1 回	月 1 回
		送水ポンプの状態	目視、指触	週 1 回	月 1 回
		機器・配管の破損	目視	週 1 回	月 1 回
浸出水処理施設		本体のクラック、亀裂、漏水	目視	週 1 回	月 1 回
		設置地盤の沈下	計測	週 1 回	月 1 回
		ポンプ類の状態	目視、指触	週 1 回	月 1 回
		機器・配管の破損	目視	週 1 回	月 1 回
		処理状況	計装機器目視	日 1 回	月 1 回
雨水集排水設備		小段水路の損傷、雑草 の繁茂	目視	週 1 回	月 1 回
		U字溝の目地ずれ、不等沈下	目視	週 1 回	月 1 回
		土砂の堆積	目視	週 1 回	月 1 回
		グレーチング蓋の目詰り	目視	週 1 回	月 1 回
被覆工（キャッピング）		敷設状況（雨水の浸入防止）	目視	－	月 1 回
		沈下	計測	－	月 1 回

※長期稼働停止前後の再稼働時は、点検表に基づき機器の異常を確認する。

第4章　環境モニタリング

1）受注者は、埋立工事を行うにあたり、表 3-4、3-5 に示す計測項目及び計測頻度に基づいて計測項目、計測頻度及びその取りまとめ様式を環境モニタリング計画書として作成し、監督職員の承諾を受けること。

2）監督職員が必要と判断した場合は、表 3-4、3-5 に示す計測項目、計測頻度を増やすことができるものとする。

3）受注者は、環境モニタリング計画書に基づいて環境モニタリングを実施すること。

4）空間線量率の計測にあたって、受注者は、1 年以内に校正されたシンチレーション式サーベイメータ等のガンマ線を計測できる空間線量率計により行うこと。

5）受注者は、環境モニタリングの結果を環境モニタリング報告書としてとりまとめ、監督職員に報告すること。

表 3-4　環境モニタリング項目（埋立中）

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th>計測地点</th><th>計測項目</th><th>計測頻度</th></tr>
<tr><td rowspan="15">周辺環境</td><td rowspan="4">地下水</td><td rowspan="3">施設周縁
（上流及び下流の計 2 か所）</td><td>地下水検査項目濃度
ダイオキシン類濃度</td><td>1 回/年</td></tr>
<tr><td>放射能濃度</td><td>1 回/週</td></tr>
<tr><td>電気伝導率
塩化物イオン濃度</td><td>1 回/月</td></tr>
<tr><td>地下水集排水設備</td><td>放射能濃度</td><td>常時</td></tr>
<tr><td rowspan="4">処理水</td><td rowspan="4">浸出水処理施設放流水</td><td>放射能濃度</td><td>1 回/週
（常時）</td></tr>
<tr><td>濁度</td><td>（常時）</td></tr>
<tr><td>水素イオン濃度
生物化学的酸素要求量
化学的酸素要求量
浮遊物質量</td><td>1 回/月</td></tr>
<tr><td>その他排水基準項目※
ダイオキシン類濃度</td><td>1 回/年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">河川</td><td rowspan="2">雨水・処理水の放流先河川</td><td>放射能濃度</td><td>1 回/月</td></tr>
<tr><td>環境基準項目濃度</td><td>1 回/年</td></tr>
<tr><td>沈砂池</td><td>沈砂池からの放流水</td><td>浮遊物質濃度</td><td>1 回/月</td></tr>
<tr><td>騒　音</td><td>工事用地境界(2 か所)</td><td>騒音レベル</td><td>1 回/年</td></tr>
<tr><td>振　動</td><td>工事用地境界(2 か所)</td><td>振動レベル</td><td>1 回/年</td></tr>
<tr><td>悪　臭</td><td>工事用地境界
(風上及び風下の計 2 か所)</td><td>臭気指数</td><td>1 回/年</td></tr>
<tr><td>放射能</td><td>工事用地境界(5 か所)</td><td>空間線量率</td><td>1 回/週</td></tr>
<tr><td>作業環境</td><td>放射能</td><td>単位作業場所※</td><td>空間線量率</td><td>1 回/月</td></tr>
</table>

※排水基準項目：放射性物質汚染対処特措法施行規則の別表第四の項目（以下同様）

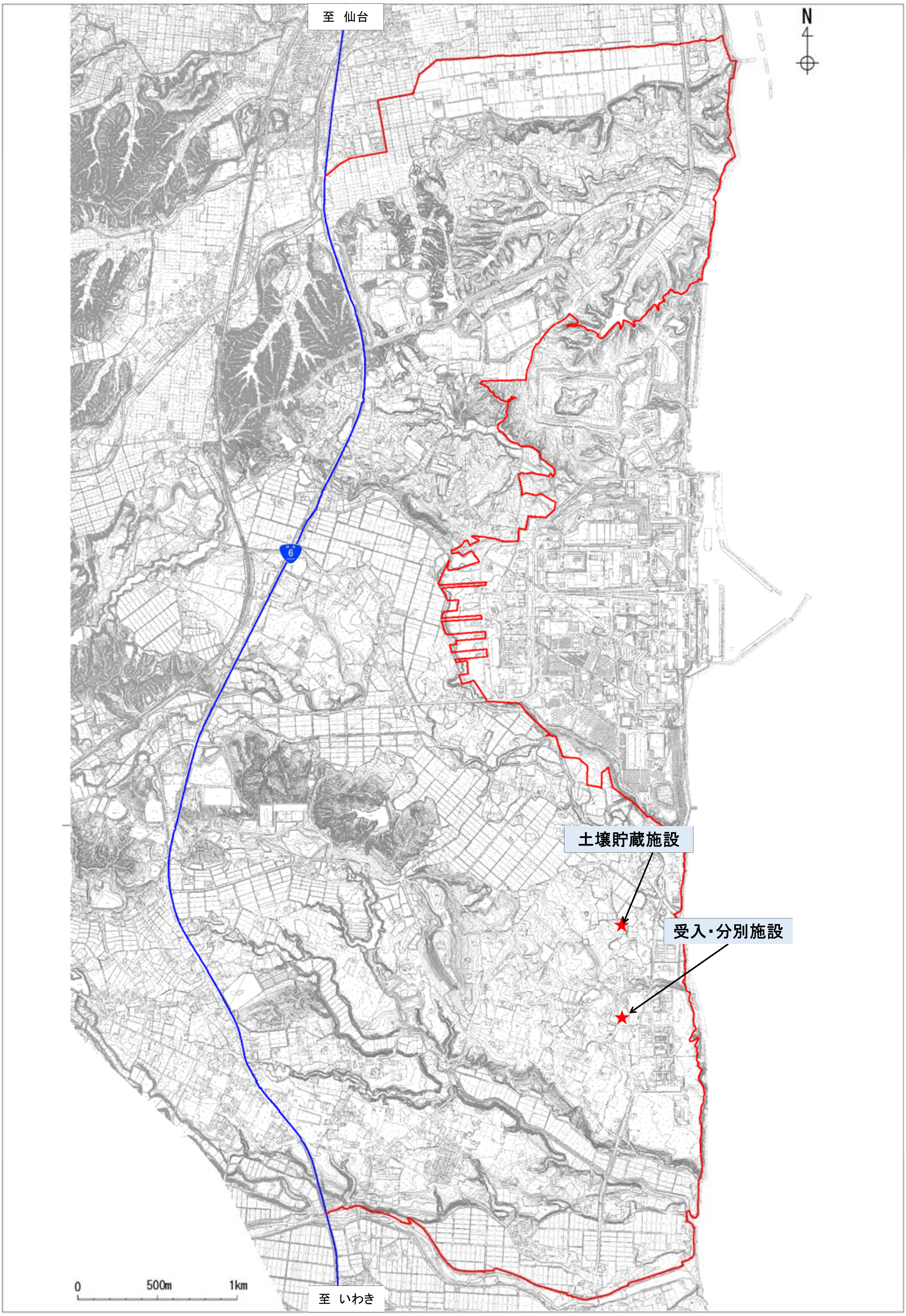
※単位作業場所：作業場所・作業内容に応じて計測地点数を決定する。

表 3-5　環境モニタリング項目（貯蔵中）

区　　分		計測地点	計測項目	計測頻度
周辺環境	地下水	施設周縁 （上流及び下流の計 2 か所）	地下水検査項目濃度 ダイオキシン類濃度	1 回/年
			放射能濃度 電気伝導率 塩化物イオン濃度	1 回/月
		地下水集排水設備	放射能濃度	常時
	処理水	浸出水処理施設放流水	放射能濃度	1 回/週 （常時）
			濁度	（常時）
			水素イオン濃度 生物化学的酸素要求量 化学的酸素要求量 浮遊物質量	1 回/月
			その他排水基準項目 ダイオキシン類濃度	1 回/年
	河川	雨水・処理水の放流先河川	放射能濃度	1 回/月
			環境基準項目濃度	1 回/年
	放射能	工事用地境界(5 か所)	空間線量率	1 回/月

添付資料1

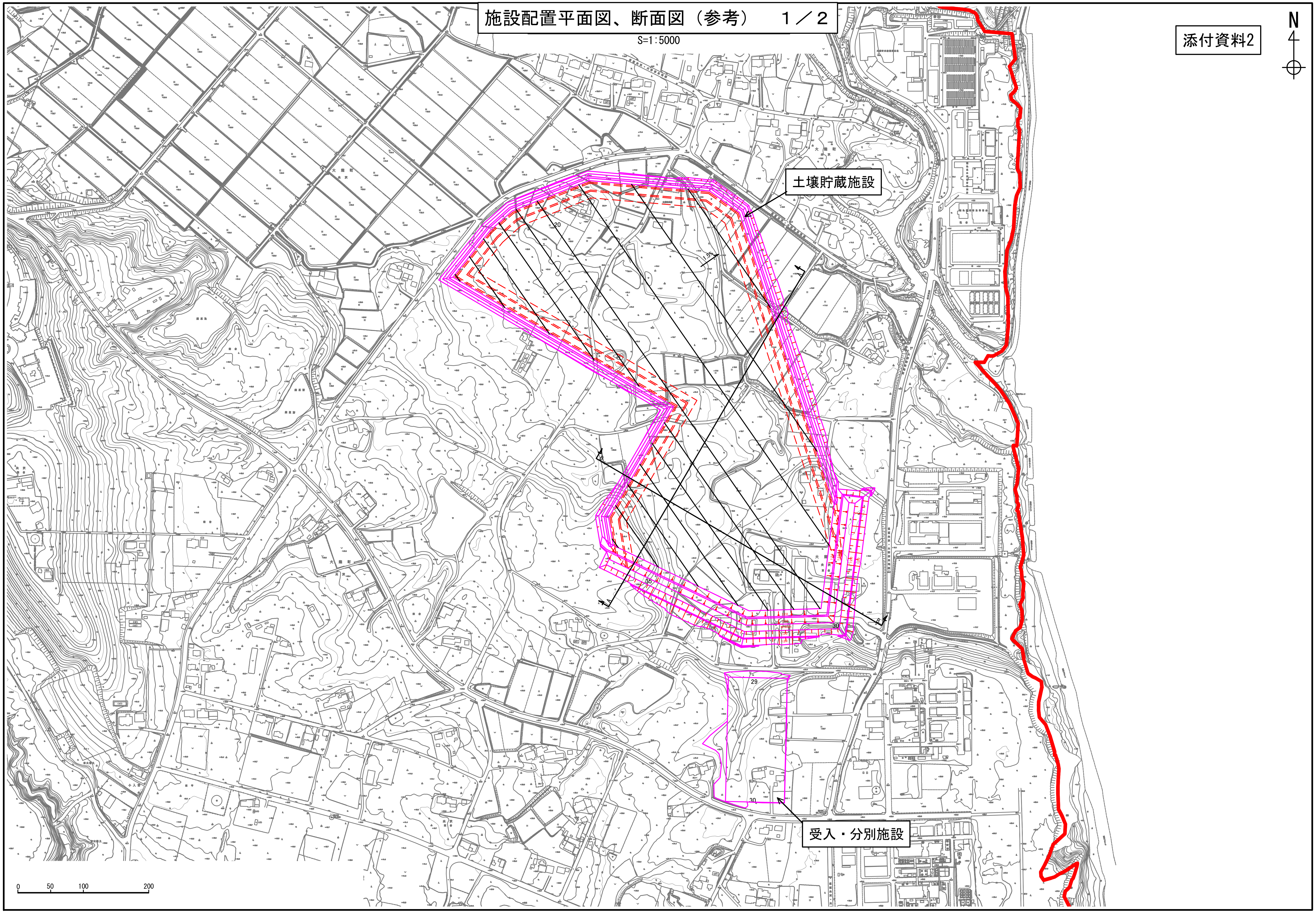
工事用地 平成３０年度中間貯蔵（大熊５工区）土壌貯蔵施設等工事



施設配置平面図、断面図（参考）　１／２

S=1:5000

添付資料2

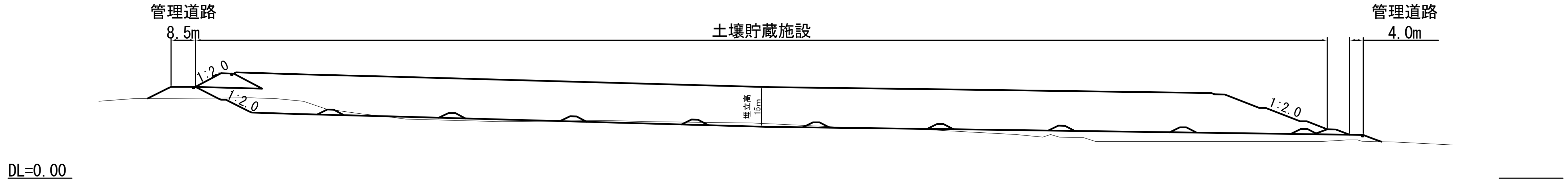


添付資料2

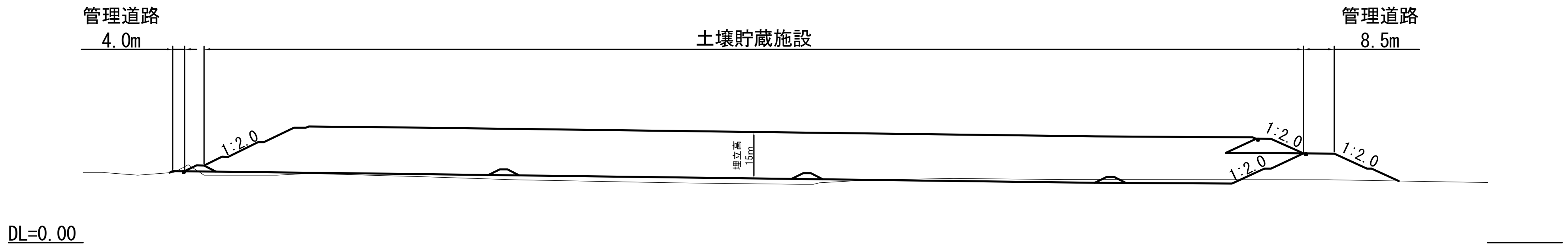
施設配置平面図、断面図（参考）　２／２

S=1:2000 (A3)

A-A断面図

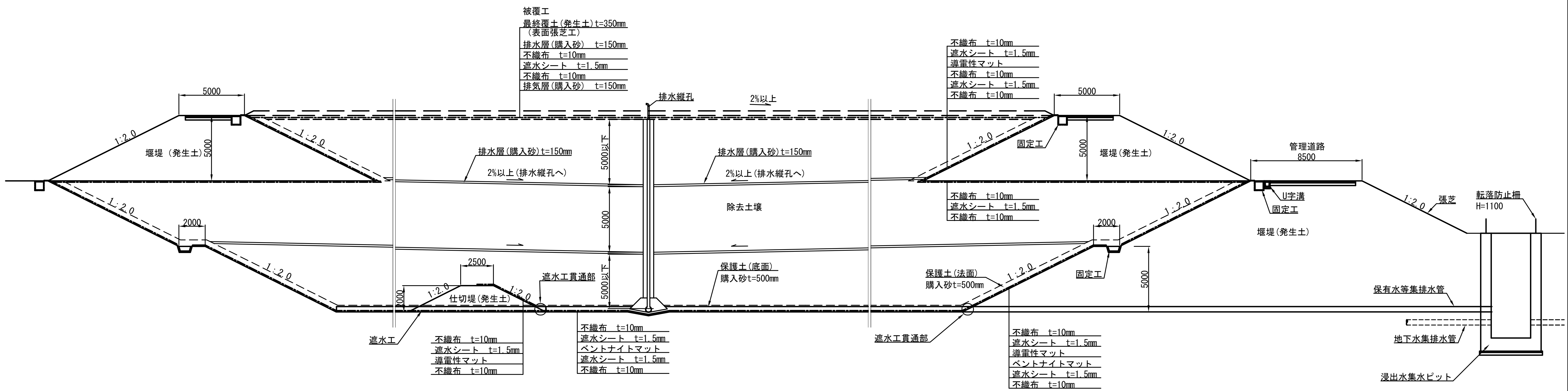


B-B断面図



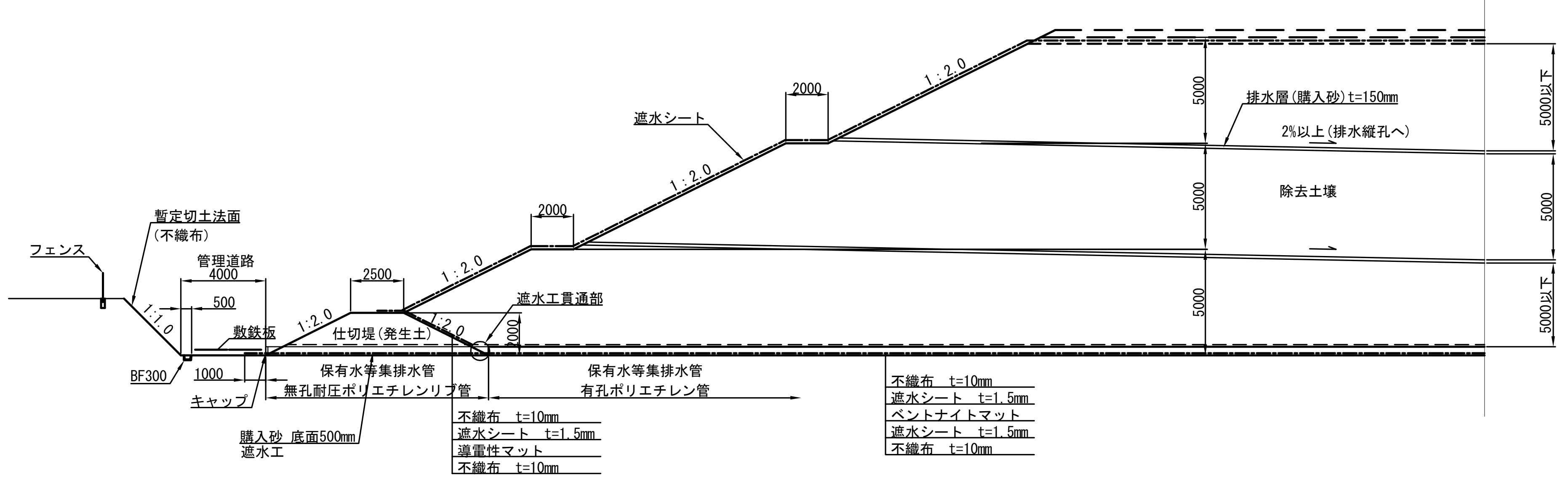
標準断面図（参考）

添付資料3



上流部

（仕切堤で終了する部分）



件 名			
図面名	標準断面図		
作成年月日	平成 29年 月		
縮 尺	S=1:300(A3)	図面番号	-
事業者名	環境省		

添付資料4

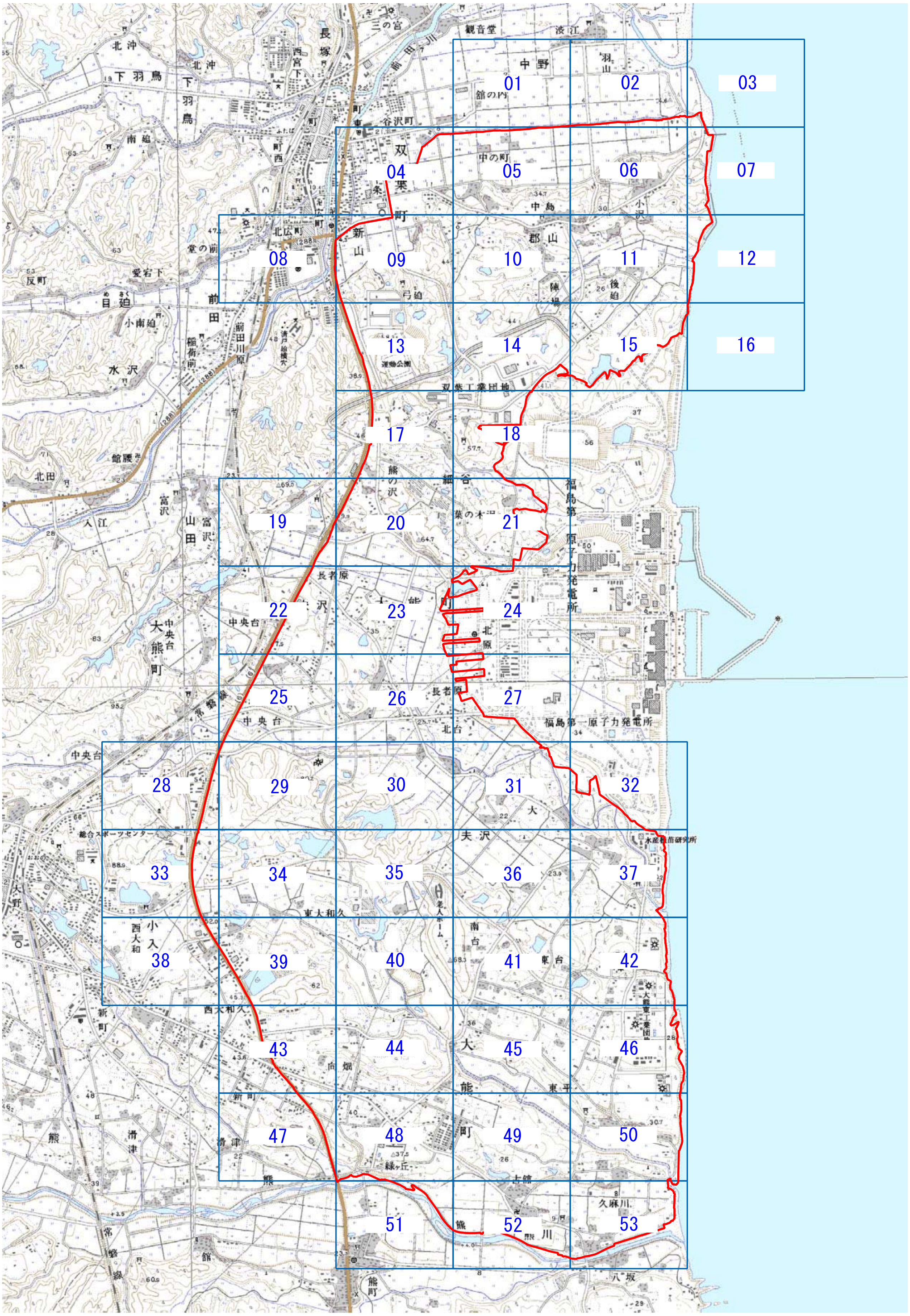
地質調査内容（参考）

孔名			平坦足場	掘削							原位置試験					孔閉塞	井戸仕上げ65mm	室内試験※		
				粘性土（m）		砂質土（m）		固結シルト（m）		掘削長	標準貫入試験(回)				揚水試験			粘性土	砂質土	固結シルト
			（箇所）	66mm	116mm	66mm	116mm	66mm	116mm	（m）	粘性土	砂質土	固結シルト	計	（箇所）	（箇所）	（箇所）	（試料）	（試料）	（試料）
受入分別施設	No.１	本孔	1	2		6		3		11	4	7	3	14		1				
	No.２	本孔	1	2		6		3		11	4	7	3	14		1				
		別孔	1		2		6			8					1		1	1	1	
	小計		3	4	2	12	6	6	0	30	8	14	6	28	1	2	1	1	1	0
土壌貯蔵施設	No.１	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.２	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.３	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.４	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.５	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.６	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.７	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
	No.８	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
		別孔	1		2		8			10						1		1	1	
	No.９	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
		別孔	1		2		8			10						1		1	1	
	No.10	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
		別孔	1		2		8		3	13					1		1	1	1	1
	No.11	本孔	1	2		8		3		13	2	8	3	13		1				
		別孔	1		2		8			10						1		1	1	
	小計		15	22	8	88	32	33	3	186	22	88	33	143	1	14	1	4	4	1
合計			18	26	10	100	38	39	3	216	30	102	39	171	2	16	2	5	5	1

※　室内試験
粘性土：沈下評価のため、物理試験（湿潤密度、含水比、土粒子密度、粒度、液塑性）、圧密試験を実施
砂質土：液状化判定（FL値）のため、物理試験（粘性土と同様）を実施
固結シルト：盛土材利用のため、物理試験（含水比、土粒子密度、粒度、液塑性）、締固め試験、締め固めた試料による三軸圧縮試験（CD）を実施
泥岩が発生した場合は、スレーキング試験を実施

添付資料5

調査ボーリング区分エリア



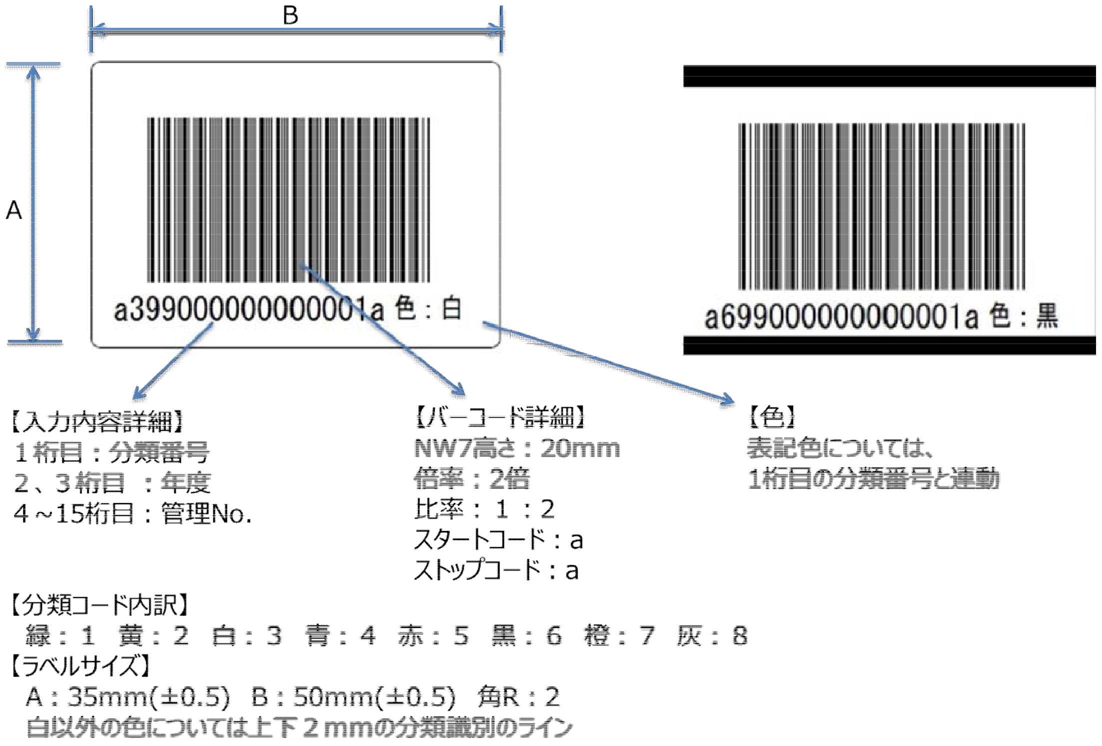
添付資料6

新タグの仕様

1）ID は、総合管理システムに対して発番申請し、取得したものを使用すること。

2）バーコードラベル仕様は下記の通りとする。

材質	合成紙（高耐水性、高対候性　ポリプロピレンを主原料）　/ 超強粘糊 又はこれらと同等以上の耐水性、耐候性を有するもの
サイズ	縦 35mｍ　横 50mｍ　角 R（２R）
ラベル色	白色
ラベルライン色	緑　黄　白　青　赤　黒　橙　灰
バーコード仕様	NW7 / 15 桁 / スタートコード、ストップコード 1 桁目　　　　　：１緑　２黄　３白　４青　５赤　６黒　７橙　８灰 2 桁目、3 桁目　：年度を表す 2 桁の数値（西暦４桁年数－2000＋12※） ※例：2015 年⇒27、2025 年⇒37
バーコード比率	2：1
バーコード高さ	20mｍ
耐候性	・UV カットのラミネート加工相当の耐久性を有すること



３）タグ及び結束バンドの仕様は下記の通りとする。

タグ仕様

材質	６６ナイロン標準　耐候　又はこれと同等以上の耐候性を有するもの
色	黒色
サイズ	縦 44ｍｍ程度　　横 80ｍｍ程度

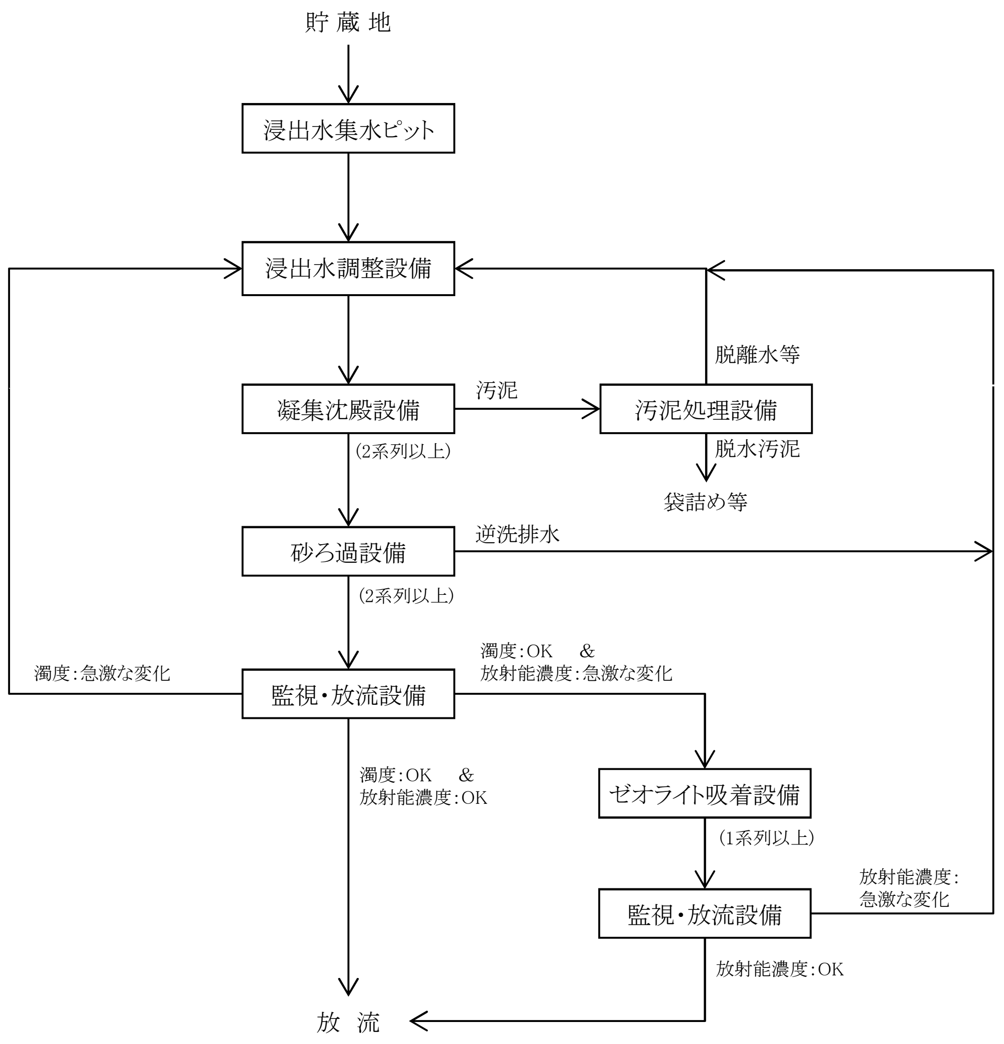
結束バンド仕様

材質	６６ナイロン標準　耐候　又はこれと同等以上の耐候性を有するもの
色	黒色
サイズ	長さ 200㎜以上

新タグイメージ

添付資料7

浸出水処理施設処理フロー（参考）



平成30年度中間貯蔵（大熊５工区）土壌貯蔵施設等工事（当初）

環境省　福島地方環境事務所

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
【受入・分別処理工事】	式	1			費目行
１．建設工事	式	1			工種行
(1)受入・分別処理設備工事	式	1			種別行
荷下ろし設備 据付費	式	1			1号代価表 44頁
破袋設備 据付費	式	1			2号代価表 45頁
一次分別設備 据付費	式	1			3号代価表 46頁
二次分別設備(改質処理) 据付費	式	1			4号代価表 47頁
二次分別設備(分別処理) 据付費	式	1			5号代価表 48頁
処理土壌運搬設備(直線部) 据付費	m	500			6号代価表 49頁
処理土壌運搬設備(乗継部) 据付費	箇所	2			7号代価表 50頁
計量設備 据付費	式	1			8号代価表 51頁
その他設備 据付費	式	1			9号代価表 52頁
(2)土木工事及び外構工事	式	1			種別行
土木工事及び外構工事	式	1			10号代価表 53頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
(3)建築工事(建築設備含む)	式	1			種別行
受入・分別施設建屋 設置費	式	1			11号代価表 54頁
受入・分別施設換気扇用の集じん設備 設置費	式	1			12号代価表 55頁
荷下ろし設備建屋 設置費	式	1			13号代価表 56頁
一時置場建屋 設置費	式	1			14号代価表 57頁
処理土壌中継テント 設置費	式	1			15号代価表 58頁
監視室 設置費	式	1			16号代価表 59頁
２．受入・分別処理工事	式	1			工種行
(1)受入・分別処理(処理設備)	式	1			種別行
荷下ろし設備 機械損料(償却費)	月	24			17号代価表 60頁
荷下ろし設備 機械損料(管理費)	月	24			18号代価表 61頁
荷下ろし設備 機械損料(維持修理費)	t	1008000			19号代価表 62頁
荷下ろし設備 運転経費	t	1008000			20号代価表 63頁
破袋設備 機械損料(償却費)	月	24			21号代価表 64頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
破袋設備 機械損料(管理費)	月	24			22号代価表 65頁
破袋設備 機械損料(維持修理費)	t	1008000			23号代価表 66頁
破袋設備 運転経費	t	1008000			24号代価表 67頁
一次分別設備 機械損料(償却費)	月	24			25号代価表 68頁
一次分別設備 機械損料(管理費)	月	24			26号代価表 69頁
一次分別設備 機械損料(維持修理費)	t	1008000			27号代価表 70頁
一次分別設備 運転経費	t	1008000			28号代価表 71頁
二次分別設備(改質処理) 機械損料(償却費)	月	24			29号代価表 72頁
二次分別設備(改質処理) 機械損料(管理費)	月	24			30号代価表 73頁
二次分別設備(改質処理) 機械損料(維持修理費)	t	1008000			31号代価表 74頁
二次分別設備(改質処理) 運転経費	t	1008000			32号代価表 75頁
二次分別設備(改質処理) 改質材	t	30,240			33号代価表 76頁
二次分別設備(分別処理) 機械損料(償却費)	月	24			34号代価表 77頁
二次分別設備(分別処理) 機械損料(管理費)	月	24			35号代価表 78頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
二次分別設備(分別処理) 機械損料(維持修理費)	t	1008000			36号代価表 79頁
二次分別設備(分別処理) 運転経費	t	1008000			37号代価表 80頁
処理土壌運搬設備(直線部) 機械損料(償却費)	月	24			38号代価表 81頁
処理土壌運搬設備(直線部) 機械損料(管理費)	月	24			39号代価表 82頁
処理土壌運搬設備(直線部) 機械損料(維持修理費)	t	1008000			40号代価表 83頁
処理土壌運搬設備(乗継部) 機械損料(償却費)	月	24			41号代価表 84頁
処理土壌運搬設備(乗継部) 機械損料(管理費)	月	24			42号代価表 85頁
処理土壌運搬設備(乗継部) 機械損料(維持修理費)	t	1008000			43号代価表 86頁
処理土壌運搬設備 運転経費	t	1008000			44号代価表 87頁
計量設備 機械損料(償却費)	月	24			45号代価表 88頁
計量設備 機械損料(管理費)	月	24			46号代価表 89頁
計量設備 機械損料(維持修理費)	t	1008000			47号代価表 90頁
計量設備 運転経費	t	1008000			48号代価表 91頁
その他設備(電気設備、計装設備) 機械損料(償却費)	月	24			49号代価表 92頁

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
その他設備(電気設備、計装設備) 機械損料(管理費)	月	24			50号代価表 93頁
その他設備(電気設備、計装設備) 機械損料(維持修理費)	t	1008000			51号代価表 94頁
その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等) 機械損料(償却費)	月	24			52号代価表 95頁
その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等) 機械損料(管理費)	月	24			53号代価表 96頁
その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等) 機械損料(維持修理費)	t	1008000			54号代価表 97頁
その他設備 運転経費	t	1008000			55号代価表 98頁
(2)受入・分別処理(建築物(建築設備含む))	式	1			種別行
受入・分別施設建屋 損料(償却費)	月	24			56号代価表 99頁
受入・分別施設建屋 損料(維持修理費、管理費)	月	24			57号代価表 100頁
受入・分別施設建屋集じん設備 機械損料(償却費)	月	24			58号代価表 101頁
受入・分別施設建屋集じん設備 機械損料(維持修理費、管理費)	月	24			59号代価表 102頁
荷下ろし設備建屋 損料(償却費)	月	24			60号代価表 103頁
荷下ろし設備建屋 損料(維持修理費、管理費)	月	24			61号代価表 104頁
一時置場建屋 損料(償却費)	月	24			62号代価表 105頁

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
一時置場建屋 損料(維持修理費、管理費)	月	24			63号代価表 106頁
処理土壌中継テント 損料(償却費)	月	24			64号代価表 107頁
処理土壌中継テント 機械損料(維持修理費、管理費)	月	24			65号代価表 108頁
監視室 損料または賃料	月	24			66号代価表 109頁
建築設備(処理土壌中継テントを除く) 運転経費(電力料、消耗部品費)	t	1008000			67号代価表 110頁
建築設備(処理土壌中継テント) 運転経費(電力料、消耗部品費)	t	2800000			68号代価表 111頁
受入・分別施設建屋集じん設備 運転経費(電力料、消耗部品費)	t	1008000			69号代価表 112頁
３．交通安全管理費	式	1			工種行
交通誘導員A(除染) 特殊勤務手当なし	人	2,400			70号代価表 113頁
交通誘導員B(除染) 特殊勤務手当なし	人	2,400			71号代価表 114頁
４．特殊勤務手当	式	1			工種行
特殊勤務手当(除染等業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	94,050			
特殊勤務手当(特定線量下業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	4,950			
【土壌貯蔵施設工事】	式	1			費目行

本工事費内訳書

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
1．線量低減措置工	式	1			工種行
(1)工事用地内の線量低減措置	式	1			種別行
農地等	式	1			細別行
8.1.1.1-(2) 機械除草	m2	113,000			72号代価表 115頁
8.1.1.1-(3) 除草材の集積	m2	113,000			75号代価表 118頁
8.1.2.2-(1)-① 表土の削り取り(標準運搬工法)30a以上	m2	113,000			77号代価表 120頁
8.1.2.2-(1)-③ 袋詰め(標準運搬工法)	袋	7,539			79号代価表 122頁
8.1.2.5 深耕	m2	113,000			80号代価表 123頁
森林	式	1			細別行
13.1.1.5-(1) 伐木作業	ｈａ	17 900			82号代価表 125頁
13.1.1.5-(2) 除根作業	ｈａ	17 900			83号代価表 126頁
13.1.1.5-(3) 伐木除根(集積作業)	ｈａ	17 900			84号代価表 127頁
8.1.2.2-(1)-① 表土の削り取り(標準運搬工法)30a以上	m2	179,000			77号代価表 120頁
8.1.2.2-(1)-③ 袋詰め(標準運搬工法)	袋	11,980			79号代価表 122頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
(2)線量低減に伴い発生した土壌等の袋詰め	式	1			種別行
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	19,519			85号代価表 128頁
(3)材料費	式	1			種別行
耐候性大型土のう(二重内袋付) φ1100	袋	19,519			
２．家屋解体工	式	1			工種行
(1)伐採工	式	1			種別行
立竹木（藤棚含む）	式	1			細別行
立竹木伐木・除根・整地・集積積込み・運搬	m2	197,000			86号代価表 129頁
(2)移設物	式	1			種別行
自動車撤去	式	1			細別行
自動車（小型）撤去	台	53			92号代価表 135頁
(3)地中配管撤去工	式	1			種別行
敷地内撤去	式	1			細別行
地中配管撤去工　VP100	m	1,045			94号代価表 137頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
(4)敷地内整備工	式	1			種別行
敷地内整備	式	1			細別行
18.4.1.1 敷鉄板設置･撤去 1524*6096*22 供用日数14日	m2	4,930			96号代価表 139頁
(5)洗浄等	式	1			種別行
セルフスクリーニング	式	1			細別行
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁
3．造成工	式	1			工種行
(1)土工	式	1			種別行
掘削	式	1			細別行
掘削 土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土有り 30,000m3以上	m3	152,000			100号代価表 143頁
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	5,400			101号代価表 144頁
運搬	式	1			細別行
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 1.0km以下 良好	m3	5,420			102号代価表 145頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
盛土	式	1			細別行
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	171,200			103号代価表 146頁
(2)法面整形工	式	1			種別行
切土法面整形	式	1			細別行
法面整形 切土部 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	2,100			104号代価表 147頁
盛土法面整形	式	1			細別行
法面整形 盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	1,030			105号代価表 148頁
暫定切土法面整形	式	1			細別行
法面整形 切土部 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	920			104号代価表 147頁
暫定盛土法面整形	式	1			細別行
法面整形 盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	4,150			105号代価表 148頁
(3)法面保護工	式	1			種別行
切土法面	式	1			細別行
人力施工による植生工 植生ﾏｯﾄ工 500m2未満 制約無	m2	130			106号代価表 149頁

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
盛土法面	式	1			細別行
機械播種施工による植生工 種子散布工 1000m2以上(標準) 制約無	m2	1,030			107号代価表 150頁
暫定切土法面	式	1			細別行
吸出し防止材設置 全面	m2	920			108号代価表 151頁
暫定盛土法面	式	1			細別行
機械播種施工による植生工 種子散布工 1000m2以上(標準) 制約無	m2	4,150			107号代価表 150頁
４．堰堤工	式	1			工種行
(1)土工	式	1			種別行
盛土	式	1			細別行
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	120,400			101号代価表 144頁
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 1.0km以下 良好	m3	120,450			102号代価表 145頁
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	116,300			103号代価表 146頁
(2)法面整形工	式	1			種別行
盛土法面整形	式	1			細別行

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
法面整形 盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	24,400			105号代価表 148頁
(3)法面保護工	式	1			種別行
盛土法面	式	1			細別行
人工張芝	m2	12,730			109号代価表 152頁
(4)仕切堤	式	1			種別行
盛土	式	1			細別行
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	41,800			101号代価表 144頁
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 1.0km以下 良好	m3	41,790			102号代価表 145頁
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	59,300			103号代価表 146頁
盛土法面整形	式	1			細別行
法面整形 盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	64,260			105号代価表 148頁
盛土法面	式	1			細別行
人工張芝	m2	7,200			109号代価表 152頁
遮水工	式	1			細別行

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置 t=1.5mm 13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)	m2	41,100			110号代価表 153頁
13.1.1.9-(1)-② 下部ｼｰﾄ(保護ﾏｯﾄ)設置 不織布	m2	82,200			111号代価表 154頁
導電性マット	m2	41,100			112号代価表 155頁
防護柵工	式	1			細別行
防護柵設置工(ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ設置工) 土中建込 土中建込･塗装品･Gp-Cp-2E 100m以上 夜間無 制約無 曲線無 加算額無し	m	7,185			113号代価表 156頁
５. 地下水集排水設備工	式	1			工種行
(1)地下水集排水管	式	1			種別行
幹線	式	1			細別行
地下水集排水管(有孔) 幹線φ200mm	m	2,870			114号代価表 157頁
支線	式	1			細別行
地下水集排水管(有孔) 支線φ150mm	m	11,558			119号代価表 162頁
法面部	式	1			細別行
地下水集排水管(有孔) 法面部φ150mm	m	1,013			121号代価表 164頁
放流管	式	1			細別行

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要
地下水集排水管(有孔) 放流管φ200mm	m	113			122号代価表 165頁
６．遮水工	式	1			工種行
(1)遮水工	式	1			種別行
底面	式	1			細別行
13.1.1.9-(1)-②　下部ｼｰﾄ(保護ﾏｯﾄ)設置 不織布	m2	438,000			111号代価表 154頁
下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置　t=1.5mm 13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)	m2	438,000			110号代価表 153頁
ベントナイトマット ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄ質量4.01g/m2以上　貫入抵抗500N以上	m2	219,000			123号代価表 166頁
遮水工施工時管理	m2	219,000			124号代価表 167頁
法面	式	1			細別行
13.1.1.9-(1)-②　下部ｼｰﾄ(保護ﾏｯﾄ)設置 不織布	m2	27,200			111号代価表 154頁
導電性マット	m2	13,600			112号代価表 155頁
下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置　t=1.5mm 13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)	m2	27,200			110号代価表 153頁
ベントナイトマット ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄ質量4.01g/m2以上　貫入抵抗500N以上	m2	13,600			123号代価表 166頁
(2)固定工	式	1			種別行

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
天端	式	1			細別行
固定工　天端	m	954			125号代価表 168頁
小段	式	1			細別行
固定工　小段	m	562			130号代価表 173頁
(3)保護土(底面)	式	1			種別行
購入砂(排水層) t=50cm	式	1			細別行
排水層・購入砂　t=50cm 材料費＋敷均し＋締固め	m3	109,400			131号代価表 174頁
７．保有水等集排水設備工	式	1			工種行
(1)保有水等集排水管	式	1			種別行
幹線	式	1			細別行
保有水等集排水管(有孔) 幹線φ300mm	m	2,770			132号代価表 175頁
保有水等集排水管(無孔) 幹線φ300mm	m	93			135号代価表 178頁
支線	式	1			細別行
保有水等集排水管(有孔) 支線φ200mm	m	8,448			139号代価表 182頁

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
(2)排水縦孔	式	1			種別行
排水縦孔	式	1			細別行
排水縦孔(有孔) φ200mm	箇所	109			140号代価表 183頁
(3)浸出水集水ピット	式	1			種別行
浸出水集水ピット	式	1			細別行
浸出水集水ピット 地下水ピット含む	基	4			141号代価表 184頁
8．浸出水処理施設工	式	1			工種行
(1)浸出水処理施設	式	1			種別行
建設工事	式	1			細別行
浸出水送水設備 据付費	式	1			156号代価表 200頁
浸出水調整設備(RC水槽) 建設費	式	1			157号代価表 201頁
浸出水処理設備(ポンプ等) 建設費	式	1			158号代価表 202頁
浸出水処理設備 据付費	式	1			159号代価表 203頁
計装設備 (中央監視装置等) 据付費	式	1			160号代価表 204頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
建築（監視室） 据付費	式	1			161号代価表 205頁
９．雨水集排水設備工	式	1			工種行
(1)排水溝	式	1			種別行
Ｕ型側溝	式	1			細別行
U型側溝(標準単価) U-600～U-900（代表U-800)	m	597			162号代価表 206頁
U型側溝(標準単価) U-1000～U-1400（代表U-1200)	m	492			165号代価表 209頁
U型側溝(標準単価) BF-300	m	725			166号代価表 210頁
U型側溝(標準単価) BF-600	m	290			167号代価表 211頁
U型側溝(標準単価) BF-700～BF-1000（代表BF-900)	m	1,142			168号代価表 212頁
高耐圧ポリエチレン管	式	1			細別行
高耐圧ポリエチレン管 φ1350～φ1650（代表φ1500)	m	252			169号代価表 213頁
集水桝	式	1			細別行
集水桝Ａ 500×500×500	箇所	3			172号代価表 216頁
集水桝Ｃ 800×800×800	箇所	9			174号代価表 218頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
集水桝Ｄ 1200×1200×1200	箇所	2			176号代価表 220頁
集水桝Ｅ 1600×1600×1600	箇所	6			178号代価表 222頁
(2)防災調整池（沈砂池）	式	1			種別行
掘削	式	1			細別行
掘削 土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無し 障害無し 50,000m3以上	m3	52,800			180号代価表 224頁
掘削 土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土有り 30,000m3以上	m3	2,400			100号代価表 143頁
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.3km以下 良好	m3	52,800			181号代価表 225頁
法面工	式	1			細別行
法面整形 切土部 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	4,810			104号代価表 147頁
機械播種施工による植生工 種子散布工 1000m2以上(標準) 制約無	m2	800			107号代価表 150頁
人工張芝	m2	4,010			109号代価表 152頁
放流塔（土壌貯蔵施設用）	箇所	1			182号代価表 226頁
放流塔（受入・分別施設）	箇所	1			184号代価表 228頁
放流函渠 2000×2000	m	130			187号代価表 231頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
放流管 ヒューム管φ600	m	25			190号代価表 234頁
１０．モニタリング設備工	式	1			工種行
(1)水質観測井戸	式	1			種別行
水質観測井戸工	式	1			細別行
13.1.1.1 水質観測井戸工 VPφ50 深度10m	箇所	6			192号代価表 236頁
１１．道路工	式	1			工種行
(1)舗装等	式	1			種別行
敷鉄板	式	1			細別行
18.4.1.1 敷鉄板設置･撤去 手間のみ	m2	4,810			194号代価表 239頁
管理道路	式	1			細別行
鋼板賃料 22*1524*6096 供用720日	枚	534			195号代価表 240頁
表層(車道･路肩部) 1.4m以上 50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) ﾀｯｸｺｰﾄPK-4	m2	4,780			196号代価表 241頁
上層路盤(車道･路肩部) 再生瀝青安定処理材(40) 95mm超100mm以下 1.4m以上 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3	m2	4,780			198号代価表 243頁
下層路盤(車道･路肩部) 175mm超200mm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40	m2	4,780			200号代価表 245頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
土工	式	1			細別行
掘削 土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無し 障害無し 50,000m3以上	m3	1,700			180号代価表 224頁
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.3km以下 良好	m3	1,670			181号代価表 225頁
(2)防護柵工	式	1			種別行
ガードレール	式	1			細別行
防護柵設置工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工) 土中建込 土中建込･塗装品･Gr-C-4E 100m以上(標準) 夜間無 制約無 曲線無 加算無し	m	572			201号代価表 246頁
１２．付帯設備工	式	1			工種行
(1)囲障設備	式	1			種別行
施設周辺	式	1			細別行
金網(ﾌｪﾝｽ)･支柱(立入防止柵) 設置 H=1.8m	m	2,433			202号代価表 247頁
調整池周辺	式	1			細別行
金網(ﾌｪﾝｽ)･支柱(立入防止柵) 設置 H=1.8m	m	554			202号代価表 247頁
門扉	式	1			細別行
門扉 H=2.0m	箇所	2			203号代価表 248頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　　要
(2)その他設備	式	1			種別行
その他設備	式	1			細別行
13.1.1.18-③ 保管場所等を記載する掲示板の設置	枚	1			206号代価表 251頁
13.1.1.18-④ 空間線量率の測定結果等を記載する看板の設置	枚	1			207号代価表 252頁
13.1.1.18-⑤ 消火器設置	ｾｯﾄ	2			208号代価表 253頁
１３．道路補修工	式	1			工種行
(1)道路補修工	式	1			種別行
道路補修等	式	1			細別行
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 As:15cm以下	m	300			209号代価表 254頁
舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り	m2	1,000			210号代価表 255頁
表層(車道･路肩部) 1.4m以上 50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) ﾀｯｸｺｰﾄPK-4	m2	1,000			196号代価表 241頁
上層路盤(車道･路肩部) 再生瀝青安定処理材(40) 95mm超100mm以下 1.4m以上 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3	m2	1,000			198号代価表 243頁
下層路盤(車道･路肩部) 175mm超200mm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40	m2	1,000			200号代価表 245頁
１４．輸送工	式	1			工種行

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
(1)輸送工	式	1			種別行
大熊５工区 N=907,200t(不燃)　N=72,000袋(可燃)	式	1			細別行
仮置場9　運搬距離L=140Km N=291,190ｔ(不燃)　N=23,110袋（可燃）	式	1			211号代価表 256頁
仮置場10　運搬距離L=150Km N=64,750ｔ(不燃)　N=5,140袋（可燃）	式	1			225号代価表 272頁
仮置場11　運搬距離L=120Km N=104,450ｔ(不燃)　N=8,290袋（可燃）	式	1			230号代価表 279頁
仮置場12　運搬距離L=140Km N=2,420ｔ(不燃)　N=190袋（可燃）	式	1			235号代価表 286頁
仮置場13　運搬距離L=140Km N=19,810ｔ(不燃)　N=1,570袋（可燃）	式	1			238号代価表 291頁
仮置場19　運搬距離L=120Km N=49,970ｔ(不燃)　N=3,960袋（可燃）	式	1			241号代価表 296頁
仮置場21　運搬距離L=140Km N=95,410ｔ(不燃)　N=7,570袋（可燃）	式	1			244号代価表 301頁
仮置場22　運搬距離L=150Km N=249,050ｔ(不燃)　N=19,770袋（可燃）	式	1			247号代価表 306頁
仮置場23　運搬距離L=130Km N=13,830ｔ(不燃)　N=1,100袋（可燃）	式	1			250号代価表 311頁
仮置場24　運搬距離L=140Km N=4,280ｔ(不燃)　N=340袋（可燃）	式	1			255号代価表 318頁
仮置場25　運搬距離L=130Km N=9,770ｔ(不燃)　N=780袋（可燃）	式	1			257号代価表 322頁
仮置場26　運搬距離L=140Km N=2,270ｔ(不燃)　N=180袋（可燃）	式	1			258号代価表 325頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
１５．運搬工	式	1			工種行
(1)他工区からの運搬	式	1			種別行
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	990,000			101号代価表 144頁
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 1.0km以下 良好	m3	990,000			102号代価表 145頁
１６．埋立工	式	1			工種行
(1)堰堤 2段目	式	1			種別行
掘削	式	1			細別行
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	22,800			101号代価表 144頁
運搬	式	1			細別行
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.3km以下 良好	m3	22,780			181号代価表 225頁
盛土	式	1			細別行
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	20,500			103号代価表 146頁
盛土法面整形	式	1			細別行
法面整形 盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	6,110			105号代価表 148頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
盛土法面	式	1			細別行
人工張芝	m2	4,420			109号代価表 152頁
遮水工	式	1			細別行
下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置 t=1.5mm 13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)	m2	6,830			110号代価表 153頁
13.1.1.9-(1)-② 下部ｼｰﾄ(保護ﾏｯﾄ)設置 不織布	m2	22,800			111号代価表 154頁
導電性マット	m2	3,060			112号代価表 155頁
(2)仕切堤	式	1			種別行
盛土	式	1			細別行
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	412,900			103号代価表 146頁
盛土法面整形	式	1			細別行
法面整形 盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土	m2	295,400			105号代価表 148頁
(3)保護土(法面シート保護)	式	1			種別行
堰堤1段目 t=50cm	式	1			細別行
排水層・購入砂　t=50cm 材料費＋敷均し＋締固め	m3	4,600			259号代価表 328頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
排水層 盛土法面整形(土羽整形)	m2	9,260			260号代価表 329頁
堰堤2段目 t=50cm	式	1			細別行
排水層・購入砂　t=50cm 材料費＋敷均し＋締固め	m3	1,500			259号代価表 328頁
排水層 盛土法面整形(土羽整形)	m2	3,060			260号代価表 329頁
(4)埋立て	式	1			種別行
除去土壌埋立	式	1			細別行
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	1127200			101号代価表 144頁
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.3km以下 良好	m3	1127150			181号代価表 225頁
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	1127200			103号代価表 146頁
排水縦孔	式	1			細別行
排水縦孔(有孔)立上げ管 φ200mm	m	927			262号代価表 331頁
排水層	式	1			細別行
排水層・購入砂 サンドマット　t=150mm	m3	150,000			264号代価表 333頁
(5)雨水排水	式	1			種別行

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
締切排水工	式	1			細別行
水替ﾎﾟﾝﾌﾟ据付･撤去	箇所	1			266号代価表 335頁
ﾎﾟﾝﾌﾟ運転(常時排水) 発動発電機 排水量0m3/h以上40m3/h未満	日	225			267号代価表 336頁
(6)浸出水処理	式	1			種別行
機械損料	式	1			細別行
浸出水送水設備 機械損料(償却費)	月	24			268号代価表 337頁
浸出水送水設備 機械損料(管理費)	月	24			269号代価表 338頁
浸出水送水設備 機械損料(維持修理費)	m3	120,000			270号代価表 339頁
浸出水調整設備（ポンプ等) 機械損料(償却費)	月	24			271号代価表 340頁
浸出水調整設備（ポンプ等) 機械損料(管理費)	月	24			272号代価表 341頁
浸出水調整設備（ポンプ等) 機械損料(維持修理費)	m3	120,000			273号代価表 342頁
浸出水処理設備(主要設備) 機械損料(償却費)	月	24			274号代価表 343頁
浸出水処理設備(主要設備) 機械損料(管理費)	月	24			344号代価表 414頁
浸出水処理設備(主要設備) 機械損料(維持修理費)	m3	120,000			276号代価表 344頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
計装設備（中央監視装置等） 機械損料(償却費)	月	24			280号代価表 345頁
計装設備（中央監視装置等） 機械損料(管理費)	月	24			281号代価表 346頁
計装設備（中央監視装置等） 機械損料(維持修理費)	m3	120,000			282号代価表 347頁
建築（監視室） 損料又は賃料	月	24			283号代価表 348頁
運転経費	m3	120,000			284号代価表 349頁
運転経費 埋立	m3	120,000			343号代価表 413頁
１７．被覆工(キャッピング工)	式	1			工種行
(1)排気層	式	1			種別行
排気層(購入砂) サンドマット　t=150mm	m3	24,240			285号代価表 350頁
(2)遮水層	式	1			種別行
遮水シート(暫定最終覆土) t=1.5mm	m2	55,400			286号代価表 351頁
遮水シート(最終覆土) t=1.5mm	m2	162,000			287号代価表 352頁
13.1.1.9-(1)-② 下部ｼｰﾄ(保護ﾏｯﾄ)設置 不織布	m2	324,000			111号代価表 154頁
(3)最終覆土(排水層)	式	1			種別行

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
排水層(砂)	式	1			細別行
排水層・購入砂 サンドマット　t=150mm	m3	24,240			264号代価表 333頁
掘削	式	1			細別行
積込(ﾙｰｽﾞ) 土砂 土量50,000m3以上	m3	62,900			101号代価表 144頁
運搬	式	1			細別行
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 1.0km以下 良好	m3	62,860			102号代価表 145頁
盛土(t=350mm)	式	1			細別行
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	56,600			103号代価表 146頁
植生	式	1			細別行
人工張芝	m2	161,630			109号代価表 152頁
(4)排水溝	式	1			種別行
Ｕ型側溝	式	1			細別行
ベンチフリューム工 BF-300	m	8,940			288号代価表 353頁
集水桝Ａ 500×500×500	箇所	32			290号代価表 355頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
１８．スクリーニング、洗浄	式	1			工種行
(1)返却前の高圧水洗浄	式	1			種別行
返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	60			222号代価表 269頁
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	4,810			98号代価表 141頁
16.1.1.7 汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離(片道)2.0km以下	m3	173			291号代価表 356頁
(2)返却前のセルフスクリーニング	式	1			種別行
返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	60			224号代価表 271頁
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	1,920			99号代価表 142頁
１９．交通安全管理費	式	1			工種行
安全費	式	1			種別行
交通誘導員A(除染) 特殊勤務手当なし	人	750			70号代価表 113頁
交通誘導員B(除染) 特殊勤務手当なし	人	2,057			71号代価表 114頁

本工事費内訳書

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
２０．特殊勤務手当	式	1			工種行
特殊勤務手当	式	1			種別行
除染等業務	式	1			細別行
土壌貯蔵施設工事	人	60,000			292号代価表 357頁
家屋解体分	人	5,600			293号代価表 358頁
輸送工分	人	133,300			294号代価表 359頁
特定線量下業務	式	1			細別行
土壌貯蔵施設工事	人	60,000			295号代価表 360頁
直接工事費	式	1			
共通仮設費	式	1			
共通仮設費	式	1			
運搬費	式	1			1号内訳書 32頁
事業損失防止施設費	式	1			2号内訳書 33頁
安全費	式	1			3号内訳書 34頁

平成30年度中間貯蔵(大熊５工区)土壌貯蔵施設等工事(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数量	単価	金額	摘要
役務費	式	1			4号内訳書 36頁
技術管理費	式	1			5号内訳書 37頁
共通仮設費(率計上)	式	1			
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
諸経費対象外	式	1			6号内訳書 42頁
工事価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
工事費計	式	1			

運搬費

内訳書

(1号内訳書)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
【受入・分別処理工事】	式	1			費目行	
機械設備運搬費等	式	1			296号代価表 361頁	
【土壌貯蔵施設工事】	式	1			費目行	
仮設材運搬 製品L≦12m 片道4km 往復	t	857			297号代価表 362頁	
仮設材運搬 製品L≦12m 片道4km 往復	t	208			297号代価表 362頁	
重建設機械分解組立輸送 分解組立+輸送(往復) ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ 20t級以上21t級以下	回	2			298号代価表 363頁	
重建設機械分解組立輸送 分解組立+輸送(往復) ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ 21t級を超え44t級以下	回	1			299号代価表 364頁	
重建設機械分解組立輸送 分解組立+輸送(往復) ﾊﾞｯｸﾎｳ系 山積1.0m3以上山積1.4m3以下(油圧ｸﾗﾑｼｪﾙ	回	1			300号代価表 365頁	
浸出水処理施設 設備運搬	式	1			301号代価表 366頁	
計						

事業損失防止施設費

内訳書

（　　2号内訳書　　）

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
輸送ルート巡回	式	1			費目行	
輸送ルート巡回工 各ルート週一回	回	113			302号代価表 367頁	
計						

安全費

内訳書

(3号内訳書)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【受入・分別処理工事】	式	1			費目行	
(1)放射線管理	式	1			工種行	
放射線管理責任者 建設～竣工まで	月	36			305号代価表 370頁	
(2)防護具等	式	1			工種行	
19.1.1.1-(2) 防護具B	組	99,000			306号代価表 371頁	
19.1.1.2-(2) 使用済み防護具の回収費(全身化学防護服を使用する場合)	組	99,000			307号代価表 372頁	
19.1.1.3 除染電離則に係る安全講習費 3960人	工事	1			308号代価表 373頁	
19.1.1.4 健康診断費	人	99,000			309号代価表 374頁	
19.1.1.5 ｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	人	99,000			310号代価表 375頁	
放射線管理手帳	組	3,960			311号代価表 376頁	
【土壌貯蔵施設工事】	式	1			費目行	
(1)防護具等	式	1			工種行	
19.1.1.1-(2) 防護具B	組	258,900			306号代価表 371頁	
19.1.1.2-(2) 使用済み防護具の回収費(全身化学防護服を使用する場合)	組	258,900			307号代価表 372頁	

安全費

内訳書

(3号内訳書)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
除染電離則に係る安全講習費 11680人	工事	1			312号代価表 377頁	
19.1.1.4 健康診断費	人	258,900			309号代価表 374頁	
19.1.1.5 ｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	人	258,900			310号代価表 375頁	
放射線管理手帳	組	11,680			311号代価表 376頁	
計						

役務費

内訳書

(4号内訳書)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
【受入・分別処理工事】	式	1			費目行	
(1)分別処理	式	1			工種行	
電気料金基本料	月	24			313号代価表 378頁	
【土壌貯蔵施設工事】	式	1			費目行	
(1)浸出水処理施設	式	1			工種行	
電気料金基本料	月	24			314号代価表 379頁	
計						

技術管理費

内訳書

(5号内訳書)

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
【受入・分別処理工事】	式	1			費目行	
(1)環境モニタリング	式	1			工種行	
周辺・作業環境測定	月	24			315号代価表 380頁	
【土壌貯蔵施設工事】	式	1			費目行	
(1)線量低減措置前後の放射線量測定	式	1			工種行	
線量低減措置前	式	1			種別行	
20.1.5.1-① 汚染土壌等の放射能濃度測定	測点	10			316号代価表 381頁	
20.1.5.1-② 放射能濃度測定のﾃﾞｰﾀ整理作業	測点	10			317号代価表 382頁	
20.1.2.2-① 放射線の事前測定点設置作業	測点	890			318号代価表 383頁	
20.1.2.2-② 放射線の事前測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	890			319号代価表 384頁	
20.1.2.2-③ 放射線の事前測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	890			320号代価表 385頁	
線量低減措置後	式	1			種別行	
20-1-2-3-② 放射線の事後測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	483			321号代価表 386頁	
20-1-2-3-③ 放射線の事後測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	483			322号代価表 387頁	

技術管理費

内訳書

(5号内訳書)

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
(2)家屋解体に係る放射線量測定 受入分別施設用地含む	式	1			工種行	
線量低減措置前	式	1			種別行	
20.1.2.2-① 放射線の事前測定点設置作業	測点	265			318号代価表 383頁	
20.1.2.2-② 放射線の事前測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	265			319号代価表 384頁	
線量低減措置後	式	1			種別行	
20-1-2-3-② 放射線の事後測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	265			321号代価表 386頁	
20-1-2-3-③ 放射線の事後測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	530			322号代価表 387頁	
(3)輸送に係る放射線量測定	式	1			工種行	
線量低減措置前	式	1			種別行	
20.1.5.1-① 汚染土壌等の放射能濃度測定	測点	12			316号代価表 381頁	
20.1.5.1-② 放射能濃度測定のﾃﾞｰﾀ整理作業	測点	12			317号代価表 382頁	
20.1.2.2-① 放射線の事前測定点設置作業	測点	60			318号代価表 383頁	
20.1.2.2-② 放射線の事前測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	60			319号代価表 384頁	
20.1.2.2-③ 放射線の事前測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	60			320号代価表 385頁	

技術管理費

内訳書

(5号内訳書)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
線量低減措置後	式	1			種別行	
20-1-2-3-② 放射線の事後測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	2,785			321号代価表 386頁	
20-1-2-3-③ 放射線の事後測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	2,785			322号代価表 387頁	
(4)環境モニタリング (埋立前、埋立中、埋立終了後)	式	1			工種行	
地下水(井戸)	式	1			種別行	
地下水検査項目 25項目	検体	12			323号代価表 388頁	
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	検体	12				
20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定	検体	420			324号代価表 390頁	
水質分析 一般項目 電気伝導率	検体	100				
水質分析 一般項目 塩素ｲｵﾝ	検体	100				
処理水	式	1			種別行	
20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定	検体	104			324号代価表 390頁	
水質分析 生活環境項目 水素ｲｵﾝ濃度(pH)	検体	24				
水質分析 生活環境項目 生物化学的酸素要求量(BOD)	検体	24				

技術管理費

内訳書

(5号内訳書)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
水質分析 生活環境項目 化学的酸素要求量(COD)	検体	24				
水質分析 生活環境項目 浮遊物質量(SS)	検体	24				
その他排水基準項目 37項目	検体	2			325号代価表 391頁	
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類	検体	2				
河川	式	1			種別行	
20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定	検体	25			324号代価表 390頁	
環境基準項目 32項目	検体	3			326号代価表 394頁	
沈砂池	式	1			種別行	
水質分析 生活環境項目 浮遊物質量(SS)	検体	24				
工事用地境界	式	1			種別行	
騒音レベル	検体	6			327号代価表 397頁	
振動レベル	検体	6			328号代価表 398頁	
臭気指数	検体	6			329号代価表 399頁	
20.1.2.2-① 放射線の事前測定点設置作業	測点	5			318号代価表 383頁	

技術管理費

内訳書

(5号内訳書)

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
20.1.2.2-② 放射線の事前測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	525			319号代価表 384頁	
20.1.2.2-③ 放射線の事前測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	525			320号代価表 385頁	
作業環境	式	1			種別行	
20.1.2.2-① 放射線の事前測定点設置作業	測点	1			318号代価表 383頁	
20.1.2.2-② 放射線の事前測定外業人件費 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	24			319号代価表 384頁	
20.1.2.2-③ 放射線の事前測定ﾃﾞｰﾀ整理作業 (67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高	測点	24			320号代価表 385頁	
20-1-2-2-④ 放射線の事前測定外業人件費 (100測点当り) 高さ1cm位置の空間線量率･高さ1cm位置の表面汚染密度	測点	24			330号代価表 400頁	
(5)輸送に係る仮置場等の環境モニタリング	式	1			工種行	
輸送に係る仮置場等の環境モニタリング	式	1			種別行	
20.1.4.1 地下水の放射能濃度の測定	検体	288			324号代価表 390頁	
20.1.4.2 浸出水の放射能濃度の測定	検体	288			331号代価表 401頁	
計						

諸経費対象外

内訳書

(6号内訳書)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
(1)建築工事	式	1			工種行	
建物解体工事費 土壌貯蔵施設建物解体N=51棟	式	1			334号代価表 404頁	
(2)調査・設計	式	1			工種行	
調査費 地質調査	式	1			335号代価表 405頁	
設計業務 受入・分別施設　実施設計	式	1			336号代価表 406頁	
設計費 土壌貯蔵施設　実施設計	式	1			337号代価表 407頁	
設計費 浸出水処理施設　実施設計	式	1			338号代価表 408頁	
(3)被ばく線量登録線量	式	1			工種行	
被ばく線量登録管理制度参加	人	17,976			339号代価表 409頁	
(4)事業者システム	式	1			工種行	
初期費用(事業者システム)	式	1			340号代価表 410頁	
運用経費(事業者システム)	月	24			341号代価表 411頁	
(5)高速道路料金	式	1			種別行	
高速道路料金	式	1			342号代価表 412頁	

諸経費対象外

内訳書

（ 6号内訳書 ）

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
計						

代価表

荷下ろし設備
据付費

（　1号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
荷下ろし設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

破袋設備
据付費

(2号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
破袋設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

一次分別設備
据付費

代価表

（　　　3号代価表　　　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
一次分別設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

二次分別設備(改質処理)
据付費

代価表

(　4号代価表　)

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
二次分別設備(改質処理) 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

二次分別設備(分別処理)
据付費

(　　5号代価表　　)

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
二次分別設備(分別処理) 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

処理土壌運搬設備(直線部)
据付費

代価表

(6号代価表)

1 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
処理土壌運搬設備(直線部) 据付費	m	1				
計						
1 m 当り						

処理土壌運搬設備(乗継部)
据付費

代価表

(7号代価表)

1箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
処理土壌運搬設備(乗継部) 据付費	箇所	1				
計						
1 箇所 当り						

代価表

計量設備
据付費

（ 8号代価表 ）

1式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
計量設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

その他設備
据付費

代価表

(9号代価表)

1式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
その他設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

土木工事及び外構工事

代価表

（　　10号代価表　　）

1 式当り

名　称・規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
土木工事及び外構工事	式	1				
計						
1 式 当り						

受入・分別施設建屋
設置費

代価表

(11号代価表)

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
受入・分別施設建屋 設置費	式	1				
計						
1 式 当り						

54 頁

代価表

受入・分別施設換気扇用の集じん設備
設置費

(　12号代価表　)

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
受入・分別施設・荷下ろし設備・一次置場建屋:換気扇用の集じん設備 設置費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

荷下ろし設備建屋
設置費

（　　　13号代価表　　　）

1 式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
荷下ろし設備建屋 設置費	式	1				
計						
1 式 当り						

一時置場建屋
設置費

代価表

(14号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一時置場建屋 設置費	式	1				
計						
1 式 当り						

処理土壌中継テント
設置費

代価表

（　15号代価表　）

1 式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
処理土壌中継テント 設置費	式	1				
計						
1 式 当り						

監視室
設置費

代価表

（ 16号代価表 ）

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
監視室 設置費	式	1				
計						
1 式 当り						

荷下ろし設備
機械損料(償却費)

代価表

(17号代価表)

24 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
荷下ろし設備 機械損料(償却費)	月	24				
計						
1 月 当り						

代価表

荷下ろし設備
機械損料(管理費)

(18号代価表)

24 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
荷下ろし設備 機械損料(管理費)	月	24				
計						
1 月 当り						

荷下ろし設備
機械損料(維持修理費)

代価表

(19号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
荷下ろし設備 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

荷下ろし設備
運転経費

代価表

（　　20号代価表　　）

1 t 当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
荷下ろし設備 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

破袋設備
機械損料(償却費)

(21号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
破袋設備 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

破袋設備
機械損料(管理費)

代価表

(22号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
破袋設備 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

破袋設備
機械損料(維持修理費)

代価表

(23号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
破袋設備 機械損料(維持修理費)	月	1				
計						
1 t 当り						

破袋設備
運転経費

代価表

（　　24号代価表　　）

1 t 当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
破袋設備 運転経費	月	1				
計						
1 t 当り						

一次分別設備
機械損料(償却費)

代価表

(25号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一次分別設備 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

一次分別設備
機械損料(管理費)

代価表

(26号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一次分別設備 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

一次分別設備
機械損料(維持修理費)

代価表

(27号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一次分別設備 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

一次分別設備
運転経費

代価表

（　　28号代価表　　）

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一次分別設備 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

71 頁

二次分別設備(改質処理)
機械損料(償却費)

代価表

(29号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
二次分別設備(改質処理) 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

二次分別設備(改質処理)
機械損料(管理費)

(30号代価表)

1 月当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
二次分別設備(改質処理) 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

二次分別設備(改質処理)
機械損料(維持修理費)

代価表

(31号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
二次分別設備(改質処理) 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

二次分別設備(改質処理)
運転経費

代価表

(32号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
二次分別設備(改質処理) 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

二次分別設備(改質処理)
改質材

(　33号代価表　)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
二次分別設備(改質処理) 改質材	t	1				
計						
1 t 当り						

二次分別設備(分別処理)
機械損料(償却費)

代価表

(34号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
二次分別設備(分別処理) 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

二次分別設備(分別処理)
機械損料(管理費)

代価表

(35号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
二次分別設備(改質処理) 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

二次分別設備(分別処理)
機械損料(維持修理費)

代価表

(36号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
二次分別設備(分別処理) 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

79 頁

二次分別設備(分別処理)
運転経費

代価表

(37号代価表)

1 t 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
二次分別設備(分別処理) 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

80 頁

処理土壌運搬設備(直線部)
機械損料(償却費)

代価表

(38号代価表)

1月当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
処理土壌運搬設備 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

処理土壌運搬設備(直線部)
機械損料(管理費)

代価表

(39号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処理土壌運搬設備 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

処理土壌運搬設備(直線部)
機械損料(維持修理費)

代価表

(40号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
処理土壌運搬設備 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

処理土壌運搬設備(乗継部)
機械損料(償却費)

(41号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処理土壌運搬設備 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

処理土壌運搬設備(乗継部)
機械損料(管理費)

代価表

(42号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処理土壌運搬設備 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

処理土壌運搬設備(乗継部)
機械損料(維持修理費)

代価表

(43号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処理土壌運搬設備 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

86 頁

代価表

処理土壌運搬設備
運転経費

（　　44号代価表　　）

1 t 当り

名　称・規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
処理土壌運搬設備 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

計量設備
機械損料(償却費)

(45号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
計量設備 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

計量設備
機械損料(管理費)

代価表

(46号代価表)

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
計量設備 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

計量設備
機械損料(維持修理費)

代価表

(47号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
計量設備 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

計量設備
運転経費

（　　48号代価表　　）

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
計量設備 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

その他設備(電気設備、計装設備)
機械損料(償却費)

代価表

(49号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
その他設備(電気設備、計装設備) 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

その他設備(電気設備、計装設備)
機械損料(管理費)

代価表

(50号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
その他設備(電気設備、計装設備) 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

93 頁

その他設備(電気設備、計装設備)
機械損料(維持修理費)

代価表

(51号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
その他設備(電気設備、計装設備) 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

94 頁

その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等)
機械損料(償却費)

代価表

(52号代価表)

1月当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等) 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等)
機械損料(管理費)

代価表

(53号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等) 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等)
機械損料(維持修理費)

代価表

(54号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
その他設備(給水設備、排水処理設備、その他設備等) 機械損料(維持修理費)	t	1				
計						
1 t 当り						

その他設備
運転経費

代価表

(55号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
その他設備 運転経費	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

(56号代価表)

受入・分別施設建屋
損料(償却費)

1月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
受入・分別施設建屋 損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

受入・分別施設建屋
損料(維持修理費、管理費)

代価表

(57号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
受入・分別建屋 損料(維持修理費、管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

受入・分別施設建屋集じん設備
機械損料(償却費)

代価表

(58号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
受入・分別施設建屋集じん設備 損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

受入・分別施設建屋集じん設備
機械損料(維持修理費、管理費)

代価表

(59号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
受入・分別施設建屋集じん設備 機械損料(維持修理費、管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

荷下ろし設備建屋
損料(償却費)

代価表

(60号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
荷下ろし設備建屋 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

荷下ろし設備建屋
損料(維持修理費、管理費)

(61号代価表)

1月当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
荷下ろし設備建屋 機械損料(維持修理費、管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

一時置場建屋
損料(償却費)

代価表

(62号代価表)

1月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
一次置場建屋 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

一時置場建屋
損料(維持修理費、管理費)

(63号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
一次置場建屋 機械損料(維持修理費、管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

処理土壌中継テント
損料(償却費)

(64号代価表)

1月当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
処理土壌中継テント 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

処理土壌中継テント
機械損料(維持修理費、管理費)

(65号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
処理土壌中継テント 機械損料(維持修理費、管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

監視室
損料または賃料

代価表

（　66号代価表　）

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
監視室 損料または賃料	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

建築設備(処理土壌中継テントを除く)
運転経費(電力料、消耗部品費)

(67号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
建築設備 運転経費(電力料、消耗部品費)	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

建築設備(処理土壌中継テント)
運転経費(電力料、消耗部品費)

(68号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
建築設備 運転経費(電力料、消耗部品費)	t	1				
計						
1 t 当り						

受入・分別施設建屋集じん設備
運転経費(電力料、消耗部品費)

代価表

(69号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
受入・分別施設建屋集じん設備 運転経費(電力料、消耗部品費)	t	1				
計						
1 t 当り						

交通誘導員A(除染)
特殊勤務手当なし

代価表

(70号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
交通誘導警備員A	人	1				
計						
1 人 当り						

代価表

交通誘導員B(除染)
特殊勤務手当なし

(71号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
交通誘導警備員B	人	1				
計						
1 人 当り						

代価表

(72号代価表)

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.010			73号代価表 116頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.050			74号代価表 117頁	
農用ﾄﾗｸﾀ 乗用ﾎｲｰﾙ型・四輪駆動・67~88kW級(90~120Ps)	時間	0.270				
ｵﾌｾｯﾄｼｭﾚｯﾀｰ 作業幅200cm	日	0.040				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	3				
計						
1 m2 当り						

代価表

作業指揮者
特殊勤務手当なし

（　　73号代価表　　）

1 人当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	1				
計						
1 人 当り						

運転手(除染特殊)
特殊勤務手当なし

代価表

(74号代価表)

1 人当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)	人	1				
計						
1 人 当り						

8.1.1.1-(3) 除草材の集積

代価表

(75号代価表)

1,000 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.060			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.160			76号代価表 119頁	
集草機 ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式､120cm	日	0.630				
刈草梱包機械 梱包50cm*70cm･ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式･ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ	日	0.590				
ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ	L	21.300				
計						
1 m2 当り						

特殊除染作業員
特殊勤務手当なし

代価表

(76号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊作業員	人	1				
計						
1 人 当り						

8.1.2.2-(1)-① 表土の削り取り(標準運搬工法)30a以上

代価表

(77号代価表)

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.030			73号代価表 116頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.180			78号代価表 121頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.080			74号代価表 117頁	
ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	0.480				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	5.300				
計						
1 m2 当り						

代価表

（　　78号代価表　　）

普通除染作業員
特殊勤務手当なし

1 人当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
普通作業員	人	1				
計						
1 人 当り						

8.1.2.2-(1)-③ 袋詰め(標準運搬工法)

代価表

(79号代価表)

10 袋当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.060			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.210			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.240			78号代価表 121頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.230			74号代価表 117頁	
ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	1.420				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	16				
諸雑費	%	1.400			諸雑費	
計						
1 袋 当り						

8.1.2.5 深耕

代価表

(80号代価表)

10,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	4 300			81号代価表 124頁	
農用ﾄﾗｸﾀ 乗用ﾎｲｰﾙ型・四輪駆動・22kW級(30Ps)	供用日	4 300				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	60				
諸雑費	%	14			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

運転手(除染一般)
特殊勤務手当なし

代価表

(81号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(一般)	人	1				
計						
1 人 当り						

13.1.1.5-(1) 伐木作業

代価表

(82号代価表)

1 h a 当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	4.410			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	14.710			76号代価表 119頁	
諸雑費	%	6			諸雑費	
計						
1 h a 当り						

13.1.1.5-(2) 除根作業

代価表

(83号代価表)

1 h a 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 180			73号代価表 116頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	1 210			74号代価表 117頁	
ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ 普通 15t	時間	7 100				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	134 900				
計						
1 h a 当り						

13.1.1.5-(3) 伐木除根(集積作業)

代価表

(84号代価表)

1ｈａ当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.050			73号代価表 116頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.310			74号代価表 117頁	
ﾚｰｷﾄﾞｰｻﾞ 普通 15t	時間	1.800				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	34.200				
計						
1ｈａ 当り						

16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け

代価表

（　　85号代価表　　）

160 袋当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3			76号代価表 119頁	
諸雑費	%	10			諸雑費	
計						
1 袋 当り						

立竹木伐木・除根・整地・集積積込み・運搬

代価表

(86号代価表)

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
伐木･伐竹(伐木除根) 伐木(密)(50本/100m2以上)	m2	1			87号代価表 130頁	
除根(伐木除根)	m2	1			88号代価表 131頁	
整地(伐木除根)	m2	1			89号代価表 132頁	
集積積込み(機械施工)(伐木除根) 無し	m2	1			90号代価表 133頁	
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業無し DID区間無し 1.5km以下 良好	m2	1			91号代価表 134頁	
計						
1 m2 当り						

伐木･伐竹(伐木除根)
伐木(密)(50本/100m2以上)

代価表

(87号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	特殊作業員	63.05		特殊作業員		
R2	土木一般世話役	18.58		土木一般世話役		
R3	普通作業員	11.83		普通作業員		

除根(伐木除根)

代価表

(88号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
K		31.19				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	26.11		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
K2	掴み装置 <ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ> 0.7m級	5.08		ﾊﾞｯｸﾎｳ用ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ[掴み装置] 最大把持外径(開口幅)0.7m級		
R		61.23				
R1	運転手(特殊)	33.05		運転手(特殊)		
R2	土木一般世話役	28.18		土木一般世話役		
Z		7.58				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	7.58		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

整地(伐木除根)

代価表

(89号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		25.39				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.8(平積0.6)m3	25.39		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		61.34				
R1	運転手(特殊)	36.17		運転手(特殊)		
R2	土木一般世話役	25.17		土木一般世話役		
Z		13.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	13.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

集積積込み(機械施工)(伐木除根)
無し

(90号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格 (基準地区単価)	基準地区単価	備　　考
K		31.85				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	26.66		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
K2	掴み装置 <ｸﾞﾗｯﾌﾟﾙ> 0.7m級	5.19		ﾊﾞｯｸﾎｳ用ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ[掴み装置] 最大把持外径(開口幅)0.7m級		
R		60.41				
R1	運転手(特殊)	33.75		運転手(特殊)		
R2	土木一般世話役	18.64		土木一般世話役		
R3	普通作業員	8.02		普通作業員		
Z		7.74				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	7.74		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

運搬(伐木除根)
機械施工 除根作業無し DID区間無し 1.5km以下 良好

(91号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		50.87				
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	50.87		ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ](ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)を含む) 10t積級		
R		37.47				
R1	運転手(一般)	37.47		運転手(一般)		
Z		11.66				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	11.66		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

自動車（小型）撤去

代価表

（ 92号代価表 ）

1 台当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
現場発生品･支給品運搬 ｸﾚｰﾝ装置付4t積2.9t吊(参考)荷台長L=3.4m荷台幅W=2.0m 2.0km以下 1.1t超	回	1			93号代価表 136頁	
計						
1 台 当り						

代価表

現場発生品･支給品運搬
ｸﾚｰﾝ装置付4t積2.9t吊(参考)荷台長L=3.4m荷台幅W=2.0m 2.0km以下 1.1t超1.5t以下(93号代価表)

1回当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		19.86				
K1	ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付･積載質量 4t積･2.9t吊	19.86		ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付] 4t級2.9t		
R		75.05				
R1	運転手(特殊)	38.06		運転手(特殊)		
R2	普通作業員	36.99		普通作業員		
Z		5.09				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	5.09		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

地中配管撤去工　VP100

代価表

（　　　94号代価表　　　）

1ｍ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
硬質ポリ塩化ビニル管人力撤去 65～100㎜	ｍ	1			95号代価表 138頁	
計						
1 ｍ 当り						

硬質ポリ塩化ビニル管人力撤去
65～100㎜

代価表

(95号代価表)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人	0.040				
特殊作業員	人	0.060				
普通作業員	人	0.090				
計						
1 m 当り						

18.4.1.1 敷鉄板設置･撤去
1524*6096*22 供用日数14日

代価表

(96号代価表)

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用14日	枚	108			97号代価表 140頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

鋼板賃料 22*1524*6096
供用14日

(97号代価表)

1枚当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	14				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄

代価表

(98号代価表)

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.610			73号代価表 116頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3.090			78号代価表 121頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			76号代価表 119頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.200				
高圧洗浄機(工事用･ｴﾝｼﾞﾝ駆動) 吐出35~70L/min圧力14.7MPa	日	1.200				
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	L	34.500				
水	m3	20				
諸雑費	%	3			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費

代価表

(99号代価表)

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	1			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.600			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.200				
GM管式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	3.600				
計						
1 m2 当り						

代価表

掘削
土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土有り 30,000m3以上

(100号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		64.06				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通32t級(33~37t)	64.06		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 32t級		
R		19.51				
R1	運転手(特殊)	19.51		運転手(特殊)		
Z		16.43				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	16.43		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

積込(ﾙｰｽﾞ)
土砂 土量50,000m3以上

(101号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		50.23				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積1.4 m3(平積1.0 m3)	50.23		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)		
R		31.53				
R1	運転手(特殊)	31.53		運転手(特殊)		
Z		18.24				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	18.24		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

土砂等運搬
標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 1.0km以下 良好

(102号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
K		49.71				
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	49.71		ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ](ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)を含む) 10t積級		
R		37.76				
R1	運転手(一般)	37.76		運転手(一般)		
Z		12.53				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.53		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

路体(築堤)盛土
4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し

代価表

(103号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		36.93				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通21t級(24~26t)	32.93		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 21t級		
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ(賃貸)(長期割引あり) 質量8~20t	4.00		[賃料]ﾀｲﾔﾛｰﾗ 質量8~20t		
R		53.32				
R1	運転手(特殊)	28.77		運転手(特殊)		
R2	普通作業員	24.55		普通作業員		
Z		9.75				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	9.75		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

法面整形
切土部 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土

(104号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		23.57				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	23.57		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		69.46				
R1	普通作業員	33.99		普通作業員		
R2	運転手(特殊)	18.57		運転手(特殊)		
R3	土木一般世話役	16.90		土木一般世話役		
Z		6.97				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	6.97		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

法面整形
盛土部 法面締固め無 現場制約無 ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土 (105号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
K		29.39				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型･山積0.8 m3(平積0.6 m3)	29.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		61.91				
R1	普通作業員	27.94		普通作業員		
R2	運転手(特殊)	23.16		運転手(特殊)		
R3	土木一般世話役	10.81		土木一般世話役		
Z		8.70				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	8.70		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

人力施工による植生工
植生ﾏｯﾄ工 500m2未満 制約無

代価表

(106号代価表)

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
法面工 人力施工による植生工[材工共] 植生ﾏｯﾄ工 肥料袋付き	m2	1				
計						
1 m2 当り						

代価表

機械播種施工による植生工
種子散布工 1000m2以上(標準) 制約無

(107号代価表)

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
法面工 機械播種施工による植生工[材工共] 種子散布工	m2	1				
計						
1 m2 当り						

吸出し防止材設置
全面

代価表

(108号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
R		17.05				
R1	普通作業員	17.05		普通作業員		
Z		82.95				
Z1	吸出し防止ｼｰﾄ 合織不織布 T10mm 117N/5cm	82.95		吸出し防止材 合織不織布 t=10mm 9.8kN/m		

人工張芝

代価表

（　　109号代価表　　）

1 m2当り

	名　称 ・ 規　格	構成比	積算地区単価	名　称 ・ 規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
R		68.19				
R1	普通作業員	61.10		普通作業員		
R2	土木一般世話役	7.09		土木一般世話役		
Z		31.81				
Z1	張芝 ﾜﾗ付き W100cm	31.81		張芝 幅100cm ﾜﾗ付		

下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置 t=1.5mm
13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)

代価表

(110号代価表)

130 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.300			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.040			78号代価表 121頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.250			74号代価表 117頁	
ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付・積載質量 4t積・2.9t吊	供用日	0.300				
発動発電機[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・定格容量17/20kVA	供用日	0.250				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	13.300				
遮水シート 中弾性 黒色 厚1.5mm	m2	144.300				
諸雑費	%	3.500			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

13.1.1.9-(1)-② 下部ｼｰﾄ(保護ﾏｯﾄ)設置
不織布

代価表

(111号代価表)

130 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.120			73号代価表 116頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.780			78号代価表 121頁	
不織布　短繊維系 T10mm	m2	144.300				
計						
1 m2 当り						

導電性マット

代価表

（　112号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
導電性マット	m2	1				
計						
1 m2 当り						

防護柵設置工(ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ設置工)
土中建込 土中建込･塗装品･Gp-Cp-2E 100m以上 夜間無 制約無 曲線無 加算額無し

代価表

(113号代価表)

1 m当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ｶﾞｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ設置工[材工共] 標準型 土中建込 塗装品(白色) Gp-Cp-2E	m	1				
計						
1 m 当り						

代価表

地下水集排水管(有孔)
幹線φ200mm

(114号代価表)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量		単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm 要	m	10				115号代価表 158頁	
吸出し防止材設置 全面	m2	26	100			108号代価表 151頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	3	600			116号代価表 159頁	
床掘り 土砂 小規模	m3	9	100			117号代価表 160頁	
埋戻し 小規模 土砂	m3	5	100			118号代価表 161頁	
計							
1 m 当り							

暗渠排水管
据付 波状管及び網状管 200~400mm 要

代価表

(115号代価表)

1ｍ当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
R		6.31				
R1	普通作業員	4.40		普通作業員		
R2	土木一般世話役	1.91		土木一般世話役		
Z		93.69				
Z1	合成樹脂排水材(高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管) ﾀﾞﾌﾞﾙ管(内面平滑) φ200mm	93.69		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(ｼﾝｸﾞﾙ構造)		

代価表

フィルター材
クラッシャランC40

(116号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		8.61				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	8.45		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
R		59.17				
R1	普通作業員	28.02		普通作業員		
R2	土木一般世話役	13.92		土木一般世話役		
R3	運転手(特殊)	11.51		運転手(特殊)		
R4	特殊作業員	4.57		特殊作業員		
Z		32.22				
Z1	ｸﾗｯｼｬﾗﾝ C-40	29.53		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	2.64		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

(117号代価表)

床掘り
土砂 小規模

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		23.90				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平0.2 m3)後方超小旋回	23.90		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[後方超小旋回型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)		
R		70.06				
R1	運転手(特殊)	37.86		運転手(特殊)		
R2	普通作業員	32.20		普通作業員		
Z		6.04				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	6.04		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
小規模 土砂

(118号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		11.53				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平0.2 m3)後方超小旋回	10.82		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[後方超小旋回型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.28m3(平積0.2m3)		
K2	ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60~80kg	0.71		ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ 質量60~80kg		
R		85.22				
R1	普通作業員	48.70		普通作業員		
R2	特殊作業員	19.39		特殊作業員		
R3	運転手(特殊)	17.13		運転手(特殊)		
Z		3.25				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	2.73		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	0.52		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ		

地下水集排水管(有孔)
支線φ150mm

代価表

(119号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 50~150mm 要	m	10			120号代価表 163頁	
吸出し防止材設置 全面	m2	19 100			108号代価表 151頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	1 900			116号代価表 159頁	
床掘り 土砂 小規模	m3	3 500			117号代価表 160頁	
埋戻し 小規模 土砂	m3	1 400			118号代価表 161頁	
計						
1 m 当り						

暗渠排水管
据付 波状管及び網状管 50~150mm 要

代価表

(120号代価表)

1ｍ当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
R		23.04				
R1	普通作業員	15.73		普通作業員		
R2	土木一般世話役	7.31		土木一般世話役		
Z		76.96				
Z1	合成樹脂排水材(高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管) ﾀﾞﾌﾞﾙ管(内面平滑) φ150mm	76.96		暗渠排水管 波状管 呼び径75mm 高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(ｼﾝｸﾞﾙ構造)		

地下水集排水管(有孔)
法面部φ150mm

代価表

(121号代価表)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 50~150mm 要	m	10			120号代価表 163頁	
吸出し防止材設置 全面	m2	19.100			108号代価表 151頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	1.900			116号代価表 159頁	
床掘り 土砂 小規模	m3	3.500			117号代価表 160頁	
埋戻し 小規模 土砂	m3	1.400			118号代価表 161頁	
計						
1 m 当り						

地下水集排水管(有孔)
放流管φ200mm

代価表

(122号代価表)

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm 要	m	10			115号代価表 158頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	3.600			116号代価表 159頁	
床掘り 土砂 小規模	m3	9.100			117号代価表 160頁	
埋戻し 小規模 土砂	m3	5.100			118号代価表 161頁	
計						
1 m 当り						

ベントナイトマット
ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄ質量4.0lg/m2以上 貫入抵抗500N以上

代価表

(123号代価表)

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ベントナイトマット ﾍﾞﾝﾄﾅｲﾄ質量4.0kg/m2以上 貫入抵抗500N以上	m2	100				
計						
1 m2 当り						

遮水工施工時管理

代価表

(124号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
遮水工施工時管理	式	1				
計						
1 m2 当り						

固定工　天端

代価表

（　125号代価表　）

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物 打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一般養生 現場内小運搬無	m3	3.600			126号代価表 169頁	
目地板 樹脂発泡体(15倍発泡)(t=10)	m2	0.400			128号代価表 171頁	
13.1.1.9-(1)-① 下部ｼｰﾄ(下層保護ﾏｯﾄ+遮水ｼｰﾄ+上層保護ﾏｯﾄ)設置	m2	19.700			129号代価表 172頁	
床掘り 土砂 小規模	m3	3.600			117号代価表 160頁	
計						
1 m 当り						

ｺﾝｸﾘｰﾄ
小型構造物 打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一般養生 現場内小運搬無し

代価表

(126号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		44.98				
R1	普通作業員	25.60		普通作業員		
R2	特殊作業員	8.79		特殊作業員		
R3	土木一般世話役	8.10		土木一般世話役		
Z		55.02				
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)	55.02		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		

生ｺﾝｸﾘｰﾄ
18-8-40(高炉)

代価表

(127号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生ｺﾝｸﾘｰﾄ(高炉) 18-8-40 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

目地板
樹脂発泡体(15倍発泡)(t=10)

(128号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称・規　格 (基準地区単価)	基準地区単価	備　考
R		36.72				
R1	普通作業員	30.60		普通作業員		
R2	土木一般世話役	6.12		土木一般世話役		
Z		63.28				
Z1	目地板 樹脂発泡体 厚10mm 倍率15倍	63.28		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		

13.1.1.9-(1)-① 下部ｼｰﾄ(下層保護ﾏｯﾄ+遮水ｼｰﾄ+上層保護ﾏｯﾄ)設置

代価表

(129号代価表)

130 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.540			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.600			78号代価表 121頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.250			74号代価表 117頁	
ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付・積載質量 4t積・2.9t吊	供用日	0.300				
発動発電機[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動・定格容量17/20kVA	供用日	0.250				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	13.300				
遮水シート 中弾性 黒色 厚1.5mm	m2	144.300				
不織布　短繊維系 T10mm	m2	288.600				
諸雑費	%	3.500			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

固定工　小段

（　130号代価表　）

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物 打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一般養生 現場内小運搬無	m3	2.800			126号代価表 169頁	
目地板 樹脂発泡体(15倍発泡)(t=10)	m2	0.300			128号代価表 171頁	
13.1.1.9-(1)-① 下部ｼｰﾄ(下層保護ﾏｯﾄ+遮水ｼｰﾄ+上層保護ﾏｯﾄ)設置	m2	5.200			129号代価表 172頁	
床掘り 土砂 小規模	m3	2.800			117号代価表 160頁	
計						
1 m 当り						

排水層・購入砂　t=50cm
材料費＋敷均し＋締固め

代価表

(　　131号代価表　　)

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
路体(築堤)盛土 4.0m以上 敷均し+締固め 10,000m3以上 障害無し	m3	100			103号代価表 146頁	
砂 ｸｯｼｮﾝ用	m3	126				
計						
1 m3 当り						

保有水等集排水管(有孔)
幹線φ300mm

代価表

(132号代価表)

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm 要	m	10			133号代価表 176頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 単粒度砕石4号30-20	m3	7.100			134号代価表 177頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	10.300			116号代価表 159頁	
吸出し防止材設置 全面	m2	33.700			108号代価表 151頁	
計						
1 m 当り						

暗渠排水管
据付 波状管及び網状管 200~400mm 要

代価表

(133号代価表)

1ｍ当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
R		6.31				
R1	普通作業員	4.40		普通作業員		
R2	土木一般世話役	1.91		土木一般世話役		
Z		93.69				
Z1	合成樹脂排水材(高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管) ﾀﾞﾌﾞﾙ管(内面平滑) φ300mm	93.69		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(ｼﾝｸﾞﾙ構造)		

176 頁

代価表

フィルター材
単粒度砕石4号30-20

(134号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
K		8.61				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	8.45		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
R		59.17				
R1	普通作業員	28.02		普通作業員		
R2	土木一般世話役	13.92		土木一般世話役		
R3	運転手(特殊)	11.51		運転手(特殊)		
R4	特殊作業員	4.57		特殊作業員		
Z		32.22				
Z1	単粒度砕石 4号 30~20mm	29.53		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	2.64		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

保有水等集排水管(無孔)
幹線φ300mm

代価表

(135号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
暗渠排水管 据付 直管 200~400mm	m	10			136号代価表 179頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	11.200			116号代価表 159頁	
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	m3	12.300			137号代価表 180頁	
基面整正	m2	11			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

暗渠排水管
据付 直管 200~400mm

代価表

(136号代価表)

1ｍ当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
R		13.74				
R1	普通作業員	9.91		普通作業員		
R2	土木一般世話役	3.83		土木一般世話役		
Z		86.26				
Z1	耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管(ﾊｳｴﾙ管) 直管 R30 径300mm×長5m	86.26		暗渠排水管 直管 呼び径300mm ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ吸水管		

代価表

床掘り
土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し

(137号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		34.18				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	34.18		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
R		55.24				
R1	運転手(特殊)	55.24		運転手(特殊)		
Z		10.58				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	10.58		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

基面整正

代価表

（　138号代価表　）

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	普通作業員	100.00		普通作業員		

代価表

保有水等集排水管(有孔)
支線φ200mm

(　139号代価表　)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm 要	m	10			115号代価表 158頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 単粒度砕石4号30-20	m3	3			134号代価表 177頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ｸﾗｯｼｬﾗﾝC40	m3	6.800			116号代価表 159頁	
吸出し防止材設置 全面	m2	25			108号代価表 151頁	
計						
1 m 当り						

代価表

(140号代価表)

排水縦孔(有孔)
φ200mm

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm 要	m	2 500			115号代価表 158頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 単粒度砕石4号30-20	m3	0 500			134号代価表 177頁	
ｸﾘﾝﾌﾟ金網 亜鉛めっき 2.0×10mm 幅910mm×長15m	m2	4 300				
鉄筋金網 D13×100×100mm	t	0 090				
計						
1 箇所 当り						

代価表

浸出水集水ピット
地下水ピット含む

(　141号代価表　)

1基当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 24-8-25(20)(	m3	169			142号代価表 186頁	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	m2	411			144号代価表 188頁	
鉄筋工[市場単価] SD295A・D13 一般構造物 10t以上(標準) 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無	t	16 900			145号代価表 189頁	
止水板 FF(200*5)	m	20 400			146号代価表 190頁	
手摺先行型枠組足場設置・撤去 安全ﾈｯﾄ不要	掛m2	275			147号代価表 191頁	
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高	m3	3 600			148号代価表 192頁	
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	2 400			149号代価表 193頁	
ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物 打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一般養生 現場内小運搬無	m3	0 800			126号代価表 169頁	
型枠 一般型枠 小型構造物	m2	1 400			150号代価表 194頁	
基礎砕石 27.5cm超30.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40~0	m2	35 500			151号代価表 195頁	
防護柵(横断・転落防止柵)設置工 ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式 3m 100m未満 夜間無	m	19 200			152号代価表 196頁	
ﾏﾝﾎｰﾙ用足掛金物 ﾜｲﾄﾞｽﾃｯﾌﾟ 30SW 現場打用	個	72				
防水工 一般部及び換気部 底頂部	m2	210			153号代価表 197頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	56 700			154号代価表 198頁	

代価表

浸出水集水ピット
地下水ピット含む

(141号代価表)

1基当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	35.800			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	35.500			138号代価表 181頁	
計						
1 基 当り						

代価表

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 24-8-25(20)(高炉) 10m3以上300m3未満 一般養生 延長無し

(142号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		4.88				
K1	コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式・圧送能力 90~110m3/h	4.84		コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力 90~110m3/h		
R		18.21				
R1	普通作業員	9.07		普通作業員		
R2	特殊作業員	4.95		特殊作業員		
R3	土木一般世話役	1.75		土木一般世話役		
R4	運転手(特殊)	1.75		運転手(特殊)		
Z		76.91				
Z1	生コンクリート 24-8-25(20)(高炉)	76.11		生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		
Z2	軽油 小型ローリー・パトロール給油 2~4KL積載車	0.80		軽油 1.2号 パトロール給油		

代価表

(143号代価表)

生ｺﾝｸﾘｰﾄ
24-8-25(20)(高炉)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
生ｺﾝｸﾘｰﾄ(高炉) 24-8-25 B種	m3	1				
計						
1 m3 当り						

型枠
一般型枠 鉄筋･無筋構造物

代価表

(144号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		100.00				
R1	型わく工	47.68		型枠工		
R2	普通作業員	24.73		普通作業員		
R3	土木一般世話役	8.90		土木一般世話役		

代価表

鉄筋工[市場単価]
SD295A･D13 一般構造物 10t以上(標準) 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無 太径10%未満(補正無) 補正無(一般構造物)

(145号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
異形棒鋼 SD295A D13mm 0.995kg/m	t	1.030				
鉄筋工 加工･組立[手間のみ] 一般構造物	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

止水板
FF(200*5)

(146号代価表)

1ｍ当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
R		54.38				
R1	普通作業員	40.72		普通作業員		
R2	土木一般世話役	13.66		土木一般世話役		
Z		45.62				
Z1	塩ﾋﾞ止水板 FF W200*T5mm	45.62		塩ﾋﾞ止水板 CF 幅200×厚さ5mm		

手摺先行型枠組足場設置･撤去
安全ﾈｯﾄ不要

代価表

(147号代価表)

100 掛m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	1.400				
とび工	人	6.300				
普通作業員	人	1.200				
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.400				
諸雑費	%	34			諸雑費	
計						
1 掛m2 当り						

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉) 一般養生 現場内小運搬無
1

代価表

(148号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
R		32.33				
R1	普通作業員	14.89		普通作業員		
R2	特殊作業員	8.70		特殊作業員		
R3	土木一般世話役	6.36		土木一般世話役		
Z		67.67				
Z1	生コンクリート 18-8-40(高炉)	67.67		生コンクリート 高炉 24-8-25(20) W/C 55%		

型枠
一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ

代価表

(149号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
R		100.00				
R1	型わく工	59.67		型枠工		
R2	普通作業員	19.44		普通作業員		
R3	土木一般世話役	5.64		土木一般世話役		

193 頁

代価表

型枠
一般型枠 小型構造物

(150号代価表)

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
R		100.00				
R1	型わく工	45.41		型枠工		
R2	普通作業員	30.41		普通作業員		
R3	土木一般世話役	11.14		土木一般世話役		

代価表

基礎砕石
27.5cm超30.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40~0

(151号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		4.16				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.8(平積0.6)m3	4.14		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		65.49				
R1	普通作業員	34.25		普通作業員		
R2	特殊作業員	14.87		特殊作業員		
R3	土木一般世話役	8.22		土木一般世話役		
R4	運転手(特殊)	7.70		運転手(特殊)		
Z		30.35				
Z1	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	28.38		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	1.96		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

防護柵(横断・転落防止柵)設置工
ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式 3m 100m未満 夜間無

代価表

(152号代価表)

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
横断・転落防止柵設置工[手間のみ] ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 ﾋﾞｰﾑ式・ﾊﾟﾈﾙ式 支柱間隔3m	m	100				
転落防止柵(標準品) 縦格子型 ｺﾝｸﾘｰﾄ建込 厚2.3mm×幅950mm×ｽﾊﾟﾝ3000mm	m	100				
計						
1 m 当り						

防水工
一般部及び換気部 底頂部

代価表

(153号代価表)

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	1.200				
防水工	人	3.800				
普通作業員	人	1.700				
ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系ｼｰﾙ材	L	125				
ｼﾋﾞﾙｽﾀｰC ｺﾝｸﾘｰﾄ床版用 18L	L	37				
計						
1 m2 当り						

代価表

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

(154号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

(155号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		13.52				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	11.59		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
K2	振動ﾛｰﾗ・ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式(賃貸)(長期割引あり) 0.8~1.1t	1.82		[賃料]振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8~1.1t		
K3	ﾀﾝﾊﾟ(賃貸)(長期割引あり) 質量60~80kg	0.11		[賃料]ﾀﾝﾊﾟ 60~80kg		
R		82.51				
R1	普通作業員	51.34		普通作業員		
R2	特殊作業員	22.57		特殊作業員		
R3	運転手(特殊)	8.60		運転手(特殊)		
Z		3.97				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	3.88		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	0.09		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ		

代価表

浸出水送水設備
据付費

（　156号代価表　）

1 式当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
浸出水送水設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

浸出水調整設備(RC水槽)
建設費

代価表

(　157号代価表　)

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
浸出水調整設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

浸出水処理設備（ポンプ等）
建設費

（　158号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
浸出水処理設備（ポンプ等） 建設費	式	1				
計						
1 式 当り						

202 頁

代価表

浸出水処理設備
据付費

(159号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
浸出水処理設備 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

計装設備（中央監視装置等）
据付費

（160号代価表）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
計装設備（中央監視装置等） 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

建築（監視室）
据付費

代価表

（　161号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
建築（監視室） 据付費	式	1				
計						
1 式 当り						

U型側溝(標準単価)
U-600～U-900 (代表U-800)

代価表

(162号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
U型側溝(標準単価) 据付け L補正無 夜間無 側溝(各種) 幅800mm*高800mm*長2000mm L=2,000mm	m	10			163号代価表 207頁	
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高	m3	1 100			148号代価表 192頁	
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	2			149号代価表 193頁	
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	m3	24 100			137号代価表 180頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	13 200			164号代価表 208頁	
基面整正	m2	11			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

U型側溝(標準単価)
据付け L補正無 夜間無 側溝(各種) 幅800mm*高800mm*長2000mm L=2,000mm･1,000kg/個以下 制約無 場所補正無 砕石有 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40~0 0m3/10m

代価表

(163号代価表)

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
排水構造物工 昼間施工 U型側溝［手間のみ］ L2000 1000kg以下 制約なし	m	10				
NSﾌﾘｭｰﾑ 800 幅800mm×高800mm×長2000mm 930kg	個	5				
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	m3	1.980				
計						
1 m 当り						

埋戻し
最大埋戻幅1m未満

代価表

(164号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		7.00				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	6.23		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
K2	ﾀﾝﾊﾟ(賃貸)(長期割引あり) 質量60~80kg	0.77		[賃料]ﾀﾝﾊﾟ 60~80kg		
R		90.46				
R1	普通作業員	54.98		普通作業員		
R2	特殊作業員	27.00		特殊作業員		
R3	運転手(特殊)	8.48		運転手(特殊)		
Z		2.54				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	1.94		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	0.60		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ		

U型側溝(標準単価)
U-1000～U-1400 (代表U-1200)

代価表

(165号代価表)

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
排水構造物工 昼間施工 U型側溝［手間のみ］ L2000 1000超2000kg以下 制約なし	m	10				
NSﾌﾘｭｰﾑ 1200 幅1200mm×高1200mm×長2000mm 1610kg	個	5				
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	m3	2 700				
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋・鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高炉	m3	1 500			148号代価表 192頁	
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	2			149号代価表 193頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	42 500			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	21 500			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	15			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

U型側溝(標準単価)
BF-300

代価表

(166号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
排水構造物工 昼間施工 U型側溝［手間のみ］ L2000 1000kg以下 制約なし	m	10				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ 1種 幅300mm×高200mm×長2000mm	本	5				
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	m3	0.480				
床掘り 土砂 小規模	m3	3.500			117号代価表 160頁	
埋戻し 小規模 土砂	m3	2.200			118号代価表 161頁	
計						
1 m 当り						

U型側溝(標準単価)
BF-600

代価表

(167号代価表)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
排水構造物工 昼間施工 U型側溝［手間のみ］ L2000 1000kg以下 制約なし	m	10				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ 1種 幅600mm×高380mm×長2000mm	本	5				
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	m3	0 820				
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	m3	7 200			137号代価表 180頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	3 500			164号代価表 208頁	
基面整正	m2	6 800			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

U型側溝(標準単価)
BF-700～BF-1000 (代表BF-900)

代価表

(168号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
排水構造物工 昼間施工 U型側溝［手間のみ］ L2000 1000kg以下 制約なし	m	10				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ 1種 幅900mm×高550mm×長2000mm	本	5				
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	m3	1.160				
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	m3	12.200			137号代価表 180頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	4.800			164号代価表 208頁	
基面整正	m2	9.700			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

代価表

高耐圧ポリエチレン管
φ1350～φ1650（代表φ1500）

（169号代価表）

10ｍ当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
高耐圧ポリエチレン管 φ1350～φ1650(代表φ1500)	m	10			170号代価表 214頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	91			154号代価表 198頁	
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	9.600			171号代価表 215頁	
基面整正	m2	24.500			138号代価表 181頁	
計						
1ｍ当り						

代価表

高耐圧ポリエチレン管
φ1350～φ1650(代表φ1500)

(170号代価表)

10ｍ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
土木一般世話役	人	0.410				
特殊作業員	人	0.560				
普通作業員	人	0.740				
ﾊﾞｯｸﾎｳ運転 山積0.8m3 吊能力2.9t	日	0.360				
高耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 1種φ1500	m	10				
諸雑費	%	8			諸雑費	
計						
1 ｍ 当り						

代価表

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

(171号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型･山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

集水桝Ａ
500×500×500

代価表

(172号代価表)

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) 18-8-40(高炉) 0.28m3を超え0.30m3以下 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1			173号代価表 217頁	
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	m3	2.600			137号代価表 180頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	2.100			164号代価表 208頁	
基面整正	m2	0.800			138号代価表 181頁	
計						
1 箇所 当り						

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40(高炉) 0.28m3を超え0.30m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)

代価表

(173号代価表)

1箇所当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		0.07				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.8(平積0.6)m3	0.07		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		89.45				
R1	型わく工	36.26		型枠工		
R2	普通作業員	29.70		普通作業員		
R3	土木一般世話役	10.56		土木一般世話役		
R4	特殊作業員	1.92		特殊作業員		
Z		10.48				
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)	10.09		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.03		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

集水桝C
800×800×800

代価表

（ 174号代価表 ）

1 箇所当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
現場打ち集水桝·街渠桝(本体) 18-8-40(高炉) 0.61m3を超え0.65m3以下 一般養生·特殊養生(練炭)	箇所	1			175号代価表 219頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	8.100			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	6.700			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	1.400			138号代価表 181頁	
計						
1 箇所 当り						

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40(高炉) 0.61m3を超え0.65m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)

代価表

(175号代価表)

1箇所当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		0.06				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.8(平積0.6)m3	0.06		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		86.92				
R1	型わく工	34.19		型枠工		
R2	普通作業員	29.48		普通作業員		
R3	土木一般世話役	10.42		土木一般世話役		
R4	特殊作業員	2.31		特殊作業員		
Z		13.02				
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)	12.67		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.03		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

集水桝Ｄ
1200×1200×1200

代価表

（　　176号代価表　　）

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) 18-8-40(高炉) 1.80m3を超え1.90m3以下 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1			177号代価表 221頁	
ﾏﾝﾎｰﾙ用足掛金物 ﾜｲﾄﾞｽﾃｯﾌﾟ 30SW 現場打用	個	3				
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	19.900			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	15.800			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	2.900			138号代価表 181頁	
計						
1 箇所 当り						

代価表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40(高炉) 1.80m3を超え1.90m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)

(177号代価表)

1箇所当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
K		0.05				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ・ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量・山積0.8(平積0.6)m3	0.05		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		85.36				
R1	型わく工	36.96		型枠工		
R2	普通作業員	22.84		普通作業員		
R3	土木一般世話役	8.38		土木一般世話役		
R4	特殊作業員	2.08		特殊作業員		
Z		14.59				
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)	14.20		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.02		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

集水桝Ｅ
1600×1600×1600

代価表

(178号代価表)

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) 18-8-40(高炉) 3.08m3を超え3.25m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)	箇所	1			179号代価表 223頁	
ﾏﾝﾎｰﾙ用足掛金物 ﾜｲﾄﾞｽﾃｯﾌﾟ 30SW 現場打用	個	4				
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	34			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	25.900			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	4.400			138号代価表 181頁	
計						
1 箇所 当り						

代価表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
18-8-40(高炉) 3.08m3を超え3.25m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)

(179号代価表)

1箇所当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格(基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		0.05				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ・ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量・山積0.8(平積0.6)m3	0.05		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		84.80				
R1	型わく工	36.57		型枠工		
R2	普通作業員	22.75		普通作業員		
R3	土木一般世話役	8.36		土木一般世話役		
R4	特殊作業員	2.15		特殊作業員		
Z		15.15				
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)	14.77		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.02		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

掘削
土砂 ｵｰﾌﾟﾝｶｯﾄ 押土無し 障害無し 50,000m3以上

(180号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		50.23				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積1.4 m3(平積1.0 m3)	50.23		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積1.4m3(平積1.0m3)		
R		31.53				
R1	運転手(特殊)	31.53		運転手(特殊)		
Z		18.24				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	18.24		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

土砂等運搬
標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.3km以下 良好

(181号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		49.71				
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	49.71		ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ](ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)を含む) 10t積級		
R		37.76				
R1	運転手(一般)	37.76		運転手(一般)		
Z		12.53				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.53		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

放流塔（土壌貯蔵施設用）

代価表

（　182号代価表　）

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋･鉄筋構造物 打設量10m3/日以上又は打設地上高さ2m超 24-8-25(20)(	m3	37 100			142号代価表 186頁	
鉄筋工[市場単価] SD295A･D13 一般構造物 10t以上(標準) 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無 太	t	3 710			145号代価表 189頁	
型枠 一般型枠 鉄筋･無筋構造物	m2	135			144号代価表 188頁	
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋･鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高	m3	1 400			148号代価表 192頁	
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	1 500			149号代価表 193頁	
基礎砕石 17.5cm超20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40~0	m2	13 700			183号代価表 227頁	
ﾏﾝﾎｰﾙ用足掛金物 ﾜｲﾄﾞｽﾃｯﾌﾟ 30SW 現場打用	個	17				
手摺先行型枠組足場設置･撤去 安全ﾈｯﾄ不要	掛m2	137			147号代価表 191頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	198			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	164			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	13 700			138号代価表 181頁	
計						
1 箇所 当り						

226 頁

代価表

(183号代価表)

基礎砕石
17.5cm超20.0cm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40~0

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		4.21				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.8(平積0.6)m3	4.19		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		66.40				
R1	普通作業員	34.73		普通作業員		
R2	特殊作業員	15.08		特殊作業員		
R3	土木一般世話役	8.33		土木一般世話役		
R4	運転手(特殊)	7.80		運転手(特殊)		
Z		29.39				
Z1	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	27.40		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	1.98		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

放流塔（受入・分別施設）

代価表

（ 184号代価表 ）

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
蓋版(標準単価) 据付け 夜間無 蓋版(各種) 1000*1000用T-2 ｺﾝｸﾘｰﾄ鋼製40を超え170kg/枚	枚	1			185号代価表 229頁	
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) 24-8-25(20)(高炉) 2.48m3を超え2.62m3以下 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1			186号代価表 230頁	
鉄筋工[市場単価] SD295A･D13 一般構造物 10t以上(標準) 制約無 夜間無 ﾄﾝﾈﾙ無 法面無 太	t	0.260			145号代価表 189頁	
ｺﾝｸﾘｰﾄ 無筋･鉄筋構造物 打設量10m3/日未満かつ打設地上高さ2m以下 18-8-40(高	m3	0.300			148号代価表 192頁	
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	0.700			149号代価表 193頁	
ﾏﾝﾎｰﾙ用足掛金物 ﾜｲﾄﾞｽﾃｯﾌﾟ 30SW 現場打用	個	4				
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	4.400			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	m3	3.100			164号代価表 208頁	
基面整正	m2	2.900			138号代価表 181頁	
計						
1 箇所 当り						

蓋版(標準単価)
据付け 夜間無 蓋版(各種) 1000*1000用T-2 ｺﾝｸﾘｰﾄ鋼製40を超え170kg/枚以下 制約無 小段面無

代価表

(185号代価表)

100 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
排水構造物工 昼間施工 蓋版［手間のみ］ Co･鋼製 40超170kg/枚以下 制約なし	枚	100				
鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 桝蓋落込鎖付 1000×1000用 T-2	組	100				
計						
1 枚 当り						

代価表

現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
24-8-25(20)(高炉) 2.48m3を超え2.62m3以下 一般養生・特殊養生(練炭)

(186号代価表)

1箇所当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		0.05				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ・ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量・山積0.8(平積0.6)m3	0.05		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		84.99				
R1	型わく工	36.71		型枠工		
R2	普通作業員	22.78		普通作業員		
R3	土木一般世話役	8.37		土木一般世話役		
R4	特殊作業員	2.12		特殊作業員		
Z		14.96				
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 24-8-25(20)(高炉)	14.57		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.02		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

放流函渠
2000×2000

代価表

(187号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ 据付 2.0m/個 1.25<B≦2.5、1.25<H≦2.5 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ 縦締有り	m	10			188号代価表 232頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	159			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅4m以上	m3	95			189号代価表 233頁	
基面整正	m2	25 200			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ
据付 2.0m/個 1.25<B≦2.5、1.25<H≦2.5 基礎砕石+均しｺﾝｸﾘｰﾄ 縦締有り

代価表

(188号代価表)

1ｍ当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
K		3.50				
K1	ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	1.96		[賃料]ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 25t吊		
R		20.60				
R1	普通作業員	6.00		普通作業員		
R2	土木一般世話役	3.39		土木一般世話役		
R3	特殊作業員	2.11		特殊作業員		
Z		75.90				
Z1	RCﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ 土被0.2-3m 2000×2000×2000	75.90		ﾎﾞｯｸｽｶﾙﾊﾞｰﾄ RC B1500×H1500×L2000 T-25 土被り0.2~3.0m		

代価表

埋戻し
最大埋戻幅4m以上

(189号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		17.76				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	15.33		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
K2	振動ﾛｰﾗ・ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式(賃貸)(長期割引あり) 0.8~1.1t	2.35		[賃料]振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 質量0.8~1.1t		
K3	ﾀﾝﾊﾟ(賃貸)(長期割引あり) 質量60~80kg	0.08		[賃料]ﾀﾝﾊﾟ 60~80kg		
R		77.07				
R1	普通作業員	38.82		普通作業員		
R2	特殊作業員	26.88		特殊作業員		
R3	運転手(特殊)	11.37		運転手(特殊)		
Z		5.17				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	5.11		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	0.06		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ		

放流管
ヒューム管φ600

代価表

(190号代価表)

10 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ﾋｭｰﾑ管(B形管) 据付 600㎜ 90゜巻き 砕石有り 外圧管1種 18-8-40(高炉)	m	10			191号代価表 235頁	
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	49.500			154号代価表 198頁	
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	43.200			155号代価表 199頁	
基面整正	m2	9.500			138号代価表 181頁	
計						
1 m 当り						

代価表

ﾋｭｰﾑ管(B形管)
据付 600mm 90゜巻き 砕石有り 外圧管1種 18-8-40(高炉)

(191号代価表)

1ｍ当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		4.03				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	3.08		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・ｸﾚｰﾝ機能付・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t		
R		43.18				
R1	普通作業員	12.82		普通作業員		
R2	型わく工	6.41		型枠工		
R3	土木一般世話役	5.89		土木一般世話役		
R4	運転手(特殊)	3.89		運転手(特殊)		
Z		52.79				
Z1	遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管(ﾋｭｰﾑ管) 外圧管 B形1種 径600×50×2430mm 660kg	44.03		ﾋｭｰﾑ管外圧管B形1種 径600mm×長さ2,430mm		
Z2	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)	7.60		生ｺﾝｸﾘｰﾄ 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		
Z3	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.89		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

13.1.1.1 水質観測井戸工
VPφ50 深度10m

代価表

(192号代価表)

1箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
保管場所地下水調査 砂･砂質土	箇所	1			193号代価表 237頁	
計						
1 箇所 当り						

保管場所地下水調査
砂･砂質土

代価表

(193号代価表)

1箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.480			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.600			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.600			78号代価表 121頁	
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.030			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.110			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.100			78号代価表 121頁	
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.360			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.200			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.200			78号代価表 121頁	
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾏｼﾝ 油圧式･ 3.7kW級 (ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ)	日	1.600				
ｸﾞﾗｳﾄﾎﾟﾝﾌﾟ(ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾎﾟﾝﾌﾟ(水ﾎﾟﾝﾌﾟ)) 横型単筒･吐出量30~70L/min	日	1.600				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	11.400				
ﾒﾀﾙｸﾗｳﾝ(ｼﾝｸﾞﾙ) 46mm	個	0.300				
ｺｱﾁｭｰﾌﾞ (ｼﾝｸﾞﾙ) L=1.5m φ46mm	本	0.200				

保管場所地下水調査
砂･砂質土

代価表

(193号代価表)

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞﾛｯﾄﾞ 40.5mm L3.0m	本	0.100				
ｹｰｼﾝｸﾞﾊﾟｲﾌﾟ L=1.5m φ86mm	本	0.100				
雑品	%	5			諸雑費	
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 一般管(VP) 呼び径50 60×4.1mm×4m	本	3.800				
杉板(1等) 4m×3.6×20cm	m3	0.200				
雑品	%	5			諸雑費	
計						
1 箇所 当り						

18.4.1.1 敷鉄板設置･撤去
手間のみ

代価表

(194号代価表)

1,000 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
計						
1 m2 当り						

鋼板賃料 22*1524*6096
供用720日

代価表

(195号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)720日以内 22*1524*6096	枚/日	720				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

表層(車道・路肩部)
1.4m以上 50mm 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20) ﾀｯｸｺｰﾄPK-4

代価表

(196号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		3.57				
K1	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ﾎｲｰﾙ型・舗装幅2.4~ 6.0m	1.92		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[ﾎｲｰﾙ型] 舗装幅2.4~6.0m[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]		
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t	0.54		ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 運転質量8~20t		
K3	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾏｶﾀﾞﾑ・質量10~12t・締固め幅2.1m	0.54		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[ﾏｶﾀﾞﾑ・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m		
R		8.88				
R1	普通作業員	3.22		普通作業員		
R2	特殊作業員	1.84		特殊作業員		
R3	運転手(特殊)	1.79		運転手(特殊)		
R4	土木一般世話役	0.61		土木一般世話役		
Z		87.55				
Z1	ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)	84.76		ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 密粒度AS混合物(20)		
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK4 ﾀｯｸｺｰﾄ用	2.44		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-4 ﾀｯｸｺｰﾄ用		
Z3	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.30		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
再生密粒度ｱｽｺﾝ(20)

代価表

(197号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 密粒度20	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

上層路盤(車道・路肩部)
再生瀝青安定処理材(40) 95mm超100mm以下 1.4m以上 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄPK-3

(198号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		2.00				
K1	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ﾎｲｰﾙ型・舗装幅2.4~ 6.0m	1.08		ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ[ﾎｲｰﾙ型] 舗装幅2.4~6.0m[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)]		
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t	0.30		ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 運転質量8~20t		
K3	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾏｶﾀﾞﾑ・質量10~12t・締固め幅2.1m	0.30		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[ﾏｶﾀﾞﾑ・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m		
R		4.99				
R1	普通作業員	1.81		普通作業員		
R2	特殊作業員	1.03		特殊作業員		
R3	運転手(特殊)	1.01		運転手(特殊)		
R4	土木一般世話役	0.34		土木一般世話役		
Z		93.01				
Z1	瀝青安定処理材 再生瀝青安定処理材(40) 再生AS安定処理	88.79		ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(安定処理材) AS安定処理(40)		
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	4.02		ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用		
Z3	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.17		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

瀝青安定処理材
再生瀝青安定処理材(40) 再生AS安定処理

代価表

(199号代価表)

1 t 当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
再生安定処理路盤材 再生ｱｽﾌｧﾙﾄ 安定処理材	t	1				
計						
1 t 当り						

代価表

下層路盤(車道・路肩部)
175mm超200mm以下 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝRC-40

(200号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		4.86				
K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 土工用・ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m	1.78		ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ[土工用・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾌﾞﾚｰﾄﾞ幅3.1m		
K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ﾏｶﾀﾞﾑ・質量10~12t・締固め幅2.1m	1.39		ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ[ﾏｶﾀﾞﾑ・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m		
K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t	1.29		ﾀｲﾔﾛｰﾗ[普通型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 運転質量8~20t		
R		9.96				
R1	運転手(特殊)	5.11		運転手(特殊)		
R2	普通作業員	4.03		普通作業員		
Z		85.18				
Z1	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	84.31		ｸﾗｯｼｬﾗﾝ C-40		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.80		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

防護柵設置工(ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工)
土中建込 土中建込･塗装品･Gr-C-4E 100m以上(標準) 夜間無 制約無 曲線無 加算無し

代価表

(201号代価表)

1 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ｶﾞｰﾄﾞﾚｰﾙ設置工[材工共] 標準型 土中建込 塗装品(白色) Gr-C-4E	m	1				
計						
1 m 当り						

金網(ﾌｪﾝｽ)・支柱(立入防止柵)
設置 H=1.8m

代価表

(202号代価表)

1ｍ当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
R		37.12				
R1	普通作業員	33.54		普通作業員		
R2	土木一般世話役	3.14		土木一般世話役		
Z		62.88				
Z1	ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ 合成樹脂被覆 V･E-GS2 <支柱･付属品(ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ等)含む> 3.2×50mm めっき H1800	62.88		金網柵 H2000 ｱﾝｸﾞﾙ型 ﾋﾞﾆﾙ被覆 V-GS2 3.2×50		

代価表

門扉
H=2.0m

(203号代価表)

1箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
門扉設置工 標準型 Z-GS3線径3.2mm*網目50mm柵高H1800	箇所	1			204号代価表 249頁	
ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ設置 10kg以上50kg以下	個	2			205号代価表 250頁	
計						
1 箇所 当り						

門扉設置工 標準型
Z-GS3線径3.2mm*網目50mm柵高H1800

代価表

(204号代価表)

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.140				
普通作業員	人	1.070				
ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ用門扉 丸ﾊﾟｲﾌﾟ型 両開 W-2000 めっき Z-GS3 線径3.2mm×網目50mm 柵高 H1800	基	1				
諸雑費	%	1			諸雑費	
計						
1 箇所 当り						

ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ基礎ﾌﾞﾛｯｸ設置
10kg以上50kg以下

代価表

(205号代価表)

10 個当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.100				
普通作業員	人	0.100				
ﾌｪﾝｽ用ﾌﾞﾛｯｸ 200S 20*20*45cm	個	10				
計						
1 個 当り						

13.1.1.18-③ 保管場所等を記載する掲示板の設置

代価表

(206号代価表)

1枚当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0 350			78号代価表 121頁	
掲示板 t=3mm H600*B800 ｱﾙﾐﾆｭｳﾑ複合板	枚	1				
計						
1 枚 当り						

251 頁

13.1.1.18-④ 空間線量率の測定結果等を記載する看板の設置

代価表

(207号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.350			78号代価表 121頁	
看板 400㎜(H)×700㎜(B)ﾏｸﾞﾈｯﾄ対応ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 位置図含む	枚	1				
計						
1 枚 当り						

13.1.1.18-⑤ 消火器設置

代価表

(　208号代価表　)

1ｾｯﾄ当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0 350			78号代価表 121頁	
消火器 ABC粉末 加圧式 10型 3.0kg	本	2				
消火器格納箱 高600×横460×奥170mm ｽﾁｰﾙ製	個	1				
計						
1 ｾｯﾄ 当り						

代価表

舗装版切断
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 As:15cm以下

(209号代価表)

1ｍ当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		7.02				
K1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ ﾊﾞｷｭｰﾑ式・湿式・切削深20cm級・ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径56cm	4.50		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ[ﾊﾞｷｭｰﾑ式・湿式] 切削深20cm級 ﾌﾞﾚｰﾄﾞ径56cm		
R		54.79				
R1	特殊作業員	18.79		特殊作業員		
R2	普通作業員	16.35		普通作業員		
Z		38.19				
Z1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀﾌﾞﾚｰﾄﾞ 径56cm(22ｲﾝﾁ) 自走式切断機用	35.44		ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ (ﾌﾞﾚｰﾄﾞ) 径22ｲﾝﾁ		
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	1.76		ｶﾞｿﾘﾝ ﾚｷﾞｭﾗｰ ｽﾀﾝﾄﾞ		

254 頁

舗装版破砕
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り

代価表

(210号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		8.85				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.45(平積0.35)m3	8.85		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.45m3(平積0.35m3)		
R		85.77				
R1	普通作業員	40.11		普通作業員		
R2	土木一般世話役	23.18		土木一般世話役		
R3	運転手(特殊)	22.48		運転手(特殊)		
Z		5.38				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	5.38		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

仮置場9　運搬距離L=140Km
N=291,190ｔ（不燃）　N=23,110袋（可燃）

（　　211号代価表　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮置場9　運搬距離L=140Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、242日	m2	93			212号代価表 259頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	23,110			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	103,995			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	9,244			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	83,196			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	23,110			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	207,990			219号代価表 266頁	

仮置場9　運搬距離L=140Km
N=291,190ｔ(不燃)　N=23,110袋（可燃）

代価表

（　211号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	231,100			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	23,110			220号代価表 267頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	291,190			221号代価表 268頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

代価表

仮置場9　運搬距離L=140Km
N=291,190ｔ(不燃)　N=23,110袋（可燃）

（　　211号代価表　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、242日

代価表

（　　212号代価表　　）

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用242日	枚	107			213号代価表 260頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

鋼板賃料 22*1524*6096
供用242日

（ 213号代価表 ）

1枚当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	242				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

代価表

13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去
可燃物

(214号代価表)

130 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 060			73号代価表 116頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0 390			78号代価表 121頁	
計						
1 m2 当り						

13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去
不燃物

代価表

(215号代価表)

130 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 060			73号代価表 116頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0 390			78号代価表 121頁	
計						
1 m2 当り						

大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物）
（13.1.1.14　保管物取込・設置）準用

代価表

（　216号代価表　）

100 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	1.250			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			78号代価表 121頁	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.250				
計						
1 袋 当り						

代価表

大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物）
（13.1.1.14　保管物取込・設置）準用

（　217号代価表　）

100 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	1.250			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			78号代価表 121頁	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.250				
計						
1 袋 当り						

代価表

保管物の詰込み（可燃物）
（13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替・詰込み）準用

（　218号代価表　）

40 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.640			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3			78号代価表 121頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	1			74号代価表 117頁	
ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	時間	7.500				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	135				
諸雑費	%	1.400			諸雑費	
計						
1 袋 当り						

保管物の積込み（不燃物）
（13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替・積込み）準用

代価表

（　219号代価表　）

70 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.550			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.690			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3			78号代価表 121頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	1			74号代価表 117頁	
ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)ｸﾚｰﾝ2.9t吊	時間	7.500				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	135				
諸雑費	%	1.400			諸雑費	
計						
1 袋 当り						

ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬
L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）

代価表

（　　220号代価表　　）

8 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	3.800				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	112				
計						
1 袋 当り						

267 頁

代価表

ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬
L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）

（　221号代価表　）

7.300 ｔ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	3.800				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	112				
計						
1 ｔ 当り						

18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄

代価表

(222号代価表)

10 台当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.300			73号代価表 116頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2			78号代価表 121頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			76号代価表 119頁	
高圧洗浄機(工事用･ｴﾝｼﾞﾝ駆動) 吐出35~70L/min圧力14.7MPa	日	1				
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	L	32.200				
水	m3	20				
諸雑費	%	3			諸雑費	
計						
1 台 当り						

16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬
運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）

代価表

（　　223号代価表　　）

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	7 800			81号代価表 124頁	
汚泥吸排車 積載質量8.0t　・吸入管径75mm	供用日	9 360				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	624				
計						
1 m3 当り						

270 頁

18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費
建設機械等の返却

代価表

(　　　224号代価表　　　)

45 台当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 300			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2			76号代価表 119頁	
GM管式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	日	2				
計						
1 台 当り						

代価表

仮置場10　運搬距離L=150Km
N=64,750ｔ(不燃)　N=5,140袋（可燃）

（　225号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮置場10　運搬距離L=150Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、62日	m2	93			226号代価表 275頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	5,140			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	23,125			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	2,056			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	18,500			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） (13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み) 準用	袋	5,140			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） (13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み) 準用	袋	46,250			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場10　運搬距離L=150Km
N=64,750ｔ（不燃）　N=5,140袋（可燃）

（　225号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	51,390			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=150Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	5,140			228号代価表 277頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=150Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	64,750			229号代価表 278頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場10　運搬距離L=150Km
N=64,750ｔ(不燃)　N=5,140袋(可燃)

代価表

(　　225号代価表　　)

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
計						
1 式 当り						

代価表

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、62日

（　226号代価表　）

1,000 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用62日	枚	107			227号代価表 276頁	
計						
1 m2 当り						

鋼板賃料 22*1524*6096
供用62日

代価表

(227号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	62				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

代価表

ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬
L=150Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）

（　　228号代価表　　）

8袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	4.200				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	120				
計						
1 袋 当り						

代価表

ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬
L=150Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）

（　　229号代価表　　）

7.300 ｔ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	4.200				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	120				
計						
1　ｔ　当り						

代価表

仮置場11　運搬距離L=120Km
N=104,450ｔ（不燃）　N=8,290袋（可燃）

（　230号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
仮置場11　運搬距離L=120Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、93日	m2	93			231号代価表 282頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	8,290			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	37,305			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	3,316			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	29,844			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	8,290			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	74,610			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場11　運搬距離L=120Km
N=104,450ｔ（不燃）　N=8,290袋（可燃）

（　230号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	82,900			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=120Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	8,290			233号代価表 284頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=120Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	104,450			234号代価表 285頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場11　運搬距離L=120Km
N=104,450ｔ(不燃)　N=8,290袋（可燃）

代価表

（　　　230号代価表　　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計						
1 式 当り						

代価表

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、93日

(　231号代価表　)

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用93日	枚	107			232号代価表 283頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

鋼板賃料 22*1524*6096
供用93日

(232号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)180日以内 22*1524*6096	枚/日	93				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬
L=120Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）

代価表

（　　233号代価表　　）

8袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7 500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	3 700				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	96				
計						
1 袋 当り						

284 頁

ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬
L=120Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）

代価表

（　　　234号代価表　　　）

7.300 ｔ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	3.700				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	96				
計						
1　ｔ　当り						

仮置場12　運搬距離L=140Km
N=2,420ｔ(不燃)　 N=190袋（可燃）

代価表

（　　　235号代価表　　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮置場12　運搬距離L=140Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、20日	m2	93			236号代価表 289頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	190			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	865			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	76			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	692			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	190			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	1,730			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場12　運搬距離L=140Km
N=2,420ｔ（不燃）　N=190袋（可燃）

（　　235号代価表　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	1,920			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	190			220号代価表 267頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	2,420			221号代価表 268頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場12　運搬距離L=140Km
N=2,420ｔ(不燃)　N=190袋（可燃）

代価表

（　235号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、20日

代価表

（　　236号代価表　　）

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2 100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4 300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2 500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用20日	枚	107			237号代価表 290頁	
計						
1 m2 当り						

鋼板賃料 22*1524*6096
供用20日

代価表

(237号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	20				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

仮置場13　運搬距離L=140Km
N=19,810ｔ(不燃)　 N=1,570袋（可燃）

代価表

（　　　238号代価表　　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮置場13　運搬距離L=140Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、26日	m2	93			239号代価表 294頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	1,570			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	7,075			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	628			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	5,660			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	1,570			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	14,150			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場13　運搬距離L=140Km
N=19,810ｔ(不燃)　N=1,570袋（可燃）

（　238号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	15,720			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	1,570			220号代価表 267頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	19,810			221号代価表 268頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場13　運搬距離L=140Km
N=19,810ｔ(不燃)　N=1,570袋（可燃）

代価表

（　238号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、26日

代価表

(　239号代価表　)

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用26日	枚	107			240号代価表 295頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

鋼板賃料 22*1524*6096
供用26日

(240号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	26				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

代価表

仮置場19　運搬距離L=120Km
N=49,970ｔ(不燃)　N=3,960袋（可燃）

(　241号代価表　)

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
仮置場19　運搬距離L=120Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、50日	m2	93			242号代価表 299頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	3,960			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	17,845			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	1,584			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	14,276			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	3,960			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	35,690			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場19　運搬距離L=120Km
N=49,970ｔ(不燃)　N=3,960袋（可燃）

（　241号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	39,660			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=120Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	3,960			233号代価表 284頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=120Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	49,970			234号代価表 285頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

代価表

仮置場19　運搬距離L=120Km
N=49,970ｔ(不燃)　N=3,960袋（可燃）

（　241号代価表　）

1式当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、50日

代価表

(　　　242号代価表　　　)

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用50日	枚	107			243号代価表 300頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

鋼板賃料 22*1524*6096
供用50日

(243号代価表)

1枚当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	50				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

仮置場21　運搬距離L=140Km
N=95,410ｔ(不燃)　N=7,570袋（可燃）

代価表

（　244号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
仮置場21　運搬距離L=140Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、86日	m2	93			245号代価表 304頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	7,570			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	34,075			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	3,028			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	27,260			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	7,570			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	68,150			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場21　運搬距離L=140Km
N=95,410ｔ(不燃)　N=7,570袋（可燃）

(　244号代価表　)

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	75,720			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	7,570			220号代価表 267頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	95,410			221号代価表 268頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場21　運搬距離L=140Km
N=95,410ｔ(不燃)　N=7,570袋 (可燃)

代価表

(　244号代価表　)

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、86日

代価表

（　245号代価表　）

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用86日	枚	107			246号代価表 305頁	
計						
1 m2 当り						

鋼板賃料 22*1524*6096
供用86日

代価表

（　246号代価表　）

1枚当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	86				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

代価表

仮置場22　運搬距離L=150Km
N=249,050ｔ（不燃）　N=19,770袋（可燃）

（　　247号代価表　　）

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
仮置場22　運搬距離L=150Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、208日	m2	93			248号代価表 309頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	19,770			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	88,945			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	7,908			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	71,156			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	19,770			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	177,890			219号代価表 266頁	

仮置場22　運搬距離L=150Km
N=249,050ｔ(不燃)　N=19,770袋（可燃）

代価表

（　247号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	197,660			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=150Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	19,770			228号代価表 277頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=150Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	249,050			229号代価表 278頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場22　運搬距離L=150Km
N=249,050ｔ(不燃)　N=19,770袋（可燃）

代価表

（　　247号代価表　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計						
1 式 当り						

代価表

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、208日

(　　　248号代価表　　　)

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用208日	枚	107			249号代価表 310頁	
計						
1 m2 当り						

鋼板賃料 22*1524*6096
供用208日

代価表

(249号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)360日以内 22*1524*6096	枚/日	208				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

仮置場23　運搬距離L=130Km
N=13,830ｔ(不燃)　N=1,100袋（可燃）

代価表

(　250号代価表　)

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
仮置場23　運搬距離L=130Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、21日	m2	93			251号代価表 314頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	1,100			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	4,940			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	440			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	3,952			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	1,100			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	9,880			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場23　運搬距離L=130Km
N=13,830ｔ（不燃）　N=1,100袋（可燃）

（　250号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	10,980			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=130Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	1,100			253号代価表 316頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=130Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	13,830			254号代価表 317頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

代価表

(250号代価表)

仮置場23　運搬距離L=130Km
N=13,830ｔ(不燃)　N=1,100袋（可燃）

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、21日

代価表

（　　251号代価表　　）

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用21日	枚	107			252号代価表 315頁	
計						
1 m2 当り						

鋼板賃料 22*1524*6096
供用21日

代価表

(252号代価表)

1 枚当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鋼板(賃貸)90日以内 22*1524*6096	枚/日	21				
鋼板(賃貸)整備費 22*1524*6096	枚	1				
計						
1 枚 当り						

代価表

ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬
L=130Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）

（　　253号代価表　　）

8袋当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	3.900				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	104				
計						
1 袋 当り						

ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬
L=130Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）

代価表

（　254号代価表　）

7.300 ｔ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	供用日	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	時間	7.500				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	供用日	1				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(1時間当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ10t･良好	時間	3.900				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	104				
計						
1 ｔ 当り						

仮置場24　運搬距離L=140Km
N=4,280ｔ（不燃）　N=340袋（可燃）

代価表

（　　255号代価表　　）

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
仮置場24　運搬距離L=140Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、20日	m2	93			256号代価表 321頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	340			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	1,530			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	136			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	1,224			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	340			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	3,060			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場24　運搬距離L=140Km
N=4,280ｔ（不燃）　N=340袋（可燃）

（　255号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	3,400			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	340			220号代価表 267頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	4,280			221号代価表 268頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場24　運搬距離L=140Km
N=4,280ｔ(不燃)　N=340袋（可燃）

代価表

（　　255号代価表　　）

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
計						
1 式 当り						

18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去
t=22、20日

代価表

(256号代価表)

1,000 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.960			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2.100			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	4.300			78号代価表 121頁	
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.500				
鋼板賃料 22*1524*6096 供用20日	枚	107			237号代価表 290頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

仮置場25　運搬距離L=130Km
N=9,770ｔ（不燃）　N=780袋（可燃）

（　　257号代価表　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
仮置場25　運搬距離L=130Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、20日	m2	93			256号代価表 321頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	780			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	3,490			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	312			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	2,792			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	780			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	6,980			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場25　運搬距離L=130Km
N=9,770ｔ（不燃）　N=780袋（可燃）

（　　257号代価表　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	7,760			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=130Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	780			253号代価表 316頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=130Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	9,770			254号代価表 317頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

代価表

仮置場25　運搬距離L=130Km
N=9,770ｔ(不燃)　N=780袋（可燃）

（　　　257号代価表　　　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計						
1 式 当り						

代価表

仮置場26　運搬距離L=140Km
N=2,270ｔ(不燃)　N=180袋（可燃）

（　258号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
仮置場26　運搬距離L=140Km	式	1			工種行	
1.準備工	式	1			種別行	
(1)　敷鉄板設置工	式	1			細別行	
18.4.1.1　敷鉄板設置･撤去 t=22、20日	m2	93			256号代価表 321頁	
(2)　上部シート剥がし	式	1			細別行	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 可燃物	m2	180			214号代価表 261頁	
13.2.1.1-(1)上部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)の撤去 不燃物	m2	810			215号代価表 262頁	
(3)　遮蔽土のう撤去・仮置き	式	1			細別行	
大型土のう　遮へい土のう撤去（可燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	72			216号代価表 263頁	
大型土のう　遮へい土のう撤去（不燃物） （13.1.1.14　保管物取込・設置）準用	袋	648			217号代価表 264頁	
2.保管物の積込み	式	1			種別行	
(1)　保管物の積込み	式	1			細別行	
保管物の詰込み（可燃物） （13.2.3.1-(1)　保管物(可燃物)の詰替･詰込み）準用	袋	180			218号代価表 265頁	
保管物の積込み（不燃物） （13.2.3.1-(2)　保管物(不燃物)の詰替･積込み）準用	袋	1,620			219号代価表 266頁	

代価表

仮置場26　運搬距離L=140Km
N=2,270ｔ(不燃)　N=180袋（可燃）

（　258号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
16.1.2.1　ﾀｸﾞの取付け	袋	1,800			85号代価表 128頁	
3.輸送	式	1			種別行	
(1)　除去土壌等輸送	式	1			細別行	
ダンプトラックによる除去土壌等（可燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:8袋（8袋×1往復）	袋	180			220号代価表 267頁	
ダンプトラックによる除去土壌等（不燃物）の運搬 L=140Km　起算数量:7.3ｔ（7.3t×1往復）	t	2,270			221号代価表 268頁	
4.洗浄等	式	1			種別行	
(1)　返却前の高圧水洗浄	式	1			細別行	
18.3.1.1 建設機械･ﾄﾗｯｸ等の高圧水洗浄	台	2			222号代価表 269頁	
18.3.1.2 敷鉄板の高圧水洗浄	m2	93			98号代価表 141頁	
16.1.1.7　汚泥吸排車による泥水等の運搬 運搬距離（片道）60.0km以下（L=50km）	m3	5			223号代価表 270頁	
(2)　返却前のセルフスクリーニング	式	1			細別行	
18.3.1.3-①　建設機械等の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費 建設機械等の返却	台	2			224号代価表 271頁	
18.3.1.4 敷鉄板の返却時のｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費	m2	93			99号代価表 142頁	

仮置場26　運搬距離L=140Km
N=2,270ｔ(不燃)　N=180袋（可燃）

代価表

（　　　258号代価表　　　）

1式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
計						
1 式 当り						

代価表

排水層・購入砂　t=50cm
材料費＋敷均し＋締固め

（　259号代価表　）

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
砂 ｸｯｼｮﾝ用	m3	126				
計						
1 m3 当り						

排水層
盛土法面整形(土羽整形)

代価表

(260号代価表)

100 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
法面整形 盛土部 法面締固め有 現場制約無 ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土	m2	100			261号代価表 330頁	
計						
1 m2 当り						

代価表

法面整形
盛土部 法面締固め有 現場制約無 ﾚｷ質土、砂及び砂質土、粘性土 (261号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		28.66				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	28.66		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		62.86				
R1	普通作業員	26.57		普通作業員		
R2	運転手(特殊)	22.59		運転手(特殊)		
R3	土木一般世話役	13.70		土木一般世話役		
Z		8.48				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	8.48		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

排水縦孔(有孔)立上げ管
φ200mm

代価表

(262号代価表)

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 200~400mm 要	m	10			115号代価表 158頁	
ﾌｨﾙﾀｰ材 ﾌｨﾙﾀｰ材(割栗石) 50-150mm	m3	3.100			263号代価表 332頁	
ｸﾘﾝﾌﾟ金網 亜鉛めっき 2.0×10mm 幅910mm×長15m	m2	24				
鉄筋金網 D13×100×100mm	t	0.478				
計						
1 m 当り						

代価表

フィルター材
フィルター材(割栗石) 50-150mm

(263号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		8.61				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	8.45		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		
R		59.17				
R1	普通作業員	28.02		普通作業員		
R2	土木一般世話役	13.92		土木一般世話役		
R3	運転手(特殊)	11.51		運転手(特殊)		
R4	特殊作業員	4.57		特殊作業員		
Z		32.22				
Z1	割栗石 50-150mm	29.53		再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ RC-40		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	2.64		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

排水層・購入砂
サンドマット　t=150mm

代価表

（　　264号代価表　　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ 砂材料費有	m3	1			265号代価表 334頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ
砂材料費有

(265号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		3.59				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 湿地 16t級(15~17t)	3.59		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[湿地･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 16t級		
R		4.15				
R1	運転手(特殊)	2.08		運転手(特殊)		
R2	普通作業員	2.07		普通作業員		
Z		92.26				
Z1	砂 ｸｯｼｮﾝ用	91.33		砂 再生砂		
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	0.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

水替ﾎﾟﾝﾌﾟ据付・撤去

代価表

(266号代価表)

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0 500				
特殊作業員	人	0 100				
普通作業員	人	2				
ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃料) ﾊﾞｹｯﾄ容量・山積0.8(平積0.6)m3・吊能力2.9t	日	0 500				
計						
1 箇所 当り						

ﾎﾟﾝﾌﾟ運転(常時排水) 発動発電機
排水量0m3/h以上40m3/h未満

代価表

(267号代価表)

1 日当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0.170				
工事用水中ﾓｰﾀﾎﾟﾝﾌﾟ(賃料) 径150mm7.5kW	日	1				
発動発電機(賃料) 出力25kVA低騒音･超低騒音	日	1				
諸雑費	%	1			諸雑費	
計						
1 日 当り						

浸出水送水設備
機械損料(償却費)

代価表

(268号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
浸出水送水設備 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

浸出水送水設備
機械損料(管理費)

代価表

(269号代価表)

1月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
浸出水送水設備 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

浸出水送水設備
機械損料(維持修理費)

代価表

(270号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
浸出水送水設備 機械損料(維持修理費)	m3	1				
計						
1 m3 当り						

浸出水調整設備（ポンプ等）
機械損料(償却費)

代価表

(271号代価表)

1月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
浸出水調整設備(ポンプ等) 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

浸出水調整設備（ポンプ等）
機械損料(管理費)

代価表

(　　　272号代価表　　　)

1月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
浸出水調整設備(ポンプ等) 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

浸出水調整設備（ポンプ等）
機械損料(維持修理費)

代価表

(273号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
浸出水調整設備(ポンプ等) 機械損料(維持修理費)	m3	1				
計						
1 m3 当り						

浸出水処理設備(主要設備)
機械損料(償却費)

代価表

(274号代価表)

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
浸出水処理設備(主要設備) 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

浸出水処理設備(主要設備)
機械損料(維持修理費)

代価表

(276号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
機械損料(償却費、維持修理費、管理費) 浸出水処理設備	m3	1				
計						
1 m3 当り						

計装設備（中央監視装置等）
機械損料(償却費)

代価表

（　280号代価表　）

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
計装設備（中央監視装置等） 機械損料(償却費)	月	1				
計						
1 月 当り						

計装設備（中央監視装置等）
機械損料(管理費)

代価表

（　281号代価表　）

1月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計装設備（中央監視装置等） 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

代価表

計装設備（中央監視装置等）
機械損料(維持修理費)

（　282号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
計装設備（中央監視装置等） 機械損料(維持修理費)	m3	1				
計						
1 m3 当り						

代価表

建築（監視室）
損料又は賃料

（283号代価表）

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
建築（監視室） 損料又は賃料	月	1				
計						
1 月 当り						

運転経費

代価表

(284号代価表)

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転経費	m3	1				
計						
1 m3 当り						

排気層(購入砂)
サンドマット　t=150mm

代価表

(　　285号代価表　　)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ｻﾝﾄﾞﾏｯﾄ 砂材料費有	m3	1			265号代価表 334頁	
計						
1 m3 当り						

遮水シート(暫定最終覆土)
t=1.5mm

代価表

(286号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置 t=1.5mm 13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)	m2	1			110号代価表 153頁	
計						
1 m2 当り						

遮水シート(最終覆土)
t=1.5mm

代価表

(287号代価表)

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
下部ｼｰﾄ(遮水ｼｰﾄ)設置 t=1.5mm 13.1.1.9-(1)-①準用(遮水ｼｰﾄ1重施工分のみ)	m2	1			110号代価表 153頁	
計						
1 m2 当り						

ベンチフリューム工
BF-300

代価表

(288号代価表)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
U型側溝(標準単価) 据付け L補正無 各種 幅300mm*高200mm*長2000mm 制約無 夜間無 L=2,000m	m	10			289号代価表 354頁	
計						
1 m 当り						

U型側溝(標準単価)
据付け L補正無 各種 幅300mm*高200mm*長2000mm 制約無 夜間無 L=2,000mm･1,000kg/個以下 場所補正無
砕石有 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ40~0 0.4m3/10m

代価表

(289号代価表)

10 m当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
排水構造物工 昼間施工 U型側溝［手間のみ］ L2000 1000kg以下 制約なし	m	10				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ 1種 幅300mm×高200mm×長2000mm	本	5				
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40	m3	0.480				
計						
1 m 当り						

集水桝Ａ
500×500×500

代価表

（　290号代価表　）

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
現場打ち集水桝･街渠桝(本体) 18-8-40(高炉) 0.28m3を超え0.30m3以下 一般養生･特殊養生(練炭)	箇所	1			173号代価表 217頁	
計						
1 箇所 当り						

代価表

16.1.1.7 汚泥吸排車による泥水等の運搬
運搬距離(片道)2.0km以下

(291号代価表)

100 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	2.640			81号代価表 124頁	
汚泥吸排車 積載質量8.0t ・吸入管径75mm	供用日	3.170				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	211.200				
計						
1 m3 当り						

土壌貯蔵施設工事

代価表

(292号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊勤務手当(除染等業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	1				
計						
1 人 当り						

家屋解体分

代価表

(293号代価表)

1 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
特殊勤務手当(除染等業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	1				
計						
1 人 当り						

輸送工分

代価表

（　　294号代価表　　）

1 人当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
特殊勤務手当(除染等業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	1				
計						
1 人 当り						

土壌貯蔵施設工事

代価表

(295号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊勤務手当(特定線量下業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	1				
計						
1 人 当り						

機械設備運搬費等

代価表

（　　296号代価表　　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
機械設備運搬費等	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

仮設材運搬 製品L≦12m
片道4km 往復

(297号代価表)

1 t 当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
仮設材の運搬費 基本運賃	t	2				
積込費取卸し費 積込費+取卸し費 現場～基地	t	1				
計						
1 t 当り						

重建設機械分解組立輸送
分解組立+輸送(往復) ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ 20t級以上21t級以下

代価表

(298号代価表)

1回当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊作業員	人	2.800				
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	2.100				
運搬費	%	134			諸雑費	
計						
1 回 当り						

代価表

重建設機械分解組立輸送
分解組立+輸送(往復) ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ 21t級を超え44t級以下

(299号代価表)

1回当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人	4.600				
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	3.400				
運搬費	%	132			諸雑費	
計						
1 回 当り						

重建設機械分解組立輸送
分解組立+輸送(往復) ﾊﾞｯｸﾎｳ系 山積1.0m3以上山積1.4m3以下(油圧ｸﾗﾑｼｪﾙ・ﾃﾚｽｺﾋﾟｯｸ0.4m3以上0.6m3以下)

代価表

(300号代価表)

1回当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
特殊作業員	人	2.700				
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.400				
運搬費	%	216			諸雑費	
計						
1 回 当り						

代価表

浸出水処理施設
設備運搬

(301号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
浸出水処理施設 設備運搬	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

輸送ルート巡回工
各ルート週一回

(302号代価表)

1回当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	1			303号代価表 368頁	
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	1			304号代価表 369頁	
ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[二輪駆動] 乗車定員5名･排気量1.5L(ｶﾞｿﾘﾝ)	供用日	1				
ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[二輪駆動] 乗車定員5名･排気量1.5L(ｶﾞｿﾘﾝ)	時間	7.500				
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	L	19.500				
計						
1 回 当り						

代価表

作業指揮者
特殊勤務手当なし

(303号代価表)

1 人当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
土木一般世話役	人	1				
計						
1 人 当り						

代価表

運転手(除染一般)
特殊勤務手当なし

(304号代価表)

1 人当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(一般)	人	1				
計						
1 人 当り						

放射線管理責任者
建設～竣工まで

代価表

(305号代価表)

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
放射線管理責任者 建設～竣工まで	月	1				
計						
1 月 当り						

19.1.1.1-(2) 防護具B

代価表

(306号代価表)

1組当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
防護服 密閉型ﾀｲﾍﾞｯｸｽｰﾂ	着	2				
防じんﾏｽｸ 取替式 粒子捕集効率95.0%	個	1				
個人線量計 賃料	日	1				
計						
1 組 当り						

19.1.1.2-(2) 使用済み防護具の回収費(全身化学防護服を使用する場合)

代価表

(307号代価表)

1,300 組当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.500			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2			76号代価表 119頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			78号代価表 121頁	
運転手(除染一般) 特殊勤務手当なし	人	0.500			81号代価表 124頁	
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量2t積級	供用日	0.600				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ2~3t･良好	供用日	0.600				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	12.500				
計						
1 組 当り						

19.1.1.3 除染電離則に係る安全講習費
3960人

代価表

(308号代価表)

1 工事当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員(内業)	人	2,722.500				
計						
1 工事 当り						

19.1.1.4 健康診断費

代価表

(309号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
電離放射線健康診断	回	0.008				
一般健康診断追加分	回	0.004				
計						
1 人 当り						

19.1.1.5 ｾﾙﾌｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ費

代価表

(310号代価表)

100 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.120			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.800			76号代価表 119頁	
GM管式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	0.800				
計						
1 人 当り						

放射線管理手帳

代価表

（　　311号代価表　　）

1組当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
放射線管理手帳	組	1				
計						
1 組 当り						

代価表

除染電離則に係る安全講習費
11680人

（　312号代価表　）

1 工事当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
普通作業員(内業)	人	8,030				
計						
1 工事 当り						

電気料金基本料

代価表

（　313号代価表　）

1 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
電気料金基本料	月	1				
計						
1 月 当り						

電気料金基本料

代価表

(314号代価表)

30 月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
電気料金基本料	月	30				
計						
1 月 当り						

代価表

周辺・作業環境測定

(315号代価表)

1月当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
周辺・作業環境測定	月	1				
計						
1 月 当り						

20.1.5.1-① 汚染土壌等の放射能濃度測定

代価表

(316号代価表)

200 測点当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.500			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3.300			76号代価表 119頁	
NaIｼﾝﾁﾚｰｼｮﾝ式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
諸雑費	%	3			諸雑費	
計						
1 測点 当り						

20.1.5.1-② 放射能濃度測定のﾃﾞｰﾀ整理作業

代価表

(317号代価表)

200 測点当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.050				
特殊作業員	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.2-① 放射線の事前測定点設置作業

代価表

（　318号代価表　）

67 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 300			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	2			76号代価表 119頁	
諸雑費	%	9 500			諸雑費	
計						
1 測点 当り						

代価表

20.1.2.2-② 放射線の事前測定外業人件費
(67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高さ1cm位置の表面汚染密度

(319号代価表)

67 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.500			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3.300			76号代価表 119頁	
NaIｼﾝﾁﾚｰｼｮﾝ式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
GM管式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20.1.2.2-③ 放射線の事前測定ﾃﾞｰﾀ整理作業
(67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高さ1cm位置の表面汚染密度

代価表

(320号代価表)

67 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人	0.050				
特殊作業員	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

代価表

20-1-2-3-② 放射線の事後測定外業人件費
(67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高さ1cm位置の表面汚染密度

(321号代価表)

67 測点当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.500			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3.300			76号代価表 119頁	
NaIｼﾝﾁﾚｰｼｮﾝ式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
GM管式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20-1-2-3-③ 放射線の事後測定ﾃﾞｰﾀ整理作業
(67測点当り) 高さ1m位置の空間線量率･高さ1cm位置の空間線量率･高さ1cm位置の表面汚染密度

代価表

(322号代価表)

67 測点当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.050				
特殊作業員	人	0.300				
パソコン	運転日	0.500				
計						
1 測点 当り						

地下水検査項目
25項目

代価表

（　　323号代価表　　）

1検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
水質分析　健康項目(1) ｱﾙｷﾙ水銀	検体	1				
水質分析　健康項目(1) 全水銀	検体	1				
水質分析　健康項目(1) ｶﾄﾞﾐｳﾑ	検体	1				
水質分析　健康項目(1) 鉛	検体	1				
水質分析　健康項目(1) 六価ｸﾛﾑ	検体	1				
水質分析　健康項目(1) ひ素	検体	1				
水質分析　健康項目(1) ｼｱﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(1) PCB	検体	1				
水質分析　健康項目(2) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 四塩化炭素	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 1.2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 1.1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				

地下水検査項目
25項目

代価表

(323号代価表)

1検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
水質分析 健康項目(2) ｼｽｰ1.2ｰｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.1.1ｰﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.1.2ｰﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.3ｰｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ﾁｳﾗﾑ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ｼﾏｼﾞﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ｾﾚﾝ	検体	1				
水質分析 水道水項目 1.4ｰｼﾞｵｷｻﾝ	検体	1				
水質分析 要監視項目(2) ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ)	検体	1				
計						
1 検体 当り						

代価表

(324号代価表)

16 検体当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0 150			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			76号代価表 119頁	
採水道具 ﾍﾞｰﾗｰ他	式	1				
検査分析費 放射能濃度測定･ｹﾞﾙﾏﾆｳﾑ半導体検出器	検体	16				
ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[二輪駆動] 乗車定員5名･排気量1.5L(ｶﾞｿﾘﾝ)	供用日	1 200				
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	L	9 500				
計						
1 検体 当り						

その他排水基準項目
37項目

代価表

(325号代価表)

1検体当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ｱﾙｷﾙ水銀	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 全水銀	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ｶﾄﾞﾐｳﾑ	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 鉛	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 有機ﾘﾝ	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 六価ｸﾛﾑ	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ひ素	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ｼｱﾝ	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 PCB	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 四塩化炭素	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				

その他排水基準項目
37項目

代価表

(325号代価表)

1検体当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
水質分析 健康項目(2) 1.1ｰｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ｼｽｰ1.2ｰｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.1.1ｰﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.1.2ｰﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.3ｰｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ﾁｳﾗﾑ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ｼﾏｼﾞﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 溶出 ｾﾚﾝ又はその化合物	検体	1				
水質分析 水道水項目 1.4ｰｼﾞｵｷｻﾝ	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 含有量 ほう素	検体	1				
含有量試験及び溶出試験(1) 含有量 ふっ素	検体	1				
水質分析 健康項目(1) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	検体	1				

その他排水基準項目
37項目

代価表

(325号代価表)

1検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
水質試験費 生活環境項目 試験費 n-ﾍｷｻﾝ抽出物質(鉱油類含有量)	項目	1				
水質試験費 生活環境項目 試験費 n-ﾍｷｻﾝ抽出物質(動植物油脂類含有量)	項目	1				
水質分析 生活環境項目 ﾌｪﾉｰﾙ類	検体	1				
水質分析 生活環境項目 銅	検体	1				
水質分析 生活環境項目 亜鉛	検体	1				
水質分析 生活環境項目 溶解性鉄	検体	1				
水質分析 生活環境項目 溶解性ﾏﾝｶﾞﾝ	検体	1				
水質分析 生活環境項目 全ｸﾛﾑ	検体	1				
水質分析 生活環境項目 大腸菌群数 (計数法)	検体	1				
計						
1 検体 当り						

環境基準項目
32項目

代価表

(　326号代価表　)

1検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
水質分析　健康項目(1) ｶﾄﾞﾐｳﾑ	検体	1				
水質分析　健康項目(1) ｼｱﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(1) 鉛	検体	1				
水質分析　健康項目(1) 六価ｸﾛﾑ	検体	1				
水質分析　健康項目(1) ひ素	検体	1				
水質分析　健康項目(1) 全水銀	検体	1				
水質分析　健康項目(1) ｱﾙｷﾙ水銀	検体	1				
水質分析　健康項目(1) PCB	検体	1				
水質分析　健康項目(2) ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 四塩化炭素	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 1.2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 1.1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) ｼｽ-1.2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析　健康項目(2) 1.1.1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				

環境基準項目
32項目

代価表

（　326号代価表　）

1検体当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
水質分析 健康項目(2) 1.1.2ｰﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) 1.3ｰｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ﾁｳﾗﾑ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ｼﾏｼﾞﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	検体	1				
水質分析 健康項目(2) ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ｾﾚﾝ	検体	1				
水質分析 健康項目(1) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ふっ素	検体	1				
水質分析 健康項目(1) ほう素	検体	1				
水質分析 水道水項目 1.4ｰｼﾞｵｷｻﾝ	検体	1				
水質分析 生活環境項目 水素ｲｵﾝ濃度(pH)	検体	1				

環境基準項目
32項目

代価表

(326号代価表)

1 検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
水質分析 生活環境項目 生物化学的酸素要求量(BOD)	検体	1				
水質分析 生活環境項目 浮遊物質量(SS)	検体	1				
水質分析 生活環境項目 溶存酸素量(DO)	検体	1				
水質分析 生活環境項目 大腸菌群数 (計数法)	検体	1				
計						
1 検体 当り						

騒音レベル

代価表

（　327号代価表　）

1 検体当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
騒音ﾚﾍﾞﾙ測定 環境騒音 5秒100回法 1地点	地点	2				
計						
1 検体 当り						

振動レベル

代価表

(328号代価表)

1 検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
振動ﾚﾍﾞﾙ測定 環境振動 5秒100回法 1地点	地点	2				
計						
1 検体 当り						

臭気指数

代価表

（　329号代価表　）

1 検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
悪臭分析 臭気指数(濃度)	検体	1				
計						
1 検体 当り						

20-1-2-2-④ 放射線の事前測定外業人件費
（100測点当り）高さ1cm位置の空間線量率･高さ1cm位置の表面汚染密度

代価表

（　330号代価表　）

100 測点当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.500			73号代価表 116頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3.300			76号代価表 119頁	
NaIｼﾝﾁﾚｰｼｮﾝ式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
GM管式ｻｰﾍﾞｲﾒｰﾀｰ	運転日	1.700				
計						
1 測点 当り						

20.1.4.2 浸出水の放射能濃度の測定

代価表

(331号代価表)

8検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.230			332号代価表 402頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.500			333号代価表 403頁	
採水道具 ﾍﾞｰﾗｰ他	式	1				
簡易検査用ｼﾝﾁﾚｰｼｮﾝ検出器	供用日	1				
ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[二輪駆動] 乗車定員5名・排気量1.5L(ｶﾞｿﾘﾝ)	供用日	0.600				
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	L	4.800				
計						
1 検体 当り						

代価表

作業指揮者
特殊勤務手当なし

（　　332号代価表　　）

1 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人	1				
計						
1 人 当り						

代価表

特殊除染作業員
特殊勤務手当なし

(333号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊作業員	人	1				
計						
1 人 当り						

建物解体工事費
土壌貯蔵施設建物解体N=51棟

代価表

(334号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
建物解体工事費 土壌貯蔵施設建物解体	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

調査費
地質調査

(335号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
調査費 土壌貯蔵施設地質調査	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

(　　　336号代価表　　　)

設計業務
受入・分別施設　実施設計

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
設計業務	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

設計費
土壌貯蔵施設　実施設計

（　337号代価表　）

1 式当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
設計費 土壌貯蔵施設実施設計費	式	1				
計						
1 式 当り						

代価表

設計費
浸出水処理施設　実施設計

（　　338号代価表　　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
設計費 浸出水処理施設設計費	式	1				
計						
1 式 当り						

被ばく線量登録管理制度参加

代価表

（ 339号代価表 ）

1 人当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
被ばく線量登録管理制度参加費用	人	1				
計						
1 人 当り						

初期費用(事業者システム)

代価表

(340号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
初期費用(事業者システム)	式	1				
計						
1 式 当り						

運用経費(事業者システム)

代価表

(341号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運用経費(事業者システム)	月	1				
計						
1 月 当り						

411 頁

高速道路料金

代価表

（　　342号代価表　　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
高速道路料金（税抜き） 郡山IC～常磐富岡IC	往復	42,779				
高速道路料金（税抜き） 須賀川IC～常磐富岡IC	往復	9,513				
高速道路料金（税抜き） 船引三春IC～常磐富岡IC	往復	22,687				
高速道路料金（税抜き） 矢吹IC～常磐富岡IC	往復	3,019				
高速道路料金（税抜き） 矢吹中央IC～常磐富岡IC	往復	4,348				
高速道路料金（税抜き） 白河IC～常磐富岡IC	往復	50,606				
高速道路料金（税抜き） 玉川IC～常磐富岡IC	往復	334				
計						
1 式 当り						

代価表

運転経費
埋立

(343号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転経費 埋立	m3	1				
計						
1 m3 当り						

浸出水処理設備(主要設備)
機械損料(管理費)

代価表

(344号代価表)

1 月当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
浸出水処理設備(主要設備) 機械損料(管理費)	月	1				
計						
1 月 当り						

諸経費対象外項目(大熊５工区)：(土壌貯蔵施設設計費)(当初)

業務費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
直接原価(電子成果品作成費除く)	式	1			
直接人件費	式	1			種別行
標準護岸詳細設計　（景観検討を除く） 片側　設計延長1000m　一般地盤	式	1			1号代価表 2頁
道路詳細設計(B) 全工程 縮尺1/1000 丘陵地 1~2車線 単断面 1km未満 0.5km	式	1			14号代価表 16頁
打合せ等	業務	1			15号代価表 17頁
直接経費	式	1			種別行
旅費交通費	式	1			19号代価表 21頁
電子成果品作成費	式	1			
直接原価(その他原価除く)	式	1			
その他原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
業務委託料	式	1			

標準護岸詳細設計　（景観検討を除く）
片側　設計延長1000m　一般地盤

代価表

（　1号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
護岸詳細設計 設計計画 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			2号代価表 4頁	
護岸詳細設計 現地踏査 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			3号代価表 5頁	
護岸詳細設計 基本事項･見直~取付検討 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			4号代価表 6頁	
護岸詳細設計 本体設計･基礎検討~計算 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			5号代価表 7頁	
護岸詳細設計 付帯施設設計･階段~施設 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			6号代価表 8頁	
護岸詳細設計 施工計画･施工計画 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			7号代価表 9頁	
護岸詳細設計 施工計画･仮設計画 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			8号代価表 10頁	
護岸詳細設計 図面作成･図面作成 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			9号代価表 11頁	
護岸詳細設計 図面作成･ﾊﾟｰｽ作成 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			10号代価表 12頁	
護岸詳細設計 数量計算 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			11号代価表 13頁	
護岸詳細設計 照査 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			12号代価表 14頁	
護岸詳細設計 報告書作成 片岸 設計延長1000m 一般地盤	式	1			13号代価表 15頁	
諸　雑　費	式	1			調整金	

標準護岸詳細設計　（景観検討を除く）
片側　設計延長1000m　一般地盤

代価表

（　　　1号代価表　　　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 設計計画
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(2号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師	人	1.500				
技師(A)	人	1.500				
技師(B)	人	3				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 現地踏査
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(3号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師(屋外補正対象)	人	1.500				
技師(A)(屋外補正対象)	人	3				
技師(B)(屋外補正対象)	人	3				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 基本事項･見直~取付検討
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(4号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
技師(A)	人	6				
技師(B)	人	7.500				
技師(C)	人	4.500				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 本体設計･基礎検討~計算
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(5号代価表)

1 式当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
技師(A)	人	3				
技師(B)	人	4 500				
技師(C)	人	7 500				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

護岸詳細設計 付帯施設設計・階段~施設
片岸 設計延長1000m 一般地盤

(6号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
技師(A)	人	1 500				
技師(B)	人	4 500				
技師(C)	人	4 500				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 施工計画･施工計画
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(7号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
技師(A)	人	4.500				
技師(B)	人	6				
技師(C)	人	1.500				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 施工計画･仮設計画
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(8号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
技師(A)	人	1.500				
技師(B)	人	3				
技師(C)	人	3				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

護岸詳細設計 図面作成･図面作成
片岸 設計延長1000m 一般地盤

(9号代価表)

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
技師(B)	人	4.500				
技師(C)	人	7.500				
技術員	人	19.500				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 図面作成・ﾊﾟｰｽ作成
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(10号代価表)

1 式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
技師(A)	人	1.500				
技師(B)	人	3				
技師(C)	人	3				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 数量計算
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(11号代価表)

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
技師(B)	人	1.500				
技師(C)	人	4.500				
技術員	人	7.500				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 照査
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(12号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師	人	1.500				
技師(A)	人	1.500				
技師(B)	人	5.400				
技師(C)	人	2.400				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

護岸詳細設計 報告書作成
片岸 設計延長1000m 一般地盤

代価表

(13号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師	人	1.500				
技師(A)	人	3				
技師(B)	人	3				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

道路詳細設計(B) 全工程
縮尺1/1000 丘陵地 1~2車線 単断面 1km未満 0.5km

代価表

(14号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
理事、技師長	人	1.294				
主任技師	人	3.019				
技師(A)	人	8.625				
技師(B)	人	13.369				
技師(C)	人	15.094				
技術員	人	12.075				
主任技師(屋外補正対象)	人	0.431				
技師(A)(屋外補正対象)	人	0.431				
技師(B)(屋外補正対象)	人	0.863				
技師(C)(屋外補正対象)	人	0.431				
電子計算機使用料	%	2			諸雑費	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

打合せ等

代価表

(15号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
打合せ等 土木設計業務等(河川構造物設計)護岸詳細設計 業務着手時	業務	1			16号代価表 18頁	
打合せ等 土木設計業務等(河川構造物設計)護岸詳細設計 中間打合せ 中間打合せ5回	業務	1			17号代価表 19頁	
打合せ等 土木設計業務等(河川構造物設計)護岸詳細設計 成果物納入時	業務	1			18号代価表 20頁	
計						
1 業務 当り						

打合せ等 土木設計業務等(河川構造物設計)護岸詳細設計
業務着手時

代価表

(16号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師	人	0.500				
技師(A)	人	0.500				
技師(B)	人	0.500				
計						
1 業務 当り						

打合せ等 土木設計業務等(河川構造物設計)護岸詳細設計
中間打合せ 中間打合せ5回

代価表

(17号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師	人	2.500				
技師(A)	人	2.500				
技師(B)	人	2.500				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 業務 当り						

打合せ等 土木設計業務等(河川構造物設計)護岸詳細設計
成果物納入時

代価表

(18号代価表)

1 業務当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
主任技師	人	0 500				
技師(A)	人	0 500				
技師(B)	人	0 500				
計						
1 業務 当り						

旅費交通費

代価表

(19号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
連絡車(ﾗｲﾄﾊﾞﾝ)運転に 2h 械経費及び材料費 乗車定員5名・排気量1.5L	日	4				
往復旅行日数にかかる直接人件費 主任技師 往復移動日数1日	往復	1			20号代価表 22頁	
往復旅行日数にかかる直接人件費 技師(A) 往復移動日数1日	往復	1			21号代価表 23頁	
往復旅行日数にかかる直接人件費 技師(B) 往復移動日数1日	往復	1			22号代価表 24頁	
往復旅行日数にかかる直接人件費 技師(C) 往復移動日数1日	往復	1			23号代価表 25頁	
旅費交通費 宿泊日数1日 主任技師 乙地方	往復	1			24号代価表 26頁	
旅費交通費 宿泊日数3日 技師(A) 乙地方	往復	1			25号代価表 27頁	
旅費交通費 宿泊日数3日 技師(B) 乙地方	往復	1			26号代価表 28頁	
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

往復旅行日数にかかる直接人件費
主任技師 往復移動日数1日

代価表

(20号代価表)

1往復当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
主任技師	人	1				
計						
1 往復 当り						

往復旅行日数にかかる直接人件費
技師(A) 往復移動日数1日

代価表

(21号代価表)

1往復当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
技師(A)	人	1				
計						
1 往復 当り						

往復旅行日数にかかる直接人件費
技師(B) 往復移動日数1日

代価表

(22号代価表)

1往復当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
技師(B)	人	1				
計						
1 往復 当り						

往復旅行日数にかかる直接人件費
技師(C) 往復移動日数1日

代価表

(23号代価表)

1往復当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
技師(C)	人	1				
計						
1 往復 当り						

旅費交通費 宿泊日数1日
主任技師 乙地方

代価表

(24号代価表)

1 往復当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
宿泊料(普通旅費) 乙地方 主任技師	泊	1				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 往復 当り						

旅費交通費 宿泊日数3日
技師(A) 乙地方

代価表

(25号代価表)

1往復当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
宿泊料(普通旅費) 乙地方 技師(A)	泊	1				
宿泊料(滞在日額旅費) 30日未満 技師(A)	日	2				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 往復 当り						

代価表

旅費交通費 宿泊日数3日
技師(B) 乙地方

(26号代価表)

1往復当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
宿泊料(普通旅費) 乙地方 技師(B)	泊	1				
宿泊料(滞在日額旅費) 30日未満 技師(B)	日	2				
諸 雑 費	式	1			調整金	
計						
1 往復 当り						

諸経費対象外項目（大熊５工区）：（地質調査業務）（当初）

業務費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
一般調査	式	1			
直接調査費(電子成果品作成費除く)	式	1			
機械ボーリング	式	1			種別行
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ φ66mm粘性土･ｼﾙﾄ 50m以下 鉛直下方	m	26			1号代価表 8頁
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ φ116mm粘性土･ｼﾙﾄ 50m以下 鉛直下方	m	10			2号代価表 9頁
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ φ66mm砂･砂質土 50m以下 鉛直下方	m	100			3号代価表 10頁
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ φ116mm砂･砂質土 50m以下 鉛直下方	m	38			4号代価表 11頁
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ φ66mm固結ｼﾙﾄ･固結粘土 50m以下 鉛直下方	m	39			5号代価表 12頁
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ φ116mm固結ｼﾙﾄ･固結粘土 50m以下 鉛直下方	m	3			6号代価表 13頁
原位置試験	式	1			種別行
標準貫入試験 粘性土･ｼﾙﾄ	回	30			7号代価表 14頁
標準貫入試験 砂･砂質土	回	102			8号代価表 15頁
標準貫入試験 固結ｼﾙﾄ･固結粘土	回	39			9号代価表 16頁
現場透水試験 揚水法 GL-20m以内	回	2			10号代価表 17頁

諸経費対象外項目（大熊５工区）：（地質調査業務）（当初）

業務費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
調査孔閉塞	箇所	16			11号代価表 18頁
観測井戸設置(土壌貯蔵施設No.2, No.10別孔) 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管65A	m	21			12号代価表 19頁
20.1.1.1 地下水の放射能濃度の測定	検体	6			13号代価表 20頁
特殊勤務手当	式	1			種別行
特殊勤務手当	式	1			16号代価表 23頁
資機材運搬(ﾄﾗｯｸ運転経費) 2t積･2.9t吊 片道所要時間2h	日	2			19号代価表 26頁
資機材運搬(ﾄﾗｯｸ運転経費) 2t積･2.9t吊 片道所要時間0.5h	日	12			20号代価表 27頁
電子成果品作成費	式	1			
間接調査費	式	1			
準備費	式	1			1号内訳書 5頁
仮設費	式	1			2号内訳書 6頁
施工管理費	式	1			
直接調査費+間接調査費	式	1			
間接費	式	1			

業務費内訳書

諸経費対象外項目（大熊５工区）：（地質調査業務）（当初）

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
諸経費	式	1			
諸経費対象外	式	1			3号内訳書 7頁
一般調査業務費	式	1			
直接原価(電子成果品作成費除く)	式	1			
既存資料の収集･現地調査(直接人件費(解析等調査業務費分)) ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本	業務	1			28号代価表 35頁
資料整理とりまとめ(直接人件費(解析等調査業務費分)) ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本	業務	1			29号代価表 36頁
断面図等の作成(直接人件費(解析等調査業務費分)) ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本	業務	1			30号代価表 37頁
総合解析とりまとめ(直接人件費(解析等調査業務費分)) ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本 試験種目6~9種	業務	1			31号代価表 38頁
打合せ等 地質調査(解析等調査業務) 全体打合せ(業務着手+中間打合せ+成果物納入+関係機関協議資料作成+関係	業務	1			32号代価表 39頁
電子成果品作成費	式	1			
直接原価(その他原価除く)	式	1			
その他原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
業務価格	式	1			

諸経費対象外項目（大熊５工区）：（地質調査業務）（当初）

業務費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
業務価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
業務委託料	式	1			

準備費

内訳書

(1号内訳書)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
準備及び跡片付け	業務	1			21号代価表 28頁	
計						

仮設費

内訳書

(2号内訳書)

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
平坦足場 ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ深度 50m以下	箇所	13			22号代価表 29頁	
ボーリング作業	日	68			23号代価表 30頁	
原位置試験作業	日	31			24号代価表 31頁	
計						

諸経費対象外

内訳書

(3号内訳書)

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
室内試験	式	1			種別行	
室内試験 粘性土	試料	4			25号代価表 32頁	
室内試験 砂質土	試料	4			26号代価表 33頁	
室内試験 固結シルト	試料	1			27号代価表 34頁	
計						

代価表

土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ
φ66mm粘性土･ｼﾙﾄ 50m以下 鉛直下方

(1号代価表)

1 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)[材工共] 径66mm 粘性土･ｼﾙﾄ	m	1				
計						
1 m 当り						

土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ
φ116mm粘性土･ｼﾙﾄ 50m以下 鉛直下方

代価表

(2号代価表)

1 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)[材工共] 径116mm粘性土･ｼﾙﾄ	m	1				
計						
1 m 当り						

代価表

(3号代価表)

土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ
φ66mm砂・砂質土 50m以下 鉛直下方

1ｍ当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)[材工共] 径66mm 砂・砂質土	m	1				
計						
1 m 当り						

土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ
φ116mm砂･砂質土 50m以下 鉛直下方

代価表

(4号代価表)

1 m当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)[材工共] 径116mm 砂･砂質土	m	1				
計						
1 m 当り						

土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ
φ66mm固結ｼﾙﾄ･固結粘土 50m以下 鉛直下方

代価表

(5号代価表)

1ｍ当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)[材工共] 径66mm固結ｼﾙﾄ･粘土	m	1				
計						
1 m 当り						

土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ
φ116mm固結ｼﾙﾄ･固結粘土 50m以下 鉛直下方

代価表

(6号代価表)

1 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土質ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ(ﾉﾝｺｱﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ)[材工共] 径116mm固結ｼﾙﾄ粘土	m	1				
計						
1 m 当り						

標準貫入試験
粘性土･ｼﾙﾄ

代価表

(7号代価表)

1回当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞおよび原位置試験[材工共] 標準貫入試験 粘性土･ｼﾙﾄ	回	1				
計						
1 回 当り						

代価表

標準貫入試験
砂・砂質土

(8号代価表)

1回当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞおよび原位置試験[材工共] 標準貫入試験 砂・砂質土	回	1				
計						
1 回 当り						

標準貫入試験
固結ｼﾙﾄ･固結粘土

代価表

(9号代価表)

1回当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞおよび原位置試験[材工共] 標準貫入試験 固結ｼﾙﾄ･固結粘土	回	1				
計						
1 回 当り						

現場透水試験
揚水法 GL-20m以内

代価表

(10号代価表)

1回当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞおよび原位置試験[材工共] 現場透水試験 揚水法	回	1				
計						
1 回 当り						

調査孔閉塞

代価表

(11号代価表)

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
間接調査費[材工共] 調査孔閉塞	箇所	1				
計						
1 箇所 当り						

観測井戸設置(土壌貯蔵施設No.2, No.10別孔)
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管65A

代価表

(12号代価表)

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
普通作業員	人	0.100				
配管工	人	0.100				
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 一般管(VP) 呼び径65 76×4.1mm×4m	m	10.300				
洗い砂 粒径5~0mm 荒目	m3	0.040				
計						
1 m 当り						

20.1.1.1 地下水の放射能濃度の測定

代価表

(13号代価表)

16 検体当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.150			14号代価表 21頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1			15号代価表 22頁	
採水道具 ﾍﾞｰﾗｰ他	式	1				
検査分析費 検出限界:5.0Bq/kg･ｹﾞﾙﾏﾆｳﾑ半導体検出器	検体	16				
ﾗｲﾄﾊﾞﾝ[二輪駆動] 乗車定員5名･排気量1.5L(ｶﾞｿﾘﾝ)	供用日	1.200				
ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ	L	9.500				
計						
1 検体 当り						

作業指揮者
特殊勤務手当なし

代価表

(14号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	1				
計						
1 人 当り						

特殊除染作業員
特殊勤務手当なし

代価表

（　15号代価表　）

1 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	1				
計						
1 人 当り						

特殊勤務手当

代価表

(16号代価表)

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ボーリング作業	式	1			17号代価表 24頁	
原位置試験作業	式	1			18号代価表 25頁	
計						
1 式 当り						

ボーリング作業

代価表

(17号代価表)

1 式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊勤務手当(除染等業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	42				
計						
1 式 当り						

原位置試験作業

代価表

(18号代価表)

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊勤務手当(除染等業務従事者) 除染特別地域内(1日当り)	人	22				
計						
1 式 当り						

代価表

資機材運搬(ﾄﾗｯｸ運転経費) 2t積・2.9t吊
片道所要時間2h

(19号代価表)

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	16.800				
運転手(特殊)	人	0.680				
ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付・積載質量 2t積・2.9t吊	時間	4				
ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付・積載質量 2t積・2.9t吊	供用日	1				
計						
1 日 当り						

資機材運搬(ﾄﾗｯｸ運転経費) 2t積･2.9t吊
片道所要時間0.5h

代価表

(20号代価表)

1日当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	4.200				
運転手(特殊)	人	0.170				
ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付･積載質量 2t積･2.9t吊	時間	1				
ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付･積載質量 2t積･2.9t吊	供用日	1				
計						
1 日 当り						

準備及び跡片付け

代価表

(21号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
間接調査費[材工共] 準備および跡片付け	件	1				
計						
1 業務 当り						

平坦足場
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ深度 50m以下

代価表

(22号代価表)

1 箇所当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
足場仮設[材工共] 平坦足場	箇所	1				
計						
1 箇所 当り						

ボーリング作業

代価表

（　　23号代価表　　）

1 日当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
連絡車(ﾗｲﾄﾊﾞﾝ)運転に 2h　械経費及び材料費 乗車定員5名・排気量1.5L	日	1				
計						
1 日 当り						

原位置試験作業

代価表

(　　24号代価表　　)

1 日当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
連絡車(ﾗｲﾄﾊﾞﾝ)運転に 2h　械経費及び材料費 乗車定員5名・排気量1.5L	日	1				
計						
1 日 当り						

室内試験
粘性土

代価表

(25号代価表)

1 試料当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土の湿潤密度試験 3個/試料 A法(寸法測定法)	試料	1				
土の含水比試験 3個/試料	試料	1				
土粒子の密度試験 3個/試料	試料	1				
土の粒度試験 沈降分析	試料	1				
土の液性限界試験 4~6点/試料	試料	1				
土の塑性限界試験 3個/試料	試料	1				
土の圧密試験 段階載荷 1供試体/試料	試料	1				
計						
1 試料 当り						

室内試験
砂質土

代価表

(26号代価表)

1 試料当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土の湿潤密度試験 3個/試料 A法(寸法測定法)	試料	1				
土の含水比試験 3個/試料	試料	1				
土粒子の密度試験 3個/試料	試料	1				
土の粒度試験 沈降分析	試料	1				
土の液性限界試験 4~6点/試料	試料	1				
土の塑性限界試験 3個/試料	試料	1				
土の圧密試験 段階載荷 1供試体/試料	試料	1				
計						
1 試料 当り						

室内試験
固結シルト

代価表

(27号代価表)

1 試料当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土の含水比試験 3個/試料	試料	1				
土粒子の密度試験 3個/試料	試料	1				
土の粒度試験 沈降分析	試料	1				
土の液性限界試験 4~6点/試料	試料	1				
土の塑性限界試験 3個/試料	試料	1				
土の締固め試験 非乾燥法 ﾓｰﾙﾄﾞ径10ﾗﾝﾏ2.5kg	試料	1				
三軸圧縮試験 CD試験 3供試体/試料	試料	1				
計						
1 試料 当り						

既存資料の収集･現地調査(直接人件費(解析等調査業務費分))
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本

代価表

(28号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
既存資料の収集･現地調査(技術経費含む) 直接人件費	業務	1				
計						
1 業務 当り						

資料整理とりまとめ(直接人件費(解析等調査業務費分))
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本

代価表

(29号代価表)

1 業務当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
資料整理とりまとめ(技術経費含む) 直接人件費	業務	1				
計						
1 業務 当り						

断面図等の作成(直接人件費(解析等調査業務費分))
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本

代価表

(30号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
断面図等の作成(技術経費含む) 直接人件費	業務	1				
計						
1 業務 当り						

総合解析とりまとめ(直接人件費(解析等調査業務費分))
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ13本 試験種目6~9種

代価表

(31号代価表)

1 業務当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
総合解析とりまとめ(技術経費含む) 直接人件費	業務	1				
計						
1 業務 当り						

代価表

打合せ等 地質調査(解析等調査業務)

全体打合せ(業務着手+中間打合せ+成果物納入+関係機関協議資料作成(　32号代価表　)

1業務当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
主任技師	人	1				
技師(A)	人	1 500				
技師(B)	人	0 750				
技師(C)	人	0 250				
計						
1 業務 当り						

諸経費対象外項目(大熊５工区)：(建築工事：建物解体)(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
直接工事費（大熊5工区：建築工事） N=51棟	式	1			費目行
１．解体・取壊し工	式	1			工種行
（１）木造	式	1			種別行
専用住宅	式	1			細別行
木造建物解体・大規模(180m2以上)	棟	4			1号代価表 6頁
木造建物解体・中規模（130m2以上～180m2未満）	棟	4			12号代価表 17頁
木造建物解体・小規模（130m2未満）	棟	9			24号代価表 29頁
工場・倉庫	式	1			細別行
木造建物解体・大規模(180m2以上)	棟	1			28号代価表 33頁
木造建物解体・小規模（130m2未満）	棟	6			39号代価表 44頁
（２）鉄骨造	式	1			種別行
工場・倉庫	式	1			細別行
鉄骨造建物解体・大規模（180m2以上）	棟	5			50号代価表 55頁
鉄骨造建物解体・小規模（130m2未満）	棟	18			64号代価表 69頁

諸経費対象外項目(大熊５工区)：(建築工事：建物解体)(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
店舗・事務所	式	1			細別行
鉄骨造建物解体・大規模（180m2以上）	棟	1			78号代価表 83頁
（３）鉄筋コンクリート造	式	1			種別行
工場・倉庫	式	1			細別行
鉄筋コンクリート造建物解体・大規模(180m2以上)	棟	1			92号代価表 97頁
鉄筋コンクリート造建物解体・小規模(130m2未満)	棟	2			98号代価表 103頁
（４）付属施設（工作物）	式	1			種別行
ビニルハウス解体	式	1			細別行
ビニルハウス	m2	240			102号代価表 107頁
舗装撤去	式	1			細別行
コンクリート舗装撤去 t=100	m3	14			103号代価表 108頁
アスファルト舗装撤去 t=50	m2	4,125			105号代価表 110頁
屋根ありコンクリート床舗装撤去	式	1			細別行
コンクリート床	m3	6			107号代価表 112頁

諸経費対象外項目(大熊５工区)：(建築工事：建物解体)(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
屋根	m2	60			108号代価表 113頁
門・囲障撤去	式	1			細別行
金網柵	m	79			109号代価表 114頁
擁壁撤去	式	1			細別行
擁壁	m3	26			113号代価表 118頁
工場設備撤去	式	1			細別行
基礎コンクリート等	m3	81			122号代価表 127頁
２．屋内廃棄物撤去	式	1			工種行
屋内廃棄物撤去・運搬	台	95			124号代価表 129頁
３．解体物　輸送・定置工	式	1			工種行
（１）積込み工（解体バラ材）	式	1			種別行
木材長尺物 4t車・積込費込	m3	1,036			125号代価表 130頁
金属類 4t車・積込費込	m3	1,029			127号代価表 132頁
コンクリートガラ 10tダンプ積込	m3	4,491			129号代価表 134頁

諸経費対象外項目(大熊５工区)：(建築工事：建物解体)(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
（２）運搬工（解体バラ材）	式	1			種別行
木材長尺物 4t車・運搬距離片道1km	m3	1,036			131号代価表 136頁
金属類 4t車・運搬距離片道1km	m3	1,029			134号代価表 139頁
コンクリートガラ運搬 10tダンプ・運搬距離片道1km	m3	4,491			136号代価表 141頁
（３）積下ろし・定置（解体バラ材）	式	1			種別行
木材長尺物 4t車・積下ろし	m3	1,036			138号代価表 143頁
金属類 4t車・積下ろし	m3	1,029			140号代価表 145頁
（４）積込み工（大型土のう袋）	式	1			種別行
8.1.2.2.③袋詰め(標準運搬工法) 土のう	袋	1,404			142号代価表 147頁
（５）運搬工（大型土のう袋）	式	1			種別行
土のう袋運搬費 4t車 運搬距離（片道）1km	袋	1,404			147号代価表 152頁
（６）積下ろし・定置(大型土のう袋)	式	1			種別行
13.1.1.14土のう袋積下ろし・定置	袋	1,404			148号代価表 153頁
（７）タグの取付け	式	1			種別行

諸経費対象外項目(大熊５工区)：(建築工事：建物解体)(当初)

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要
16.1.2.1　タグの取付け	袋	1,404			149号代価表 154頁
直接工事費	式	1			
共通仮設費計	式	1			
共通仮設費(率計上)	式	1			
純工事費	式	1			
現場管理費計	式	1			
現場管理費(率計上)	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等計					
一般管理費等(率計上)	式	1			
契約保証	式	1			
工事価格	式	1			
消費税相当額	式	1			
工事費	式	1			

木造建物解体・大規模(180m2以上)

代価表

(1号代価表)

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
木造建物解体 (小規模基準)	式	1			2号代価表 7頁	
計						
1 棟 当り						

木造建物解体（小規模基準）

代価表

（　　2号代価表　　）

1 式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
木造上屋解体	棟	1			3号代価表 8頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			5号代価表 10頁	
計						
1 式 当り						

木造上屋解体

代価表

（　3号代価表　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造上屋解体 平屋建・住宅・大規模（１８０m2以上）	m2	164.630			4号代価表 9頁	
計						
1 棟 当り						

木造上屋解体
平屋建・住宅・大規模（１８０m2以上）

代価表

（　　4号代価表　　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0.060				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0.012				
計						
1 m2 当り						

基礎解体
　土工事含む

代価表

(5号代価表)

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
基礎解体 コンクリート	m3	19.500			6号代価表 11頁	
根切り 機械	m3	52.680			7号代価表 12頁	
埋戻し 機械	m3	52.680			9号代価表 14頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	12.580			11号代価表 16頁	
計						
1 棟 当り						

基礎解体
コンクリート

代価表

（6号代価表）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
バックホウ 　０．８０m3	日	0.088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	供用日	0.035				
普通作業員	人	0.118				
その他 　労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

代価表

(　　　　7号代価表　　　　)

根切り
機械

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			8号代価表 13頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

(8号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

(9号代価表)

埋戻し
機械

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			10号代価表 15頁	
計						
1 m3 当り						

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

代価表

(10号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械・購入土

（　11号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			10号代価表 15頁	
砂 埋め戻し用	m3	1.230				
計						
1 m3 当り						

木造建物解体・中規模（130m2以上～180m2未満）

代価表

（　12号代価表　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
木造建物解体（小規模基準）	式	1			13号代価表 18頁	
計						
1 棟 当り						

木造建物解体（小規模基準）

代価表

（　13号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造上屋解体	棟	1			14号代価表 19頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			16号代価表 21頁	
計						
1 式 当り						

木造上屋解体

代価表

（　　14号代価表　　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造上屋解体 平屋建・住宅・中規模（１３０m2～１８０m2未満）	m2	141.110			15号代価表 20頁	
計						
1 棟 当り						

代価表

木造上屋解体
平屋建・住宅・中規模（１３０m2～１８０m2未満）

（　15号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0 060				
その他 労×２０％	％	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0 012				
計						
1 m2 当り						

基礎解体
土工事含む

代価表

(16号代価表)

1 棟当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
基礎解体 コンクリート	m3	19.500			17号代価表 22頁	
根切り 機械	m3	52.680			18号代価表 23頁	
埋戻し 機械	m3	52.680			20号代価表 25頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	12.580			22号代価表 27頁	
計						
1 棟 当り						

基礎解体
コンクリート

代価表

（　17号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
バックホウ ０．８０m3	日	0.088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	0.035				
普通作業員	人	0.118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

根切り
機械

代価表

(18号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			19号代価表 24頁	
計						
1 m3 当り						

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

代価表

(19号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

（　20号代価表　）

埋戻し
機械

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			21号代価表 26頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

(21号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械・購入土

(22号代価表)

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			23号代価表 28頁	
砂 埋め戻し用	m3	1 100				
計						
1 m3 当り						

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

代価表

(23号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格（基準地区単価）	基準地区単価	備 考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

木造建物解体・小規模（130m2未満）

代価表

（　　24号代価表　　）

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造建物解体（小規模基準）	式	1			25号代価表 30頁	
計						
1 棟 当り						

木造建物解体（小規模基準）

代価表

（25号代価表）

1 式当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
木造上屋解体	棟	1			26号代価表 31頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			5号代価表 10頁	
計						
1 式 当り						

30 頁

木造上屋解体

代価表

（　26号代価表　）

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
木造上屋解体 平屋建・住宅・小規模（１３０m2未満）	m2	117.590			27号代価表 32頁	
計						
1 棟 当り						

代価表

木造上屋解体
平屋建・住宅・小規模（１３０m2未満）

（　27号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
特殊作業員	人	0.060				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0.012				
計						
1 m2 当り						

木造建物解体・大規模(180m2以上)

代価表

(28号代価表)

1 棟当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
木造建物解体 (小規模基準)	式	1			29号代価表 34頁	
計						
1 棟 当り						

木造建物解体（小規模基準）

代価表

（　29号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造上屋解体	棟	1			30号代価表 35頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			32号代価表 37頁	
計						
1 式 当り						

木造上屋解体

代価表

（　　　30号代価表　　　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
木造上屋解体 平屋建・住宅・大規模（１８０m2以上）	m2	164 630			31号代価表 36頁	
計						
1 棟 当り						

木造上屋解体
平屋建・住宅・大規模（１８０m2以上）

代価表

（　31号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
バックホウ ０．８０m3	日	0.012				
特殊作業員	人	0.060				
その他 労×２０％	％	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

基礎解体
土工事含む

(32号代価表)

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
基礎解体 コンクリート	m3	12.480			33号代価表 38頁	
根切り 機械	m3	52.680			34号代価表 39頁	
埋戻し 機械	m3	52.680			36号代価表 41頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	12.580			38号代価表 43頁	
計						
1 棟 当り						

代価表

（　33号代価表　）

基礎解体
コンクリート

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
バックホウ ０．８０m3	日	0.088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	0.035				
普通作業員	人	0.118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

根切り
機械

代価表

（　　34号代価表　　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			35号代価表 40頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

(35号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械

(36号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			37号代価表 42頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

(37号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型･山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械・購入土

代価表

(38号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			37号代価表 42頁	
砂 埋め戻し用	m3	1.230				
計						
1 m3 当り						

代価表

木造建物解体・小規模（130m2未満）

（　39号代価表　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造建物解体（小規模基準）	式	1			40号代価表 45頁	
計						
1 棟 当り						

木造建物解体（小規模基準）

代価表

（　40号代価表　）

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造上屋解体	棟	1			41号代価表 46頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			43号代価表 48頁	
計						
1 式 当り						

木造上屋解体

代価表

（　　41号代価表　　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
木造上屋解体 平屋建・住宅・小規模（１３０m2未満）	m2	117.590			42号代価表 47頁	
計						
1 棟 当り						

木造上屋解体
平屋建・住宅・小規模（１３０m2未満）

代価表

（　42号代価表　）

1 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
バックホウ ０．８０m3	日	0.012				
特殊作業員	人	0.060				
その他 労×２０％	％	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

基礎解体
　土工事含む

代価表

(43号代価表)

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
基礎解体 コンクリート	m3	12.480			44号代価表 49頁	
根切り 機械	m3	52.680			45号代価表 50頁	
埋戻し 機械	m3	52.680			47号代価表 52頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	12.580			49号代価表 54頁	
計						
1 棟 当り						

基礎解体
コンクリート

代価表

（　　　44号代価表　　　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
バックホウ ０．８０m3	日	0 088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	0 035				
普通作業員	人	0 118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

代価表

根切り
機械

(45号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			46号代価表 51頁	
計						
1 m3 当り						

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

代価表

(46号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械

代価表

(47号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			48号代価表 53頁	
計						
1 m3 当り						

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

代価表

(48号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械・購入土

（ 49号代価表 ）

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			48号代価表 53頁	
砂 埋め戻し用	m3	1.230				
計						
1 m3 当り						

代価表

鉄骨造建物解体・大規模（180m2以上）

（　　50号代価表　　）

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄骨造建物解体（小規模基準）	式	1			51号代価表 56頁	
計						
1 棟 当り						

鉄骨造建物解体（小規模基準）

代価表

（　　51号代価表　　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨造上屋解体	m2	81.540			52号代価表 57頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			57号代価表 62頁	
計						
1 式 当り						

代価表

鉄骨造上屋解体

(52号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄骨造上屋解体 　軸組解体	t	0 054			53号代価表 58頁	
屋根解体	m2	1			54号代価表 59頁	
外壁解体	m2	1			55号代価表 60頁	
内部造作解体	m2	1			56号代価表 61頁	
計						
1 m2 当り						

鉄骨造上屋解体
　軸組解体

代価表

(53号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
鉄骨工	人	0.430				
普通作業員	人	0.070				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
酸素ｶﾞｽ ﾎﾞﾝﾍﾞ	m3	0.700				
溶解ｱｾﾁﾚﾝｶﾞｽ ﾎﾞﾝﾍﾞ	ｋｇ	0.200				
ラフテレークレーン使用料 ２５ｔ吊	日	0.052				
計						
1 t 当り						

屋根解体

代価表

(54号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0.050				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

外壁解体

代価表

(55号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0.080				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

内部造作解体

代価表

(56号代価表)

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0 180				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

基礎解体
土工事含む

(57号代価表)

1棟当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
基礎解体 コンクリート	m3	49.600			58号代価表 63頁	
根切り 機械	m3	47.290			59号代価表 64頁	
埋戻し 機械	m3	47.290			61号代価表 66頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	14.580			63号代価表 68頁	
計						
1 棟 当り						

基礎解体
コンクリート

代価表

（　　58号代価表　　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
バックホウ ０．８０m3	日	0 088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	0 035				
普通作業員	人	0 118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

根切り
機械

代価表

(59号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			60号代価表 65頁	
計						
1 m3 当り						

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

代価表

(60号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械

代価表

(61号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			62号代価表 67頁	
計						
1 m3 当り						

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

代価表

(62号代価表)

1 m3当り

	名　称 ・ 規　格	構成比	積算地区単価	名　称 ・ 規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通･排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型･山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型･排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械・購入土

代価表

(63号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			62号代価表 67頁	
砂 埋め戻し用	m3	1 230				
計						
1 m3 当り						

鉄骨造建物解体・小規模（130m2未満）

代価表

（　64号代価表　）

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨造建物解体（小規模基準）	式	1			65号代価表 70頁	
計						
1 棟 当り						

鉄骨造建物解体（小規模基準）

代価表

（ 65号代価表 ）

1 式当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨造上屋解体	m2	81.540			66号代価表 71頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			71号代価表 76頁	
計						
1 式 当り						

鉄骨造上屋解体

代価表

（　　66号代価表　　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
鉄骨造上屋解体 軸組解体	t	0.054			67号代価表 72頁	
屋根解体	m2	1			68号代価表 73頁	
外壁解体	m2	1			69号代価表 74頁	
内部造作解体	m2	1			70号代価表 75頁	
計						
1 m2 当り						

鉄骨造上屋解体
　軸組解体

代価表

(67号代価表)

1 t 当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨工	人	0.430				
普通作業員	人	0.070				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
酸素ｶﾞｽ ﾎﾞﾝﾍﾞ	m3	0.700				
溶解ｱｾﾁﾚﾝｶﾞｽ ﾎﾞﾝﾍﾞ	ｋｇ	0.200				
ラフテレークレーン使用料 ２５ｔ吊	日	0.052				
計						
1 t 当り						

屋根解体

代価表

(68号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0.050				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

外壁解体

代価表

（　　　69号代価表　　　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	0.080				
その他 労×２０％	％	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

内部造作解体

代価表

(70号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
普通作業員	人	0 180				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

(71号代価表)

基礎解体
土工事含む

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
基礎解体 コンクリート	m3	49.600			72号代価表 77頁	
根切り 機械	m3	47.290			73号代価表 78頁	
埋戻し 機械	m3	47.290			75号代価表 80頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	14.580			77号代価表 82頁	
計						
1 棟 当り						

基礎解体
コンクリート

代価表

（　　72号代価表　　）

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
バックホウ ０．８０m3	日	0.088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	0.035				
普通作業員	人	0.118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

代価表

根切り
機械

(73号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			74号代価表 79頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

(74号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械

(75号代価表)

1 m3当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			76号代価表 81頁	
計						
1 m3 当り						

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

代価表

(76号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械・購入土

(77号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			76号代価表 81頁	
砂 埋め戻し用	m3	1.230				
計						
1 m3 当り						

鉄骨造建物解体・大規模（180m2以上）

代価表

（　78号代価表　）

1棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨造建物解体（小規模基準）	式	1			79号代価表 84頁	
計						
1 棟 当り						

83 頁

鉄骨造建物解体（小規模基準）

代価表

（ 79号代価表 ）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨造上屋解体	m2	81.540			80号代価表 85頁	
基礎解体 土工事含む	棟	1			85号代価表 90頁	
計						
1 式 当り						

鉄骨造上屋解体

代価表

（　　80号代価表　　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
鉄骨造上屋解体 　軸組解体	t	0 054			81号代価表 86頁	
屋根解体	m2	1			82号代価表 87頁	
外壁解体	m2	1			83号代価表 88頁	
内部造作解体	m2	1			84号代価表 89頁	
計						
1 m2 当り						

鉄骨造上屋解体
　軸組解体

代価表

(　81号代価表　)

1 t 当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄骨工	人	0.430				
普通作業員	人	0.070				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
酸素ｶﾞｽ ﾎﾞﾝﾍﾞ	m3	0.700				
溶解ｱｾﾁﾚﾝｶﾞｽ ﾎﾞﾝﾍﾞ	ｋｇ	0.200				
ラフテレークレーン使用料 ２５ｔ吊	日	0.052				
計						
1 t 当り						

屋根解体

代価表

（ 82号代価表 ）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
特殊作業員	人	0.050				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

外壁解体

代価表

(83号代価表)

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊作業員	人	0.080				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

内部造作解体

代価表

(84号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
普通作業員	人	0.180				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

基礎解体
土工事含む

代価表

（85号代価表）

1 棟当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
基礎解体 コンクリート	m3	55.970			86号代価表 91頁	
根切り 機械	m3	47.290			87号代価表 92頁	
埋戻し 機械	m3	47.290			89号代価表 94頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	14.580			91号代価表 96頁	
計						
1 棟 当り						

代価表

基礎解体
コンクリート

(86号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
バックホウ ０．８０m3	日	0 088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	供用日	0 035				
普通作業員	人	0 118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

代価表

根切り
機械

(87号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			88号代価表 93頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

(88号代価表)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械

代価表

(89号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			90号代価表 95頁	
計						
1 m3 当り						

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

代価表

(90号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械・購入土

代価表

(91号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			90号代価表 95頁	
砂 埋め戻し用	m3	1 230				
計						
1 m3 当り						

代価表

鉄筋コンクリート造建物解体・大規模(180m2以上)

(92号代価表)

1 棟当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
鉄筋コンクリート造建物解体（小規模基準）	式	1			93号代価表 98頁	
計						
1 棟 当り						

鉄筋コンクリート造建物解体（小規模基準）

代価表

（　93号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄筋コンクリート造上屋解体	m2	59.620			94号代価表 99頁	
基礎解体 土工事も含む	式	1			97号代価表 102頁	
計						
1 式 当り						

鉄筋コンクリート造上屋解体

代価表

(94号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
鉄筋コンクリート造上屋解体	m2	1			95号代価表 100頁	
内部造作解体	m2	1			96号代価表 101頁	
計						
1 m2 当り						

鉄筋コンクリート造上屋解体

代価表

(95号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
バックホウ ０．８０m3	日	0 054				
ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕装置 建物･幅735~850mm･破砕力550~980kN	供用日	0 054				
普通作業員	人	0 054				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

内部造作解体

（　96号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
普通作業員	人	0.180				
その他 労×２０％	％	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

代価表

基礎解体
土工事も含む

(97号代価表)

1 式当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
基礎解体 コンクリート	m3	98.430			6号代価表 11頁	
根切り 機械	m3	59.020			7号代価表 12頁	
埋戻し 機械	m3	59.020			9号代価表 14頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	16.740			11号代価表 16頁	
計						
1 式 当り						

鉄筋コンクリート造建物解体・小規模(130m2未満)

代価表

(98号代価表)

1 棟当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
鉄筋コンクリート造建物解体（小規模基準）	式	1			99号代価表 104頁	
計						
1 棟 当り						

鉄筋コンクリート造建物解体（小規模基準）

代価表

（　99号代価表　）

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄筋コンクリート造上屋解体	m2	59.620			100号代価表 105頁	
基礎解体 土工事も含む	式	1			97号代価表 102頁	
計						
1 式 当り						

鉄筋コンクリート造上屋解体

代価表

(100号代価表)

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
鉄筋コンクリート造上屋解体	m2	1			101号代価表 106頁	
内部造作解体	m2	1			96号代価表 101頁	
計						
1 m2 当り						

鉄筋コンクリート造上屋解体

代価表

（　101号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
バックホウ ０．８０m3	日	0.054				
ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕装置 建物・幅735~850mm・破砕力550~980kN	供用日	0.054				
普通作業員	人	0.054				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

ビニルハウス

代価表

（　　102号代価表　　）

100 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
特殊作業員	人	1.980				
諸雑費	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

コンクリート舗装撤去
t=100

代価表

(103号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
構造物とりこわし 鉄筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要	m3	1			104号代価表 109頁	
計						
1 m3 当り						

構造物とりこわし
鉄筋構造物 機械施工 10m3以上 制約無 夜間無 対策不要

代価表

(104号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
構造物とりこわし工[手間のみ] 鉄筋構造物 機械施工 積込含む	m3	1				
計						
1 m3 当り						

アスファルト舗装撤去
t=50

代価表

(105号代価表)

1 m2当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り	m2	1			106号代価表 111頁	
計						
1 m2 当り						

舗装版破砕
アスファルト舗装版 障害無し 対策不要 10cm以下 積込有り

代価表

(106号代価表)

1 m2当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		8.85				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引あり) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.45(平積0.35)m3	8.85		[賃料]ﾊﾞｯｸﾎｳ ｸﾛｰﾗ型 山積0.45m3(平積0.35m3)		
R		85.77				
R1	普通作業員	40.11		普通作業員		
R2	土木一般世話役	23.18		土木一般世話役		
R3	運転手(特殊)	22.48		運転手(特殊)		
Z		5.38				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	5.38		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

コンクリート床

代価表

(　107号代価表　)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
バックホウ ０．８０m3	日	0 054				
ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕装置 建物・幅735~850mm・破砕力550~980kN	供用日	0 054				
普通作業員	人	0 054				
諸雑費	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

屋根

代価表

（　108号代価表　）

1 m2当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
大工	人	0.056				
普通作業員	人	0.013				
諸雑費	%	20			諸雑費	
計						
1 m2 当り						

金網柵

代価表

（　　109号代価表　　）

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
金網撤去	m	100			110号代価表 115頁	
支柱撤去	本	51			111号代価表 116頁	
基礎ブロック撤去	個	51			112号代価表 117頁	
計						
1 m 当り						

金網撤去

代価表

（　110号代価表　）

100 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人	0.300				
普通作業員	人	5.050				
諸雑費	%	20			諸雑費	
計						
1 m 当り						

支柱撤去

代価表

（ 111号代価表 ）

100 本当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0.400				
普通作業員	人	2.300				
諸雑費	%	20			諸雑費	
計						
1 本 当り						

基礎ブロック撤去

代価表

(112号代価表)

100 個当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
土木一般世話役	人	0 550				
普通作業員	人	5 900				
諸雑費	%	20			諸雑費	
計						
1 個 当り						

117 頁

擁壁

代価表

(113号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
擁壁積塀撤去	m3	1			114号代価表 119頁	
擁壁基礎撤去 GL下	m3	1			115号代価表 120頁	
計						
1 m3 当り						

擁壁積塀撤去

代価表

（ 114号代価表 ）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
建築ﾌﾞﾛｯｸ工	人	0.073				
普通作業員	人	0.033				
その他 労×20%	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

代価表

擁壁基礎撤去
GL下

（　115号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
根切り 機械	m3	1			116号代価表 121頁	
埋戻し 機械	m3	1			118号代価表 123頁	
埋戻し 機械・購入土	m3	1			120号代価表 125頁	
基礎解体 コンクリート	m3	1			121号代価表 126頁	
計						
1 m3 当り						

根切り
機械

代価表

(116号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
床掘り 土砂 標準 無し 障害無し	m3	1			117号代価表 122頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

床掘り
土砂 標準 無し 障害無し

(117号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		46.89				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	46.89		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		38.18				
R1	運転手(特殊)	38.18		運転手(特殊)		
Z		14.93				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	14.93		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

埋戻し
機械

(118号代価表)

1 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			119号代価表 124頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

埋戻し
最小埋戻幅4m以上

(　119号代価表　)

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	名　称　・　規　格（基準地区単価）	基準地区単価	備　　考
K		52.02				
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)	30.63		ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[普通・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 15t級		
K2	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	21.39		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		35.71				
R1	運転手(特殊)	35.71		運転手(特殊)		
Z		12.27				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.27		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

埋戻し
機械・購入土

代価表

(120号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
埋戻し 最小埋戻幅4m以上	m3	1			119号代価表 124頁	
砂 埋め戻し用	m3	1.230				
計						
1 m3 当り						

基礎解体
コンクリート

代価表

(121号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
バックホウ ０．８０m3	日	0 088				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	0 035				
普通作業員	人	0 118				
その他 労×２０％	%	20			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

基礎コンクリート等

代価表

(122号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
基礎部ｺﾝｸﾘｰﾄ類とりこわし ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕機・大型ﾌﾞﾚｰｶ併用ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3	m3	1			123号代価表 128頁	
計						
1 m3 当り						

基礎部ｺﾝｸﾘｰﾄ類とりこわし
ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕機・大型ﾌﾞﾚｰｶ併用ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3

代価表

(123号代価表)

100 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.8m3(平積0.6m3)	日	8 800				
ｺﾝｸﾘｰﾄ圧砕装置 建物・幅735~850mm・破砕力550~980kN	日	5 300				
大型ﾌﾞﾚｰｶ(ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ含まず) 油圧式600~800kg級	日	3 500				
普通作業員	人	8 800				
その他	%	16			諸雑費	
計						
1 m3 当り						

屋内廃棄物撤去・運搬

代価表

（　　124号代価表　　）

1 台当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
普通作業員	人	4				
ﾄﾗｯｸ 普通型･積載質量4~4.5t積	日	0.500				
荷造材料費 （労力費＋運賃）×50%	%	50			諸雑費	
雑費	%	10			諸雑費	
計						
1 台 当り						

代価表

木材長尺物
4t車・積込費込

（　125号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
積込 木材くず	m3	1			126号代価表 131頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

積込
木材くず

（　126号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
普通作業員	人	0.030				
その他 労×20%	%	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0.013				
計						
1 m3 当り						

代価表

金属類
4t車・積込費込

（　　127号代価表　　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
積込 金属くず	m3	1			128号代価表 133頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

積込
金属くず

(128号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0.030				
その他 労×20%	%	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0.013				
計						
1 m3 当り						

代価表

コンクリートガラ
10tダンプ積込

（　129号代価表　）

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
積込(ｺﾝｸﾘｰﾄ殻)	m3	1			130号代価表 135頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

積込(ｺﾝｸﾘｰﾄ殻)

(130号代価表)

1 m3当り

	名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K		9.59				
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)	9.59		ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 山積0.8m3(平積0.6m3)		
R		87.19				
R1	普通作業員	78.77		普通作業員		
R2	運転手(特殊)	8.42		運転手(特殊)		
Z		3.22				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	3.22		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

木材長尺物
4t車・運搬距離片道1km

(131号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運搬費 4t車・運搬距離（片道）1km 木材くず	m3	1			132号代価表 137頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

運搬費 4t車・運搬距離（片道）1km
木材くず

（ 132号代価表 ）

4 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
ダンプトラック使用料 積載質量4ｔ	日	0 230			133号代価表 138頁	
計						
1 m3 当り						

ダンプトラック使用料
積載質量4ｔ

代価表

（　　133号代価表　　）

1日当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(一般)	人	1				
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量4t積級	供用日	1.270				
ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(供用1日当り) ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ4t･良好	供用日	1.270				
その他 労×20%	%	20			諸雑費	
軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	40.800				
計						
1 日 当り						

代価表

金属類
4t車・運搬距離片道1km

(134号代価表)

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運搬費 4t車・運搬距離（片道）1km 金属類	m3	1			135号代価表 140頁	
計						
1 m3 当り						

運搬費 4t車・運搬距離（片道）1km
金属類

代価表

（　135号代価表　）

4 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
ダンプトラック使用料 積載質量4 t	日	0.230			133号代価表 138頁	
計						
1 m3 当り						

コンクリートガラ運搬
10tダンプ・運搬距離片道1km

代価表

(136号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋･鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID無し 1.0km以下 良好	m3	1			137号代価表 142頁	
計						
1 m3 当り						

殻運搬
コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし 機械積込 DID無し 1.0km以下 良好

代価表

(137号代価表)

1 m3当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	名称・規格(基準地区単価)	基準地区単価	備考
K		49.71				
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級	49.71		ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ](ﾀｲﾔ損耗費及び補修費(良好)を含む) 10t積級		
R		37.76				
R1	運転手(一般)	37.76		運転手(一般)		
Z		12.53				
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ･ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	12.53		軽油 1.2号 ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油		

代価表

木材長尺物
4t車・積下ろし

(138号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
積下ろし 木材くず	m3	1			139号代価表 144頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

積下ろし
木材くず

（　　139号代価表　　）

1 m3当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　　要	備　　　考
普通作業員	人	0.030				
その他 労×20%	%	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0.013				
計						
1 m3 当り						

代価表

金属類
4t車・積下ろし

（　　140号代価表　　）

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
積下ろし 金属くず	m3	1			141号代価表 146頁	
計						
1 m3 当り						

代価表

積下ろし
金属くず

(141号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人	0 030				
その他 労×20%	%	20			諸雑費	
バックホウ ０．８０m3	日	0 013				
計						
1 m3 当り						

8.1.2.2.③袋詰め(標準運搬工法)
土のう

代価表

(142号代価表)

10袋当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	0.060			143号代価表 148頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.210			144号代価表 149頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	0.240			145号代価表 150頁	
運転手(除染特殊) 特殊勤務手当なし	人	0.230			146号代価表 151頁	
ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.45m3(平積0.35m3)	時間	1.420				
軽油 小型ﾛｰﾘｰ・ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 2~4KL積載車	L	16				
耐候性大型土のう(長期) 内袋(二重)	枚	10				
諸雑費	%	1.400			諸雑費	
計						
1 袋 当り						

代価表

作業指揮者
特殊勤務手当なし

（　143号代価表　）

1 人当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
土木一般世話役	人	1				
計						
1 人 当り						

代価表

特殊除染作業員
特殊勤務手当なし

(144号代価表)

1 人当り

名 称 ・ 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
特殊作業員	人	1				
計						
1 人 当り						

普通除染作業員
特殊勤務手当なし

代価表

（　　145号代価表　　）

1 人当り

名　称 ・ 規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
普通作業員	人	1				
計						
1 人 当り						

運転手(除染特殊)
特殊勤務手当なし

代価表

(146号代価表)

1 人当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)	人	1				
計						
1 人 当り						

土のう袋運搬費 4t車
運搬距離（片道）1km

代価表

（　　147号代価表　　）

4袋当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンプトラック使用料 積載質量4ｔ	日	0.230			133号代価表 138頁	
計						
1袋当り						

13.1.1.14土のう袋積下ろし・定置

代価表

（　148号代価表　）

100 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
作業指揮者 特殊勤務手当なし	人	1.250			143号代価表 148頁	
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			144号代価表 149頁	
普通除染作業員 特殊勤務手当なし	人	1.250			145号代価表 150頁	
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ(作業料金)(長期割引あり) 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日	1.250				
計						
1 袋 当り						

153 頁

16.1.2.1　タグの取付け

代価表

(　　149号代価表　　)

160 袋当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要	備　考
特殊除染作業員 特殊勤務手当なし	人	3			144号代価表 149頁	
諸雑費	%	10			諸雑費	
計						
1 袋 当り						